別記様式第２号(その１の1)

(用紙　日本産業規格 A4 縦型)

基　本　計　画　書

基　本　計　画								
事　項	記　入　欄							備　考
計画の区分	大学の収容定員に係る学則変更							
フリガナ 設置者	ｶﾞｯｺｳﾎｳｼﾞﾝ　ニホンイリョウダイガク 学校法人　日本医療大学							
フリガナ 大学の名称	ﾆﾎﾝｲﾘｮｳﾀﾞｲｶﾞｸ 日本医療大学 (Japan Health Care College)							
大学本部の位置	北海道札幌市豊平区月寒東３条11丁目１番50号							
大学の目的	本学は、教育基本法および学校教育法の定めるところにより、学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的および応用的能力を展開できる保健医療福祉分野の人材の育成を目的とする。							
新設学部等の目的	医療技術の高度化、多様化に対応できる、幅広い教養とグローバルな視野をもち、主体的に学び･考え･行動する地域医療･福祉に貢献することのできる看護師及び診療放射線技師を育成するため収容定員の増加を行う。							
新設学部等の概要	新設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	開設時期及び開設年次	所在地	備考
	保健医療学部	年	人	年次人	人	学士	年月		
	看護学科	4	150 (100)	－	600 (400)	学士(看護学)		札幌市豊平区月寒東３条11丁目１番50号	令和２年６月申請
	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	120	－	480	学士(ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学)			令和２年６月申請
	診療放射線学科	4	100 (50)	－	400 (200)	学士(診療放射線学)			令和２年３月申請済
	臨床検査学科	4	60	－ －	240	学士(臨床検査技師)	令和３年４月 第１年次		
	計		430 (150)		1720 (600)				
同一設置者内における変更状況(定員の移行、名称の変更等)	保健医療学部 看護学科(収容定員増)　(50)(令和２年６月認可申請) 診療放射線学科(収容定員増)　(50)(令和２年６月認可申請) 臨床検査学科　(学部の学科の設置)　(60)(令和２年３月認可申請)								

教育課程	学部等の名称	開設する授業科目の総数				卒業要件単位数	
		講義	演習	実験・実習	計		
	－	－ 科目	－ 科目	－ 科目	－ 科目	－ 単位	

教員組織の概要	学部等の名称		専任教員等						兼任教員等	
			教授	准教授	講師	助教	計	助手		
	新設分	保健医療学部 臨床検査学科	人 5 (4)	人 0 (0)	人 5 (1)	人 2 (1)	人 12 (6)	人 0 (0)	人 36 (17)	学科の申請
		計	5 (4)	0 (0)	5 (1)	2 (1)	12 (6)	0 (0)	36 (17)	
	既設分	保健医療学部 看護学科	19 (16)	8 (3)	11 (5)	6 (5)	44 (29)	3 (3)	53 (53)	収容定員増の申請
		ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	8 (8)	4 (4)	4 (4)	2 (2)	18 (18)	0 (0)	80 (80)	
		診療放射線学科	6 (6)	4 (4)	1 (1)	0 (0)	11 (11)	1 (1)	57 (57)	収容定員増の申請
	計		33 (30)	16 (11)	16 (10)	8 (7)	73 (58)	4 (4)	190 (190)	
	合計		38 (34)	16 (11)	21 (11)	10 (8)	85 (64)	4 (4)	226 (207)	

教員以外の職員の概要	職種	専任	兼任	計
	事務職員	人 45 (45)	人 8 (8)	人 53 (53)
	技術職員	－ (－)	－ (－)	－ (－)
	図書館専門職員	2 (2)	0 (0)	2 (2)
	その他の職員	2 (2)	－ (－)	2 (2)
	計	49 (49)	8 (8)	57 (57)

校地等	区分	専用	共用	共用する他の学校等の専用	計
	校舎敷地	35,418.28 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	35,418.28 ㎡
	運動場用地	13,710 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	13,710 ㎡
	小計	49,128.28 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	49,128.28 ㎡
	その他	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	0 ㎡
	合計	49,128.28 ㎡	0 ㎡	0 ㎡	49,128.28 ㎡

(借用地)
校舎敷地 30 年
35,418.28 ㎡
運動場、20 年
13,710 ㎡
49,128.28 ㎡

校舎		専用	共用	共用する他の学校等の専用	計
		9,885.93 ㎡ (9,885.93) ㎡	0 ㎡ (0) ㎡	0 ㎡ (0) ㎡	9,885.93 ㎡ (9,885.93) ㎡
教室等	講義室	演習室	実験実習室	情報処理学習室	語学学習室
	30 室	48 室	35 室	2 室	情報処理室と共用

(借用地)
9,885.93 ㎡

専任教員研究室	新設学部等の名称	室数
	大学全体	75 室

図書・設備	新設学部等の名称	図書 (うち外国書) 冊	学術雑誌 (うち外国書) 種	電子ｼﾞｬｰﾅﾙ (うち外国書)	視聴覚資料 点	機械器具 点	標本 点	ﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ 3
	大学全体	32,445〔873〕 26,290(〔568〕)	128〔26〕 0(〔0〕)	25〔20〕 0(〔0〕)	823 (54)	6,434 (6,434)	96 (96)	
	計	32,445〔873〕	128〔26〕	25〔20〕	823	6,434	96	

	26,290(〔568〕)	0(〔0〕)	0(〔0〕)	(54)	(6,434)	(96)	
図書館	面積		閲覧座席数		収納可能冊数		大学全体
	1,670.00 ㎡		270 席		84,240 冊		
体育館	面積		体育館以外のスポーツ施設の概要				
	930.00 ㎡		スポーツジム				

経費の見積り及び維持方法等の概要

経費の見積り 区分	開設前年度	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次	単位:千円
教員1人当り研究費等	―	300	300	300	300	―	―	看護学科 診療放射線学科
共同研究費等	6,000	6,000	6,000	6,000	6,000	―	―	
図書購入費	44,213	－	－	－	－	―	―	
設備購入費	314,213	－	－	－	－	―	―	

学生1人当り納付金	第1年次	第2年次	第3年次	第4年次	第5年次	第6年次
	1,900 千円	1,600 千円	1,600 千円	1,600 千円	－千円	－千円

学生納付金以外の維持方法の概要: 寄附金、補助金等による

既設大学等の状況

学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	定員超過率	開設年度	所在地
保健医療学部					学士			
看護学科	4	100	―	400	看護学	1.09	平成26年度	北海道札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	4	120	―	480	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学	0.76	平成27年度	
診療放射線学科	4	50	―	200	診療放射線学	1.19	平成28年度	

付属施設の概要: 該当なし

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

看護学科

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	導入	看護を知る	1前	1				○		1					
		小計（1科目）		1						1					
	人間の理解	生命科学	1前	1			○								
		心理学	1前	1			○			1					
		発達心理学	1後		1		○			1					
		倫理学	1前	1			○			1					
		生命倫理	1後		1		○			1					
		医療と哲学	1後		1		○			1					
		医療と論理学	1前	1			○			1					
		医療と宗教	1後		1		○			1					
		小計（8科目）		4	4					7					
	人間と社会	人間関係の科学	1前		1		○			1					
		文化人類学	1後		1		○			1					
		医療と社会	1後		1		○			1					
		音楽	2後		1		○								
		法学	2前		1		○								
		教育学	2前		1		○								
		北海道史	1前		1		○			1					
		ボランティア論	2前		1		○			1					
		小計（8科目）			8					5					
	生活と情報	生活科学	1後		2		○								
		自然科学	1前		1		○								
		環境科学	1後		1		○								
		生活と運動	1前		1			○							
		健康とスポーツ	1後	1				○							
		統計学	1後	1			○								
		情報科学Ⅰ	1前	1				○							
		情報科学Ⅱ	1前	1				○							
		小計（8科目）		4	5					0					
	語学	日本語表現	1前	1				○		1					
		英語Ⅰ	1前	1				○							
		英語Ⅱ	1後	1				○							
		英語Ⅲ	2前		1			○							
		英語Ⅳ	3前		1			○							
		中国語	1後		1			○		1					
		韓国語	2前		1			○							
		小計（7科目）		3	4					2					
専	健康と疾	総合医療論	1前	1			○			1					
		形態機能学Ⅰ（消化器･血液系）	1前	1			○			1					
		形態機能学Ⅱ（循環･代謝系）	1前	1				○		1					
		形態機能学Ⅲ（運動･神経系）	1前	1			○			1					
		形態機能学Ⅳ（人体解剖実習）	1後	1			○			1					
		臨床微生物学	1前	1			○								
		病態病理学	2前	1			○								
		臨床薬理学	2後	1			○			1					
		臨床栄養学	1後	1			○								
		治療法概論	2前	1			○								
		疾病論Ⅰ（循環器･呼吸器系）	2前	1			○			1					

専門基礎教育科目	疾病	疾病論Ⅱ(消化器･血液系)	2後	1			○										
		疾病論Ⅲ(運動･神経系)	2後	1			○										
		疾病論Ⅳ(内分泌･腎泌尿器･感覚器系)	2後	1			○										
		疾病論Ⅴ(高齢者と精神)	2前	1			○										
		疾病論Ⅵ(女性と小児)	3前	1			○										
		感染症概論	1後	1			○										
		リハビリテーション概論	3前	1			○										
		小計（18科目）		18						7							
	社会と健康支援	公衆衛生学	1後	1			○										
		保健医療統計	2前	1			○										
		健康教育論	3前	1			○			1							
		保健医療福祉行政論	1後	1			○										
		チーム医療論	2後	1			○			1							
		関係法規	2前	1			○										
		社会福祉学	1後		1		○			1							
		家族論	2前		1		○			1							
		コミュニケーション論	1後		1		○										
		心の健康科学Ⅰ	2前		1		○			1							
		心の健康科学Ⅱ	2後		1		○			1							
		小計（11科目）		6	5					6							
	看護の基本	看護学概論	1前	2			○			1							
		看護倫理	3前	1			○			1							
		看護の基本技術論	1前	2			○			1							
		生活援助技術Ⅰ	1前	1				○		1							
		生活援助技術Ⅱ	1後	1				○				1					
		生活援助技術Ⅲ	1後	1				○				1					
		診療過程の援助技術	2後	1				○		1							
		看護ヘルスアセスメント論	2前	1				○		1							
		看護過程論	2前後	1				○		1							
		基礎看護学実習Ⅰ	2前	1					○	1							
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2					○	1							
		小計（11科目）		14						9		2					

専門教育科目	対象の特徴と看護実践	成人看護学概論	2前	2			○			1					
		成人看護援助論Ⅰ	2後	1				○			1				
		成人看護援助論Ⅱ	3前	1				○		1					
		成人看護援助論Ⅲ	3前	1				○		1					
		成人看護学特論	2後	1				○		1					
		成人看護学実習Ⅰ	3後	4					○	1					
		成人看護学実習Ⅱ	4前	2					○	1					
		老年看護学概論	2前	2			○			1					
		老年看護援助論Ⅰ	2後	1				○		1					
		老年看護援助論Ⅱ	3前	1				○		1					
		老年看護学実習Ⅰ	3後	2					○	1					
		老年看護学実習Ⅱ	4前	2					○	1					
		小児看護学概論	3前	2			○			1					
		小児看護援助論Ⅰ	3後	1			○				1				
		小児看護援助論Ⅱ	3後	1				○		1					
		小児看護学実習	4前	2					○	1					
		母性看護学概論	2後	2			○			1					
		母性看護援助論Ⅰ	3前	1			○					1			
		母性看護援助論Ⅱ	3後	1				○				1			
		母性看護学実習	4前	2					○	1					
		精神看護学概論	2後	2			○			1					
		精神看護援助論Ⅰ	3前	1			○			1	1				
		精神看護援助論Ⅱ	3前	1				○		1	1				
		精神看護学実習	3後	2					○		1				
		小計（24科目）		38						19	5	2			
	看護の統合学習	在宅看護学概論	2後	2			○			1					
		在宅看護援助論Ⅰ	3前	1				○		1					
		在宅看護援助論Ⅱ	3後	1				○		1					
		在宅看護学実習	4前	2					○	1					
		統合実習	4前	2					○	1					
		看護研究	3前	1				○			1				
		看護研究演習Ⅰ	3前後	1				○			1				
		看護研究演習Ⅱ	4前後	1				○				1			
		看護管理	3前	1			○			1					
		感染管理	3前		1		○			1					
		看護教育	4前		1		○			1					
		災害看護	4後		1		○			1					
		臨床看護技術演習	4後	1				○		1					
		看護ゼミナールⅠ	2前後	1				○		1					
		看護ゼミナールⅡ	4前後	1				○		1					
		医療安全	2前	1			○			1					
		小計（16科目）		16	3					13	2	1			

学位又は称号	学士(看護学)	学位又は学科の分野	保健衛生学関係

卒業要件及び履修方法	授業期間等	
必修科目30単位、基礎教育科目の選択科目から16単位、専門基礎教育科目から16単位以上、専門教育科目の選択科目から48単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限40単位（年間）	1学年の学期区分	前・後　期
	1学期の授業期間	30　週
	1時限の授業時間	90　分

別記様式第２号（その２の１）

（用紙　日本産業規格Ａ4縦型）

教　育　課　程　等　の　概　要

診療放射線学科

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数			授業形態			専任教員等の配置					備考
				必修	選択	自由	講義	演習	実験・実習	教授	准教授	講師	助教	助手	
基礎教育科目	人間と生活	生命科学	1前	1			○								
		心理学	1前	1			○								
		倫理学	1前		1		○								
		生命倫理	1後		1		○								
		宗教と思想	1前		1		○								
		人間関係論	1前		1		○								
		文化人類学	1後		1		○								
		社会学	1前		1		○								
		法学	1後		1		○								
		教育学	1前		1		○								
		北海道史	1前		1		○								
		ボランティア活動	1後		1		○								
		小計（12）		2	10					0	0	0	0	0	
	科学的思考の基礎	物理学	1前	2			○								
		化学	1後		1		○			1					
		生物学	1前		1		○								
		生活と運動	1前		1		○								
		健康とスポーツ	2前		1		○								
		数学Ⅰ（指数・対数・三角関数）	1前	2			○			1					
		数学Ⅱ（微分・積分・微分方程式）	1後		1		○			1					
		数学Ⅲ（統計学）	1後		1		○								
		情報科学	1前	1				○			1				
		情報科学演習	1後	1				○			1				
		小計（10科目）		6	6					3	2	0	0	0	
	語学	日本語表現	1前		1			○							
		英語Ⅰ	1前	1				○							
		英語Ⅱ	1後	1				○							
		英語Ⅲ	2前		1			○							
		中国語	2前		1			○							
		小計（15科目）		2	3					0	0	0	0	0	
専門基礎	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	医学概論	1前	1			○								
		系統解剖学	2前	2			○								
		臨床解剖学	2後	2			○								
		臨床解剖学演習	3前		1			○		1					
		生理学	2後		1		○								
		病態生理学	3前	1			○								
		病理学	2後	1			○								
		生化学	2前	1			○								
		薬理学	2前		1		○								
		臨床薬理学	2後	1			○								
		衛生学	1後	1			○								
		公衆衛生学	1後	1			○								
		臨床医学概論	2後	2			○								
		臨床医学演習	3前		1			○							
		小計（14科目）		13	4					1	0	0	0	0	
	保	放射線科学概論	1前	1			○			1					
		診療放射線学概論	1後	1			○					1			
		放射線生物学	2前	2			○								

教育科目	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	放射線生物学演習	2後		1			○							
		放射線物理学	1後	2			○			1					
		放射線物理学演習	2前		1			○		1					
		放射線物理学実験	2前	1					○		1				
		放射化学	2前	2			○			1					
		放射化学演習	2後		1			○		1					
		電気・電子工学	2前		2		○			1					
		医用工学	2後	2			○			1					
		医用工学実験	2前		1				○	1					
		放射線計測学	3前	2			○			1					
		放射線計測学演習	4前		1			○		1					
		小計（14科目）		13	7					10	1	1	0	0	
	医療専門職の機能と役割	基礎看護学	2前	1			○								
		医療コミュニケーション学	1後	1			○			1					
		チーム医療論	2後	1			○								
		医療経済学	2前		1		○								
		臨床心理学	2後		1		○								
		小計（5科目）		3	2					1	0	0	0	0	

専門教育科目	診療画像技術学	診療画像技術学概論	2前	1			○				1				
		診療画像技術学Ⅰ（一般撮影）	2後	2			○				1				
		診療画像技術学Ⅱ（造影検査）	3前	2			○				1				
		X線CT検査学	3前	2			○					1			
		MRI検査学	3後	2			○			1					
		超音波検査学	3後	2			○								
		診療画像技術学実験Ⅰ(X線検査)	2後	1					○	1					
		診療画像技術学実験Ⅱ(CT、超音波、眼底)	3前	1					○		1				
		診療画像機器学	2後	2			○				1				
		診療画像機器学演習	3前		1			○			1				
		診療画像機器学実験	3後	1					○		1				
		小計（11科目）		16	1					2	7	1	0	0	
	画像診断学	画像解剖学Ⅰ(X線画像)	2後	2			○				1				
		画像解剖学Ⅱ(MRI・超音波・造影画像)	3前	2			○			1					
		画像解剖学Ⅲ（演習）	3後		1			○				1			
		画像診断学Ⅰ(頭部・頸部・脊髄)	3後	2			○				1				
		画像診断学Ⅱ(胸部・心大血管・消化器他)	4前	2			○			1					
		画像診断学Ⅲ（演習）	4後		1			○		1					
		小計（6科目）		8	2					3	2	1	0	0	
	核医学検査学	核医学検査技術学概論	3前	2			○				1				
		核医学検査技術学	3後	2			○				1				
		核医学検査機器学	3後	2			○				1				
		核医学検査技術学演習	4後		1			○			1				
		小計（4科目）		6	1					0	4	0	0	0	
	放射線治療技術学	放射線治療技術学概論	3前	2			○			1					
		放射線治療技術学	3後	2			○			1					
		放射線治療計測学	4前	1			○			1					
		放射線治療機器学	3後	1			○								
		放射線治療技術学演習	4後		1			○		1					
		小計（5科目）		6	1					4	0	0	0	0	
	医用画像情報学	医療画像処理学	2後	1			○				1				
		医療画像工学	3前	2			○				1				
		医療画像情報学	3後	2			○				1				
		医療画像情報学演習	4後		1			○			1				
		医療情報管理学	4前	1			○						1		
		小計（5科目）		6	1					0	4	0	1	0	
	放射線安全管理学	放射線安全管理学	3後	2			○			1					
		医療機器安全管理学	4前	1			○			1					
		関係法規	4前	1			○								
		放射線カウンセリング学	4前		1		○			1					
		小計（4科目）		4	1					3	0	0	0	0	
専門教育科目	医療安全管理学	医療職としての責任と役割	4前	1			○								
		医療安全管理学	4後	1			○			1					
		応急処置法（演習）	4前	1				○							
		小計（3科目）		3						1	0	0	0	0	
	臨床実習	臨床実習Ⅰ	3後	4					○	1					
		臨床実習Ⅱ	4後	6					○	1					
		小計（2科目）		10						2	0	0	0	0	
	総合科目	放射線技術学特別講義	4前		1		○			1					
		総合演習Ⅰ(専門基礎領域)	4後		1			○		5	3	1			
		総合演習Ⅱ(臨床領域)	4後		1			○		5	3	1			
		小計（3科目）			3					11	6	2	0	0	
	卒業研究	卒業研究	4通	4				○		5	3	1			
		小計（1科目）		4						5	3	1	0	0	
										6	4	1	0	0	

学位又は称号	学士(診療放射線学	学位又は学科の分野	保健衛生学関係
卒業要件及び履修方法		授業期間等	

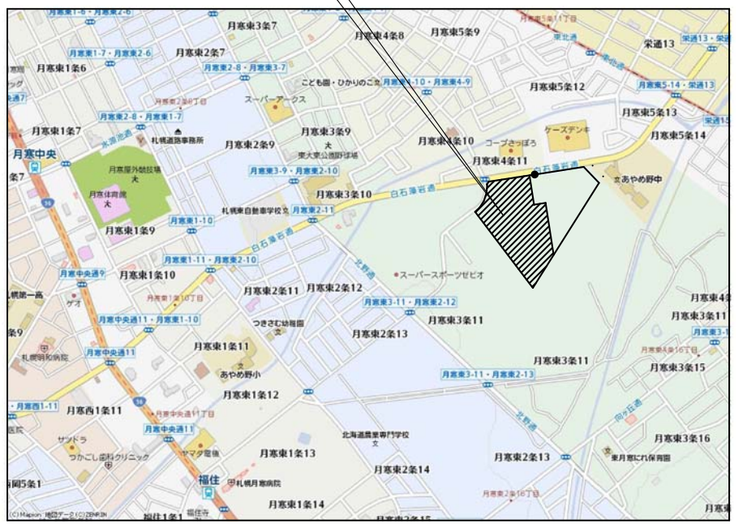
必修科目30単位、基礎教育科目の選択科目から16単位、専門基礎教育科目から16単位以上、専門教育科目の選択科目から48単位以上を修得し、124単位以上修得すること。 （履修科目の登録の上限40単位（年間）	1学年の学期区分	前・後　期
	1学期の授業期間	30　週
	1時限の授業時間	90　分

学校法人日本医療大学保健医療学部診療放射線学科収容定員増に関わる組織の移行表

令和２年度	入学定員	収容定員
日本医療大学		
保健医療学部		
看　護　学　科	100	400
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	120	480
理学療法学専攻	80	320
作業療法学専攻	40	160
診療放射線学科	50	200
計	270	1,080

令和３年度	入学定員	収容定員	変更の事由
日本医療大学			
保健医療学部			
看　護　学　科	150	600	(収容定員増(認可申請)
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	120	480	
理学療法学専攻	80	320	
作業療法学専攻	40	160	
診療放射線学科	100	400	(収容定員増(認可申請)
臨床検査学科	60	240	(学部の学科の設置(認可申請)
計	430	1,720	

建築場所：札幌市豊平区月寒東3条11丁目268-2の内
（住居表示：札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号）

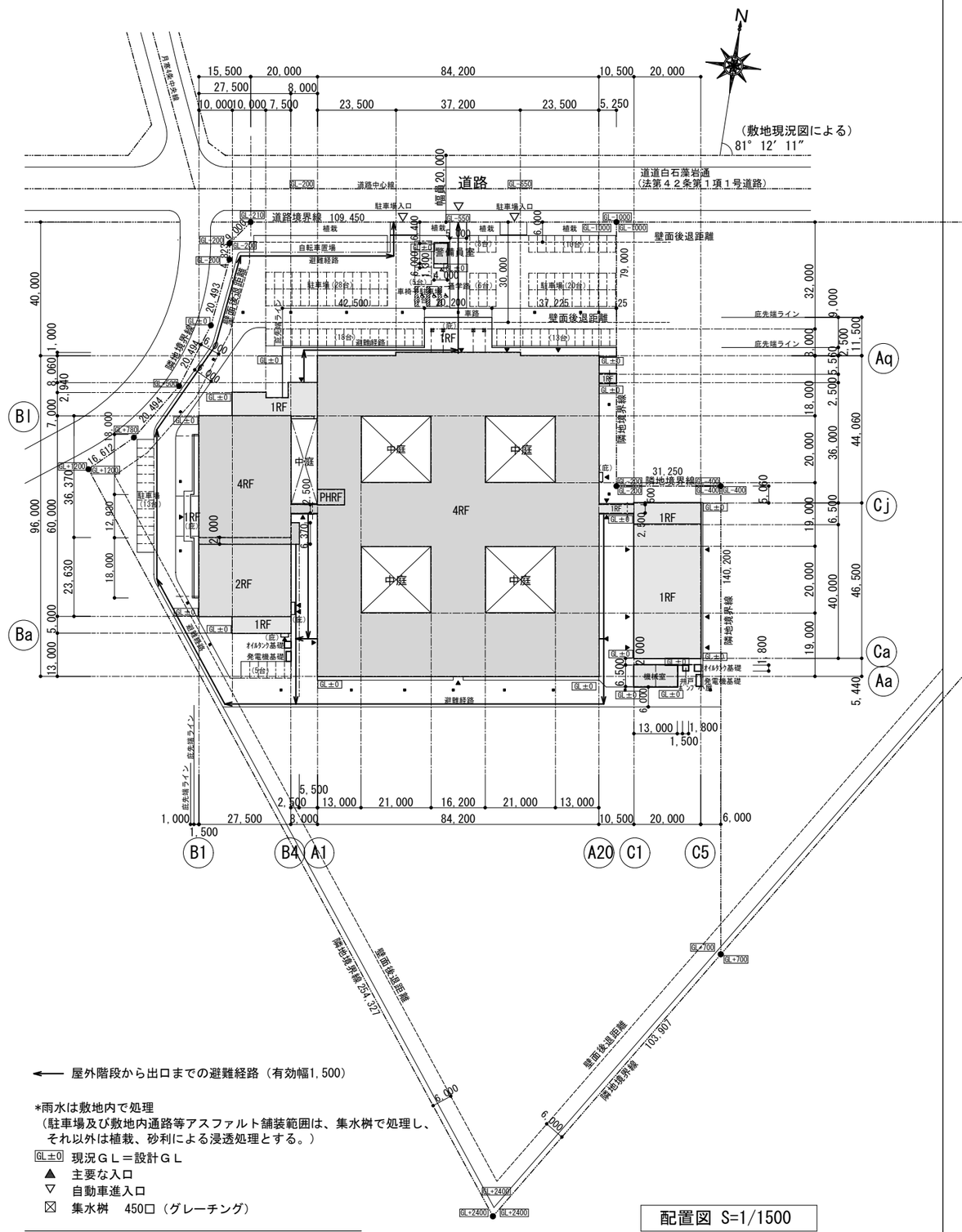


案内図

＜建築概要＞

建築場所	札幌市豊平区月寒東3条11丁目268-2の内	道路	幅員20M　（法第４２条第１項１号道路）
（住居表示）	札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番50号		
		構造・規模	校舎：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造、一部鉄骨鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造・鉄骨造
敷地面積	35,418.28㎡（10,714.03坪）		地上４階建
用途地域	第一種住居地域　（建ぺい率：60%・容積率：200%）		付属棟 警備員室：鉄筋ｺﾝｸﾘｰﾄ造　平屋建
高度地区	18M高度地区		付属棟 機械室：鉄骨造　平屋建
防火地域	指定なし		
地区計画	東月寒向ヶ丘地区	駐車台数	124台　（車椅子対応駐車台数：３台含む）
その他の地区	風致地区		
	景観計画区域		
建築面積	9,885.93㎡　（校舎9,772.99＋警備員室25.20＋機械室84.50＋井戸ポンプ小屋3.24㎡）		
建ぺい率	27.91%		
延床面積	32,273.46㎡　（校舎棟25,570.72＋学食・図書室棟5,661.00＋体育館930.00＋警備員室24.00＋機械室84.50＋ポンプ室3.24㎡）		
	容積対象床面積：32,122.26㎡　（校舎32,010.52＋警備員室24.00＋機械室84.50＋井戸ポンプ小屋3.24㎡）		
容積率	90.69%		

床面積		校舎	警備員室	機械室	井戸・ポンプ小屋	合計（単位：㎡）
	１階	9,322.91	24.00	84.50	3.24	9,434.65
	２階	8,034.15				8,034.15
	３階	7,384.33				7,384.33
	４階	7,384.33				7,384.33
	PH階	36.00				36.00
	合計	32,161.72	24.00	84.50	3.24	32,273.46



配置図 S=1/1500

記事		一級建築士事務所 株式会社 西澤建築設計事務所 K.Nishizawa & Associate Architects	CHECK	TITLE 日本医療大学新築工事	SCALE 1／1500	DAY	D. TITLE 確−1 配置図・案内図・概要	D−07 S−	E− P−
					1級建築士 第87787号 西澤 健二				

凡例
診療放射線学科
看護学科
リハビリテーション学科
臨床検査学科
共用
基準外

1階平面図　S=1/500

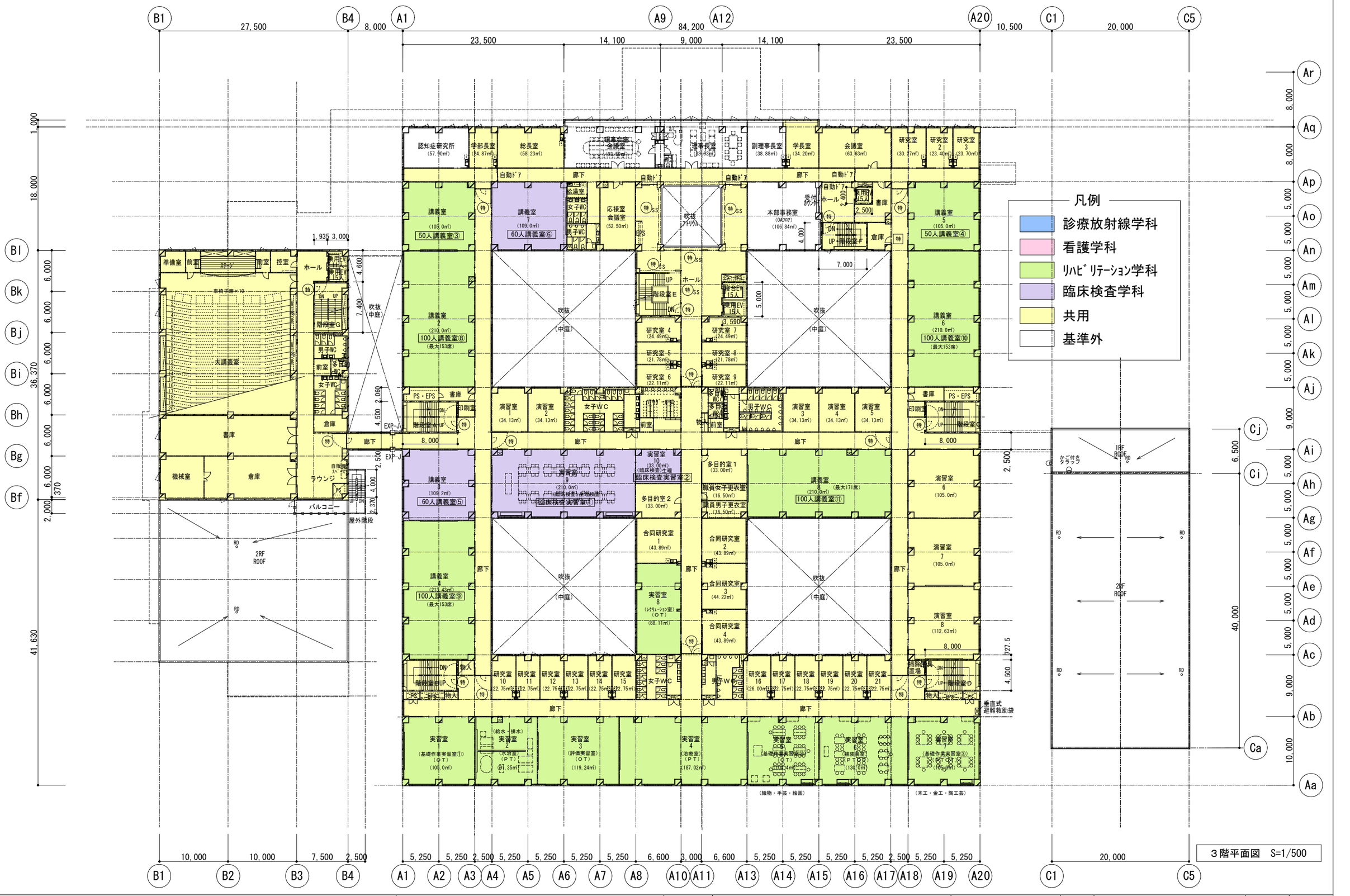
記事		一級建築士事務所 株式会社 西澤建築設計事務所 K.Nishizawa & Associate Architects	CHECK	TITLE	SCALE	DAY	D. TITLE	D–	E–
				日本医療大学新築工事	1／500		1階平面図	S–	P–
					1級建築士 第87787号 西澤 健二				

凡例

- 診療放射線学科
- 看護学科
- リハビリテーション学科
- 臨床検査学科
- 共用
- 基準外

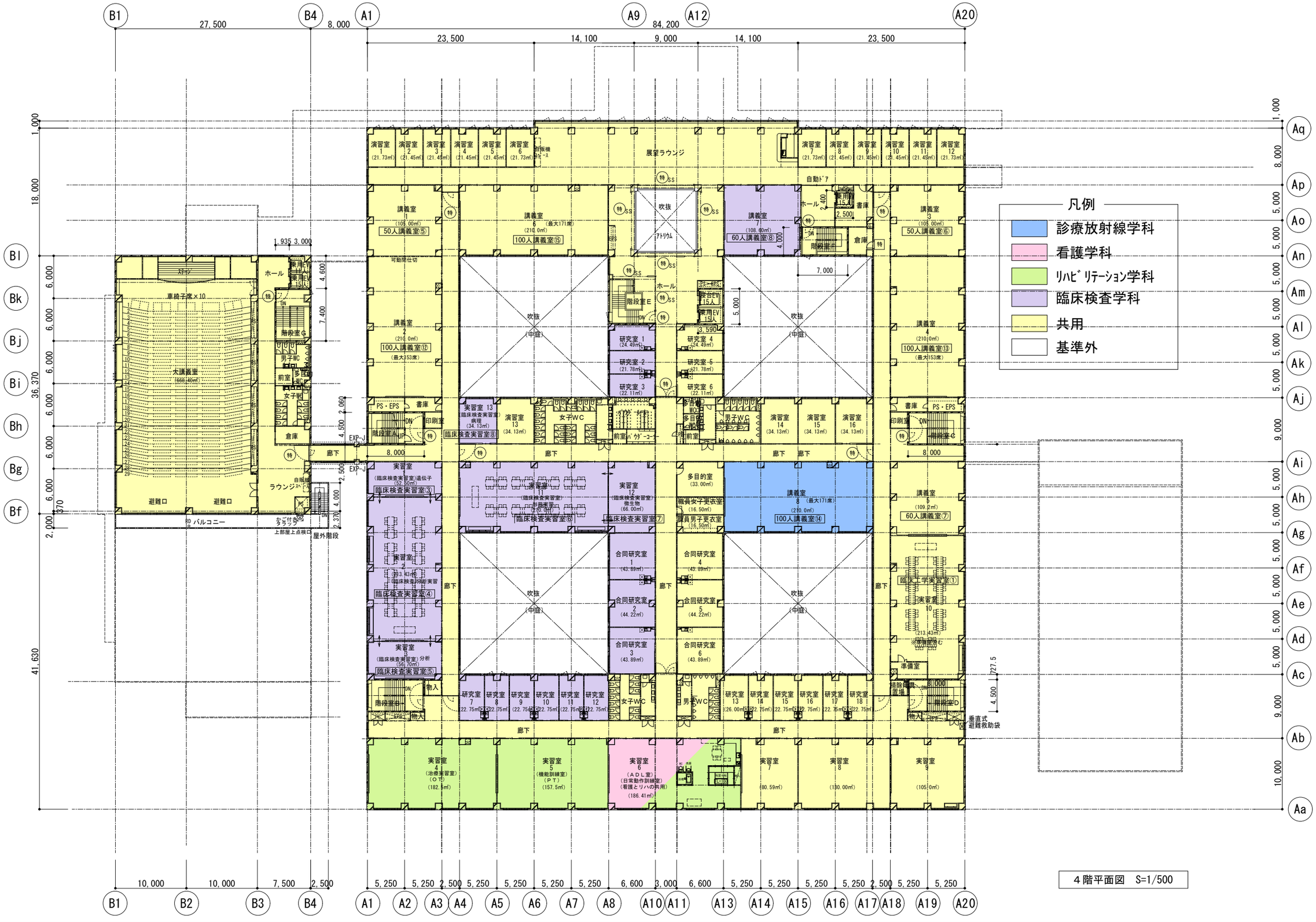
2階平面図　S=1/500

記事		一級建築士事務所 株式会社 西澤建築設計事務所 K.Nishizawa & Associate Architects	CHECK	TITLE	SCALE	DAY	D. TITLE	D-	E-
				日本医療大学新築工事	1／500		2階平面図	S-	P-
					1級建築士 第87787号 西澤 健二				



3階平面図　S=1/500

記事		一級建築士事務所 株式会社 西澤建築設計事務所 K.Nishizawa & Associate Architects	CHECK	TITLE	SCALE	DAY	D. TITLE	D−	E−
				日本医療大学新築工事	1／500		3階平面図	S−	P−
					1級建築士 第87787号 西澤 健二				



記事		一級建築士事務所 株式会社 西澤建築設計事務所 K.Nishizawa & Associate Architects	CHECK	TITLE 日本医療大学新築工事	SCALE 1／500	DAY	D. TITLE 4階平面図	D－ S－ E－ P－
					1級建築士 第87787号 西澤 健二			

日本医療大学学則　（案）

（平成26年4月1日制定）

第１章　総　　則

（目　的）

第１条　日本医療大学（以下「本学」という。）は、教育基本法及び学校教育法並びに建学の精神に基づき、深く専門の学術を教授及び研究し、人間尊重を基盤とした医療人を育成して、社会の発展に寄与するとともに人々の健康及び生活の向上に貢献することを目的とする。

（所在地）

第２条　本学保健医療学部看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科及び臨床検査学科は、札幌市豊平区月寒東3条11丁目1番地50号に置く。

（自己評価等）

第３条　本学は、教育水準の向上及び活性化を図り、その目的と社会的使命を果たすため、教育研究活動等について自己点検及び評価を行う。

２　自己点検及び評価に関する事項については、別に定める。

（ファカルティ・ディベロップメント）

第４条　本学は、授業の内容及び方法の改善を図るため、組織的な研修及び研究の実施に努めるものとする。

（情報公開）

第５条　本学は、教育研究活動等の実施及び成果に関する情報を広く社会に公開するよう努めるものとする。

第２章　学部、学科及び修業年限

（学部及び学科）

第６条　本学に、保健医療学部を置き、次の学科を置く。

⑴　看護学科

⑵　リハビリテーション学科 理学療法学専攻及び作業療法学専攻

⑶　診療放射線学科

⑷　臨床検査学科

２　前項の学部及び学科の教育上の目的

生命の尊厳の理念に基づき、豊かな感性と教養で人間性を高め、高度な知識と技術を学修し、倫理的及び論理的な実践力で、地域医療に貢献する医療人を育成する。

（修業年限）

第７条　本学の修業年限は、4年とする。ただし、8年を超えて在学することはできない。

２　第16条により許可を得て留学した期間は、前項の修業年限に算入することができる。

第３章　入学定員及び収容定員

（入学定員及び収容定員）

第８条　本学の入学定員及び収容定員は、別表第1のとおりとする。

第４章　入学、休学及び退学等

（入学時期）

第９条　入学の時期は毎年4月とする。

（入学資格）

第10条　本学に入学することができる者は、次の各号のいずれかに該当する者とする。

⑴　高等学校又は中等教育学校を卒業した者

⑵　通常の課程による12年の学校教育を修了した者（通常の課程以外の課程によりこれに相当する学校教育を修了した者を含む。）

⑶　外国において、学校教育による12年の課程を修了した者又はこれに準ずる者で文部科学大臣の指定した者

⑷　文部科学大臣が高等学校の課程と同等の課程を有する者として認定した在外教育施設の当該課程を修了した者

⑸　専修学校の高等課程（修業年限が3年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者

⑹　文部科学大臣の指定した者

⑺　高等学校卒業程度認定試験規則（平成17年文部科学省令第1号）により文部科学大臣の行う高等学校卒業程度認定試験に合格した者

⑻　その他、相当の年齢に達し、高等学校を卒業した者と同等以上の学力があると本学が認めた者

（入学の出願）

第11条　本学に入学を志願する者は、本学所定の書類に入学検定料を添えて願いでなければならない。

２　提出期限、方法、提出すべき書類等に関する事項については、別に定める。

（入学者の選考）

第12条　入学志願者については、所定の入学試験を行い、合格者を決定する。

２　入学者の選考に関する事項については、別に定める。

（入学の手続及び入学許可）

第13条　前条の選考の結果に基づき合格の通知を受けた者は、所定の期日までに所定の手続きを完了した者に、学長は入学を許可する。

２　入学手続に関する事項については、別に定める。

（編入学）

第14条 本学への編入学を志願する者があるときには、選考のうえ、学長が教授会に意見を求め相当年次に入学を許可することがある。

（転入学）

第15条　他大学の学生で、本学への転入学を志願する者があるときには、選考のうえ、学長が教授会に意見を求め相当年次に入学を許可することがある。

（留　学）

第16条　外国及び国内の大学に留学を志望する者は、学長が教授会に意見を求め留学を許可することがある。

（休　学）

第17条　疾病その他やむを得ない事由により、3月以上修学できない者は、学長が教授会に意見を求め休学を許可することがある。

２　疾病その他の事由により修学が不適当と認められる学生に対して、学長は休学を命ずることがある。

３　休学期間は1年以内とする。ただし、通算して2年を超えることができない。

４　休学期間は、第7条に定める修業年限の期間に算入しない。

（復　学）

第18条　休学期間が満了したとき、又は休学期間中にその理由が消滅したときは、学長が教授会に意見を求め復学を許可することがある。

（退　学）

第19条　学生が退学しようとするときは、所定の書類を提出し、学長は教授会に意見を求め、許可する。

（再入学）

第20条　前条による退学者が3年以内に再入学を願い出た場合は、学長は教授会に意見を求め、これを許可することがある。

（除　籍）

第21条　学生が次の各号のいずれかに該当する場合は、学長は教授会に意見を求め、除籍することができる。

⑴　第7条に規定する在学期間を超えるとき

⑵　死亡の届出があったとき

⑶　長期にわたり行方不明の届出があった場合

⑷　授業料等の納付を怠り、督促してもなお納入しないとき

⑸　休学期間満了前に、復学、退学又は休学の願い出がないとき

⑹　入学を辞退したとき

（外国人留学生）

第22条　外国人留学生とは、外国人で本学において教育を受ける目的をもって入学を志願し、許可された者をいう。

２　外国人留学生規程は、別に定める。

第５章　学年、学期及び休業日

（学 年）

第 23 条　学年は 4 月 1 日に始まり、翌年 3 月 31 日に終わる。

（学 期）

第 24 条　学期は次の 2 学期に分ける。

⑴　前期　4 月 1 日から 9 月 30 日まで

⑵　後期　10 月 1 日から翌年 3 月 31 日まで

（休業日）

第 25 条　休業日は、次の各号に掲げるとおりとする。

⑴　土曜日及び日曜日

⑵　国民の祝日に関する法律(昭和 23 年法律第 178 号)で規定する日

⑶　創立記念日

⑷　春季休業

⑸　夏季休業

⑹　冬季休業

２　学長が必要と認めた場合には、前項の休業日を変更することができる。

第６章　授業科目、履修方法、試験及び成績の評価

（授業科目）

第 26 条　授業科目は、必修科目及び選択科目とする。

２　授業科目及び単位数は、別表第 2 のとおりとする。

（授業科目の履修方法）

第 27 条　授業科目の履修方法に関する事項は、別に定める。

（単位数の計算方法）

第 28 条　各授業科目の単位数は、1 単位について 45 時間の学修を必要とする内容をもって構成することを標準とし、次の基準により計算する。

⑴　講義及び演習については、15 時間から 30 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

⑵　実験、実習及び実技については、30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

⑶　１つの授業科目について、講義、演習、実験、実習又は実技のうち、2 以上の方法の併用により行う授業については、前各号の組み合わせに応じ、30 時間から 45 時間までの範囲で本学が定める時間の授業をもって 1 単位とする。

２　前項の規定にかかわらず、卒業論文、卒業研究等の授業科目については、これらに必要な学修等を考慮して単位数を定めることができる。

（試 験）

第 29 条　履修した授業科目については、定期の試験を行い、学業成績を考査する。

２　試験に関する事項ついては、別に定める。

（成績の評価）

第 30 条 授業科目の成績の評価は、ＡＡ、Ａ，Ｂ、Ｃ及びＤとし、ＡＡ，Ａ、Ｂ及びＣを合格とする。

２　前項の成績評価基準については、あらかじめ明示するものとする。

３　合格した授業科目については、所定の単位を与える。

４　前項の成績は、学生に通知する。

（他大学等の授業科目の履修）

第 31 条　学長が教育上有益と認めるときは、学生が他の大学又は短期大学の授業科目を履修することを認めることができる。

２　前項により学生が履修した授業科目について修得した単位は、60 単位を超えない範囲で本学において修得した単位と認めることができる。

３　第 1 項及び前項により学生が授業科目を履修するために本学を離れて他の地に滞在する期間は、本学の在学期間に含めることができる。

（入学前の既修得単位の認定）

第 32 条　学長が教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に大学又は短期大学において履修した授業科目について修得した単位（科目等履修生の制度により修得した単位を含む）を、本学における授業科目の履修により修得したものとみなすことができる。

２　学長が教育上有益と認めるときは、学生が入学する前に行った前条に規定する学修を、本学における授業科目の履修とみなすことができる。

３　前 2 項により修得したものとみなし、又は与えることのできる単位数は、本学において修得した単位以外のものについては､前条により本学において履修したものとみなす単位数と合わせて 60 単位を超えないものとする。

第 7 章　卒業及び学位授与

（卒　業）

第 33 条　本学に 4 年以上在学し、別表第 2 及び別表第 3 に定める所定の授業科目及び単位を修得し、卒業認定基準を満たした者には、学長が教授会に意見を求め卒業証書・学位記を授与する。

２　前項の卒業認定基準については、あらかじめ明示するものとする。
３　第１項の在学年限には、休学の期間を算入しない。
（学位の授与）
第 34 条　卒業証書を授与された者には、次の区分に従って学士の学位を授与する。
保健医療学部
看護学科 学士（看護学）
リハビリテーション学科 学士（リハビリテーション学）
診療放射線学科 学士（診療放射線学）
臨床検査学科　学士(臨床検査学)
（資格の取得）
第 35 条　保健医療学部看護学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、保健師助産師看護師法に基づき、看護師国家試験の受験資格が与えられる。
２　保健医療学部リハビリテーション学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、理学療法士及び作業療法士法に基づき、理学療法士国家試験又は作業療法士国家試験の受験資格が与えられる。
３　保健医療学部診療放射線学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、診療放射線技師法に基づき、診療放射線技師国家試験の受験資格が与えられる。
４　保健医療学部臨床検査学科の所定の単位を修得し、卒業を認定された者には、臨床検査技師法に基づき、臨床検査技師国家試験の受験資格が与えられる。

第８章　入学検定料、入学金及び授業料等

（授業料等）
第 36 条　入学検定料、入学金及び授業料等の金額は、別表第４のとおりとする。
（授業料等の納付）
第 37 条　授業料等は、別に定める期日までに納付しなければならない。ただし、特別の事情があると認められる者は、学長の許可を得て延納することができる。
（納付金の取扱い）
第 38 条　納付した入学検定料及び入学金は返還しない。
２　入学検定料、入学金及び授業料等の取扱いに関する事項は、別に定める。

第９章　別　　科

（別科の名称）
第 39 条　本学に留学生別科を置く。
２　別科に関する事項については、別に定める。

第 10 章　賞　　罰

（表　彰）

第 40 条　学生として表彰に値する行為があった者は、学長が教授会に意見を求め表彰することがある。

（懲　戒）

第 41 条　本学の学則に違反し、又は学生の本分に反する行為をした者は、学長が教授会に意見を求め懲戒する。

２　前項の懲戒の種類は、戒告、停学及び退学とする。

３　前項の退学は、次の各号のいずれかに該当した学生に対して行う。

⑴　性行不良で改善の見込みがないと認められる者

⑵　学業を怠り成業の見込みがないと認められる者

⑶　正当な理由なくして出席が常でない者

⑷　本学の秩序を乱し、その他学生としての本分に反した者

第11章　教職員組織

（職員の種類）

第42条　本学に、学長、教授、准教授、講師、助教、助手及び事務職員その他必要な職員を置く。

（学　長）

第42条の2　学長は、校務をつかさどり、所属職員を統監する。

（学部長）

第43条　学部に学部長を置き、本学の教授をもって充てる。

２　学部長は、学部に関する事項を統括する。

（学科長）

第44条　学科に学科長を置き、本学の教授をもって充てる。

２　学科長は学部長を補佐し、学科に関する事項を総括する。

（事務局）

第45条　本学に事務局を置く。

２　事務局に関する事項については、別に定める。

第12章　教授会等

（教授会）

第46条　本学に教授会を置き、教授会に関する事項については、別に定める。

（委員会）

第47条　本学に、大学運営に必要な委員会を置くことができる。

２　委員会に関する事項については、別に定める。

第13章　附 属 施 設

（附属図書館）

第48条　本学に、附属図書館を置く。

２　附属図書館に関する事項については、別に定める。

（研究所）

第49条　本学に、認知症研究所を置く。

２　認知症研究所に関する事項については、別に定める。

（キャリア学修支援センター）

第 50 条　本学に、キャリア学修支援センターを置く。

2　キャリア学修支援センターに関する事項については、別に定める。

（改　廃）

第51条　この規則の改廃は、学長が教授会に意見を求め、理事会の議を経て、理事長が行う。

附　則

この学則は、平成 26 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

この学則は、平成 27 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

この学則は、平成 28 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

この学則は、平成 29 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

この学則は、平成 30 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

1　この学則は、平成 31 年 4 月 1 日から施行する。

2　平成 31 年 3 月末日に在学する学生については、従前のとおりとする。

3　第 8 条第 1 項に規定する保健医療学部看護学科及びリハビリテーション学科の「収容定員」は、同項の規定に関わらず、平成 31 年度から平成 33 年度までは、次表のとおりとする。

定員 / 学科 / 年度	入学定員	収容定員		
	平成 31 年度	平成 31 年度	平成 32 年度	平成 33 年度
看護学科	100 人	340 人	360 人	380 人
ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ学科	120 人	360 人	400 人	440 人

附　則

この学則は、令和 2 年 4 月 1 日から施行する。

附　則

この学則は、令和 3 年 4 月 1 日から施行する。

定員 / 学科 / 年度	入学定員	収容定員		
	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
看護学科	150人	500人	550人	600人
診療放射線学科	100人	300人	350人	400人

別表第１　入学定員及び収容定員

学部	学科	専攻	入学定員	収容定員
保健医療学部	看護学科		150人	600人
	リハビリテーション学科	理学療法学専攻	80人	320人
		作業療法学専攻	40人	160人
	診療放射線学科		100人	400人
	臨床検査学科		60人	240人

別表第２　日本医療大学保健医療学部　教育課程（第26条第2項関係）

看護学科

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
基礎教育科目	導入	看護を知る	1前	1		
	人間の理解	生命科学	1前	1		
		心理学	1前	1		
		発達心理学	1後		1	選択科目5単位から3単位以上選択
		倫理学	1前		1	
		生命倫理	1後		1	
		哲学	1後		1	
		論理学	1前	1		
		宗教と思想	2前		1	
	人間と社会	人間関係論	1前		1	選択科目8単位から6単位以上選択
		文化人類学	1後		1	
		社会学	1後		1	
		音楽	2後		1	
		法学	2前		1	
		教育学	2前		1	
		北海道史	1前		1	
		ボランティア活動	2前		1	
	生活と情報	生活科学	1後		2	選択科目7単位から5単位以上選択
		自然科学	1前		1	
		環境科学	1後		1	
		生活と運動	1前		1	
		健康とスポーツ	1後		1	
		統計学	1後		1	
		情報科学Ⅰ	1前	1		
		情報科学Ⅱ	1前	1		
	語学	日本語表現	1前	1		
		英語Ⅰ	1前	1		
		英語Ⅱ	1後	1		
		英語Ⅲ	2前		1	選択科目4単位から2単位以上選択
		英語Ⅳ	3前		1	
		中国語	2前		1	
		韓国語	2前		1	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
専門基礎教育科目	健康と疾病	総合医療論	1前	1		
		形態機能学Ⅰ（消化器・血液系）	1前	1		
		形態機能学Ⅱ（循環・代謝系）	1前	1		
		形態機能学Ⅲ（運動・神経系）	1前	1		
		形態機能学Ⅳ（人体解剖実習）	1後	1		
		臨床微生物学	1前	1		
		病態病理学	2前	1		
		臨床薬理学	3前	1		
		臨床栄養学	3前	1		
		治療法概論	2前	1		
		疾病論Ⅰ	2前	1		
		疾病論Ⅱ	2後	1		
		疾病論Ⅲ	2後	1		
		疾病論Ⅳ	2後	1		
		感染症概論	1後	1		
		リハビリテーション概論	3前	1		
	社会と健康支援	公衆衛生学	1後	1		
		保健医療統計	2前	1		
		健康教育論	3前	1		
		保健医療福祉行政論	2前	1		
		社会福祉論	1後	2		
		チーム医療	2後	1		
		関係法規	3前	1		
		家族論	2前		1	
		コミュニケーション論	1後		1	
		カウンセリング論	3前		1	
		臨床心理	2後		1	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
専門教育科目	看護の基本	看護学概論	1前	2		
		援助的人間関係論	1後	1		
		看護倫理	3前	1		
		看護の基本技術論	1前	1		
		生活援助技術Ⅰ	1前	1		
		生活援助技術Ⅱ	1後	1		
		生活援助技術Ⅲ	1後	1		
		診療過程の援助技術	2後	1		
		看護ヘルスアセスメント論	2前	1		
		看護課程論	2前	1		
		医療安全	3前	1		
		基礎看護学実習Ⅰ	2前	1		
		基礎看護学実習Ⅱ	2後	2		
	対象の特徴と看護実践	成人看護学概論	2前	2		
		成人看護援助論Ⅰ	2後	1		
		成人看護援助論Ⅱ	3前	1		
		成人看護援助論Ⅲ	3前	1		
		成人看護学特論	2後	1		
		成人看護学実習Ⅰ	3後	4		
		成人看護学実習Ⅱ	4前	2		
		老年看護学概論	2前	2		
		高齢者の健康障害	2後	1		
		老年看護援助論Ⅰ	2後	1		
		老年看護援助論Ⅱ	3前	1		
		老年看護学実習Ⅰ	3後	2		
		老年看護学実習Ⅱ	4前	2		
		小児看護学概論	3前	2		
		小児の健康障害	3前	1		
		小児看護援助論	3後	1		
		小児看護学実習	4前	2		
		母性看護学概論	2後	2		
		女性の健康障害	3前	1		
		母性看護援助論	3後	1		
		母性看護学実習	4前	2		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
専門教育科目	対象の特徴と看護実践	精神看護学概論	2後	2		
		精神の健康障害	2後	1		
		精神看護援助論	3前	1		
		精神看護学実習	3後	2		
	看護の統合実習	在宅看護学概論	2後	2		
		在宅看護援助論Ⅰ	3前	1		
		在宅看護援助論Ⅱ	3後	1		
		在宅看護学実習	4前	2		
		統合実習	4前	2		
		看護研究	3前	1		
		看護研究演習Ⅰ	3通	1		
		看護研究演習Ⅱ	4通	1		
		看護管理	3前	1		選択科目4単位から3単位以上選択
		感染管理	3前		1	
		看護教育	4後		1	
		災害看護	4後		1	
		医療情報	4後		1	
		現代の看護と課題	4後	1		
		臨床看護技術演習	4後	1		
		看護ゼミナールⅠ	2通	1		
		看護ゼミナールⅡ	4通	1		

リハビリテーション学科　理学療法学専攻

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
基礎教育科目	科学的思考の基礎	心理学	1前	1		選択科目10単位から7単位以上選択
		発達心理学	1後		1	
		生物学	1前		2	
		物理学	1前		2	
		生活科学	1後		1	
		環境科学	1前		1	
		生活と運動	1後	1		
		健康とスポーツ	1後		1	
		統計学	1後		1	
		情報科学	1前	1		
		情報科学演習	1前		1	
		人間発達学	2後	2		
	人間と生活	倫理学	1前	1		選択科目11単位から3単位以上選択
		生命倫理	1後	1		
		哲学	1後		1	
		論理学	1前		1	
		宗教と思想	2前		1	
		人間関係論	1後		1	
		文化人類学	1後		1	
		社会学	1後		1	
		音楽	2後		1	
		法学	1前		1	
		教育学	1前		1	
		北海道史	1前		1	
		ボランティア活動	2後		1	
	語学	日本語表現	1前	1		選択科目4単位から2単位以上選択
		英語Ⅰ	1前	1		
		英語Ⅱ	1後	1		
		英語Ⅲ	2前		1	
		英語Ⅳ	3前		1	
		中国語	1後		1	
		韓国語	2前		1	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
専門基礎教育科目	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	1前	2		
		解剖学Ⅱ	1後	2		
		解剖学演習	1前	2		
		体表解剖学	1前	1		
		生理学Ⅰ	1前	2		
		生理学Ⅱ	1後	2		
		生理学演習	2前	1		
		運動学Ⅰ	1後	2		
		運動学Ⅱ	2前	2		
		運動学演習	2後	1		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	1後	2		必修を含む17単位以上
		栄養学	1前	1		
		臨床心理学	2前		1	
		カウンセリング論	2後		1	
		教育心理学	2前		1	
		内科学	2後	2		
		整形外科学	2前	2		
		神経内科学	2前	2		
		精神医学	2後	2		
		小児科学	2後	1		
		障害学特論	2後	1		
		応急処置法	3前	1		
		薬理学	1後	1		
		予防医学	1後	1		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション論	1前	2		必修を含む5単位以上
		チーム医療論	3前	1		
		保健医療論	2後		1	
		社会福祉学	1後		1	
		健康政策論	4後	1		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
専門教育科目	基礎理学療法学	理学療法概論	1前	1		
		理学療法概論演習	1後	1		
		理学療法学セミナーⅠ	1後	1		
		理学療法学セミナーⅡ	2後	1		
		理学療法学セミナーⅢ	3前	1		
		理学療法総合演習	4後	1		
	理学療法評価学	理学療法評価学（運動器系）	2前	1		7単位以上
		理学療法評価学演習（運動器系）	2前	2		
		理学療法評価学（神経系）	2後	1		
		理学療法評価学演習（神経系）	2後	2		
		臨床判断学（基礎編）	2後	1		
		臨床判断学（応用編）	3後		1	
	理学療法治療学	運動療法学	2前	1		必修16単位と○を含む共通・連携科目の選択科目の中から3単位以上
		運動療法学演習	2後	1		
		運動器障害理学療法学	3前	1		
		運動器障害理学療法学演習	3前	1		
		神経障害理学療法学	3前	1		
		神経障害理学療法学演習	3前	1		
		呼吸・循環器障害理学療法学	3後	1		
		代謝・免疫系障害理学療法学	3前	1		
		発達障害理学療法学	3後	1		
		高齢期障害理学療法学	3後	1		
		物理療法学	3前	1		
		物理療法学演習	3前	1		
		義肢装具学	3前	1		
		義肢装具学演習	3後	1		
		日常生活活動基礎学	3前	1		
		神経筋促通治療学	3後	1		
		高次脳機能障害学	3後		○1	
		徒手関節治療学	3後		○1	
		スポーツ理学療法学	3後		○1	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
専門教育科目	地域理学療法学	地域理学療法学	3前	1		
		生活環境学	3後	1		
	理学療法臨床実習	臨床実習Ⅰ（理学療法）	2後	2		
		臨床実習Ⅱ（理学療法）	3後	4		
		臨床実習Ⅲ（理学療法）	4前	7		
		臨床実習Ⅳ（理学療法）	4前	7		
	共通・連携科目	リハビリテーション管理学	4後	2		9単位以上
		呼吸リハビリテーション特論	3後	1		
		軟部組織治療学	3後		1	
		ウィメンズヘルスケア論	3前		1	
		災害リハビリテーション	3前		1	
		地域リハビリテーション学	2前	1		
		地域リハビリテーション学演習	2後	1		
		研究法	3前	1		
		卒業研究Ⅰ	3通	2		
		卒業研究Ⅱ	4前	1		

リハビリテーション学科　作業療法学専攻

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
基礎教育科目	科学的思考の基礎	心理学	1前	1		選択科目10単位から7単位以上選択
		発達心理学	1後		1	
		生物学	1前		2	
		物理学	1前		2	
		生活科学	1後		1	
		環境科学	1前		1	
		生活と運動	1後	1		
		健康とスポーツ	1後		1	
		統計学	1後		1	
		情報科学	1前	1		
		情報科学演習	1前		1	
		人間発達学	2後	2		
	人間と生活	倫理学	1前	1		選択科目11単位から3単位以上選択
		生命倫理	1後	1		
		哲学	1後		1	
		論理学	1前		1	
		宗教と思想	2前		1	
		人間関係論	1後		1	
		文化人類学	1後		1	
		社会学	1後		1	
		音楽	2後		1	
		法学	1前		1	
		教育学	1前		1	
		北海道史	1前		1	
		ボランティア活動	2後		1	
	語学	日本語表現	1前	1		選択科目4単位から2単位以上選択
		英語Ⅰ	1前	1		
		英語Ⅱ	1後	1		
		英語Ⅲ	2前		1	
		英語Ⅳ	3前		1	
		中国語	1後		1	
		韓国語	2前		1	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
専門基礎教育科目	人体の構造と機能及び心身の発達	解剖学Ⅰ	1前	2		
		解剖学Ⅱ	1後	2		
		解剖学演習	1前	2		
		体表解剖学	1前	1		
		生理学Ⅰ	1前	2		
		生理学Ⅱ	1後	2		
		生理学演習	2前	1		
		運動学Ⅰ	1後	2		
		運動学Ⅱ	2前	2		
		運動学演習	2後	1		
	疾病と障害の成り立ち及び回復過程の促進	病理学	1後	2		必修を含む17単位以上
		栄養学	1前	1		
		臨床心理学	2前		1	
		カウンセリング論	2後		1	
		教育心理学	2前		1	
		内科学	2後	2		
		整形外科学	2前	2		
		神経内科学	2前	2		
		精神医学	2後	2		
		小児科学	2後	1		
		障害学特論	2後	1		
		応急処置法	3前	1		
		薬理学	1後	1		
		予防医学	1後	1		
	保健医療福祉とリハビリテーションの理念	リハビリテーション論	1前	2		必修を含む5単位以上
		チーム医療論	3前	1		
		保健医療論	2後		1	
		社会福祉学	1後		1	
		健康政策論	4後	1		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
専門教育科目	基礎作業療法学	作業療法概論	1前	1		
		基礎作業学演習	1後	1		
		作業療法学セミナーⅠ	1後	1		
		作業療法学セミナーⅡ	2後	1		
		作業療法学セミナーⅢ	3後	1		
		作業療法総合演習	4後	1		
	作業療法評価学	作業療法評価学	2前	1		
		作業療法評価学演習（基礎評価）	2前	1		
		作業療法評価学演習（骨・関節系）	2前	1		
		作業療法評価学演習（神経・筋力系）	2後	1		
		作業療法評価学演習（中枢神経系）	2後	1		
	作業療法治療学	身体障害作業治療学（中枢神経障害系）	3通	2		必修17単位と、○を含む共通・連携科目の選択科目の中から2単位以上
		身体障害作業治療学（運動器・内部障害系）	3通	2		
		精神障害作業治療学	3通	2		
		発達障害作業治療学	3通	2		
		高齢期障害作業治療学	3通	2		
		高次脳機能障害作業治療学	3前	1		
		義肢装具作業療法学	3後	1		
		義肢装具作業療法学演習	3後	1		
		日常生活適応学（ADL）	3前	2		
		日常生活適応学（動作分析）	3後	1		
		就労支援作業療法	3後	1		
		作業療法治療学特論（評価と治療の原理・原則）	3前		○1	
		作業療法治療学特論（治療理論）	3後		○1	
		作業療法治療学特論(シーティング)	3後		○1	
		作業療法治療学特論(ハンドセラピィ)	3前		○1	
	地域作業療法学	地域作業療法学	3前	1		
		福祉住環境論	3後	1		
	作業療法臨床実習	臨床実習Ⅰ（作業療法）	2後	2		
		臨床実習Ⅱ（作業療法）	3後	4		
		臨床実習Ⅲ（作業療法）	4前	8		
		臨床実習Ⅳ（作業療法）	4前	8		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
専門教育科目	共通・連携科目	リハビリテーション管理学	4後	2		9単位以上
		呼吸リハビリテーション特論	3後	1		
		軟部組織治療学	3後		1	
		ウィメンズヘルスケア論	3前		1	
		災害リハビリテーション	3前		1	
		地域リハビリテーション学	2前	1		
		地域リハビリテーション学演習	2後	1		
		研究法	3前	1		
		卒業研究Ⅰ	3通	2		
		卒業研究Ⅱ	4前	1		

診療放射線学科

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
基礎教育科目	人間と生活	生命科学	1前	1		選択科目１０単位から５単位以上選択
		心理学	1前	1		
		倫理学	1前		1	
		生命倫理	1後		1	
		宗教と思想	1前		1	
		人間関係論	1前		1	
		文化人類学	1後		1	
		社会学	1前		1	
		法学	1後		1	
		教育学	1前		1	
		北海道史	1前		1	
		ボランティア活動	1後		1	
	科学的思考の基礎	物理学	1前	2		選択科目６単位から３単位以上選択
		化学	1後		1	
		生物学	1前		1	
		生活と運動	1前		1	
		健康とスポーツ	2前		1	
		数学Ⅰ(指数・対数・三角関数)	1前	2		
		数学Ⅱ(微分・積分・微分方程式)	1後		1	
		数学Ⅲ（統計学)	1後		1	
		情報科学	1前	1		
		情報科学演習	1後	1		
	語学	日本語表現	1前		1	選択科目３単位から２単位以上選択
		英語Ⅰ	1前	1		
		英語Ⅱ	1後	1		
		英語Ⅲ	2前		1	
		中国語	2前		1	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
専門基礎教育科目	人体の構造と機能及び疾病の成り立ち	医学概論	1前	1		選択科目4単位から2単位以上選択
		系統解剖学	2前	2		
		臨床解剖学	2後	2		
		臨床解剖学演習	3前		1	
		生理学	2後		1	
		病態生理学	3前	1		
		病理学	2後	1		
		生化学	2前	1		
		薬理学	2前		1	
		臨床薬理学	2後	1		
		衛生学	1後	1		
		公衆衛生学	1後	1		
		臨床医学概論	2後	2		
		臨床医学演習	3前		1	
	保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術	放射線科学概論	1前	1		選択科目7単位から4単位以上選択
		診療放射線学概論	1後	1		
		放射線生物学	2前	2		
		放射線生物学演習	2後		1	
		放射線物理学	1後	2		
		放射線物理学演習	2前		1	
		放射線物理学実験	2前	1		
		放射化学	2前	2		
		放射化学演習	2後		1	
		電気・電子工学	2前		2	
		医用工学	2後	2		
		医用工学実験	2前		1	
		放射線計測学	3前	2		
		放射線計測学演習	4前		1	
	医療専門職の機能と役割	基礎看護学	2前	1		選択科目2単位から1単位以上選択
		医療コミュニケーション学	1後	1		
		チーム医療論	2後	1		
		医療経済学	2前		1	
		臨床心理学	2後		1	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備　考
				必修	選択	
専門教育科目	診療画像技術学	診療画像技術学概論	2 前	1		※1
		診療画像技術学Ⅰ（一般撮影）	2 後	2		
		診療画像技術学Ⅱ（造影検査）	3 前	2		
		Ｘ線 CT 検査学	3 前	2		
		ＭＲＩ検査学	3 後	2		
		超音波検査学	3 後	2		
		診療画像技術学実験Ⅰ（X 線検査）	2 後	1		
		診療画像技術学実験Ⅱ（CT、超音波、眼底）	3 前	1		
		診療画像機器学	2 後	2		
		診療画像機器学演習	3 前		1	
		診療画像機器学実験	3 後	1		
	画像診断学	画像解剖学Ⅰ（X 線画像）	2 後	2		
		画像解剖学Ⅱ（MRI・超音波・造影画像）	3 前	2		
		画像解剖学Ⅲ（演習）	3 後		1	
		画像診断学Ⅰ（頭部・頸部・脊髄）	3 後	2		
		画像診断学Ⅱ（胸部・心大血管・消化器他）	4 前	2		
		画像診断学Ⅲ（演習）	4 後		1	
	核医学検査技術学	核医学検査技術学概論	3 前	2		
		核医学検査技術学	3 後	2		
		核医学検査機器学	3 後	2		
		核医学検査技術学演習	4 後		1	
	放射線治療技術学	放射線治療技術学概論	3 前	2		
		放射線治療技術学	3 後	2		
		放射線治療計測学	4 前	1		
		放射線治療機器学	3 後	1		
		放射線治療技術学演習	4 後		1	
	医用画像情報学	医療画像処理学	2 後	1		
		医療画像工学	3 前	2		
		医療画像情報学	3 後	2		
		医療画像情報学演習	4 後		1	
		医療情報管理学	4 前	1		
	放射線安全管理学	放射線安全管理学	3 後	2		
		医療機器安全管理学	4 前	1		
		関係法規	4 前	1		
		放射線カウンセリング学	4 前		1	

専門教育科目	医療安全管理学	医療職としての責任と役割	4前	1		
		医療安全管理学	4後	1		
		応急処置法（演習）	4前	1		
	臨床実習	臨床実習Ⅰ	3後	4		
		臨床実習Ⅱ	4後	6		
	総合科目	放射線技術学特別講義	4前		1	※1
		総合演習Ⅰ（専門基礎領域）	4後		1	
		総合演習Ⅱ（臨床領域）	4後		1	
	卒業研究	卒業研究	4通	4		

※1　診療画像技術学、画像診断学、核医学検査技術学、放射線治療技術学、医用画像情報学、放射線安全管理学、総合科目の全ての選択科目の中から7単位以上を修得

臨床検査学科

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
基礎教育科目	人間と生活	生命科学	1後	1		選択科目10単位から6単位以上選択
		心理学	1前	1		
		コミュニケーション学	1前	1		
		倫理学	1前		1	
		生命倫理	1後		1	
		医療と哲学	1後		1	
		人間関係の科学	1前		1	
		文化人類学	1後		1	
		医療と社会	1後		1	
		法学	1前		1	
		教育学	1前		1	
		北海道史	1前		1	
		ボランティア論	2前		1	
	科学的思考の基礎	物理学	1前		1	選択科目3単位から2単位以上選択
		化学	1前	1		
		生物学	1後	1		
		生活と運動	1前		1	
		健康とスポーツ	1前		1	
		数学	1前	1		
		数学（統計学）	1後	1		
	語学	日本語表現	1前		1	選択科目3単位から2単位以上選択
		英語Ⅰ	1前	1		
		英語Ⅱ	1後	1		
		英語Ⅲ	2後	1		
		中国語	1後		1	
		韓国語	2前		1	

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
専門基礎教育科目	人体の構造と機能	解剖学	1前	1		
		解剖学演習	1後	1		
		組織細胞学	1前	1		
		組織細胞学実習	1後	1		
		生理学Ⅰ	1前	1		
		生理学Ⅱ	1後	1		
		生化学Ⅰ	1前	1		
		生化学Ⅱ	1後	1		
	医学検査の基礎とその疾病との関連	病理学	1後	1		
		免疫学	1前	1		
		臨床栄養概論	1前	1		
		臨床薬理概論	2後	1		
		臨床病棟検査概論	3後	1		
		臨床検査入門	1前	1		
	保健医療福祉と医学検査	保健医療福祉概論	1前	1		
		公衆衛生学	2前	1		
		救命救急検査概論	3後	1		
		地域医療連携学	3前	1		
		チーム医療と臨床検査	3後	1		
	医療工学及び情報科学	情報科学	1前	1		
		情報科学演習	1前	1		
		医用工学	1前	1		
		医用工学実習	1後	1		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
専門教育科目	臨床病態学	臨床検査医学総論Ⅰ	1後	1		
		臨床検査医学総論Ⅱ	2前	1		
		症例細胞診検査学	3後	1		
		症例血液・染色体検査学	3後	1		
		症例微生物・感染制御学	3後	1		
		症例臨床化学・免疫検査学	3後	1		
		症例輸血検査学	3後	1		
		症例超音波検査学	3後	1		
		臨床検査総論演習	4後	4		
	形態検査学	病理検査学	2前	1		
		細胞検査学	3前	1		
		病理検査学実習	2前	1		
		細胞検査学実習	3前	1		
		臨床血液学Ⅰ	2前	1		
		臨床血液学Ⅱ	2後	1		
		臨床血液学実習Ⅰ	2後	1		
		臨床血液学実習Ⅱ	3前	1		
		病理検査学総合演習	3後	1		
		血液検査学総合演習	4前	1		
	生物化学分析検査学	一般検査学Ⅰ	1後	1		
		一般検査学Ⅱ	2前	1		
		一般検査学実習	2前	1		
		臨床化学Ⅰ	1後	1		
		臨床化学Ⅱ	2前	2		
		臨床化学実習Ⅰ	2前	1		
		臨床化学実習Ⅱ	2後	1		
		遺伝子・染色体検査学	3前	1		
		遺伝子検査学実習	3後	1		
		一般検査学総合演習	3後	1		
		分析検査学総合演習	3後	1		

科目区分		授業科目の名称	配当年次	単位数		備考
				必修	選択	
専門教育科目	病因・生体防御検査学	医動物学	2後	1		
		微生物学	2前	1		
		臨床微生物学Ⅰ	2後	1		
		臨床微生物学Ⅱ	3前	1		
		臨床微生物学実習Ⅰ	2後	1		
		臨床微生物学実習Ⅱ	3前	2		
		臨床免疫学Ⅰ	2前	1		
		臨床免疫学Ⅱ	2後	1		
		臨床免疫学実習Ⅰ	2後	1		
		臨床免疫学実習Ⅱ	3前	1		
		輸血・移植検査学	3前	1		
		輸血検査学実習	3後	1		
		微生物検査学総合演習	4前	1		
		免疫検査学総合演習	4前	1		
	生理機能検査学	臨床生理学Ⅰ	2前	1		
		臨床生理学Ⅱ	2前	1		
		臨床生理学Ⅲ	2後	1		
		臨床生理学Ⅳ	3前	1		
		認知症検査概論	3後	1		
		臨床生理学実習Ⅰ	2後	2		
		臨床生理学実習Ⅱ	3前	2		
		生理機能検査学総合演習	4前	1		
	検査総合管理学	検査機器総論演習Ⅰ	1後	1		
		検査機器総論演習Ⅱ	1後	1		
		専門検査技師総論	3後	1		
		臨床検査管理学Ⅰ	3後	1		
		臨床検査管理学Ⅱ	3後	1		
		臨床検査マネジメント論	3後	1		
		関係法規	3前	1		
		臨床検査総合実習	4前	1		
	医療安全管理学	感染管理学	2前	1		
		医療安全管理学	2前	1		
		医療安全管理学実習	2前	1		
	臨地実習	臨地実習	4後	7		
	卒業研究	卒業研究	4通	4		

別表第３　卒業要件

看護学科

必 修 科 目	103単位
選 択 科 目	21単位以上
合　　計	124単位以上

リハビリテーション学科　理学療法学専攻

必 修 科 目	107単位
選 択 科 目	17単位以上
合　　計	124単位以上

リハビリテーション学科　作業療法学専攻

必 修 科 目	108単位
選 択 科 目	16単位以上
合　　計	124単位以上

診療放射線学科

必 修 科 目	102単位
選 択 科 目	24単位以上
合　　計	126単位以上

臨床検査学科

必 修 科 目	114単位
選 択 科 目	10単位以上
合　　計	124単位以上

別表第４　日本医療大学　入学検定料、入学金及び授業料等(第 36 条関係)

看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科及び臨床検査学科

納付区分＼費用	入学検定料	入　学　金	授　業　料	施　設　費	合　　計
出　願　時	30,000	－	－	－	30,000
入学手続時	－	300,000	－	－	300,000
前　　期	－	－	750,000	50,000	800,000
後　　期	－	－	750,000	50,000	800,000
年　　額	－	－	1,500,000	100,000	1,600,000

日本医療大学教授会規程

平成26年４月１日制定

（目　的）

第１条　この規程は、日本医療大学学則第44条の規定に基づき、保健医療学部教授会（以下「教授会」という。）の組織運営等に関し必要な事項を定めることを目的とする。

（構成員）

第２条　教授会は、学長、専任の教授及び准教授をもって組織する。ただし、学長が必要と認めた場合は、その他専任教員を加えることができる。

（意見を求める事項）

第３条　教授会は、学長が次に掲げる事項について決定を行うに当たり意見を述べるものとする。

⑴　学生の入学、卒業及び課程の修了

⑵　学位の授与

⑶　前2号に掲げるもののほか、教育研究に関する重要な事項で、教授会の意見を聞くことが必要なものとして学長が定めるもの。

２　教授会は、前項に規定するもののほか、学長及び学部長がつかさどる教育研究に関する事項について審議し、学長及び学部長の求めに応じ、意見を述べることができる。

（議　長）

第４条　教授会の議長は学長とする。学長に事故あるときは学長があらかじめ指名した教授がこれにあたる。

２　議長は、教授会を主宰する。

（招　集）

第５条　教授会は、原則月１回開催し、議長が招集する。

２　議長は、原則として教授会開催の5日前までに開催の日時、場所及び付議事項を各構成員に書面により通知しなければならない。

３　緊急を要する場合は、議長が相当と認める方法によって招集することができる。

（成立要件）

第６条　教授会は、構成員の過半数をもって成立する。ただし、教授会開催日の不在者のうち次の者は教授会構成員数から除くものとする。

⑴　休職者

⑵　留学研修中の者

（回　議）

第７条　議長は、第3条に掲げる意見を求める事項のうち、簡易かつ教授会を招集する時間がない場合は、書類を持ち回ることにより議決を求めることができる。

（議案の提出）

第８条　教授会への議案の提出は、議長が行う。

（議決数）

第９条　議決を要する事項については、出席構成員の過半数以上の賛成をもって決定する。

（発　言）

第10条　発言は、すべて、議長の許可を得てしなければならない。

（採決の方法）

第11条　議案について採決をする場合には、口頭、挙手又は無記名投票の方法により、議長がこれを定める。

２　口頭による採決は、付議事項について異議の有無を問う方法によることができる。

（書　記）

第12条　書記は、第21条に規定する大学事務局が行う。

（議事録の作成）

第13条　教授会の議事については、議事録を作成しなければならない。

２　議長は、議事録の作成を書記に補佐させるものとする。

３　書記は、議事の経過を明確に記録するために、議長の許可を得て発言し、必要な確認をすることができる。

４　出席構成員から議事録について異議のあった場合は、その申出に基づいて、次の教授会に諮って、議長がこれを確認しなければならない。

（議事録）

第14条　議事録には、次に掲げる事項を記載しなければならない。

⑴　教授会の開催日時及び場所

⑵　開会及び閉会に関する事項

⑶　構成員現在数

⑷　出席及び欠席構成員の氏名

⑸　議案の件名

⑹　議事の経過概要

⑺　議決事項

⑻　その他議長が必要と認めた事項

２　議事録は、常にこれを事務局長が保管するものとする。

（議事録署名人）

第15条　議事録には、議長及び議長の指名する議事録署名人がこれに署名及び押印しなければならない。

（関係者の出席）

第16条　議長は、必要があると認めるときは、関係者を教授会又は第20条に規定する委員会等に出席を求めることができる。

（議事録の閲覧等）

第17条　教授会の構成員は、教授会議事録を閲覧することができる。

２　議事録閲覧は、学長に申出て議事録の管理責任者立会いのもと、指定された方法により行うものとする。

３　議事録閲覧は、校務遂行上の必要がある場合に限られ、その他の目的に利用することはできない。

（欠席等の届出）

第18条　教授会構成員がやむを得ない事由によって欠席、遅刻又は早退するときは、原則として事前にその事由を付した書面をもって議長に届け出るものとする。

（周知の措置）

第19条　事務局長は、教授会の議決事項のうち、構成員以外の者に関係ある事項については、周知の処置を行わなければならない。

（教授会内委員会等の設置）

第20条　教授会は、専門的事項について調査及び検討するため、教授会内に委員会等を置くことができる。

（事務の所管）

第21条　教授会の事務は、大学事務局において所管する。

（補　則）

第22条　この規程に定めるもののほか、教授会の運営について必要な事項は、別に定める。

（改　廃）

第23条　この規程の改廃は、学長が教授会に意見を求め、理事会の議を経て、理事長が行う。

附　則

この規程は、平成26年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成27年４月１日から施行する。

附　則

この規程は、平成30年6月１日から施行する。

日本医療大学教授会の審議事項について

（学長裁定　平成 27 年 4 月 1 日）

1　趣　　旨

日本医療大学教授会規程第 3 条第 1 項第 3 号の規定により、学長が定めるものは、次のとおりとする。

⑴　教育課程の編成

⑵　教員の教育研究業績等の審査

⑶　学生に対する懲戒処分

⑷　学部長候補者の推薦

2　この学長裁定は、平成 27 年 4 月 1 日から適用する。

学則変更の趣旨等を記載した書類

目　　次

Ⅰ　学則変更（収容定員変更）の趣旨等を記載した書類　1

1　学則変更（収容定員変更）の内容　1

2　学則変更（収容定員変更）の必要性　1

⑴　社会からの人材需要の増加　1

①　高齢化についての課題　2

②　医療および在宅保健医療に関する課題　3

⑵　看護学科の収容定員変更の必要性　4

①　看護学科の定員変更の必要性　4

②　北海道における看護学科収容定員増加後の学生確保の見通し　5

③　本学看護学科収容定員増加後の学生確保の見通し　5

④　本学看護学科収容定員増加後の教育の質の保持・向上　6

⑶　診療放射線学科の収容定員変更の必要性　7

Ⅱ　学則変更（収容定員増）に伴う教育課程等の変更内容　8

1　教育課程の変更について　8

⑴　建学の精神・基本理念　8

⑵　看護学科の教育課程の変更について　9

⑶　診療放射線学科の教育課程の変更について　11

2　教育方法および履修指導方法の変更内容　14

⑴　看護学科の教育方法および履修指導方法の変更内容　14

⑵　診療放射線学科の教育方法および履修指導方法の変更内容　16

⑶　自己点検評価　19

Ⅰ　学則変更(収容定員変更)の趣旨等を記載した書類

1　学則変更（収容定員変更）の内容

令和 2 年 4 月に日本医療大学保健医療学部の看護学科の入学定員を 100 人から 150 人に、収容定員を 400 人から 600 人に変更し、診療放射線学科も入学定員を 50 人から 100 人に、収容定員を 200 人から 400 人に変更する。

	変　更　後		現　行	
	入学定員	収容定員	入学定員	収容定員
看　護　学　科	150 人	600 人	100 人	400 人
診療放射線学科	100 人	400 人	50 人	200 人

2　学則変更（収容定員変更）の必要性

(1)　社会からの人材需要の増加

保健医療福祉制度の維持・発展は、国民の健康的・文化的な生活を保証する基本的人権の保障にかかわる重要事項であり、国の施策においても積極的な対応が喫緊の課題となっている。急激な少子高齢化、家族構成の変化、また医療の高度化などを社会背景として、高度先進医療の充実、救急医療、COVID-19をはじめとする様々な感染症などの急性期医療、慢性疾患の増加、合併症を有する患者の増加、手術・外傷後等の障害を持ち続けながら生活をする患者の増加、リハビリテーションが必要な患者の増加、在宅で医療を受ける患者の増加など、社会や保健医療を取り巻く環境が大きな変革期を迎えている。

国は、社会保障制度を維持していくため、特に団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、「地域における医療および介護の総合的な確保を推進するための関係法律の整備等に関する法律」(平成元年度法律第64号)いわゆる「医療介護総合確保推進法」を定めた。疾病の超急性期から在宅医療まで、患者の状況に応じた適切な医療を、地域で効果的かつ効率的に提供するシステムを整備し、患者が可能な限り早期に社会に復帰して、住み慣れた地域で継続して生活が送れるよう、地域における質の高い医療を確保し、基盤整理を行うことを目標としている。この「医療介護総合確保推進法」の実現のため「地域包括ケアシステムの整備」が求められている。そのため、医師、歯科医師、看護師、診療放射線技師、介護支援専門員、その他の医療専門職（保健師、助産師、臨床検査技師、理学療法士、作業療法士等）の積極的な関与のもと、患者・利用者の視点に立ってサービス提供体制を構築し、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを、人生の最期まで

続けることができるよう、住まい・医療・介護・予防・生活支援が一体的に提供される「地域包括ケアシステム」を実現するとしている。このような社会的な地域保健医療施策の整備が早急に求められている。

我が国の人口構成は他国に類を見ないスピードで少子高齢化が進んでおり、令和7年には、いわゆる「団塊の世代」がすべて75歳以上となり、より高齢の者が増える超高齢社会が進行していく。昭和50年代には平均寿命が男女とも60歳代の社会において、主に青壮年期の患者を対象とした「病院完結型」医療が行われていた。これが近年、男性でも平均寿命が80歳を超え、慢性疾患で複数の疾病を持つ老齢期の患者が中心の社会となった。すなわち、現在は病気と共存しながらQOL(Quality of Life)の維持・向上を目指す時代であり、今後、令和7年に向けてこの傾向は一層エスカレートすることが予想される。このことから医療は、嘗ての「病院完結型」から、医療機関がそれぞれの得意分野を活かし、患者の住み慣れた地域や自宅を中心とした地域全体で治し支える「地域完結型」の医療へと変化し、医療と介護が切れ目なくつながる時代に入ったといえる。

すべての国民が豊かな老後を迎えるためには、国民一人ひとりが心身共に健康で、日々充実した生活を送ることができるような社会整備が必要であり、社会福祉政策、保健医療福祉システムの整備、充実を図るとともに、国民の健康と生活を支える保健医療専門職の人材育成と資質の向上が求められている。

北海道においても少子高齢化が加速しており、少子化に伴うケア力の不足は深刻な課題である。北海道は広大な面積を背景にした様々な課題があり、それを克服するためには将来の社会を担う若者を保健医療専門職へ取り込むことは急務である。本学が位置している北海道は全国に比べ以下のような課題があるため、社会から人材を確保するための需要が増加している。

① 高齢化についての課題

北海道の高齢化は、総人口における65歳以上の割合が７%を超えたのは1976年、同じく14%を超えたのは1994年と、18年足らずで高齢社会に突入しており、全国的に見ても早いスピードで進展している。全国地方別における北海道の65歳以上の人口比率は、1955年では5%以下で最下位であったのが、1995年からで全国平均を上回り、2017年は29.7%と全国20位であり、2025年の予測では30%を超え、四国地方に次いで高齢者比率の高い地域になると予測されている。世界的にみると、我が国の高齢化は、主要先進国の中でも早いスピードで進展しており、

しかも、北海道はそれを上回る速さで高齢化に突入すると予想されており、地域保健医療福祉体制の整備が早急に求められている。

②　医療および在宅保健医療に関する課題

北海道では、24時間体制で在宅医療を実施する「在宅療養支援病院」数は、人口10万対数は0.90であり全国平均をやや上回っている（資料1）ものの、「在宅療養支援診療所」数は人口10万対数6.3であり、全国平均11.1を大きく下回っている（資料2）。なお、人口対数のみで全国と北海道とを単純比較すると実態が見えづらいが、国土面積の２２％を占める北海道は、非常に広大で人口希薄地域を多く抱え、利用者側からみると近隣にこれらの支援が受けられる施設が少なくて遠隔にあることを意味し、地域の隅々までこれら支援が行き届いていえるとは言い難い。

また、在宅医療への国民のニーズは、60%以上の国民が「自宅で療養したい」と希望する（資料3）一方で、在宅療養移行や継続の阻害要因として「介護してくれる家族に負担がかかる」と80%が回答している（資料4）。在宅医療への国民のニーズに応えるためには在宅医療の充実が求められている。また、在宅療養を実現できた理由を調査すると、「必要な在宅医療・介護サービスを確保できた」が40%をしめ、在宅医療の整備が在宅療養実現の必須要件といえる（資料5）。

北海道における医療分野の訪問看護事業所数の人口10万対数は7.3で全国平均の6.9を上回るものの（資料6）、高齢者人口千人当たりの訪問看護利用実人数は12人と全国平均14人を下回り、最多の長野県に比べて約2倍の差がある（資料7）。前述同様、広域で地域偏在が大きい北海道の訪問看護事業所数は、利用者にとってみると深刻な状況と言える。さらに、高齢者の訪問看護利用者数が多い都道府県では、在宅で死亡する者の割合が高い傾向があることが調査で明らかになっているが、北海道の自宅死亡率は平成22年度では8.8%と全国平均12.6%に比べ低く、福岡に次ぐ低さであり、訪問看護利用者、自宅死亡率ともに低い結果である（資料8）。

さらに、北海道の人口10万人当たり医療施設従事医師数は、平成12年の調査で初めて全国平均を上回ったが、平成22年から再び全国平均を下回っており、札幌圏に全道の医師の約半数が集中しており、地域偏在が著しい（資料9）。過疎化が進展する地域では、地域の個人医師や診療所、もしくは地域で働く看護師や診療放射線技師等の保健医療スタッフが地域の保健医療を支えている。厚生労働省に

よると、今後は、各医療従事者が高い専門性を発揮しつつ、業務を分担しながら互いに連携することによって、患者の状態に合わせた適切な医療を提供するチーム医療を推進していくとしており、特定行為を行う看護師の研修制度の創設などが行われ、医師以外のメディカルスタッフの役割が拡大し、医療連携の必要性が高まることになると予想される。

以上を踏まえ、北海道が抱える地域保健医療の課題に積極的に取り組むことのできる保健医療福祉の現場を担う人材としての看護師並びに診療放射線技師を今後さらに育成する必要性がある。

⑵ 看護学科の収容定員変更の必要性

① 看護学科の定員変更の必要性

令和元年10月に示された厚生労働省の「医療従事者の受給に関する検討会　看護職員需給分科会　中間取りまとめ」では、看護職需給見通しとして「北海道では、2025年の供給推計9万3千人～9万6千人、需要推計10万3千人～11万人と見込まれ、7千人～1万4千人不足する」と予測（資料10）されており、平成27年度から看護師免許保持者の届出制度を発足させ、潜在看護師等の復職を促す試み等がなされている。現在でも不足している看護職であるが、2025年問題に対応するためには、全国で必要とされる約200万人の看護職を確保することが必要とされている。

また、前述のとおり本学が位置している北海道には、社会的な地域保健医療体制の整備に向け、早急に解決すべき看護職の供給不足という課題がある。さらに、看護職養成大学では医療技術の急激な発展による医療の高度化、医療安全の確保やチーム医療の推進、また、地域包括ケアシステムの構築や強化に求められる多様化・複雑化する医療・介護ニーズへの対応など、昨今の社会や保健医療を取り巻く環境の大きな変革期にも的確に対応することができる質の高い看護職を養成することが求められている。このような社会的背景から、日本看護協会は令和2年3月に「質の高い看護系人材の養成推進」をすすめるべく、社会からの期待に応えるため、さらなる専門性が発揮できるよう看護師の養成に尽力されたい、と文部科学省に要望しているところである（資料11）。

従って、本学看護学科における入学定員増加に係る申請は、北海道、ひいては日本社会が要請する質の高い看護職としての人材を確保することにつながると考える。

②　北海道における看護学科収容定員増加後の学生確保の見通し

北海道内私立看護学科の志願者数は、平成 27 年度・28 年度は 4 千人を超えていたものの、平成 29 年度から令和元年度の 3 年間は、増減を繰り返して 3 千 7 百人前後で推移している（資料 12）。定員充足率についても全体では約 110%で定員を超えた入学者数を確保しており（資料 13）、本学の直近でも令和元年度が 113.8%、令和 2 年度が 114.0%となっている。また、北海道内の専門学校看護学科は、現在 1,477 人となっており、定員充足率は全体で 90.2%となっている（資料 14）。すなわち、看護師の志願者は専門学校から大学へと移行しつつあり、北海道内私大看護学科における志願者は募集定数を大きく上回って定員充足率は約 110%となっていることから、大学で養成できる定員枠はまだまだ不足している現状といえる。前述のとおり、看護基礎教育課程には、社会や保健医療を取り巻く環境の大きな変革期にも的確に対応することができる質の高い看護職を養成することが求められている。このような社会的背景から、大学における質の高い看護基礎教育を推進するためにも、大学の定員枠増は時代の要請ともいえる。

従って、北海道における看護学部・学科の入学定員拡充の学生確保の見通しは十分根拠のあるところである。

③　本学看護学科収容定員増加後の学生確保の見通し

本学は、福祉介護のサービスにおいて先駆的な取り組みを続けている「つしま医療福祉グループ」を母体に、2014 年に開学した。ノーマライゼーションの理念を実践するために大学を含めた広大な敷地には、高齢者施設や障がい者就労支援事業所などがコミュニティを形成している。本学の学生は、入学後早期に高齢者施設見学を行い、また看護学実習だけにとどまらず、大学祭やサークル活動、グループ主催の秋の収穫祭などで高齢者施設に居住・通所する高齢者や、学生食堂の調理や大学の清掃などに従事している障がい者と日常的に交流している。

さらに、大学と同じ真栄キャンパス内にある認知症研究所は、大学内に設置された認知症研究所としては全国でも稀で、社会的な対応を迫られている認知症の研究－小規模多機能居宅介護における家族支援に関する研究や、民間企業とともに機能性食品の認知症への効果検証研究、認知症サポーター養成講座などーを日々積極的に行っている。また、特別養護老人ホームを地域の介護拠点に位置付け、小規模多機能型居宅介護や定期巡回・随時対応型訪問介護看護などで在宅生活を支える「ノテ地域包括ケア」の実践は同じ真栄キャンパスで行われている。まさに医療と福祉の垣根を越え、医療と福祉の現場が一体になったキャンパスの中で、連携・協働する人材の育成を目指すことが可能な教育環境にある。

学生は高齢者と触れ合い、人間理解、高齢者理解を深め、ケアの心を育む機会となっており、医療福祉に関心を寄せ、高齢者を対象とした研究「不眠を訴え

る高齢者に必要なアクティビティに対する看護」、「要介護3以上の認知症のある高齢者を介護している家族の認識と介護負担感」などに取り組み、研究的視座も養われている。

学生は高齢者と触れ合い、人間理解、高齢者理解を深め、ケアの心を育む機会となっており、医療福祉に関心を寄せ、高齢者を対象とした研究「不眠を訴える高齢者に必要なアクティビティに対する看護」、「要介護3以上の認知症のある高齢者を介護している家族の認識と介護負担感」などに取り組み、研究的視座も養われている。

全国的に看護師の需要が高まっていること、看護師の養成を大学が行うことを求められている状況を踏まえ、医療と福祉の現場から誕生した本学は、保健医療福祉を取り巻く環境の変化に対応し、保健医療福祉チームの一員として、地域福祉チームと連携・協働し、看護の専門性を十分に発揮できる人材を育成することが可能である。

一方、当大学を志願した学生の志望動機（入学志望書）をみると、今後の社会背景の変化を踏まえ、福祉に興味を抱き、医療と福祉が一体となった学習環境で看護師を目指したいという志願者が多い。本学看護学科の入学試験区分は、ＡＯ入試、推薦入試、一般入試、センター入試であり、志願者倍率は1.3～18.2倍、定員充足率は101.3～114.0％である。また、令和3年4月に予定している交通の利便性も良く、病院・老人保健施設等併設のキャンパス移転を控え、今後もさらなる入学志願者獲得を目指している。

以上のとおり、社会や保健医療を取り巻く環境の大きな変革期にも的確に対応することができる質の高い看護職を養成する本学において、看護学科の入学定員を50人増員し150人とする。また、時代の要請に応えることのできる人材を養成する本学看護学科における定員増後の学生確保は確実であると考える。

④　本学看護学科収容定員増加後の教育の質の保持・向上

現在本学では、教育の質の保持向上のため各学年に学生担当教員を配置し、学生担当教員間および教員間で連絡を密にし、細やかな学習・生活支援を行っている。またオフィスアワー制度を導入し、全ての教員がオフィスアワーを学生に提示し学生の訪問に応じ、学習などの相談・支援を行っている。さらに、学生の精神面での支援のため、臨床心理士による学生相談が受けられるようカウンセリングルームを整備し、学習環境を整えてきた。

本学の退学者数は、以下の通りである。平成26年に大学、短期大学、高等専門

学校1,191校を対象とした文部科学省の調査によると学生の中途退学数は全学生数の2.65%である。本学は、全体で中途退学者数は1.02%と全国平均を下回っている。また、留年生も中途退学には至らず学業を継続している。

本学は、国家試験合格に向け学習を強化する必要のある学生へ、指導教員の雇用および模擬試験などの資金の大学負担など、学習支援を徹底して実施しているところである。令和元年度の卒業後の進路は進学4人5.3%、看護師としての就職は71人93.4%であり、就職内定者は100%である。

表2　学籍異動

入学年度	入学者数	中途退学者数	退学の理由	中退率
平成28年度	89人	3人	進路変更3人	3.37%
平成29年度	81人	1人	進路変更1人	1.23%
平成30年度	114人	0人		0%
令和元年度	110人	0人		0%
合計	394人	4人		1.02%

⑶　診療放射線学科の収容定員変更の必要性

本学は、平成 28 年に診療放射線学科を開設し、数多くの医療関係技術者の養成に努めてきた。また、本学は地域医療に貢献するため、これまで進展する医療技術に対応できる知識と技術を有する有能な人材を育成することに努めきたが、一方、近年においては医療技術の進展は歩を早めており、高度化・多様化する医療技術に対応できる優れた医療関係技術者を養成することがより強く求められる時代になってきた。

特に、診療放射線学科においては、毎年の求人数が表 3 の求人件数のとおりであり、定員 50 人では多くの医療機関の需要に応えられていない状況にある（資料 15）。

表 3　求人件数　（入学定員 50 人）

求人数	北海道内	北海道外	合計
平成 29 年度	90 (80)	235 (133)	325 (213)
平成 30 年度	69 (59)	157 (98)	226 (157)
令和元年度	62 (55)	219 (80)	281 (135)

※上　求人数　下　（施設数）

なかでも女性の診療放射線技師は特に不足している状況である。さらに、令和 7（2025）年までにいわゆる「団塊の世代」による多くの退職者が見込まれ今後益々需要が増えることが予想される。

また、診療放射線技師の業務は、診断部門以外に放射線治療部門、核医学部門が

あり、それぞれの分野で急速に診療放射線技師の職務内容が多様化し、それに伴い業務が益々広がっている状況にある。従来、医療には見向きもされなかった物理化学現象を医療に応用することが可能になってきており、放射線の枠を越えて生体医療工学と情報科学が融合し始めている。具体的には、放射線を使用しない核磁気共鳴診断装置（MRI）や超音波診断装置（US)、眼底写真撮影装置があり、その他には、がん対策推進基本計画が出され、がんの早期発見に用いる乳房撮影装置、陽電子断層撮影装置（PET）やがんをピンポイントで治療する高度な放射線照射装置である強度変調型のリニアック（IMRT)、重粒子放射線治療装置、手術の様に正確な照射装置であるガンマナイフ、サイバーナイフがある。その他のものも列挙すると、画像診断機器である高速らせん状 CT でマルチスライス CT の出現や、それに伴う 3 次元の画像処理、コンピューテッドラジオグラフィーやフラットパネルによる X 線撮影のデジタル化等の加速度的な発達も今後の可能性を広げ、その動向が期待されている。

さらに、病院への現場に勤務するだけでなく医療機器メーカーからの求人もある。例えば、様々な放射線関連機器のテクニカルアドバイザーとしての要望や医療機器の研究や開発がある。

その他には、入学定員に対し多くの受験生があり、診療放射線学科として社会で活躍することを目指す若者の多くを受け入れられない状況にある。このため診療放射線学科の一学年の定員を 50 人から 100 人（50 人増）にすることにより医療機関や医療機器メーカーなどの保健医療スタッフの人材確保の需要に応えるとともに診療放射線学科として社会で活躍することを目指す若者の希望に対応しようとするものである。

Ⅱ　学則変更（収容定員増）に伴う教育課程等の変更内容

1　教育課程の変更について

⑴　建学の精神・基本理念

本学の建学の精神は、病める人や障がいを持つ人を含む全ての人々が自立しその尊厳が重んぜられ暮らせる社会の実現を目指す、『共生社会の実現』である。この建学の精神の実現のために、本学は、「人は人を愛し、人にふれることによって、自らも成長する」という基本理念の基に、社会に必要とされる医療・福祉の人材を育成している。

本学は、「人は人を愛し、人にふれることによって、自らも成長する」という基本理念の基に、5 つの教育理念を掲げている。

①　「職業人になる自覚をもとう」実践的教育を通して職業人としての自覚や誇り

を育む

② 「自律した人間になろう」己に厳しく、自ら考え、自ら行動する。

③ 「確かな専門知識・技術を修得しよう」社会や時代の要請に応え、専門的な知識と技術を体系的に修得する。

④ 「社会に貢献できる専門職になろう」医療・福祉に携わる人として、社会からの信頼を得る。

⑤ 「問題解決能力を身に付けよう」自ら課題を発見し、活動し、振り返ることによって問題を解決する。

⑵ 看護学科の教育課程の変更について

看護学科の教育目的・目標は、建学の精神、教育理念に基づき、幅広い知性と豊かな感性のもとで、人間を尊重する態度と高い倫理観、人間を統合的な存在として理解する能力、他者への共感的理解と援助的人間関係の形成能力、多様なチームとの連携・協働力、科学的思考と問題解決能力、継続的な主体的学習能力を授けるとともに、専門教育分野の基礎・基本となる知識および技術と専門職業人としての態度を教授する。

また、看護専門職として、将来にわたり、永続的に自己成長、自己研鑽を続けていくための資質や能力を養うことができる教育を展開し、看護学学士課程としての学習成果を得た看護師を育成することを目指している。

本学の教育理念および教育目的・目標を具現化するため、以下に掲げる方針を設定し、看護師を育成する。

【ディプロマポリシー】

当該学科における卒業時の到達目標、卒業生は以下の能力を備えていることを期待する。

① 人の生命、人権を尊重し、擁護する倫理的な態度

② 多様な価値観、個性を尊重する能力

③ 看護の対象となる人を全人的に理解する能力

④ コミュニケーションをとおして、援助的人間関係に発展させる能力

⑤ 科学的思考に基づき、看護を実践する能力

⑥ エビデンスに基づいた看護ケアを安全に提供する能力

⑦ 保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力

⑧ 問題解決に向けて、科学的思考で主体的に学修できる能力

【カリキュラムポリシー】

本学のアドミッションポリシーに従い、入学した学生に対し、看護学科の教育目的に基づき以下の方針の下で教育を展開する。

① 人命、人権、多様な価値観を尊重できる人間性の育成
② 全人的理解を基盤とした援助的人間関係の形成能力の育成
③ 科学的思考を基盤とした看護実践能力の育成
④ 保健医療福祉チームの一員として他職種と連携・協働ができる能力の育成
⑤ 科学的思考と問題解決能力、主体的学修能力の育成

【アドミッションポリシー】

本学が求める学生は、本学の教育理念に共鳴し、自らの成長を自己推進していけることを目指すものである。

① 学習の基礎的な能力を持ち、本学での学習に意欲と熱意を持つ人
② 思いやりの心を持ち、地域の保健医療福祉、社会に貢献する意思のある人
③ 人の健康に関心を持ち、地域の保健医療福祉、社会に貢献する意思のある人
④ 人に関心を持ち、豊かな人間性とあたたかな心で人とコミュニケーションができる人
⑤ 知的好奇心をもち、探究心と想像力で自ら学ぶ意欲を持つ人

教育課程は、当該学科の教育目的・目標を踏まえたカリキュラムポリシーのもと、科目を体系的に配置し、高度な専門性と実践力、主体的課題学習の促進力に重点を置いた教育課程を編成し実施している。教育課程は、①人命、人権、多様な価値観を尊重できる人間性を育成する科目、②全人的理解を基盤とした援助的人間関係の形成能力の育成する科目、③科学的思考基盤とした看護実践能力の育成をはかる科目、④保健医療福祉のチームの一員として他職種と連携、協働できる能力を育成する科目、⑤科学的思考と問題解決能力、主体的学習能力を育成する科目を体系的に配置している。開学以降、教員全員が参加する FD 等の研修実施時に、本学の教育課程、教育の取り組み・評価等を教員全体で共通認識し、教育評価を行ってきた。一方、検討会（基礎教育教員、専門基礎教育教員、専門教育教員を含む）での教育課程の評価・検討、加えて、学生授業評価アンケートを参考に、教育の質向上に向け教育課程の内容を確認・検討してきた。この結果を受け、AC 期間中ではあるが、教育科目の順序性の再考、教育内容の重複の解消および看護専門職として重要・不可欠な科目を強化するため、平

成 30 年 1 月、「専門教育分野」の教育内容の変更を文部科学省から承認を得て、新カリキュラムとして平成 31 年度入学生から適用した。

今回の収容定員の変更に伴う教育課程の変更は行わず、現行教育課程を継続しつつ、教員数の増加、実習設備の拡充・増強、臨地実習先医療機関等と調整を図り教育の質を確保することが必要である。

⑶ 診療放射線学科の教育課程の変更について

診療放射線学科は、建学の精神、教育理念の人間尊重を基盤とした人間力を備えた医療人の育成に基づき、以下の教育目的を掲げている。「放射線医療の高度化や多様化に対応するため、基礎的な知識と技能の修得に加えて、医療現場に携わる職業人として求められる幅広い視野と豊かな人間性、高い倫理観、的確な対人関係の形成や他者との協調と協働力を身につけた職業人を育成する。また、継続的な自己研鑽力や自主的に学び、考え、行動する研究能力を身につけた職業人を育成する」ことを目的としている。

本学の教育理念及び教育目的を具現化するために、以下に掲げる三つの方針を設定している。

【ディプロマ・ポリシー】

診療放射線学科は、本学の建学の精神、基本理念、教育理念に基づき、在学中に下記の資質や能力を培った者に卒業を認め、学士の称号を与える。

① 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に貢献する資質
② 高い専門性と豊かな人間性を発揮して地域社会に貢献し、保健医療福祉の向上に寄与できる能力
③ 対象者のために、保健医療福祉に関わる人々と有機的な連携・協働ができる能力
④ 科学的根拠に基づき、放射線の画像診断と放射線治療を提供できる能力
⑤ 科学的思考をもって主体的に学修し、診療放射線学を発展させる能力

【カリキュラム・ポリシー】

診療放射線学科のディプロマ・ポリシーに基づき、科学的思考をもって主体的に学修する能力を養うため、講義、実験・実習、演習の組み合わせを用い、科目に適した形態の授業を編成する。

① 人権や多様な個性を尊重し、共生社会の実現に寄与する資質を育成するために、基礎教育科目を配置する
② 保健医療福祉に携わる一員として他職種と連携・協働できる能力を育成するた

めに、「保健医療福祉と診療放射線」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
③　科学的根拠に基づいた診療放射線の実践に必要な基礎的知識を修得するため、「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」、「保健医療における理工学的基礎並びに放射線の科学と技術」について学ぶ専門基礎教育科目を配置する
④　高度で専門的な診療放射線の実践能力を育成するため、診療放射線検査法、放射線治療法、放射線安全管理法について学ぶ専門教育科目を配置する
⑤　豊かな人間性と社会性を養うため、担任制度等による個別・少人数指導を重視した教育を行う

【アドミッション・ポリシー】

診療放射線学科は、建学の精神と基本理念を理解し、教育理念を実践する意欲ある人材を求める。

①　診療放射線技師を志している人
②　診療放射線学を学ぶために必要な基礎学力のある人
③　基礎的コミュニケーション能力を有している人
④　思いやりの心を持ち、人の生命を尊ぶ心を持つ人
⑤　知的好奇心を持ち、探究心と想像力で自ら学ぶ意欲を持つ人
⑥　基本的生活態度が身についており、心身の健康に気を配れる人

1)　教育目標―養成する人材像

診療放射線学科は以下の特性を備えた人材を養成する。

①　生命の尊厳や人権を守り、人々の多様な価値観や意思を尊重できる。
②　全人的理解を基盤とした入間関係を形成できる。
③　科学的に裏付けされた専門的知識と技術で放射線診療を実践できる。
④　保健医療福祉チームの一員として他職種と連携・協働できる。

2)　教育課程

①　カリキュラムの特色と構成概念

診療放射線学科は、本学の教育理念に基づき、「幅広い知性と豊かな感性のもとで、人間を尊重する態度と高い倫理観、人間を統合的な存在として理解する能力、他者への共感的理解と人間関係形成能力、多様なチームと の連携・協働力、科学的思考と問題解決能力、継続的な主体的学修能力を授けるとともに、専門分野の基礎・基本となる知識及び技術と専門職業人としての態度を教授する」ことを教育研究上の目的としている。

②　教育課程の編成

教育課程の編成は、教育目的を達成するための人材育成に必要な内容を授業科目として設定し、「基礎教育科目」、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域で編成している。また、診療放射線技師の養成施設としての指定規則条件を充足しつつ、診療放射線学科で掲げた人材育成に必要な選択科目を配置している。教育課程の各概念の間には相互関係が存在することを前提に、「基礎教育科目」と「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の三領域に配置した各教育科目の内容が、有機的に関連性を持ち、体系的に学修できるように編成し、各領域における授業科目間の授業内容は、関連性と一貫性を保つよう設定している。なお、教育課程編成には、基礎教育科目→専門基礎教育科目→専門教育科目において、講義内容が順次理解できるように、内容の連続性と関連性を重視している。教育科目の開講年次及び前期、後期への配分については、これらのことを十分に考慮して配置している。

③　教育課程進度表

ア　楔形配置

教育課程の進行は、「基礎教育科目」をベースに「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」と学んでいくが、 相互に関連して学びを深めていくことを目的に楔形に配置している。放射線医学は「ヒト」を対象に研究する学問なので、人間理解に必要な幅広い知性と豊かな感性を育て、学生自身の人間性を育てるための教科目は、「基礎教育科目」として低学年に配置し、人間に関する学際的な学問領域の教科目を設定している。専門職業人を育成するための教科目は、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」に設定し、診療放射線技師として必要な専門的知識はそれらの領域で学修する。学年が進むにしたがい、「専門教育科目」が増えていくが、「基礎教育科目」と「専門教育科目」が関連付けて学修できるように、「専門基礎教育科目」を１年次から配置し、「基礎教育科目」も可能な限り、楔形で配置している。

イ　学年の特徴

1 年次では、基礎教育科目を配置し、人間理解の基礎となる学問的知識を得るとともに、学生個人の価値観 や人間観を育て、科学的思考力や大学人として主体的・自律的に学ぶ姿勢を身に付けることを目標としている。同じく、１年次から「専門基礎教育科目」を配置しているのは、専門教育科目への導入と「基礎教育科目」と「専門教育科目」との関連性を確認しながら学ぶことで、今後の学修への関心を高め、明確な動機付けとなることを目的としているからである。

2 年次では、「専門基礎教育科目」、「専門教育科目」の数が増え、「基礎教育

科目」で学んだ知識を関連させ活用しながら、「専門教育科目」の基礎を修得することを目的としている。

3年次では、「専門教育科目」の講義・演習・実習をとおして、専門的知識を深め、最終学年における統合 化に向けて準備することを目的としている。

4年次では、3年次までの学修に加え、さらなる実習で診療放射線領域の広がりを学ぶとともに、卒業時の 学修到達度と今後の目標や自己課題を明らかにすることを目的としている。

ウ　臨床実習

臨床実習は、既修の理論と知識や技能を体験的に学ぶ学修であり、また、臨床実習の体験から、放射線医学の現象を意味付け、診療放射線を知として学ぶ学修でもある。

「臨床実習Ⅰ」では、X線を使用した一般撮影をはじめ、CT、MRI、造影検査を通じて臨床の基本的な知識と技能に関する実践能力を身に付け、また、医療現場で患者と接しながら対人的な能力を体験的に学ぶ学修です。「臨床実習Ⅱ」では、臨床実習Ⅰの領域に加えて核医学検査分野と放射線治療分野の専門的な知識と応用能力を身に付ける学修の実習を配置している。

エ　主体的学修

学修の主体は学生であることから、それぞれの授業科目において、学生自らが積極的に参加し、主体的に学修に取り組むことで自らの課題を達成していくこと、並びに学生の個別性に応じて、多領域にわたり学問的興味や関心を持つことができることを目的に、演習の学修時間を多くしている。

グループワークなどのチーム学修をとおして、学生相互に学びを深めるとともに、調整する能力や協働する能力、ディスカッション能力を育成することもねらいとしている。

今回の収容定員の変更に伴う教育課程の変更は行わず、現行教育課程を継続しつつ、教員数の増加、実習設備の拡充・増強、臨床実習先医療機関等と調整を図り教育の質を確保することが必要である。

2　教育方法および履修指導方法の変更内容

⑴　看護学科の教育方法および履修指導方法の変更内容

看護学科の2年次から4年次までに行われる臨地実習の実習期間概略と、受け入れ施設および受け入れ人数について、資料に示す。

学則変更（収容定員増）に伴う教育方法および履修指導方法の変更は行わないが、学生数が増加することに伴い、臨地実習の受け入れ施設および指導体制については以下のとおりに考えている。

当該学科では、講義は1学年一斉の授業形態で実施し、演習は2グループに分けて演習概要の授業を行った後、5～6 人の小グループ単位で演習を展開することを基本としている。学則変更（収容定員増）に伴う支障は生じないため変更はない。

臨地実習は、実習内容や実習施設の実習配置受け入れ人数基準、実習指導者の状況により異なるが、概ね2～6人のグループで臨地実習を実施する。臨地実習の進度は、始めに生命の尊厳や対象の個別性の尊重について理解することを目的にした実習からスタートし、次にライフスタイル別、健康レベル別の対象に対して、統合体としての人間理解力と専門的知識に基づく判断力、科学的思考能力、援助技術力を要する実習へと展開する。2年次に基礎看護学の臨地実習3週間を配置し、3年次にはそれらを基盤にして成人看護学実習Ⅰ、老年看護学実習Ⅰ、精神看護学実習を合計8週間展開する。4年次には、領域別実習の他、既習の知識・技術を統合して看護チームの一員として、より実践的な実習を展開し、看護専門職としての自己の課題を卒業時までに明確にすることを目的にした統合実習を含め合計12週間の実習を配置している(資料16)。

臨地実習は複数施設で実施され、実習の指導は、各専門領域の大学専任教員、実習指導教員（インストラクター）、臨地実習施設の臨床指導者との連携・協働の下で密に指導を実施している。大学専任教員が各臨地実習施設の責任者として指導に当たり、大学専任教員の監督・指示の下、実習指導教員が、実習の進捗状況や学生の課題および実習目標の達成度などについて担当する大学専任教員に連絡・報告を行い、協議等を綿密に行い指導に当たることで教育水準を担保している。実習指導教員が担当するグループは原則として1～2グループとし、大学専任教員は実習施設まで出向き、臨地実習施設の臨床指導者と協議・連絡して臨地実習の指導にあたる巡回指導を実施している。

このように充実させてきた現在の臨地実習体制を維持するため、既存の臨地実習施設における受け入れ人数の拡大を進めるとともに、平成30年8月からグループの一員となった日本医療大学病院及び関連施設等を臨地実習施設として追加する予定であり、同時にグループ力を最大限に活用し新規開拓も進める計画である(資料17)。また、実習指導教員も実習施設数増加に伴い増員する計画である。

＜教員組織＞

看護学科の専任教員の実数は計 31 人であり、大学設置基準上必要教員数を確保している。加えて収容定員増に係る学則変更に伴い専任教員を漸増する予定となっており、引き続き教育の質は担保できる。

⑵　診療放射線学科の教育方法および履修指導方法の変更内容

診療放射線学科では、学則変更（収容定員増）に伴う教育方法及び履修指導方法の変更は行わないが、学生数が増加することに伴い、教育方法及び履修指導方法については以下のとおりに考えている。

診療放射線学科の教育方法に関する基本的な考え方は、学修の主体は学生であることから、それぞれの授業科目において、学生自らが積極的に参加し、主体的に学修に取り組むことで自らの課題を達成していくこと、並びに学生の個別性に応じて、多領域にわたり学問的興味や関心を持つことができることを目的に、演習の学修時間を多くしている。グループワークなどのチーム学修をとおして、学生相互に学びを深めるとともに、調整する能力や協働する能力、ディスカッション能力を育成することもねらいとしている。

また、開学以降、教員全員が参加する FD 等の研修実施時に、本学の教育課程、教育の取り組み・評価等を教員全体で共通認識し、教育評価を行っている。加えて、学生授業評価アンケートを参考に、教育の質向上に向け教育課程の内容の確認・検討も行っている。

【履修の概要】

①　履修方法

ア　卒業要件総単位数

本学を卒業するためには、大学に 4 年以上在学し、下記の単位数を修得しなければならない。

表 4　卒業必要単位数

科目区分	基礎教育科目	専門基礎教育科目	専門教育科目	卒業要件
必修科目	10 単位	29 単位	63 単位	102 単位
選択科目	10 単位以上	7 単位以上	7 単位以上	24 単位以上
小　　計	20 単位以上	36 単位以上	70 単位以上	126 単位以上

②　履修科目

必修科目と各区分の中から指定された単位数以上を自由に選択できる選択科目を履修します。

ア　基礎教育科目（必修科目 10 単位、選択科目 19 単位から 10 単位以上選択）

「人間と生活」必修科目２単位、選択科目 10 単位から 5 単位以上選択

生命・人間・社会等に関する幅広い学問領域について学び、自主的・自律的に学ぶ姿勢を身につけます。

「科学的思考の基礎」必修科目 6 単位、選択科目 6 単位から 3 単位以上選択

診療放射線学科の専門課程を学んでいく基礎となる探究心と科学的思考力を養います。

「語学」必修科目 2 単位、選択科目 3 単位から 2 単位以上選択

語学学習を通して他者とのコミュニケーションに必要なスキルを学びます。

イ　専門基礎教育科目（必修科目 29 単位、選択科目 13 単位から７単位以上選択）

「人体の構造と機能及び疾病の成り立ち」

必修科目 13 単位、選択科目 4 単位から 2 単位以上選択

診療放射線学を学ぶ上で必修の基礎知識である人体の構造と機能及び疾病の成り立ちを履修します。具体的には、解剖学、生理学、病理学、薬理学、衛生学などを学びます。

「保健医療福祉における理工学的基礎並びに放射線の科学及び技術」必修科目 13 単位、選択科目 7 単位から 4 単位以上選択

放射線、放射線の物質との相互作用、電気電子工学など放射線に関係する基礎的な教科を履修します。具体的には放射線物理学・化学・生物学、放射線計測学、電気・電子工学などを学びます。

「医療専門職の機能と役割」

必修科目 3 単位、選択科目 2 単位から 1 単位以上選択

医療は多くの専門職種とのチーム医療として行われていることを学びます。

ウ　専門教育科目

（必修科目 63 単位、専門教育科目全体の選択科目 10 単位から７単位以上選択）

専門教育科目は、専門基礎分野等で修得した内容を踏まえ、医療専門職として必要な専門的知識と技術を修得します。

「診療画像技術学」

ここには合計 11 科目があり、診療画像検査に関する検査技術、検査機器、検査実験などを学びます。必修科目 16 単位と選択科目１単位があります。

「画像診断学」

ここには合計６科目があり、画像解剖学、画像診断学の専門知識を学びます。必修科目 8 単位と選択科目 2 単位があります。

「核医学検査技術学」

ここには合計４科目があり、核医学検査に関する専門知識を学びます。必修科目６単位と選択科目１単位があります。

「放射線治療技術学」

ここには合計５科目があり、放射線治療に関する専門知識を学びます。必修科目６単位と選択科目１単位があります。

「医用画像情報学」

ここには合計５科目があり、医用画像に関する専門知識を学びます。必修科目６単位と選択科目１単位があります。

「放射線安全管理学」

ここには合計４科目があり、放射線管理に関する専門知識を学びます。必修科目４単位と選択科目１単位がある。

「医療安全管理学」

ここには必修の３科目があり、医療安全に関する専門知識を学びます。

「臨床実習」

臨床実習は必修の科目で、3 学年の「臨床実習Ⅰ」4 単位と 4 学年の「臨床実習Ⅱ」6 単位があり臨床実習病院での実習となります。臨床実習は、医療の現場で臨床実習指導者から検査・治療について学びます。学内の講義で学んだ事も含めて実際の医療現場でどの様に行われているかを体験し、患者接遇や他の医療職 種のコミュニケーションについても学びます。

「総合科目」

総合科目は３科目があり全て選択科目ですが、専門教育科目の復習の内容になっており、履修した専門教 育科目のより深い理解やスキルを身につける内容を学びます。臨床実習や国家試験に向けて専門領域の学修をします。

「卒業研究」

卒業研究は必修科目４単位の教科で、診療放射線学科で学んだ集大成として担当教員の指導の下に研究 テーマを決め研究を進め最終的に卒業論文としてまとめます。

また、卒業研究発表会においてプレゼンを行いお互いに研究内容を報告します。

③ 履修について

履修の上限単位（CAP 制）

本学では、１単位の単位修得に必要な学修時間を確保し、学修の質の向上と学修の効率化をはかるために、学年ごとに適切に学修できるように、履修登録科目数の上限制度である CAP（キャップ）制を導入している。

CAP 制は、各学年において次のように定めている。

表 5　上限履修単位数

学　年	1 年間の上限
1　年	34 単位
2　年	40 単位
3　年	42 単位
4　年	28 単位

1)　教員組織の変更内容

診療放射線学科では、令和 2 年度の専任教員数は計 12 人であり、その内訳は教授 6 人、准教授 4 人、講師 1 人、助教 1 人である。

定員増に伴う教員の増員を予定している。

本学科は、1 学年から 4 学年まで、原則として同一の専任教員を 4 年間学生(クラス)担任とする学生担任及び副担任制を導入している。学生担当教員は、定期的なホームルームの開催と個人面談などにより、学生の教学上及び生活上の問題の早期発見、早期対応を心掛けている。学生の状況把握に基づく情報は、関係する教職員間で共有し、細部まで行き届いた対応が可能となるように配慮している。

2)　大学全体の施設設備の変更内容

令和 3 年 4 月から新キャンパスの施設が完成し、最新の設備が設置される予定である。

新キャンパスでは、指定規則に沿った設備が整備される予定である。具体的には専用の講義室 4 室（100 人収容可能)、実習室 9 室、演習室 48 室(共有)を備えており、教室や実習設備などが不足することはない。

現在、指定規則に沿った設置基準備品は整備されているが、収容定員増による更なる教育の質の向上のために必要な装置、器具、模型等は追加購入する予定である。

3)　臨床実習施設の変更内容

今後も安定した受け入れ施設の確保に努めていく予定である（資料 18)。

⑶　自己点検評価

ホームページ上等で公表する。

①　第三者評価の導入

本学は、前項の自己点検・評価に加え、教育研究などの総合的な状況について、政令で定める期間(7 年)ごとに、文部科学大臣の認証を受けた者(認証評価機関)による評価（認証評価）を受けることになっている。

本学は、令和元年度に公益財団法人日本高等教育評価機構で初回の認証評価を

受審し、公益財団法人日本高等教育評価機構から令和 2 年 3 月 11 日認定証を受理（資料 19）しました。

次回（令和 8 年）の認証評価を受審するため、公益財団法人日本高等教育評価機構の評価基準に基づき、毎年、自己点検評価（PDCA）を実施して教育の質を高めるよう全教職員協働で推進することとしている。

② 結果の活用と公表

ア　評価の結果は、教育活動及び研究活動などの改善策を検討し、事後の改善計画や各業務運営で達成すべき目標を設定する際に活用する。

イ　公表については、自己点検・評価報告書の刊行と関連部外諸機関への配布、ホームページ上で公開する。

③ 情報の公表

本学は、大学としての公共機関としての責務をもち、地域から社会的存在として、その意義を認知してもらうために、大学の教育研究活動等に関する情報を広く社会に公表します。公表に当たり、大学広報委員会が中心となって。大学 HP、大学案内、刊行物及び公開講座などの媒体や機会を利用して、学生・保護者・地域住民及び志願者にむけて積極的なおかつ真摯な情報を提供する。HP アドレスは高等教育機関としてのドメイン名を取得後掲載とする。また，教育研究活動の結果を定期的に「紀要」等として発行する計画である。

ア　HP による情報公表の内容

広報委員会が中心となって HP 作成、管理を行う。

（ア）　大学の設置趣旨・目的・教育理念など
（イ）　教育研究組織・組織図
（ウ）　教員数・学位・教員個人研究業績等
（エ）　入学者に関する受け入れ方針、入学者数、収容定員、在学者数、卒業修了者数、進学者数、就職者数、その他進学者数、就職者数、その他進学及び就職などの状況に関すること
（オ）　授業科目、授業方法及び内容並びに年間授業計画、シラバスなど
（カ）　教育課程一覧
（キ）　学修成果の評価、卒業要件など
（ク）　校地、校舎、設備等の校地、校舎、設備等の教育研究環境の状況
（ケ）　授業料、入学料など学生納付金
（コ）　修学・進路支援・そのほか学生の健康支援に関することなど
（サ）　公開講座、講演会等生涯学修の機会提供
（シ）　自己点検・評価の結果等

（ス） 財務関係資料

（セ） その他

イ　紀要・広報誌による教育研究活動の紹介

教員の学術・研究活動の成果を紀要で定期的に刊行するとともに、本学の教育研究活動の取り組みや大学行事、学生生活などについての広報誌の作成を HP とともに公表している。

以上の情報の公表は、学校教育法第 113 条及び学校教育法施行規則第 172 条の 2 に基づいて実施している。

学則変更（収容定員変更）等を記載した書類　添付資料

資料 1　人口あたりの都道府県別在宅療養支援病院数

資料 2　人口あたりの都道府県別在宅療養支援診療所数

資料 3　在宅医療に関する国民のニーズ

資料 4　在宅医療推進にあたっての課題

資料 5　在宅療養を行うことができた理由

資料 6　人口あたりの都道府県別訪問看護事業所数

資料 7　訪問看護の利用状況と自宅死亡の割合

資料 8　過去 10 年間の年次別、都道府県別、20 主要都市別、自宅および自宅＋老人ホームにおける全死因と悪性新生物の死亡率

資料 9　二次医療圏毎の医師数の状況

資料 10 2）都道府県版　※暫定値（精査中）～看護職需給見通し～

資料 11 令和 3 年度予算・政策に関する要望書

資料 12 道内私立大学×志願者数×看護学科　志願者数・志願倍率

資料 13 道内私立大学×志願者数×看護学科　募集人員・入学者数・定員充足率

資料 14 道内専門学校×入学者数×看護学科　募集人員・入学者数・定員充足率

資料 15 求人票一覧（道内）（平成 29 年度～令和元年度）

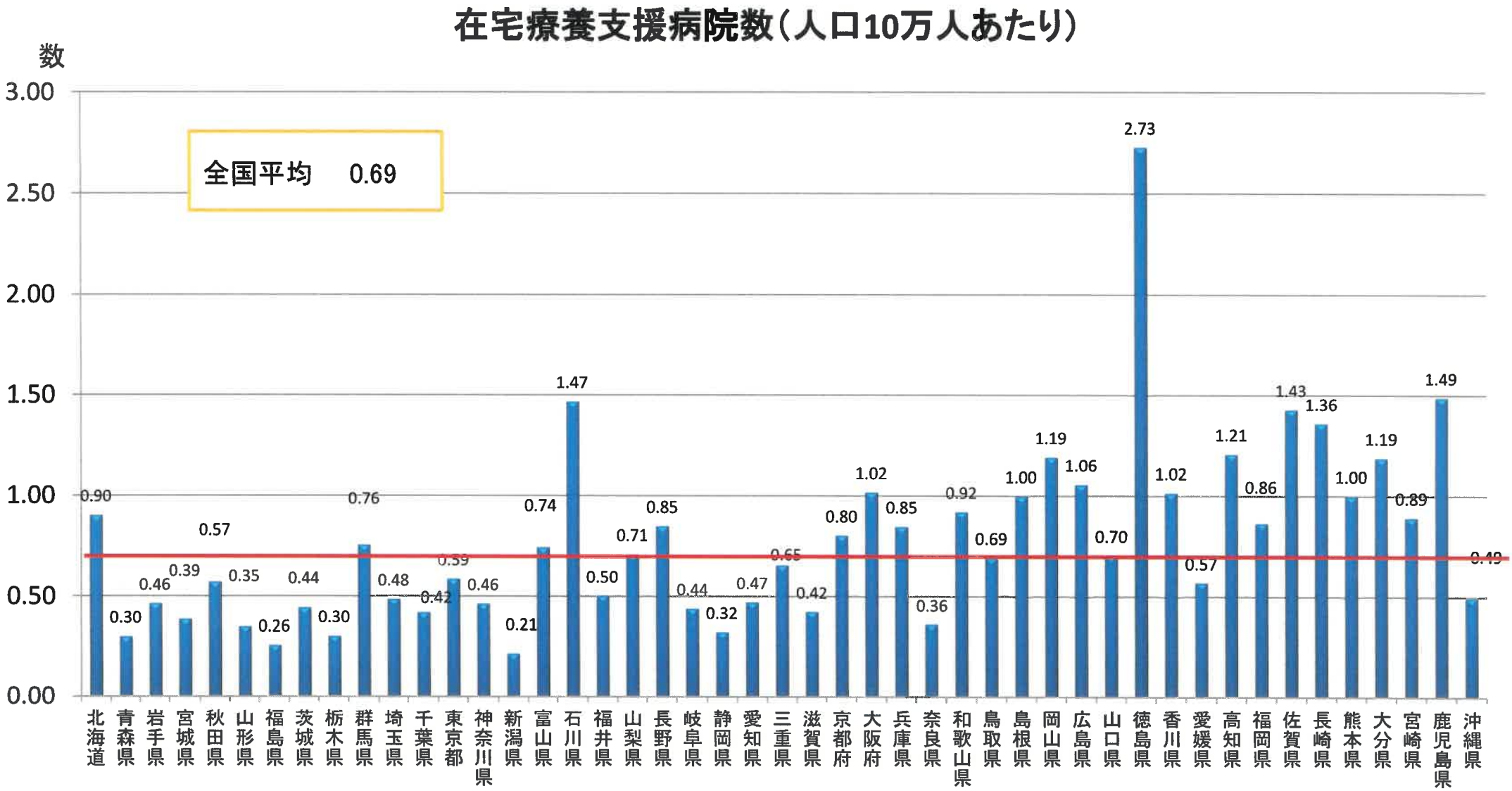
資料 16 日本医療大学保健医療学部　看護学科　実習計画　年間予定表

資料 17 看護学科　実習計画・実習施設

資料 18 診療放射線学科　実習施設総括表

資料 19 公益社団法人　日本高等教育評価機構　認定証

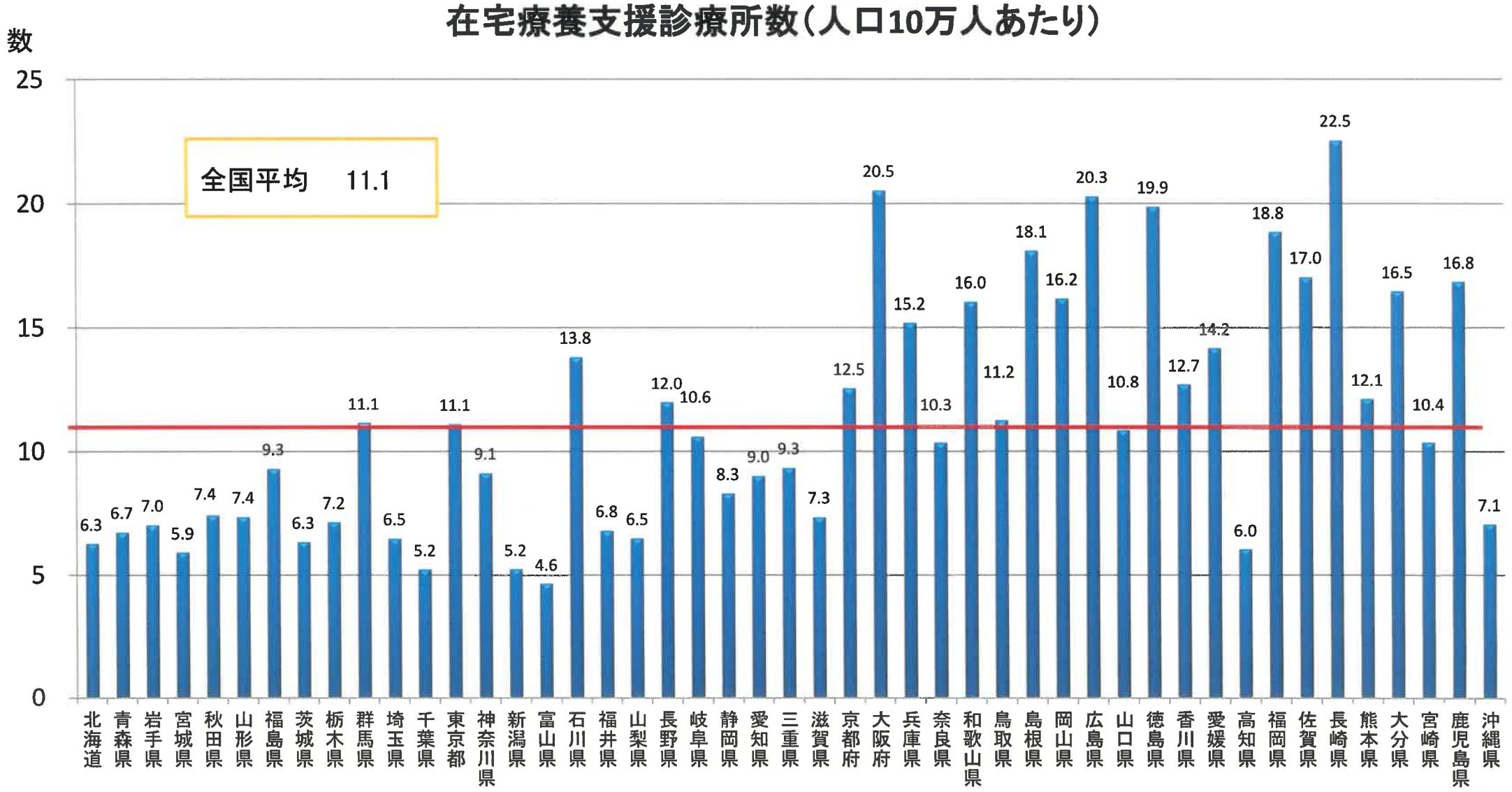
人口あたりの都道府県別在宅療養支援病院数



保険局医療課調べ　平成25年7月
総務省人口統計　　平成25年10月

資料１

人口あたりの都道府県別在宅療養支援診療所数



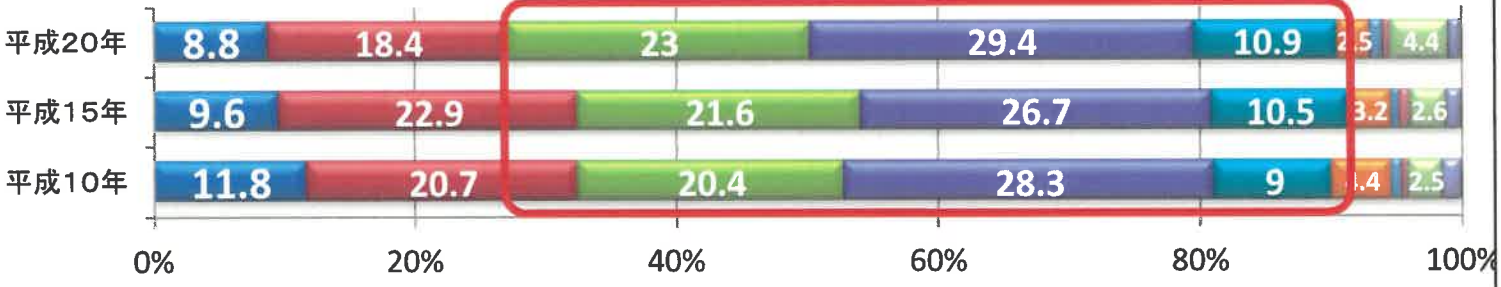
保険局医療課調べ　平成25年7月
総務省人口統計　平成25年10月

資料2

在宅医療に関する国民のニーズ

○ 自宅で療養して、必要になれば医療機関等を利用したいと回答した者の割合を合わせると、**60%以上の国民が「自宅で療養したい」**と回答した（上図）。
○ また要介護状態になっても、**自宅や子供・親族の家での介護を希望する人が4割を超えた**（下図）。
○ 住み慣れた環境でできるだけ長く過ごせるよう、また望む人は自宅での看取りも選択肢になるよう、在宅医療を推進していく必要がある。

■終末期の療養場所に関する希望

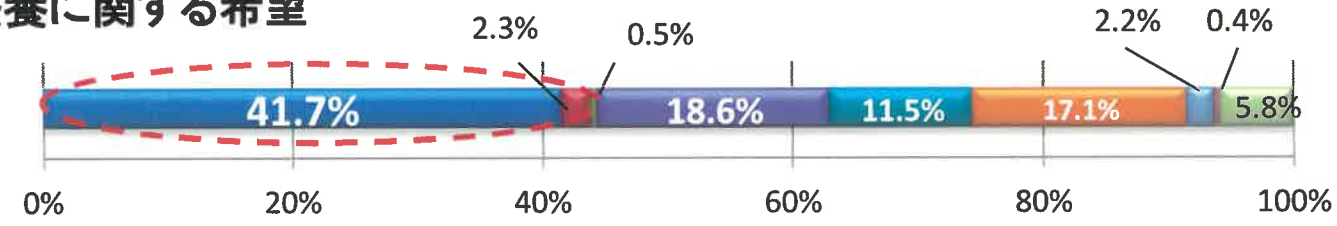


- なるべく今まで通った（または現在入院中の）医療機関に入院したい
- 自宅で療養して、必要になればそれまでの医療機関に入院したい
- 自宅で最後まで療養したい
- 老人ホームに入所したい
- 分からない
- なるべく早く緩和ケア病棟に入院したい
- 自宅で療養して、必要になれば緩和ケア病棟に入院したい
- 専門的医療機関（がんセンターなど）で積極的に治療が受けたい
- その他
- 無回答

○調査対象及び客体
・全国の市区町村に居住する満20歳以上の男女から5,000人を層化二段無作為抽出法により抽出
・150国勢調査区の住民基本台帳から客体を無作為に抽出
○調査の方法
郵送法
○回収数
2,527人（回収率50.5%）

出典：終末期医療に関する調査（各年）

■療養に関する希望



- 自宅で介護してほしい
- 親族の家で介護してほしい
- 介護老人保健施設を利用したい
- 民間有料老人ホーム等を利用したい
- わからない
- 子どもの家で介護してほしい
- 介護老人福祉施設に入所したい
- 病院などの医療機関に入院したい
- その他

○調査対象
全国の55歳以上の男女5,000人
○調査の方法
調査員による面接聴取法
○標本抽出方法
層化二段無作為抽出法
○回収数
3,157人（回収率63.1%）

高齢者の健康に関する意識調査（平成19年度内閣府）

資料３

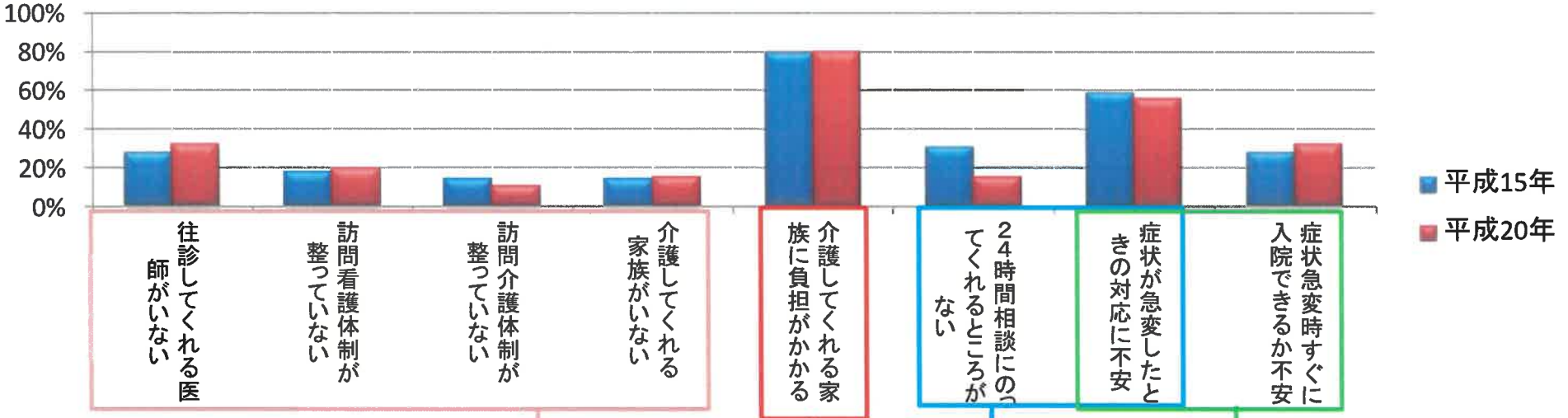
在宅医療推進にあたっての課題

○　在宅医療を必要とする者は2025年には29万人と推計され、約12万人増えることが見込まれる。

○　急性期治療を終えた慢性期・回復期患者の受け皿として、終末期ケアも含む生活の質を重視した　医療としての在宅医療のニーズは高まっている。

■在宅療養移行や継続の阻害要因

出典：終末期医療に関する調査（各年）



■在宅医療推進にあたっての課題

在宅医療・介護サービス供給量の拡充
医療/介護の連携によるサービスの質の向上及び効率化

家族支援

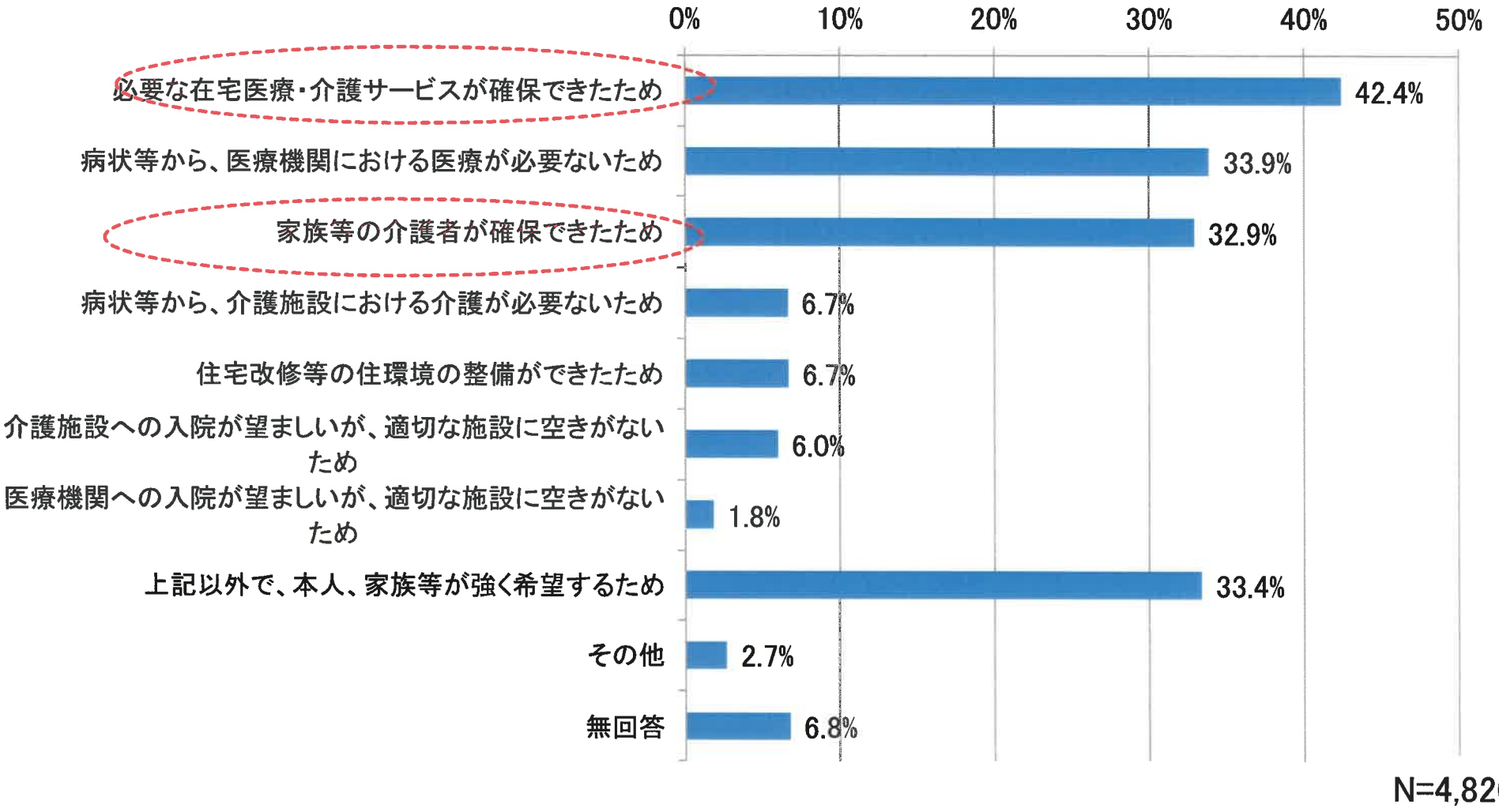
24時間在宅医療提供体制の構築

在宅療養者の後方ベッドの確保・整備

資料４

在宅療養を行うことができた理由

【在宅療養患者が在宅を選択した理由】



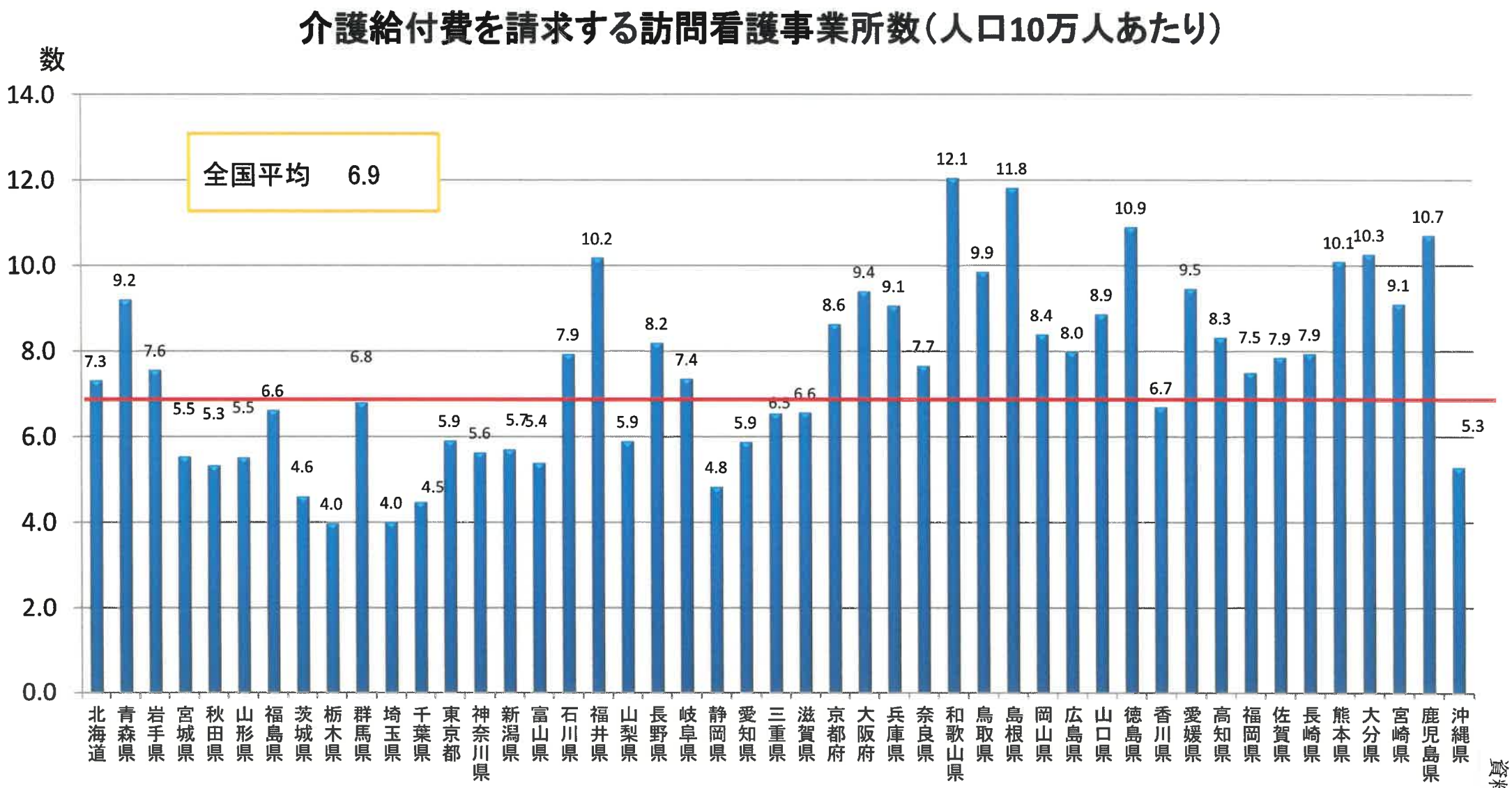
N=4,820

※在宅療養を行う患者について医療機関が確認したデータ

出典：「医療施設・介護施設の利用者に関する横断調査」より

資料5

人口あたりの都道府県別訪問看護事業所数

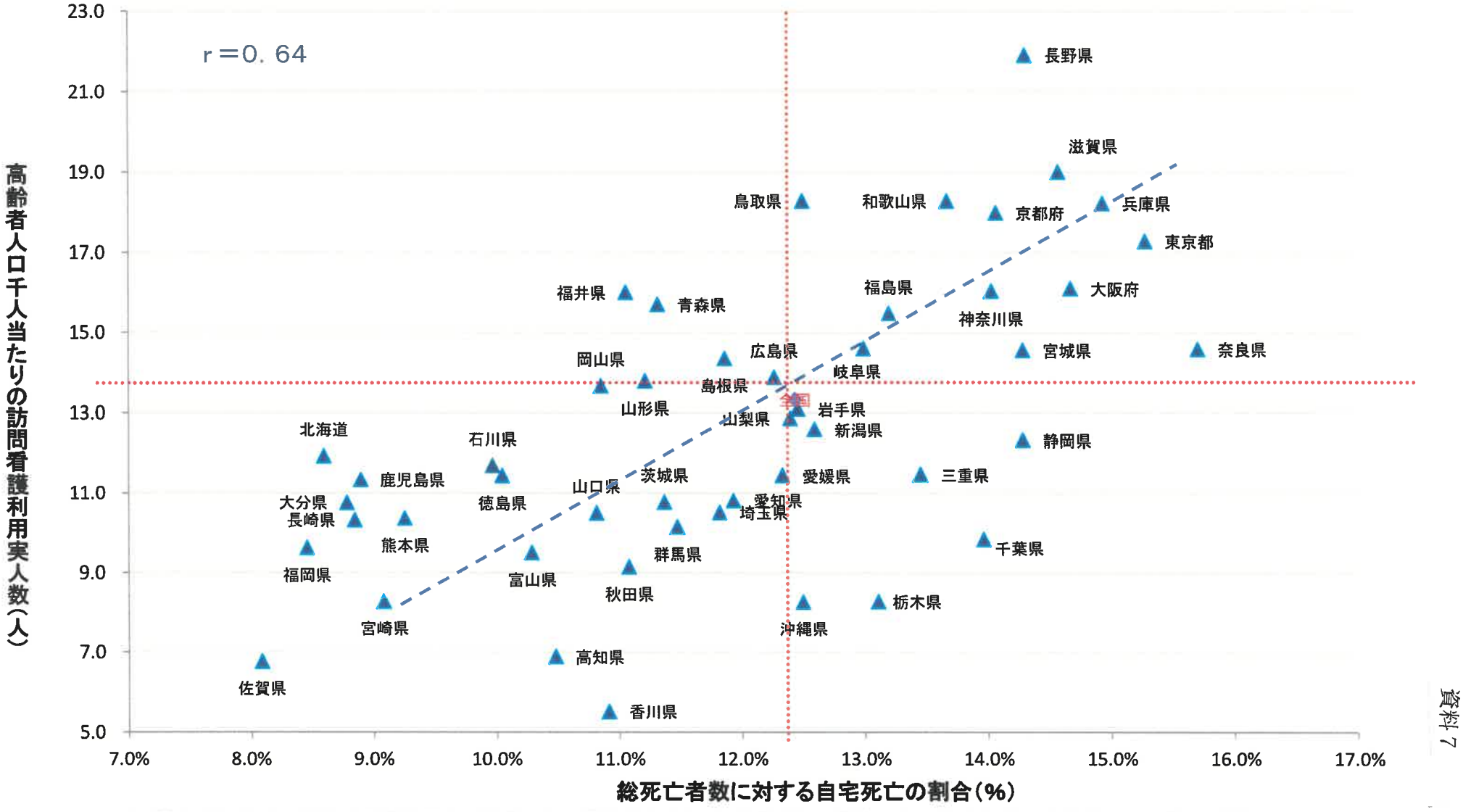


介護給付費実態調査報告　平成26年4月審査分
総務省人口統計　平成25年10月

資料6

訪問看護の利用状況と自宅死亡の割合

○ 都道府県別高齢者人口千人当たりの訪問看護利用者数は約4倍の差がある。
（最多は長野県、最少は香川県）
○ 高齢者の訪問看護利用者数が多い都道府県では、在宅で死亡する者の割合が高い傾向がある。



出典：厚生労働省 「介護給付費実態調査」(平成21年)，厚生労働省「人口動態統計」(平成21年)，総務省統計局平成21年10月1日現在推計人口より作成

資料7

表1　過去10年間の年次別，都道府県別，20主要都市別，自宅および自宅＋老人ホームにおける全死因と悪性新生物の死亡率

		自宅（%）										自宅＋老人ホーム									
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
全　国	総数	13.54	13.37	13.00	12.39	12.24	12.16	12.31	12.67	12.43	12.60	15.49	15.28	14.94	14.46	14.39	14.51	14.86	15.57	15.66	16.11
	悪性	6.02	6.18	5.96	5.80	5.68	6.21	6.72	7.27	7.39	7.78	6.45	6.18	6.38	6.25	6.21	6.83	7.45	8.11	8.31	8.81
01 北海道	総数	8.05	8.38	8.77	8.24	8.12	8.34	8.29	8.58	8.59	8.75	9.36	8.38	10.02	9.44	9.24	9.55	9.63	10.03	10.19	10.30
	悪性	2.14	2.41	2.14	2.19	1.80	2.22	2.25	2.42	2.97	3.09	2.43	2.41	2.41	2.43	2.04	2.45	2.54	2.74	3.35	3.60
02 青森	総数	12.89	12.56	11.70	11.54	10.56	10.35	11.20	10.95	11.31	10.95	14.76	12.56	13.57	13.49	12.77	12.60	14.00	13.80	14.64	14.89
	悪性	4.63	4.61	4.48	4.21	3.42	3.91	4.74	5.51	5.76	5.56	4.91	4.61	5.01	4.62	3.95	4.47	5.39	6.39	7.00	6.56
03 岩手	総数	11.76	11.81	12.40	12.01	11.96	12.03	12.72	12.09	12.45	11.64	13.76	11.81	14.01	13.86	14.03	14.12	15.45	14.69	15.30	14.62
	悪性	3.32	3.98	5.07	5.31	5.58	6.59	7.00	6.97	6.84	6.11	3.69	3.98	5.75	5.59	6.04	6.98	7.60	7.86	7.71	6.73
04 宮城	総数	16.50	15.89	15.22	14.77	14.50	14.13	14.33	14.61	14.28	14.67	17.95	15.89	16.72	16.37	16.14	15.98	16.40	17.19	17.31	17.87
	悪性	7.65	7.15	7.29	7.46	7.88	8.17	10.07	9.80	10.56	10.74	7.89	7.15	7.92	7.69	8.22	8.67	10.66	10.44	11.38	12.01
05 秋田	総数	14.72	14.58	13.32	12.92	11.97	11.96	12.28	11.82	11.08	10.03	17.22	14.58	15.99	15.58	14.48	14.46	14.87	14.64	13.56	12.96
	悪性	5.00	5.30	4.60	4.85	4.33	4.80	5.00	4.56	4.49	3.65	5.52	5.30	5.17	5.30	5.00	5.52	5.82	5.27	5.41	4.68
06 山形	総数	17.02	16.94	16.23	15.01	13.64	13.28	12.65	11.62	11.21	11.95	20.67	16.94	19.92	18.55	17.06	16.88	16.87	15.70	16.02	16.83
	悪性	7.26	6.70	6.80	6.35	5.03	5.13	5.36	4.48	4.96	5.68	8.03	6.70	7.67	6.83	5.75	6.02	6.40	5.39	6.21	6.86
07 福島	総数	16.87	15.56	14.66	13.93	14.15	13.82	13.53	13.46	13.20	13.30	18.30	15.56	15.98	15.38	15.56	15.37	15.49	15.86	15.59	15.95
	悪性	8.34	7.22	6.68	7.12	7.64	6.72	7.08	7.61	7.31	7.65	8.71	7.22	7.02	7.55	8.11	7.20	7.73	8.18	8.06	8.62
08 茨城	総数	13.79	13.20	12.89	12.44	11.68	11.38	11.05	11.04	11.37	11.42	15.21	13.20	14.22	13.92	13.26	13.26	13.00	13.38	13.88	14.29
	悪性	5.10	5.65	5.30	4.93	5.21	5.00	5.09	5.57	5.71	6.59	5.32	5.65	5.46	5.12	5.47	5.45	5.55	6.18	6.34	7.32
09 栃木	総数	13.06	13.64	12.80	11.91	12.41	12.21	12.13	12.89	13.11	12.66	15.52	13.64	15.29	14.38	14.69	14.99	15.25	16.58	16.89	16.36
	悪性	4.98	5.78	4.58	4.70	5.15	5.11	6.10	7.07	8.39	7.95	5.37	5.78	4.98	5.15	5.39	5.50	6.61	7.79	9.21	8.85
10 群馬	総数	13.90	13.80	12.68	12.25	11.30	11.18	11.33	11.19	11.47	10.81	15.74	13.80	14.44	14.11	13.25	13.32	13.74	13.85	14.30	14.36
	悪性	6.95	6.39	5.97	6.28	5.52	5.63	7.07	7.20	7.98	7.74	7.44	6.39	6.50	6.58	6.19	6.33	7.65	8.04	8.94	8.77
11 埼玉	総数	11.94	11.98	11.80	11.24	11.64	11.19	11.63	11.83	11.82	11.54	13.05	11.98	12.95	12.49	12.98	12.75	13.58	13.95	14.18	13.99
	悪性	4.95	4.63	4.99	4.61	4.54	5.06	5.87	6.10	6.37	6.35	5.17	4.63	5.20	4.85	4.86	5.51	6.37	6.61	6.95	7.07
12 千葉	総数	13.66	13.89	13.90	13.25	13.20	13.16	13.40	13.92	13.97	14.06	14.52	13.89	15.00	14.35	14.52	14.83	15.09	15.83	16.18	16.48
	悪性	5.45	5.68	5.70	5.86	5.43	6.44	7.40	7.90	8.81	8.84	5.72	5.68	5.96	6.09	5.80	6.92	7.96	8.43	9.48	9.67
13 東京	総数	12.37	12.76	13.16	12.89	13.17	13.38	14.59	15.08	15.28	16.15	13.71	12.76	14.68	14.66	15.04	15.60	16.78	17.78	18.50	19.72
	悪性	6.05	6.82	7.30	6.72	6.89	8.53	9.16	10.05	10.45	11.07	6.36	6.82	7.65	7.18	7.38	9.16	9.92	10.96	11.55	12.27
14 神奈川	総数	12.73	12.74	12.28	12.28	12.46	12.59	13.24	14.25	14.03	14.35	13.92	12.74	13.60	13.86	14.15	14.47	15.32	16.85	17.32	18.14
	悪性	4.66	5.17	4.85	5.26	5.32	6.28	7.28	8.57	8.94	9.80	4.89	5.17	5.12	5.51	5.70	6.77	7.91	9.39	9.88	10.95
15 新潟	総数	18.75	17.70	16.66	15.88	14.48	14.57	13.78	13.86	12.59	12.50	21.25	17.70	19.40	18.86	17.32	17.75	17.32	18.03	16.86	17.35
	悪性	7.77	7.58	6.65	6.15	5.61	5.52	5.38	5.62	5.52	5.24	8.33	7.58	7.22	6.93	6.37	6.29	6.13	6.53	6.56	6.36
16 富山	総数	13.53	12.59	11.17	10.26	10.09	9.86	10.01	10.17	10.29	11.06	16.10	12.59	13.30	12.59	12.25	12.47	12.71	13.17	14.16	14.80
	悪性	5.11	6.00	4.81	4.03	4.36	4.53	4.56	5.25	6.24	6.44	5.79	6.00	5.20	4.45	4.83	5.04	5.16	6.17	7.02	7.23
17 石川	総数	13.75	13.03	12.87	11.10	10.82	9.47	9.91	10.14	9.97	9.47	15.68	13.03	14.98	13.45	13.15	12.54	12.87	13.22	13.44	13.17
	悪性	4.65	4.39	4.22	3.87	4.29	3.07	3.13	4.05	4.66	4.42	5.10	4.39	5.05	4.45	4.90	3.74	4.09	4.84	5.87	5.58
18 福井	総数	14.13	14.10	13.53	12.43	11.66	12.53	11.74	11.83	11.05	10.30	17.45	14.10	16.84	15.99	15.14	16.17	15.46	15.96	15.30	14.93
	悪性	6.75	7.61	6.61	7.66	4.46	6.26	6.63	6.92	6.70	6.10	7.58	7.61	7.33	8.42	5.98	6.94	7.99	8.15	8.02	7.03
19 山梨	総数	16.10	15.39	13.28	12.94	12.21	12.08	11.35	12.57	12.39	12.52	19.05	15.39	15.44	15.17	14.63	14.63	14.46	16.28	17.03	17.33
	悪性	8.04	9.43	7.18	7.64	6.51	6.23	6.48	6.90	6.83	7.71	8.42	9.43	7.68	7.99	7.40	6.93	7.20	7.80	8.21	9.27

		自宅（%）										自宅＋老人ホーム									
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
20 長野	総数	18.74	17.43	16.57	15.46	14.60	13.70	13.58	14.93	14.30	13.57	23.39	17.43	20.67	20.08	19.50	18.74	18.78	20.95	20.50	20.23
	悪性	10.42	10.26	9.38	9.75	8.29	7.87	7.96	9.89	9.86	9.27	11.25	10.26	10.17	10.56	9.43	9.13	9.08	11.21	11.33	11.04
21 岐阜	総数	16.95	16.11	15.02	13.92	13.62	13.28	12.52	12.97	12.99	13.53	18.20	16.11	16.30	15.51	15.34	15.10	14.64	15.72	15.79	16.80
	悪性	8.43	8.13	7.74	7.85	7.84	7.99	8.14	8.76	8.96	9.52	8.64	8.13	7.99	8.23	8.32	8.36	8.69	9.44	9.73	10.32
22 静岡	総数	16.00	15.52	14.82	13.52	13.04	13.14	13.26	14.19	14.28	13.85	18.64	15.52	17.59	16.49	16.06	16.52	17.23	18.35	18.88	19.26
	悪性	7.21	6.59	6.05	5.87	5.45	6.71	7.11	8.26	8.46	9.22	7.64	6.59	6.55	6.47	6.18	7.53	8.26	9.28	9.55	10.54
23 愛知	総数	12.81	12.89	12.57	11.69	11.40	11.44	11.49	12.20	11.93	12.07	13.63	12.89	13.53	12.67	12.63	12.94	13.32	14.41	14.59	15.20
	悪性	4.93	5.27	4.59	4.56	4.71	5.14	5.86	6.67	6.04	6.16	5.12	5.27	4.80	4.75	5.00	5.59	6.36	7.37	6.86	7.14
24 三重	総数	16.92	16.44	15.66	14.76	13.87	14.32	13.34	13.87	13.45	13.32	19.81	16.44	18.33	17.57	16.66	17.26	16.71	17.58	17.27	17.58
	悪性	7.71	7.09	7.24	6.44	5.96	7.38	6.94	7.72	7.65	8.66	8.30	7.09	7.69	6.99	6.87	8.01	7.74	8.73	8.70	9.83
25 滋賀	総数	17.29	16.27	16.04	14.30	14.21	14.62	13.94	15.42	14.57	15.16	18.83	16.27	17.38	15.85	16.01	16.70	16.20	17.83	17.28	18.32
	悪性	7.95	7.12	7.01	6.17	5.57	7.33	6.61	8.17	6.67	7.77	8.46	7.12	7.21	6.57	6.08	7.89	7.51	9.05	7.27	8.67
26 京都	総数	14.96	14.75	14.40	13.91	13.76	13.83	14.60	14.57	14.07	14.56	17.24	14.75	16.37	16.20	16.19	16.27	17.34	17.58	17.58	17.99
	悪性	6.13	6.44	6.45	6.78	6.62	7.25	7.85	8.31	8.25	9.52	6.71	6.44	6.91	7.30	7.29	8.09	8.71	9.16	9.29	10.35
27 大阪	総数	14.21	14.37	14.32	13.94	14.31	14.16	14.90	15.46	14.67	15.44	15.18	14.37	15.43	15.18	15.74	15.90	16.71	17.61	17.14	18.18
	悪性	5.14	5.67	5.78	5.77	6.12	6.65	7.46	7.97	7.96	8.50	5.35	5.67	6.05	5.98	6.53	7.15	8.06	8.65	8.67	9.42
28 兵庫	総数	15.52	15.59	14.70	14.19	14.47	14.26	14.41	15.28	14.93	15.42	17.57	15.59	16.86	16.60	16.99	17.09	17.51	19.06	19.00	19.80
	悪性	7.82	8.62	7.67	7.58	8.28	8.86	9.62	10.89	10.91	11.60	8.37	8.62	8.10	8.28	9.00	9.70	10.62	12.09	12.15	12.79
29 奈良	総数	16.90	16.41	16.43	16.22	16.75	16.46	15.95	15.75	15.70	16.39	19.25	16.41	18.53	18.87	19.22	18.99	19.05	19.43	19.20	20.21
	悪性	8.67	8.38	8.74	9.47	9.70	10.00	10.27	10.33	11.78	12.88	9.15	8.38	9.29	10.10	10.18	10.51	11.23	10.98	12.76	13.82
30 和歌山	総数	18.18	17.08	16.83	16.44	15.03	14.50	14.26	14.96	13.67	13.80	21.90	17.08	20.70	20.08	18.68	18.11	18.27	19.22	18.25	18.58
	悪性	9.83	9.79	10.39	10.60	9.47	9.63	10.61	10.54	9.93	11.22	10.74	9.79	11.04	11.53	10.42	10.67	11.64	11.53	10.78	12.67
31 鳥取	総数	15.17	14.58	13.93	13.09	13.49	13.69	13.30	13.71	12.49	12.31	17.90	14.58	16.89	16.45	17.17	17.40	17.12	18.45	17.57	18.15
	悪性	7.51	7.08	7.05	6.10	6.94	7.54	7.79	7.59	5.70	7.05	8.43	7.08	7.64	6.59	7.55	8.36	9.37	9.16	7.21	8.94
32 島根	総数	14.94	14.37	14.01	13.71	12.80	12.30	12.34	11.95	11.86	11.44	18.72	14.37	17.76	17.63	16.61	16.36	16.40	16.42	17.36	17.82
	悪性	7.24	7.03	6.62	7.34	6.81	6.31	6.88	8.33	6.21	6.59	8.28	7.03	7.36	8.16	7.86	7.78	7.96	10.14	7.78	8.48
33 岡山	総数	13.98	13.69	12.98	12.12	11.69	11.13	11.24	11.60	10.85	11.03	16.88	13.69	15.53	14.75	14.72	14.11	14.42	14.88	14.55	14.85
	悪性	6.48	7.02	7.01	6.18	5.43	5.00	5.62	6.25	6.06	6.20	7.19	7.02	7.54	6.84	6.19	5.75	6.49	7.38	6.91	7.34
34 広島	総数	13.98	13.42	12.66	12.47	12.02	12.47	12.47	12.25	12.26	11.94	17.26	13.42	16.15	15.72	15.57	16.15	16.46	16.57	16.92	17.04
	悪性	7.06	7.05	5.76	5.90	5.73	6.41	6.35	6.39	6.47	6.66	7.87	7.05	6.62	6.79	6.45	7.44	7.31	7.56	7.83	7.99
35 山口	総数	10.86	11.35	11.80	10.87	11.12	10.95	10.82	10.67	10.81	10.59	13.79	11.35	14.43	13.83	14.21	14.01	13.77	14.00	14.32	13.96
	悪性	4.47	4.25	4.97	4.39	4.79	4.53	5.27	4.60	4.98	6.05	5.03	4.25	5.51	5.11	5.29	4.96	5.85	5.59	5.63	6.89
36 徳島	総数	12.45	12.95	11.85	11.03	11.20	10.72	10.40	10.50	10.05	9.93	16.37	12.95	15.49	14.68	14.60	14.24	13.67	13.70	13.71	13.89
	悪性	8.00	6.50	6.96	5.59	6.04	5.49	6.90	6.58	5.77	6.19	8.90	6.50	7.84	6.39	6.87	6.34	7.94	7.47	7.00	7.33
37 香川	総数	14.72	13.77	14.19	12.28	11.20	11.00	10.75	12.18	10.91	12.27	18.05	13.77	17.35	15.42	14.40	14.31	13.76	15.85	15.38	16.96
	悪性	7.72	8.59	7.97	6.32	5.74	6.08	6.38	7.68	6.45	7.33	8.61	8.59	8.83	7.28	6.69	7.22	7.48	8.91	7.82	9.26
38 愛媛	総数	15.04	14.81	14.19	12.70	12.81	12.41	12.77	12.35	12.33	13.22	16.93	14.81	16.30	14.63	14.83	14.40	14.81	14.82	14.74	16.09
	悪性	6.92	7.06	7.67	5.96	7.06	7.12	8.06	7.70	8.04	9.69	7.32	7.06	8.09	6.52	7.70	7.86	8.83	8.67	8.92	10.75
39 高知	総数	11.15	11.32	10.54	9.99	10.03	9.71	10.51	10.18	10.48	10.77	12.57	11.32	11.55	10.96	11.10	10.64	11.85	11.73	11.97	12.42
	悪性	5.39	5.25	4.65	4.05	3.68	4.67	4.27	5.90	5.82	7.41	5.69	5.25	4.88	4.30	3.84	5.03	4.43	6.37	6.21	7.72
40 福岡	総数	9.93	10.04	9.91	9.39	9.08	9.13	8.69	8.94	8.45	8.65	11.33	10.04	11.27	10.80	10.47	10.54	10.38	10.71	10.39	10.74
	悪性	4.88	4.83	5.29	4.70	4.15	4.68	4.65	4.90	4.89	5.11	5.13	4.83	5.53	5.08	4.54	5.11	5.29	5.71	5.56	5.88

		自宅（%）										自宅＋老人ホーム									
		H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22
41 佐賀	総数	11.79	10.73	9.61	10.03	10.20	8.06	8.24	9.21	8.09	8.02	15.19	10.73	12.63	12.89	12.68	10.77	11.51	12.38	11.35	11.28
	悪性	6.11	5.84	4.42	5.59	4.98	3.96	4.61	4.92	4.57	5.20	7.02	5.84	5.00	6.27	5.76	4.64	5.50	5.80	5.21	6.08
42 長崎	総数	9.65	9.82	8.99	8.95	8.75	8.63	8.59	9.02	8.84	9.03	12.52	9.82	11.81	11.77	11.44	11.73	11.53	12.15	12.54	13.01
	悪性	4.65	4.78	4.57	4.25	4.19	4.67	5.90	7.56	6.85	6.93	5.11	4.78	5.31	4.78	4.84	5.50	6.77	8.53	7.92	7.97
43 熊本	総数	10.20	10.22	10.10	9.58	9.49	9.54	9.61	9.69	9.25	8.64	13.59	10.22	13.13	12.82	12.86	12.99	13.01	13.42	13.32	13.08
	悪性	5.99	6.24	5.26	5.25	4.60	5.30	5.77	5.68	4.61	4.85	6.89	6.24	5.93	6.03	5.41	6.12	6.55	6.55	5.68	6.05
44 大分	総数	11.62	11.45	10.38	9.53	9.52	9.30	8.98	8.95	8.78	8.75	15.73	11.45	13.53	13.25	13.03	13.16	13.06	13.61	13.98	14.30
	悪性	5.54	5.53	4.87	4.14	3.87	4.90	4.56	4.28	5.61	5.61	6.92	5.53	5.47	4.79	4.50	6.03	5.89	5.69	7.56	7.25
45 宮崎	総数	12.43	11.33	11.69	10.23	11.10	10.74	10.10	9.56	9.08	8.91	14.63	11.33	13.96	12.59	13.59	13.61	13.12	12.99	13.15	13.05
	悪性	7.40	7.73	8.00	6.81	7.43	7.49	6.20	5.87	6.07	6.33	7.80	7.73	8.43	7.52	8.10	8.55	7.25	7.02	7.45	7.56
46 鹿児島	総数	11.70	11.23	10.76	9.96	9.85	10.16	9.88	9.71	8.89	9.06	14.80	11.23	13.66	13.10	13.15	13.20	12.77	13.05	12.17	12.41
	悪性	8.70	8.18	7.33	7.17	6.54	7.18	7.48	6.62	6.50	7.01	9.45	8.18	8.10	7.96	7.47	8.27	8.65	8.05	7.63	8.20
47 沖縄	総数	12.33	12.99	13.27	11.84	11.67	12.98	11.85	12.32	12.50	11.93	14.79	12.99	15.33	13.70	13.34	14.69	13.79	14.21	14.81	14.03
	悪性	8.00	8.46	7.66	7.03	6.80	6.19	5.74	7.07	7.04	7.18	8.84	8.46	8.26	7.75	7.35	6.70	6.58	7.80	8.10	7.72

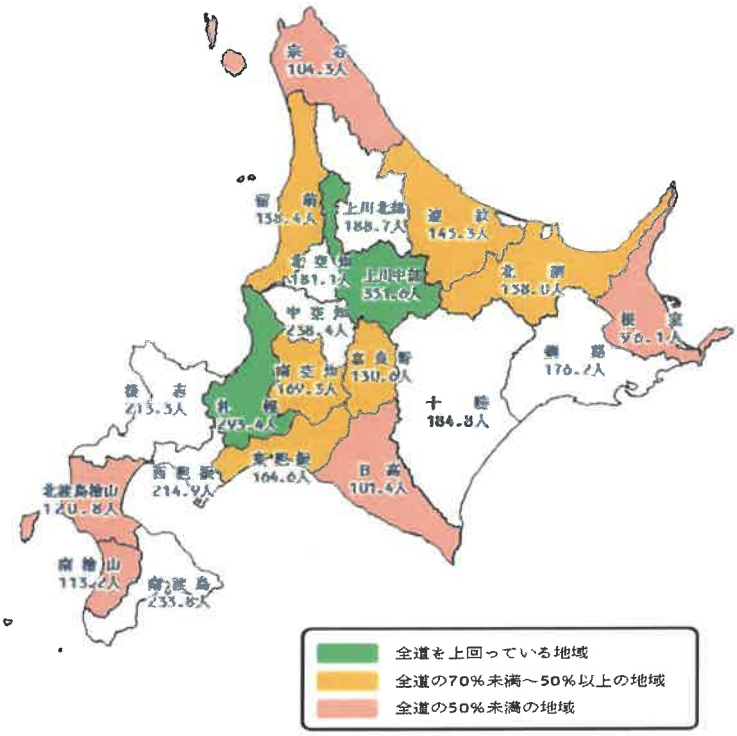
2　二次医療圏毎の医師数の状況

○　本道における平成30年（2018年）の人口10万人当たりの医師数は、243.1人となっており、全国平均の246.7人に近い水準となっていますが、二次医療圏毎の人口10万人当たりの医師数を比較すると、２圏域（上川中部圏域、札幌圏域）を除く19圏域で全国平均値を下回っている状況です。

また、二次医療圏別で比較すると、全道平均値の50％未満となっている圏域が５圏域（北渡島檜山圏域、南檜山圏域、宗谷圏域、日高圏域、根室圏域）あります。

	圏域名	人口10万対医師数	全道との比較
1	上川中部	351.6	144.6%
2	札幌	293.4	120.7%
3	中空知	238.4	98.1%
4	南渡島	233.8	96.2%
5	西胆振	214.9	88.4%
6	後志	213.3	87.7%
7	上川北部	188.7	77.6%
8	十勝	184.8	76.0%
9	北空知	181.1	74.5%
11	釧路	176.2	72.5%
10	南空知	169.3	69.6%
12	東胆振	164.6	67.7%
13	北網	158.0	65.0%
14	遠紋	145.3	59.8%
15	留萌	138.4	56.9%
16	富良野	130.6	53.7%
17	北渡島檜山	120.8	49.7%
18	南檜山	113.2	46.6%
19	宗谷	104.3	42.9%
20	日高	101.4	41.7%
21	根室	96.1	39.5%
全道		243.1	100.0%
全国		246.7	101.5%

＊厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師統計（調査）」



3　医師養成数の推移等

○　道内医育大学の入学定員の合計は、平成元年度（1989年度）から平成19年度（2007年度）まで、300人で推移し、平成20年度（2008年度）以降、国の「緊急医師確保対策」等により、恒久定員の増員のほか、臨時定員の増員が行われ、令和元年度（2019年度）では339人、令和２年度（2020年度）では327人となります。

○　全国の医学部入学定員の合計は、平成19年度（2007年度）で7,625人となっていましたが、平成20年度（2008年度）以降、医学部の新設や増員が行われ、令和元年度（2019年度）には、過去最大規模となる9,420人となっています。一方、国においては、「経済財政運営と改革の基本方針2018」により令和４年度（2022年度）以降については、医学部定員の減員に向け、医師養成数の方針について検討することとしています。

1. 二次・三次医療圏別医療施設従事医師数の推移

（単位：人）

区分	平成10年	平成12年	平成14年	平成16年	平成18年	平成20年	平成22年	平成24年	平成26年	平成28年	平成30年
全国	236,933	243,201	249,574	256,668	263,540	271,897	280,431	288,850	296,845	304,759	311,963
全道	10,519	10,921	11,228	11,490	11,579	11,830	12,019	12,262	12,431	12,755	12,848
南渡島	797	825	827	856	866	868	872	867	848	872	856
南檜山	37	37	40	39	37	31	30	28	29	28	25
北渡島檜山	53	66	63	60	55	47	50	46	49	48	42
道南	887	928	930	955	958	946	952	941	926	948	923
札幌	4,964	5,116	5,339	5,589	5,718	5,991	6,196	6,449	6,626	6,853	6,959
後志	478	483	495	465	451	419	408	408	419	432	435
南空知	317	317	312	305	299	301	287	273	268	273	267
中空知	242	236	245	238	242	247	243	249	249	251	246
北空知	73	77	75	71	76	69	69	69	63	56	56
西胆振	368	462	470	482	450	399	411	412	432	416	389
東胆振	283	289	312	315	325	342	327	336	333	342	341
日高	89	93	91	92	86	79	77	70	74	67	66
道央	6,814	7,073	7,339	7,557	7,647	7,847	8,018	8,266	8,464	8,690	8,759
上川中部	1,094	1,124	1,180	1,187	1,199	1,238	1,259	1,252	1,260	1,316	1,341
上川北部	124	123	117	112	110	115	116	111	115	119	119
富良野	54	59	65	59	55	59	60	54	55	51	53
留萌	85	79	81	77	82	72	71	72	68	66	62
宗谷	86	81	82	77	71	65	67	64	65	57	66
道北	1,443	1,466	1,525	1,512	1,517	1,549	1,573	1,553	1,563	1,609	1,641
北網	328	344	327	335	350	360	343	346	320	327	338
遠紋	126	122	120	120	107	95	100	97	93	100	96
オホーツク	454	466	447	455	457	455	443	443	413	427	434
十勝	451	503	506	511	539	567	561	588	582	616	621
十勝	451	503	506	511	539	567	561	588	582	616	621
釧路	411	414	401	418	389	394	396	395	403	388	400
根室	59	71	80	82	72	72	76	76	80	77	70
釧路・根室	470	485	481	500	461	466	472	471	483	465	470
	二次医療圏	三次医療圏									

２）都道府県版　※暫定値（精査中）

都道府県	供給推計（都道府県報告）	供給推計（指数平滑法）	需要推計			需要推計（①～③）と供給推計（都道府県報告）の差						（参考）需要推計都道府県報告（計数等処理前）
			シナリオ①	シナリオ②	シナリオ③	シナリオ①		シナリオ②		シナリオ③		
北海道	96, 056	93, 436	102, 981	103, 906	110, 598	6, 925	93. 3%	7, 850	92. 4%	14, 542	86. 9%	98, 548
青森	20, 217	19, 701	20, 293	20, 475	21, 794	76	99. 6%	258	98. 7%	1, 577	92. 8%	19, 537
岩手	18, 022	18, 136	18, 462	18, 628	19, 827	440	97. 6%	606	96. 7%	1, 805	90. 9%	17, 483
宮城	29, 904	33, 660	32, 042	32, 330	34, 412	2, 138	93. 3%	2, 426	92. 5%	4, 508	86. 9%	30, 335
秋田	18, 966	18, 624	15, 723	15, 864	16, 886	△ 3, 243	120. 6%	△ 3, 102	119. 6%	△ 2, 080	112. 3%	14, 834
山形	17, 694	17, 510	16, 511	16, 660	17, 733	△ 1, 183	107. 2%	△ 1, 034	106. 2%	39	99. 8%	15, 686
福島	28, 917	25, 999	27, 889	28, 140	29, 952	△ 1, 028	103. 7%	△ 777	102. 8%	1, 035	96. 5%	26, 671
茨城	37, 912	33, 355	38, 741	39, 089	41, 606	829	97. 9%	1, 177	97. 0%	3, 694	91. 1%	37, 311
栃木	27, 063	26, 702	25, 801	26, 032	27, 709	△ 1, 262	104. 9%	△ 1, 031	104. 0%	646	97. 7%	24, 907
群馬	28, 720	33, 253	27, 910	28, 160	29, 974	△ 810	102. 9%	△ 560	102. 0%	1, 254	95. 8%	27, 073
埼玉	78, 416	88, 897	90, 907	91, 723	97, 630	12, 491	86. 3%	13, 307	85. 5%	19, 214	80. 3%	87, 082
千葉	70, 538	70, 533	78, 688	79, 394	84, 508	8, 150	89. 6%	8, 856	88. 8%	13, 970	83. 5%	76, 081
東京	140, 708	160, 312	181, 147	182, 772	194, 544	40, 439	77. 7%	42, 064	77. 0%	53, 836	72. 3%	173, 941
神奈川	85, 084	83, 018	116, 095	117, 137	124, 681	31, 011	73. 3%	32, 053	72. 6%	39, 597	68. 2%	109, 970
新潟	36, 280	34, 042	32, 671	32, 964	35, 087	△ 3, 609	111. 0%	△ 3, 316	110. 1%	△ 1, 193	103. 4%	30, 984
富山	18, 881	19, 413	16, 825	16, 976	18, 069	△ 2, 056	112. 2%	△ 1, 905	111. 2%	△ 811	104. 5%	16, 031
石川	20, 892	21, 305	19, 522	19, 698	20, 966	△ 1, 370	107. 0%	△ 1, 194	106. 1%	74	99. 6%	18, 517
福井	13, 013	12, 809	13, 084	13, 202	14, 052	71	99. 5%	189	98. 6%	1, 039	92. 6%	12, 517
山梨	12, 008	11, 499	11, 600	11, 705	12, 458	△ 408	103. 5%	△ 303	102. 6%	450	96. 4%	11, 024
長野	30, 109	32, 928	30, 545	30, 819	32, 804	437	98. 6%	711	97. 7%	2, 696	91. 8%	29, 001
岐阜	26, 172	26, 849	26, 764	27, 004	28, 743	592	97. 8%	832	96. 9%	2, 571	91. 1%	25, 518
静岡	43, 596	43, 160	46, 628	47, 046	50, 076	3, 032	93. 5%	3, 450	92. 7%	6, 480	87. 1%	44, 360
愛知	88, 005	96, 249	94, 424	95, 272	101, 408	6, 419	93. 2%	7, 267	92. 4%	13, 403	86. 8%	89, 973
三重	24, 592	26, 239	23, 787	24, 001	25, 547	△ 805	103. 4%	△ 591	102. 5%	955	96. 3%	22, 593
滋賀	18, 057	20, 298	18, 766	18, 934	20, 154	709	96. 2%	877	95. 4%	2, 097	89. 6%	17, 672
京都	41, 937	43, 011	42, 540	42, 922	45, 687	603	98. 6%	985	97. 7%	3, 750	91. 8%	41, 609
大阪	108, 938	116, 435	144, 367	145, 663	155, 044	35, 429	75. 5%	36, 725	74. 8%	46, 106	70. 3%	138, 610
兵庫	76, 579	73, 694	80, 238	80, 959	86, 173	3, 659	95. 4%	4, 380	94. 6%	9, 594	88. 9%	77, 723

都道府県	供給推計（都道府県報告）	供給推計（指数平滑法）	需要推計			需要推計（①～③）と供給推計（都道府県報告）の差						（参考）需要推計 都道府県報告（計数等処理前）
			シナリオ①	シナリオ②	シナリオ③	シナリオ①		シナリオ②		シナリオ③		
奈良	18,333	18,462	20,127	20,308	21,616	1,794	91.1%	1,975	90.3%	3,283	84.8%	19,507
和歌山	15,055	13,643	15,363	15,500	16,499	308	98.0%	445	97.1%	1,444	91.2%	14,557
鳥取	10,401	11,123	10,424	10,517	11,195	23	99.8%	116	98.9%	794	92.9%	9,959
島根	12,327	13,661	11,869	11,975	12,746	△ 458	103.9%	△ 352	102.9%	419	96.7%	11,212
岡山	28,894	34,294	28,461	28,716	30,566	△ 433	101.5%	△ 178	100.6%	1,672	94.5%	29,763
広島	45,100	47,880	45,128	45,533	48,466	28	99.9%	433	99.0%	3,366	93.1%	43,069
山口	25,313	28,555	23,814	24,028	25,575	△ 1,499	106.3%	△ 1,285	105.3%	262	99.0%	22,821
徳島	14,404	14,057	13,953	14,078	14,985	△ 451	103.2%	△ 326	102.3%	581	96.1%	13,229
香川	17,232	17,923	16,199	16,344	17,397	△ 1,033	106.4%	△ 888	105.4%	165	99.1%	15,450
愛媛	23,673	24,976	22,996	23,202	24,696	△ 677	102.9%	△ 471	102.0%	1,023	95.9%	21,897
高知	15,656	15,772	15,536	15,676	16,685	△ 120	100.8%	20	99.9%	1,029	93.8%	14,531
福岡	86,521	84,867	92,292	93,120	99,117	5,771	93.7%	6,599	92.9%	12,597	87.3%	88,730
佐賀	16,789	19,176	14,411	14,541	15,477	△ 2,378	116.5%	△ 2,248	115.5%	△ 1,312	108.5%	13,735
長崎	25,702	29,224	26,129	26,363	28,061	427	98.4%	661	97.5%	2,359	91.6%	24,945
熊本	38,652	36,957	32,352	32,643	34,745	△ 6,300	119.5%	△ 6,009	118.4%	△ 3,907	111.2%	30,808
大分	22,584	23,754	22,089	22,287	23,722	△ 495	102.2%	△ 297	101.3%	1,138	95.2%	20,806
宮崎	20,241	24,174	19,147	19,319	20,564	△ 1,094	105.7%	△ 922	104.8%	323	98.4%	18,175
鹿児島	29,272	34,024	31,140	31,420	33,443	1,868	94.0%	2,148	93.2%	4,171	87.5%	29,679
沖縄	23,240	25,882	24,285	24,503	26,081	1,045	95.7%	1,263	94.8%	2,841	89.1%	23,158

※　平成３１年１月１７日に開催された第５回看護職員需給分科会において決定された「推計ツール」による推計方法に統一することで全国単位の共通軸で状況把握を行う必要から、その推計方法と異なる独自の推計をもって提出された都道府県分においては、国が数値を客観的に把握している事項について、補正した（該当都道府県の実提出データは巻末に後掲）。

とが見込まれる。

1）全国版 ※暫定値（精査中）

（実人員　単位：人）

	平成28年 ※1	令和7年（2025）年			
		都道府県報告値（係数等処理前）	シナリオ①	シナリオ②	シナリオ③
需要推計	**1,660,071**	**1,801,620**	**1,880,668**	**1,897,547**	**2,019,758**
病院＋有床診療所	1,346,366	972,849	1,015,301	1,024,413	1,090,390
精神病床		132,052	137,904	139,142	148,103
無床診療所		299,224	312,395	315,199	335,499
訪問看護事業所	46,977	112,558	117,502	118,556	126,192
（内訳）医療保険		26,523	27,691	27,939	29,739
介護保険		47,370	49,433	49,877	53,089
精神病床からの基盤整備		38,664	40,378	40,741	43,364
介護保険サービス等	149,683	187,413	195,692	197,448	210,165
学校養成所等	117,045	136,188	142,253	143,529	152,773
供給推計		**1,746,664**	**1,746,664～1,819,466**	**1,746,664～1,819,466**	**1,746,664～1,819,466**

※1　平成28年は看護職員就業者数（厚生労働省医政局看護課調べ）

令和2年3月25日

文部科学省
高等教育局長　伯井　美徳　殿

公益社団法人　日本看護協会
会 長　福井 トシ子

令和3年度予算・政策に関する要望書

わが国では少子超高齢化の進行、それに伴う患者像の複雑化に対応するため、地域包括ケアシステムの構築が急がれており、看護職に求められる役割や活躍の場がこれまで以上に拡大しています。社会からの期待に応えるためには、保健師・助産師・看護師ともに、さらなる専門性の発揮が必要です。

とりわけ、看護師には状況を的確に観察・判断し、状況に応じて適切に対応できる看護実践能力の向上が不可欠であり、基礎教育の強化は喫緊の課題です。

つきましては、大学における看護師の養成および大学院における保健師・助産師養成についてご尽力を賜りますよう要望いたします。

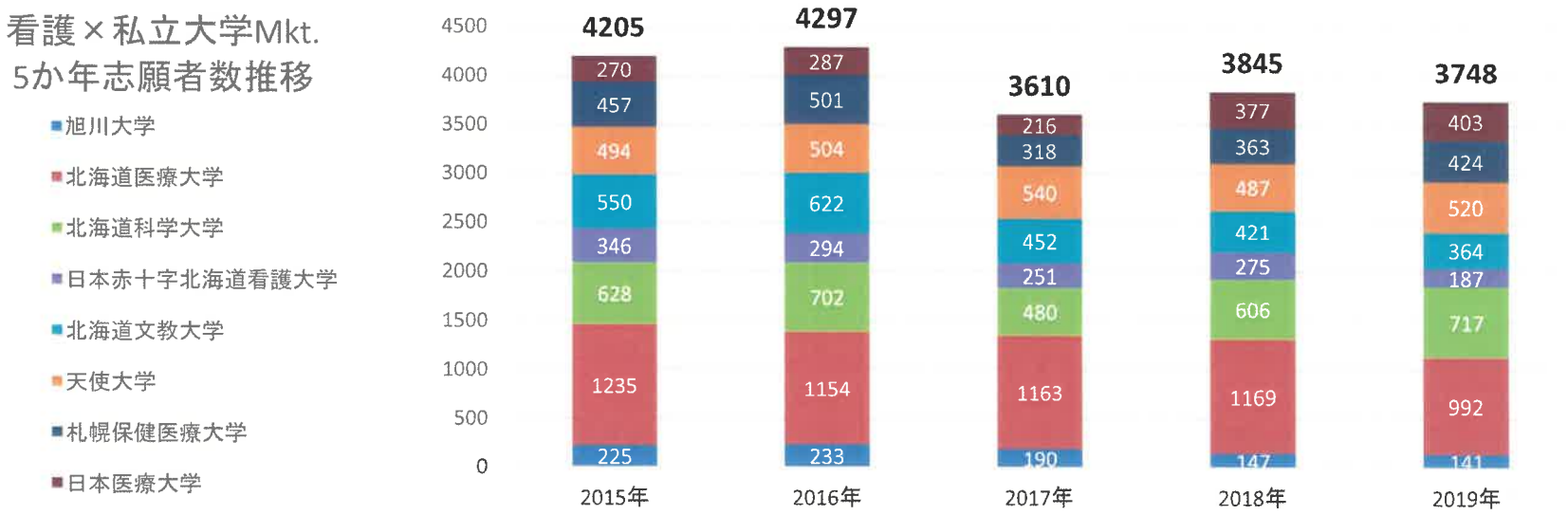
要 望 事 項

質の高い看護系人材の養成推進

資料１１

道内私立大学×志願者数×看護学科　志願者数・志願倍率

北海道内私立大学における延べ志願者数は、5年で約460名・11%の減少



大学	学部	学科・コース	学科設置年	2015年			2016年			2017年			2018年			2019年		
				募集人員	志願者数(合計)	志願倍率	募集人員	志願者数(合計)	志願倍率	募集人員	志願者数(合計)	志願倍率	募集人員	志願者数(合計)	志願倍率	募集人員	志願者数(合計)	志願倍率
旭川大学	保健福祉学部	保健看護学科	2008	60	225	3.8	60	233	3.9	60	190	3.2	60	147	2.5	60	141	2.4
北海道医療大学	看護福祉学部	看護学科	1993	100	1,235	12.4	100	1,154	11.5	100	1,163	11.6	100	1,169	11.7	100	992	9.9
北海道科学大学	保健医療学部	看護学科	2014	80	628	7.9	80	702	8.8	80	480	6	80	606	7.6	80	717	9
日本赤十字北海道看護大学	看護学部	看護学科	1999	100	346	3.5	100	294	2.9	100	251	2.5	100	275	2.8	100	187	1.9
北海道文教大学	人間科学部	看護学科	2008	80	550	6.9	80	622	7.8	80	452	5.7	80	421	5.3	80	364	4.6
天使大学	看護栄養学部	看護学科	2000	87	494	5.7	87	504	5.8	87	540	6.2	87	487	5.6	87	520	6
札幌保健医療大学	保健医療学部	看護学科	2013	100	457	4.6	100	501	5	100	318	3.2	100	363	3.6	100	424	4.2
日本医療大学	保健医療学部	看護学科	2014	80	270	3.4	80	287	3.6	80	216	2.7	80	377	4.7	100	403	4
		合計		687	4,205	6.1	687	4,297	6.3	687	3,610	5.3	687	3,845	5.6	707	3,748	5.3
		対2015年増減		-	-	-	0	92	-	0	△ 595	-	0	△ 360	-	20	△ 457	-

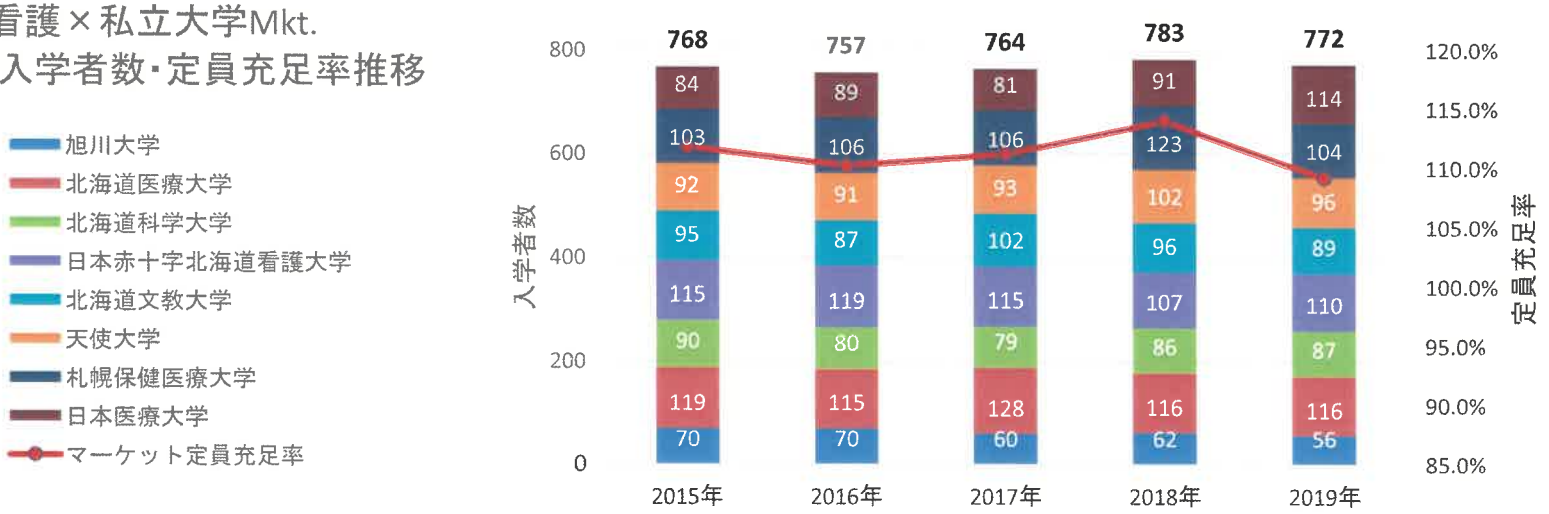
(C) Recruit Marketing Partners Co., Ltd. All rights reserved.

資料12

道内私立大学×志願者数×看護学科　募集人員・入学者数・定員充足率

北海道内私立大学における入学者数は、直近5年間横ばいで推移、安定的に定員を充足

看護×私立大学Mkt.
5か年入学者数・定員充足率推移



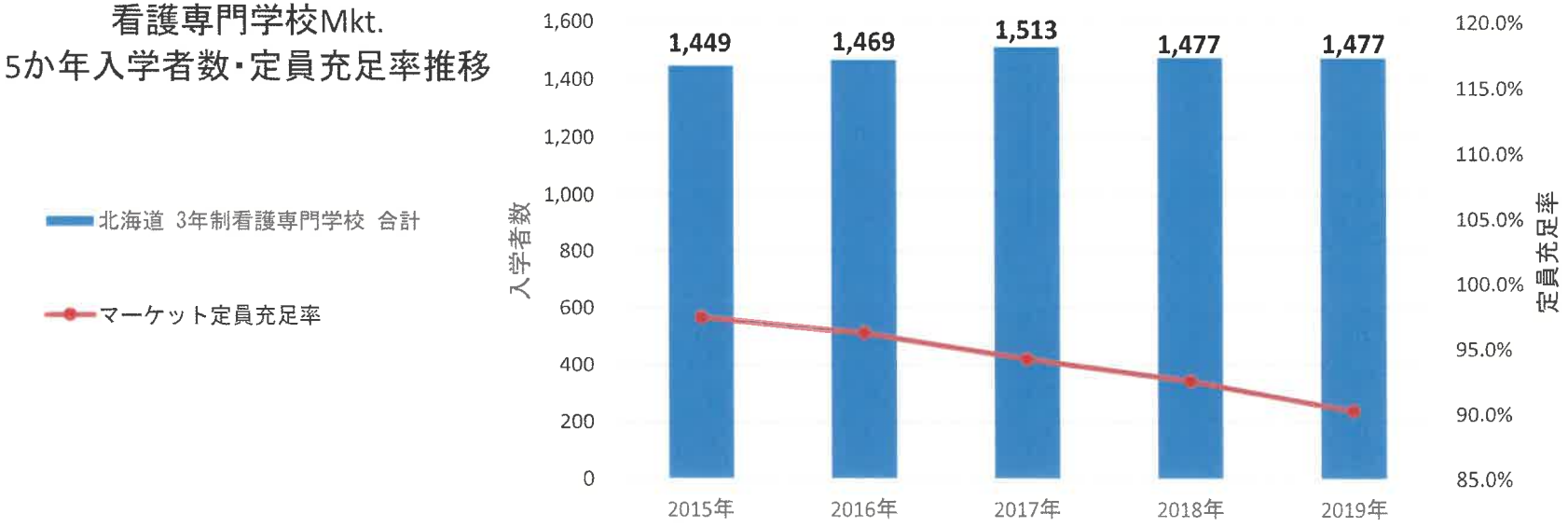
大学	学部	学科	学科設置年	2015年			2016年			2017年			2018年			2019年		
				募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率
旭川大学	保健福祉学部	保健看護学科	2008	60	70	116.7%	60	70	116.7%	60	60	100.0%	60	62	103.3%	60	56	93.3%
北海道医療大学	看護福祉学部	看護学科	1993	100	119	119.0%	100	115	115.0%	100	128	128.0%	100	116	116.0%	100	116	116.0%
北海道科学大学	保健医療学部	看護学科	2014	80	90	112.5%	80	80	100.0%	80	79	98.8%	80	86	107.5%	80	87	108.8%
日本赤十字北海道看護大学	看護学部	看護学科	1999	100	115	115.0%	100	119	119.0%	100	115	115.0%	100	107	107.0%	100	110	110.0%
北海道文教大学	人間科学部	看護学科	2008	80	95	118.8%	80	87	108.8%	80	102	127.5%	80	96	120.0%	80	89	111.3%
天使大学	看護栄養学部	看護学科	2000	87	92	105.7%	87	91	104.6%	87	93	106.9%	87	102	117.2%	87	96	110.3%
札幌保健医療大学	保健医療学部	看護学科	2013	100	103	103.0%	100	106	106.0%	100	106	106.0%	100	123	123.0%	100	104	104.0%
日本医療大学	保健医療学部	看護学科	2014	80	84	105.0%	80	89	111.3%	80	81	101.3%	80	91	113.8%	100	114	114.0%
		合計		687	768	111.8%	687	757	110.2%	687	764	111.2%	687	783	114.0%	707	772	109.2%
		対2015年増減		-	-	-	0	△ 11	-	0	△ 4	-	0	15	-	20	4	-

RECRUIT

(C) Recruit Marketing Partners Co., Ltd. All rights reserved.

道内専門学校×入学者数×看護学科　募集人員・入学者数・定員充足率

北海道内専門学校における入学者数は、直近５年間横ばいで推移。
新増設により定員充足率は低下傾向にあるが、90%超を維持



	2015年				2016年				2017年				2018年				2019年			
	学校数	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	学校数	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	学校数	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	学校数	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	学校数	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率
北海道 3年制看護専門学校 合計	35	1,487	1,449	97.4%	34	1,527	1,469	96.2 %	35	1,607	1,513	94.2 %	35	1,597	1,477	92.5 %	36	1,637	1,477	90.2%
対2015年増減	-	-	-	-	△ 1	40	20	-	0	120	64	-	0	110	28	-	1	150	28	-

(C) Recruit Marketing Partners Co., Ltd. All rights reserved.

（資料15）

令和元年度　求人票一覧　　（道内）

No.	受理NO	勤務地		受付年月日	施設名	人数	締切り	〒	住所	TEL・FAX	備考	医療施設コード7桁の数値	人数
1	300025	道南	函館市	5月21日	医療法人道南勤労者医療協会　函館稜北病院	２名	随時 既卒者もOK	041-0853	函館市中道２丁目５１番１号	0138-32-3664		14, 1415, 7	2
2	300026	全道		5月23日	北海道保健福祉部総務課総括ｸﾞﾙｰﾌﾟ	3名	既卒限定6/1	060-8588	札幌市中央区北3条西6丁目	011-204-5243	3名		0
3	300033	道央	札幌市	6月1日	船員保険北海道健康管理センター	1名	随時 既卒者限定	060-0002	札幌市中央区北2条西1丁目1番地ﾏﾙｲﾄ札幌ﾋﾞﾙ4F・5F	011-218-1655	1名	06, 1026, 8	0
4	300045	道央	岩見沢市	6月11日	医療法人社団GOZENごうだ整形外科	1名	随時	068-0853	岩見沢市大和3条9丁目16番	0126-32-5050		57, 1256, 4	1
5	300058	道北	旭川市	6月18日	医療法人社団　真佑会　旭川消化器肛門ｸﾘﾆｯｸ	1名	随時	071-8121	旭川市末広東1条3丁目	0166-54-1788		29, 1651, 5	1
6	300064	道北	富良野市	7月2日	北海道社会事業協会富良野協会病院	1名	随時	076-8765	富良野市住吉町1番３０号	0167-23-2181		30, 1110, 0	1
7	300067	道央	千歳市	7月2日	市立千歳市民病院	1名	10月11日	066-8550	千歳市北光2丁目1番1号	0123-24-3000	内線233	11, 1165, 4	1
8	300073	道北	旭川市	7月11日	医療法人回生会　大西病院	若干名	別途通知	070-0034	北海道旭川市4条通11丁目右3号	0166-26-2171	直通0166-26-2175	29, 1138, 3	1
9	300074	北海道東北	北海道・東北	7月11日	独立行政法人国立病院機構北海道東北ｸﾞﾙｰﾌﾟ	若干名	9月12日	983-0045	宮城県仙台市宮城野2-8-8	022-291-0439	9／29選考札幌、9/22選考仙台	80, 1002, 4	1
10	300076	道央	美唄市	7月18日	市立美唄病院	1名	随時	072-8555	美唄市西2条北1丁目1番1号	0126-63-4171		61, 1014, 9	1
11	300081	道北	北見市	7月25日	医療法人ｹｲ・ｱｲ　オホーツク海病院	2名	随時	099-2102	北見市端野町2区793-1	0157-67-6066		50, 1193, 4	2
12	300083	道南	函館市	8月1日	社会福祉法人　函館厚生院　函館五稜郭病院	若干名	事前ﾒｰﾙｴﾝﾄﾘｰ	040-8611	函館市五稜郭町38番3号	0138-51-2295	gby-jinji2@gobyou.co	14, 1003, 1	1
13	300088	道央	美唄市	8月3日	北海道せき損センター	1名	随時	072-0015	北海道美唄市東4条南１丁目3-1	0126-63-2151	総務課	61, 1014, 9	1
14	300091	道北	稚内市	8月9日	市立稚内病院	1名	8月29日	097-8555	稚内市中央4丁目11番6号	0162-23-2771	9/9試験	67, 1050, 0	1
15	300098	道東	北見市	8月22日	北見赤十字病院	3-4名	9月28日	090-8666	北見市北６条東１丁目１番地	0157-24-3115	10月中旬・下旬	50, 1007, 6	3
16	300099	道南	室蘭市	8月22日	市立室蘭総合病院	1名	9月28日	051-8512	室蘭市山手町3丁目8番1号	0143-25-3111	10/16試験	35, 1279, 2	1
17	300100	道東	帯広市	8月24日	社会医療法人　北斗病院	1名	11月30日	080-0833	帯広市稲田町基線7番地5	0155-48-8000	2次2/16	46, 1307, 8	1
18	300101	道南	苫小牧市	8月24日	医療法人　王子総合病院	2名	9月14日	053-8506	苫小牧市若草町3丁目4番8号	0144-32-8111		36, 1293, 1	2
19	300102	道南	伊達市	8月28日	総合病院　伊達赤十字病院	１名	随時	052-8511	伊達市末永町８１番地	0142-23-2211		37. 1001, 6	1

20	300103	道南	苫小牧市	8月22日	苫小牧日翔病院	若干名	随時	053-0803	苫小牧市八代町２丁目９番１３号	0144-72-7000		36, 1224, 6	1
21	300104	道南	函館市	8月28日	医療法人雄心会　函館新都市病院	１－２名	随時	041-0802	函館市石川町331番地1	0138-46-1321		14, 1598, 0	1
22	300105	道南	伊達市	8月29日	医療法人社団　いぶり腎泌尿器科ｸﾘﾆｯｸ	1名	随時	052-0022	伊達市梅本町2番地15	0142-21-1400		37、1155, 0	1
23	300106	道央	長沼町	8月29日	町立長沼病院	1名	10月5日	069-1332	夕張郡長沼町中央南2丁目2番1号	0123-88-2321		58, 1044, 2	1
24	300107	道南	八雲町	9月3日	八雲総合病院	1名（女）	9月30日	049-3197	北海道二海郡八雲町50番地	0137-63-2185		15, 1070, 7	1
25	300111	道南	函館市	9月12日	市立函館病院	1名	9月28日	041-8680	函館市港町1丁目10番1号	0138-43-2000	10／19試験	14, 1675, 6	1
26	300112	道北	旭川市	9月14日	旭川医科大学病院	若干名	11月2日	078-8510	旭川市緑ヶ丘東2条1丁目1番1号	0166-68-2123	11/19試験	80, 1021, 4	1
27	300113	道央	札幌市	9月26日	公益社団法人　北海道勤労者医療協会	3名	11月2日	003-0803	札幌市白石区菊水3条3丁目5井上ﾋﾞﾙ２階	011-812-0307	11/10試験	03, 1109, 9	3
28	300115	道央	札幌市	9月28日	市立札幌病院	1名	10月24日	060-8604	札幌市中央区北11条西13丁目	011-726-2211	内2121、11/4試験	01, 1638, 1	1
29	300118	道央	札幌市	10月5日	医療法人轍仁会　厚別耳鼻咽喉科病院	1名	随時	004-0065	札幌市厚別区西5乗1丁目16-22	011-894-7003		03, 1816, 9	1
30	300120	道央	札幌市	10月9日	公益財団法人　北海道労働保健管理協会	1名	随時	003-0024	札幌市白石区本郷通3丁目2番13号	011-862-5030		03, 1586, 8	1
31	300121	道東	北見市	10月10日	北見赤十字病院	3-4名	10月12日	090-8666	北見市北６条東１丁目１番地	0157-24-3115	10月中旬・下旬	50, 1007, 6	3
32	300122	道南	苫小牧市	10月10日	一般財団法人　苫小牧保健センター	1名	随時（11/30まで）	053-0018	苫小牧市旭町2丁目9番7号	0144-35-0001	赤字：訂正12月頃予定	36, 1161, 0	1
33	300125	道東	北見市	10月16日	社会医療法人耳鼻咽喉科麻生北見病院	１名	随時	090-0863	北見市東三輪2丁目54番地8	0157-23-4133		50, 1199, 1	1
34	300130	道央	札幌市	10月18日	KKR札幌医療センター	１名	10月31日	062-0931	札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40	011-822-1811		03, 1040, 6	1
35	300129	道東	北見市	10月18日	医療法人社団高翔会北星記念病院	１名	随時	090-0837	北見市中央三輪２丁目302番地1	0157-51-1234		50, 1276, 7	1
36	300132	道央	札幌市	10月29日	札幌医科大学附属病院	若干名	H30. 11. 20	060-8556	札幌市中央区南1条西17丁目	011-611-2111	内線21190	01, 1938, 5	1
37	300138	道央	札幌市	11月7日	公益財団法人　北海道がん協会	若干名	12月20日	065-0026	札幌市東区北26条東14丁目1番15号	011-748-5511	平成31年1月試験	02, 1669, 4	1
38	300140	道南	室蘭市	11月12日	社会医療法人母恋　日鋼記念病院	１名	随時	051-8501	室蘭市新富町１丁目５番13号	0143-24-1331		35, 1204, 0	1
39	300149	道東	帯広市	11月28日	医療法人社団博愛会　開西病院	1名	随時	080-2473	帯広市西23条南2丁目16番地27	0155-38-7104		46, 1323, 5	1
40	300150	道央	札幌市	11月28日	医療法人社団　仁秀会　白石整形外科	1名	随時		札幌市白石区中央2条4丁目1番2号	011-831-5799		03, 1893, 8	1
41	300154	道央	札幌市	12月12日	医療法人社団　石史山会　札幌スポーツクリニック	1名	随時	060-0041	札幌市中央区大通東4丁目1-19大通東やまむらセンタービル	011-281-8755	募集１～２名	06, 1178, 7	1

42	300157	道東	釧路市	12月25日	総合病院　釧路赤十字病院	1名	随時	085-8512	釧路市新栄町21番14号	0154-22-7171	乳腺撮影等	41, 1067, 9	1
43	300158	道央	札幌市	12月25日	社会医療法人　耳鼻咽喉科麻生病院	1名	1月20日	007-0840	札幌市東区北40条東1丁目1-7	011-731-4133	1/27選考	02, 1561, 3	1
44	300161	道央	新十津川町	1月9日	医療法人社団　和漢全人会　花月クリニック	1名	随時	073-1105	樺戸郡新十津川町字花月201-68	0125-74-2021		71, 1216, 9	1
45	300162	道南	登別市	1月9日	特定医療法人社団千寿会　三愛病院	1名	随時	059-0493	北海道登別市中登別町24番12	0143-83-1111		35, 1150, 5	1
46	300103	道央	札幌市	1月11日	KKR札幌医療センター	1名	1月31日	062-0931	札幌市豊平区平岸1条6丁目3-40	011-822-1811		03, 1040, 6	1
47	300164	道央	札幌市	1月18日	医療法人札幌ハートセンター札幌心臓血管クリニック	1名	随時	007-0849	札幌市東区北49条東16丁目18-1	011-784-7847		02, 1977, 1	1
48	300165	道南	函館市	1月23日	社会福祉法人函館共愛会　共愛会病院	1名	随時	040-8577	函館市中島町7番地21号	0138-51-2631	書類選考後後	14, 1141, 9	1
49	300166	道東	北見市	2月4日	社会医療法人明生会　道東脳神経外科病院	1名	随時		北見市美山町東2丁目68番地9	0157-89-0300	連絡の上随時	50, 1254, 4	1
50		道央	江別市	2月13日	江別市立病院	1名	3月22日	067-8585	北海道江別市若草町6番地	011-382-5151	3/27試験日	10, 1027, 8	1
51		道央	札幌市	3月1日	社会医療法人延山会　西成病院	1名	随時	006-0832	札幌市手稲区曙２－２－２	011-681-0111		04, 1509, 8	1
52		道央	恵庭市	3月4日	医療法人社団　我汝会　えにわ病院	1名	随時か？	061-1449	恵庭市黄金中央２丁目１番地1	0123-33-2333	？	12, 1078, 7	1
53		道央	札幌市	3月8日	医療法人三和会　札幌南整形外科病院	1名	随時	005-0033	札幌市南区南33条西11丁目4-1	011-581-2555	推薦1名予定	03, 1700, 5	1
54		道央	札幌市	3月13日	ていね整形外科リハビリクリニック	1名	随時？	006-0023	札幌市手稲区手稲本町3条3丁目7-30	011-683-3888		04, 1764, 9	1
55		道央	新十津川町	3月18日	医療法人社団　和漢全人会　花月クリニック	1名	随時	073-1105	樺戸郡新十津川町字花月201-68	0125-74-2021		71, 1216, 9	1
56													40

平成30年度　求人票一覧　　(道内)

No.	受理NO	勤務地		受付年月日	施設名	人数	締切り	〒	住所	TEL・FAX	備考	医療施設コード7桁の数値	人数
1	290009	道央	札幌市	H29.04.26.	新札幌循環器病院	1名	随時 既卒者OK	004-0052	札幌市厚別区厚別中央2条4丁目9-25	011-892-1556		03,1619,7	1
2	290013	道東	釧路市	H29.05.01.	道東勤労者医療協会	若干名	随時 既卒者OK	085-0055	釧路市治水町3-5	0154-25-6479		41,1183,4	1
3	290025	道内	北海道	H29.05.23.	北海道職員　保健所	2名	H29.06.02.	060-8588	札幌市中央区北3条西6丁目	011-204-5243		05,1147,4	2
4	290047	道東	帯広市	H29.06.20.	公立芽室病院	1名	H29.07.31.	082-0014	河西郡芽室町東4条3-5	0155-62-2811		47,1040,3	1
5	290050	道央	札幌市	H29.06.22.	イムス札幌消化器中央総合病院	若干名	H29.06.20.	063-0842	札幌市西区八軒2条西1丁目	011-621-1108		04,1245,9	1
6	290056	道央	砂川市	H29.06.26.	砂川市立病院	若干名	H29.08.10.	073-0196	砂川市西4条北3丁目1-1	0125-54-2131		71,1046,0	1
7	290069	道北	稚内市	H29.07.07.	稚内禎心会病院	2名	随時	097-0017	稚内市栄1丁目１	0162-29-4311		67,1160,7	2
8	290072	道東	釧路市	H29.07.07.	釧路協立病院	若干名	随時	085-0055	釧路市治水町3-5	0154-25-6479		41,1183,4	1
9	290074	道内	北海道	H29.05.23.	北海道職員　保健所2次募集	2名	H29.08.04.	060-8588	札幌市中央区北3条西6丁目	011-204-5243		05,1147,4	2
10	290077	道央	室蘭市	H29.07.14.	大川原脳神経外科病院	1名	随時	050-0082	室蘭市寿町1丁目10-1	0143-44-1519		35,1355,0	1
11	290079	道東	根室市	H29.07.18.	市立根室病院	1名	随時	087-8686	根室市有磯町1-2	0153-24-3201		42,1010,7	1
12	290080	道北	北見市	H29.07.19.	オホーツク勤労者医療協会	1名	随時	090-0817	北見市常磐町5-7-5	0157-26-1300		50,1206,4	1
13	290088	道南	函館市	H29.08.02.	函館整形外科クリニック	1名	10月末	041-0802	函館市石川町2-115	0138-34-5700		14,1799,4	1
14	290089	道央	苫小牧市	H29.08.04.	王子総合病院	2名	8月31日	053-8506	苫小牧市若草町3-4-8	0144-32-8111		36,1293,1	2
15	290090	道北	網走市	H29.08.04.	こが病院	1名	随時	093-0042	網走市字潮見153-1	0152-61-0101		53,1188,8	1
16	290096	道南	八雲町	H29.08.08.	八雲総合病院	1名	H29.09.30.	049-3197	二海郡八雲町東雲町50	0137-63-2185		15,1070,7	1
17	290097	道央	滝川市	H29.08.21.	滝川市立病院	1名	H29.12～	073-0022	滝川市大町2-2-34	0125-22-4311		75,1001,6	1
18	290100	道央	札幌市	H29.08.21.	北海道労働保険管理センター	2名	随時	003-0024	札幌市白石区本郷通3丁目南2-13	011-862-5030		03,1586,8	2
19	290106	道東	帯広市	H29.08.28.	北斗病院	1名	H29.12.01.	080-0833	帯広市稲田町基線7-5	0155-48-8000		46,1307,8	1

20	290110	道南	上磯木古内町	H29. 08. 28.	木古内町国民健康保険病院	1名	H29. 11. 30.	049-0422	上磯郡木古内町字本町710	01392-2-2313		15, 1348, 7	1
21	290112	道央	旭川市	H29. 08. 30.	旭川医科大学附属病院	若干名	H29. 10. 31.	078-8510	旭川市緑ヶ丘東2条1-1-1	0166-68-2123		80, 1021, 4	1
22	290114	道南	函館市	H29. 09. 01.	函館市　市立函館病院	若干名	H29. 09. 29.	041-8680	函館市港町1丁目10-1	0138-43-2000		14, 1675, 6	1
23	290116	道北	名寄市	H29. 09. 05.	名寄市立病院	1名	H29. 10. 10.	096-8511	名寄市西7条南8丁目１	01654-3-3101		32, 1143, 7	1
24	290117	道央	岩見沢市	H29. 09. 05.	岩見沢市立総合病院	若干名	H29. 10. 13.	068-8555	岩見沢市9条7丁目２	0126-22-1650		57, 1030, 3	1
25	290121	道央	札幌市	H29. 09. 11.	孝仁会　大野記念病院	3名	H29. 10. 20.	085-0062	釧路市愛国191-5718	0154-65-1275		04, 1875, 3	3
26	290122	道東	釧路市	H29. 09. 11.	孝仁会　釧路市内	若干名	H29. 10. 20.	085-0062	釧路市愛国191-5718	0154-65-1275		41, 1308, 7	1
27	290124	道央	室蘭市	H29. 09. 11.	製鉄記念室蘭病院	2名	H29. 10. 31.	050-0076	室蘭市知利別町1-45	0143-44-4650		35, 1251, 1	2
28	290128	道央	札幌市	H29. 09. 19.	北海道勤労者医療協会（勤医協病院）	若干名	H29. 10. 27.	003-0803	札幌市白石区菊水3条3丁目５	011-812-0307		03, 1109, 9	1
29	290130	道南	北海道内	H29. 09. 20.	道立病院　江差病院	1名	H29. 11. 22.	060-8558	札幌市中央区北3条西7丁目	011-204-5233		16, 1089, 5	1
30	290132	道東	根室市	H29. 09. 22.	市立根室病院	1名	H29. 10. 25.	087-8686	根室市有磯町1-2	0153-24-3201		42, 1010, 7	1
31	290133	道央	札幌市	H29. 09. 22.	北海道整形外科記念病院	1名	随時	062-0937	札幌市豊平区平岸7条13丁目5-22	011-812-7001		03, 1702, 1	1
32	290135	道南	八雲町	H29. 09. 27.	八雲総合病院	1名	H29. 10. 31.	049-3197	二海郡八雲町東雲町50	0137-63-2185		15, 1070, 7	1
33	290139	道央	札幌市	H29. 09. 28.	はらや整形外科医院	1名	随時		札幌市豊平区西岡5条1丁目6-28	011-836-1501		05, 1083, 1	1
34	290143	道央	札幌市	H29. 10. 02.	札幌医科大学病院	若干名	H29. 10. 31.	060-8556	札幌市中央区南１条西17丁目	011-611-2111		01, 1938, 5	1
35	290147	道南	函館市	H29. 10. 11.	平山医院	2名	随時	040-0036	函館市東雲町6-11	0138-22-4821		14, 1748, 1	2
36	290149	道南	函館市	H29. 10. 11.	函館渡邊病院	若干名	随時	042-8678	函館市湯川町1-31-1	0138-59-2221		14, 1040, 3	1
37	290150	道央	室蘭市	H29. 10. 12.	大川原脳神経外科病院	若干名	H29. 11. 17.	050-0082	室蘭市寿町1-10-1	0143-44-1519		35, 1355, 0	1
38	290152	道北	名寄市	H29. 10. 13.	吉田病院	1名	随時	096-0013	名寄市西3条南6丁目8-2	01654-3-3381		32, 1150, 2	1
39	290156	道央	江別市	H29. 10. 16.	江別谷藤病院	1名	随時	069-0812	江別市幸町22-1	011-382-5111		10, 1356, 1	1
40	290159	道南	函館市	H29. 10. 18.	秋山記念病院（産婦人科）	1名	随時	041-8502	函館市石川町41-9	0138-46-6660		14, 1732, 5	1
41	290167	道南	函館市	H29. 10. 30.	函館五稜郭病院	若干名	11月 HPでｴﾝﾄﾘｰ	040-8611	函館市五稜郭町38-3	0138-51-2295		14, 1003, 1	1

42	290169	道央	岩見沢市	H29.11.06.	ごうだ整形外科（クリニック）	1~2名	随時		岩見沢市大和3条9丁目16	0126-32-5050		57,1256,4	1
43	290170	道央	札幌市	H29.11.09.	北海道対がん協会	若干名	H29.12.28.	065-0026	札幌市東区北26条東14丁目1	011-748-5511		02,1669,4	1
44	290178	道東	釧路市	H29.11.22.	釧路労災病院	1名	随時	085-8533	釧路市中園町13-23	0154-22-7191		41,1068,7	1
45	290179	道央	室蘭市	H29.11.28.	大川原脳神経外科病院	若干名	H29.12.15.	050-0082	室蘭市寿町1-10-1	0143-44-1519		35,1355,0	1
46	290181	胆振	苫小牧市	H29.12.06.	同樹会苫小牧病院	1名	随時	053-0006	苫小牧市新中野町3-9-10	0144-36-1221		36,1202,2	1
47	290182	上川	旭川市	H29.12.06.	旭川医科大学附属病院	若干名	H30.01.04.	078-8510	旭川市緑ヶ丘東2条1-1-1	0166-68-2123		80,1021,4	1
48	290185	道東	帯広市	H29.12.12.	帯広徳州会病院	1名	随時	080-0302	河東郡音更町木野西通14-2-1	0155-32-3030		47,1288,8	1
49	290188	道央	余市町	H29.12.18.	余市協会病院	1名	早急に	046-0003	余市郡余市町黒川町19-1-1	0135-23-3126		25,1076,3	1
50	290191	道東	釧路市	H29.12.21.	道東勤労者医療協会	若干名	随時	085-0055	釧路市治水町3-5	0154-25-6479		03,1109,9	1
51	290201	道央	札幌市	H30.01.24.	ていね整形外科リハビリクリニック	1名	随時	006-0023	手稲区手稲本町3条3丁目7-30	011-683-3888		04,1764,9	1
52	290202	道央	江別市	H30.01.25.	医療法人渓和会　江別病院	1名	随時	069-0817	江別市野幌代々木町81-6	011-382-1111		10,1345,4	1
53	290207	道央	苫小牧市	H30.02.05.	苫小牧保健センター	1名	随時	053-0018	苫小牧市旭町2-9-7	0144-35-0001		36,1161,0	1
54	290208	道央	札幌市	H30.02.06.	厚別耳鼻咽喉科病院	1名	随時	004-0065	札幌市厚別区厚別西5条1-16-22	011-894-7003		03,1816,9	1
55	290213	道南	函館市	H30.02.19.	鈴木内科外科クリニック	1名	随時	040-0011	函館市本町5-11	0138-51-2165		14,1663,2	1
56	290215	道央	札幌市	H30.02.27.	母恋　天使病院	1名	随時	065-8611	札幌市東区北12条東3丁目1-1	011-711-0101		02,1775,9	1
57	290219	道央	苫小牧市	H30.02.07.	王子総合病院	1名	随時	053-8506	苫小牧市若草町3-4-8	0144-32-8111		36,1293,1	1
58	290220	道央	札幌市	H30.03.12.	医療法人　新産健会	若干名	随時	060-0042	札幌市中央区大通西1丁目14-2	011-215-1583		06,1212,4	1
59	290222	道北	北見市	H30.03.14.	道東脳神経外科病院	1名	随時	090-0069	北見市美山町東２丁目68-9	0157-69-0300		50,1254,4	1
60		道東	美幌町	H30.4.6	美幌町国保病院	1名	電話					52,1001,5	1
61											合計		45

平成29年度　求人票一覧　　（道内）

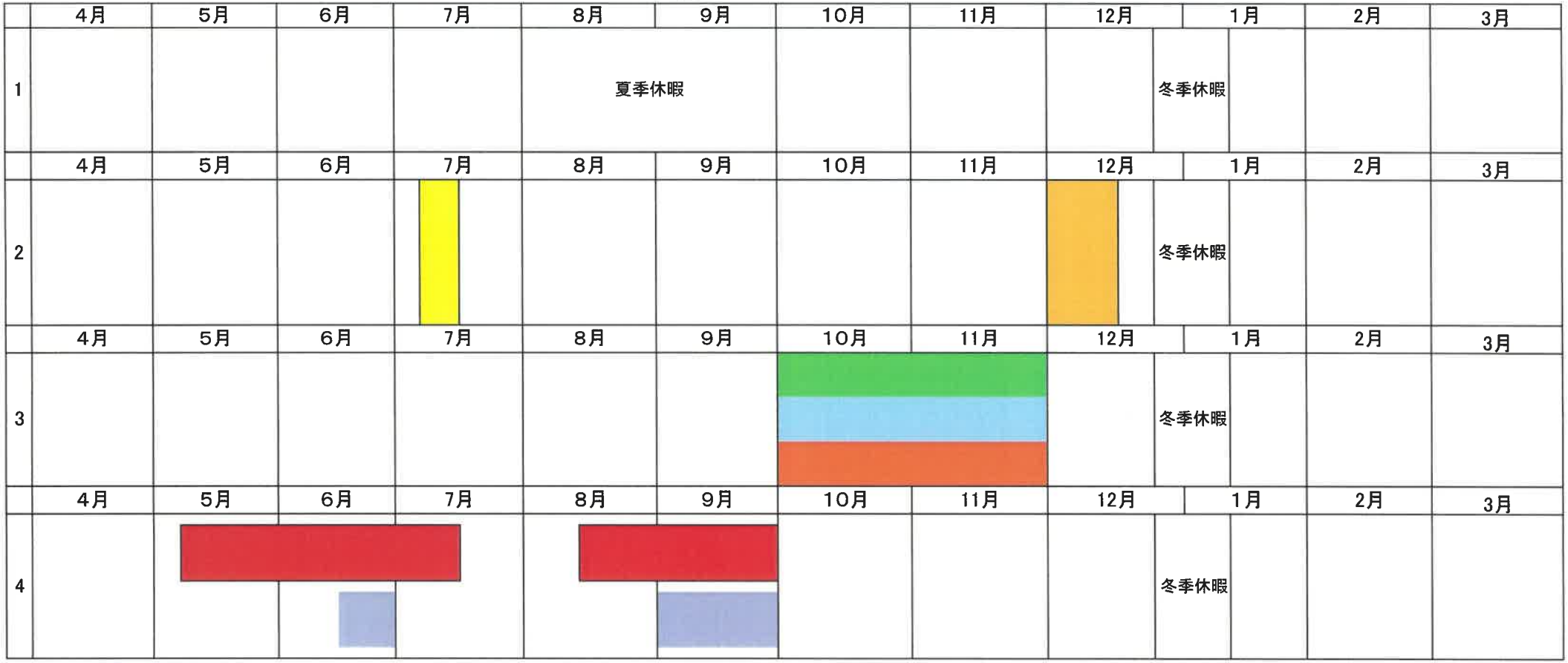
No.	受理NO	勤務地		受付年月日	施設名	人数	締切り	〒	住所	TEL・FAX	備考	医療施設コード7桁の数値	人数
1	280031	道北	北見市	H28.05.27.	道立北見病院	1名	H28.06.17.		申請は北海道ホームページ参照、北海道保健福祉部へ提出	011-231-4111			1
2	280034	道南	函館市	H28.05.30.	函館中央病院	若干名	H28.08～	040-8585	函館市本町33番2号	0138-52-1231			1
3	280042	道央	旭川市	H28.06.06.	旭川圭泉会病院	1名	随時	078-8208	旭川市東旭川町下兵村252	0166-36-1559			1
4	280044	道央	札幌市	H28.06.08.	イムス札幌消化器中央総合病院	若干名	H28.06.25.説明会	063-0842	札幌市西区八軒2条西4丁目説明会の一週間前までに応募	011-621-1108			1
5	280044	道北	稚内市	H28.06.09.	稚内貞心会病院	2名	随時	097-017	稚内市栄1丁目　24-1	0162-29-4311			2
6	280061	道央	札幌市	H28.06.21.	恵庭みどりのクリニック	1名	随時	061-1442	恵庭市緑町1丁目5-3	0123-32-6766			1
7	280067	道央	倶知安町	H28.06.28.	ニセコ脳神経外科	1名	随時	044-0003	虻田郡倶知安町北3条東7丁目	0136-21-5500			1
8	280078	道央	札幌市？	H28.07.07.	社会医療法人孝仁会	若干名	H28.07.25.他2期あり	085-0062	釧路市愛国191-5718	0154-65-1275			1
9	280082	道東	帯広市	H28.07.08.	北海道社会事業協会帯広病院	1名	H28.10.31.迄	080-0805	帯広市東５条南9丁目２	0155-22-6600			1
10	280084	道央	札幌市	H28.07.08.	株）ジェイマックシステム	若干名	随時	060-0034	札幌市中央区北4東1	011-221-6262			1
11	280089	道央	函館市	H28.07.12.	函館五稜郭病院	若干名	H28.10.31.	040-8611	メールによるエントリー函館市五稜郭38-3	0138-56-2695			1
12	280090	道北	北見市	H28.07.14.	道立北見病院　（経験者のようです）	1名	H28.08.15.		北海道保健福祉部	011-231-4111			1
13	280092	道北	名寄市	H28.07.20.	臨生会　吉田病院	1名	随時	096-0013	名寄市西3条南6丁目8-2	01654-3-3381			1
14	280107	道央	札幌市	H28.08.03.	北海道対がん協会	若干名	H29.01.15.	065-026	札幌市東区北26条東14丁目1-15	011-748-5511			1
15	280107	道北	稚内市	H28.08.03.	市立稚内病院	1名	随時	097-8555	稚内市中央４丁目11-6	0162-23-2771			1
16	280112	道北	北見市	H28.08.08.	北星脳神経・心血管内科病院	1名	H28.09.01.以降	090-0836	北見市東三輪2-36-1	0157-26-8800			1
17	280118	道南	函館市	H28.08.17.	函館整形外科クリニック	1名	随時	041-0802	函館市石川町2-115	0138-34-5700			1
18	280134	道南	函館市	H28.09.01.	秋山記念病院	2名	随時	041-8502	函館市石川町41-9	0138-46-6660			2
19	280135	道北	旭川市	H28.09.01.	旭川赤十字病院	1名	H28.09.30.	070-8530	旭川市曙1条1丁目1-1	0166-22-8111			1

20	280142	道南	函館市	H28.09.05.	市立函館病院	若干名	H28.10.07.	041-8680	函館市港町1丁目10番1号	0138-43-2000			1
21	280144	道東	根室市	H28.09.08.	市立根室病院	1名	随時	087-8686	根室市有磯町1丁目２	0153-24-3201			1
22	280145	道北	名寄市	H28.09.08.	名寄市立総合病院	1名	H28.10.30.	096-8511	名寄市西7条南8丁目１	01654-3-3101			1
23	280149	道央	札幌市	H28.09.16.	西手稲整形外科	2名	随時	006-0032	札幌市手稲区稲穂2条7丁目1-3	011-694-1991			2
24	280150	道央	札幌市	H28.09.21.	あんざい整形外科クリニック	1名	随時	007-0842	札幌市東区北42条東16丁目1-1	011-789-2525			1
25	280151	道央	札幌市	H28.09.21.	市内　履信会　整形外科病院	2名	随時	004-0065	札幌市厚別区西5条1丁目15-21	011-894-8887			2
26	280156	道東	根室市	H28.09.08.	市立根室病院	1名	H28.10.03.	087-8686	根室市有磯町1丁目２	0153-24-3201			1
27	280158	道北	旭川市	H28.09.23.	旭川医科大学病院	若干名	H28.11.01.	078-8510	旭川市緑ヶ丘東2条1丁目1-1	0166-68-2123			1
28	280159	道央	札幌市	H28.09.26.	新札幌整形外科病院	2名	随時	004-0022	札幌市厚別区厚別南2丁目2-32	011-893-1161			2
29	280160	道央	北海道	H28.09.28.	北海道職員　北見病院・緑ヶ丘病院	2名	H28.10.14.	060-8588	北海道保健福祉部 地域医療推進局	011-231-4111			2
30	280161	道央	札幌市	H28.09.28.	ｶﾚｽｻｯﾎﾟﾛ　北光記念病院	1名	随時	065-0027	札幌市東区北27条東8丁目1-6	011-722-1133			1
31	280162	道央	室蘭市	H28.10.3	製鉄記念室蘭病院	2名	H28.10.28.	050-0076	室蘭市知利別町1丁目45	0143-47-4404			2
32	280164	道央	美唄市	H28.10.3	市立美唄病院	1名	H28.10.18.	072-8555	美唄市西2条北1丁目1-1	0126-63-4171			1
33	280165	道央	深川市	H28.10.3	深川市立病院	1名	H28.11.9.	074-0006	深川市6条6-1	0164-22-1101			1
34	280166	道央	砂川市	H28.10.4	砂川市立病院	若干名	H28.11.4.	073-0196	砂川市西4条北3丁目1-1	0125-54-2131			1
35	280168	道央	札幌市	H28.10.5	札幌医科大学	若干名	H28.10.31.	060-8556	札幌市中央区南1条西17丁目	011-611-2111			1
36	280170	道東	釧路市	H28.10.5	釧路労災病院	1名	随時	085-8533	釧路市中園町13-23	0154-22-7191			1
37	280174	道央	札幌市	H28.10.12	整形外科北新病院・北新東病院	1名	随時	003-0823	札幌市菊水元町3条3丁目1-18	011-871-3660			1
38	280175	道央	室蘭市	H28.10.12.	大川原脳神経外科病院	2名	随時	050-0082	室蘭市寿町1丁目10-1	0143-44-1519			2
39	280179	道東	釧路市	H28.10.17.	市立釧路総合病院	若干名	H28.11.15.	085-0822	釧路市春湖台1番12号	0154-41-6121			1
40	280180	道東	帯広市	H28.10.17.	北斗病院	1名	H28.11.30.	080-0833	帯広市稲田町基線7番地５	0155-48-8000			1
41	280184	道央	札幌市	H28.10.20	船員保険北海道健康管理センター	1名	随時	060-0002	札幌市中央区北２条西１丁目1-1	011-218-1655			1

42	280185	道南	函館市	H28.10.24.	社会医療法人　高橋病院	1名	随時	040-0054	函館市元町32-18	0138-23-7221			1
43	280188	道央	札幌市	H28.10.24.	麻生整形外科病院	1名	随時	001-0908	札幌市北区新琴似8条2丁目2-5	011-764-3311			1
44	280191	道北	北見市	H28.10.26.	医療法人ケイアイ　オホーツク海病院	1名	随時	099-2102	北見市端野町2区793-1	0157-67-6000			1
45	280197	道央	札幌市	H28.10.31	宮の沢総合クリニック	1名	随時	063-0826	札幌市西区発寒6条13-1-22	011-663-6662			1
46	280199	道央	滝川市	H28.11.04.	滝川市立病院	若干名	H28.11.30.	073-0022	滝川市大町2丁目2-34	0125-22-4311			1
47	280200	道央	札幌市	H28.11.11.	北海道労働保険管理協会	1名	随時	003-0024	札幌市白石区本郷通3丁目南2-13	011-862-5098			1
48	280201	道南	函館市	H28.11.14.	函館おおむら整形外科病院	1名	随時	041-0802	函館市石川町125-1	0138-46-3300			1
49	280202	道央	室蘭市	H28.11.15.	市立室蘭総合病院	1名	H28.11.30.	051-8512	室蘭市山手町3丁目8-1	0143-25-3111			1
50	280204	道東	帯広市	H28.11.18.	帯広徳州会病院	1名	随時	080-0314	河東郡音更町木野西通14丁目2-1	0155-32-3030			1
51	280205	道央	道内	H28.11.21.	道職員　道立病院	1名	H28.11.30.		北海道保健福祉部 地域医療推進局　ＨＰ	011-231-4111			1
52	280207	道央	札幌市	H28.11.21.	北祐会神経内科病院	1名	H28.12.30.	063-0802	札幌市西区二十四軒2条2-4-30	011-631-1161			1
53	280207	道央	苫小牧市	H28.11.25.	王子総合病院	1名	H28.12.09.	053-8506	苫小牧市若草町3-4-8	0144-32-8111			1
54	280212	道央	旭川市	H28.11.27	旭川医大病院	若干名	H28.12.16.	078-8510	旭川市緑ヶ丘東２-1-1-1	0166-68-2123			1
55	280214	道央	札幌市	H28.11.29.	医療法人　新産健会	若干名	随時	060-0042	札幌市中央区大通西1丁目14-2	011-215-1583			1
56	280215	道南	八雲町	H28.11.29.	八雲町熊石国民健康保険病院	1名	随時	043-0403	二海郡八雲町熊石雲石494-1	01398-2-3555			1
57	280175	道央	室蘭市	H28.11.29.	大川原脳神経外科病院　（2次募集）	若干名	H28.12.26.	050-0082	室蘭市寿町1丁目10-1	0143-44-1519			1
58	280220	道南	函館市	H28.12.02.	函館中央病院	若干名	随時	040-8585	函館市本町33-2	0138-52-1231			1
59	280227	道央	苫小牧市	H28.12.08.	苫小牧日翔病院	1名	随時	053-0803	苫小牧市矢代町2-9-13	0144-72-7000			1
60	280228	道央	札幌市	H28.12.08.	札幌医科大学病院	若干名	H29.01.04.	060-8556	札幌市中央区南1条西17丁目	011-611-2111			1
61	280231	道央	江別市	H28.12.09.	江別市立病院	若干名	H29.01.20.	067-8585	江別市若草町6番地	011-382-5151			1
62	280232	道央	滝川市	H28.12.12.	滝川市立病院	若干名	H29.01.27.	073-0022	滝川市大町2丁目2-34	0125-22-4311			1
63	280235	道南	函館市	H28.12.19.	道南勤労者医療協会	若干名	随時	041-0853	函館市中道2丁目51-1				1

64	280239	道央	三笠市	H28.12.21	市立三笠総合病院	1名	H29.01.13.	068-2194	三笠市宮本町489-1	01267-2-3131			1
65	280240	道東	釧路市	H28.12.22.	市立釧路総合病院	若干名	H29.01.30.	085-0822	釧路市春湖台1番12号	0154-41-6121			1
66	280244	道央	苫小牧市	H28.12.26.	苫小牧市立病院	1名	H29.01.26.	053-8567	苫小牧市清水町1-5-20	0144-84-0191			1
67	280245	道南	函館市	H29.01.10.	函館脳神経外科病院	若干名	H29.02.28.	041-8609	函館市神山1丁目4番12号	0138-54-0505			1
68	280246	全道		H29.01.10.	道立病院	2名	H29.01.17.	060-8588	札幌市中央区北3西６道保健福祉部	011-204-5243			2
69	280247	道央	札幌市	H29.01.10.	勤労者医療協会　勤医協病院	若干名	H29.03.04.	003-0803	札幌市白石区菊水3条３-5	011-812-0307			1
70	280252	道央	小樽市	H29.01.17.	社会事業協会小樽病院	1名	H29.02.10.	047-8510	小樽市住ノ江1丁目6-15	0134-23-6234			1
71	280253	道央	留萌市	H29.01.17.	留萌市立病院	1名	H29.01.16.から受付	077-8511	留萌市東雲町2-16-1	0164-49-1011			1
72	280254	道央	札幌市	H29.01.23.	北海道泌尿器科記念病院	1名	随時	007-0841	札幌市東区北41条東1丁目1-25	011-711-1717			1
73	280262	道央	札幌市	H29.02.02.	札幌貞心会病院	若干名	H29.02.末迄	065-0033	札幌市東区北33条東1丁目3-1	011-712-1266			1
74	280263	道東	釧路市	H29.02.03.	釧路労災病院	1名	随時	085-8533	釧路市中園町13-23	0154-22-7191			1
75	280245	道南	函館市	H29.01.10.	函館脳神経外科病院　（期間の延長）	若干名	H29.03.31.	041-8609	函館市神山1丁目4番12号	0138-54-0505			1
76	280271	道央	札幌市	H29.02.23.	北海道労働保健管理協会	1名	随時	003-0024	札幌市白石区本郷通3丁目2-13	011-862-5030			1
77	280272	道央	恵庭市	H29.02.24.	恵庭みどりクリニック	2名	随時	061-1442	恵庭市緑町1丁目5番3号	0123-32-6766			2
78	280273	道東	釧路市	H29.02.27.	道東勤労者医療協会	若干名	随時	085-0055	釧路市治水町3-5	0154-25-6479			1
79	280276	道央	札幌市	H29.03.06.	札幌北辰病院	1名	H29.03.06.	004-8618	札幌市厚別区中央2条6丁目	011-893-3000			1
80	280281	道央	札幌市	H29.03.15.	やまうち整形外科	１名	随時	003-0021	札幌市白石区栄通り19丁目1-20	011-857-3300			1
81										合計			69

日本医療大学保健医療学部　看護学科　実習計画　年間予定表



2年次
- 基礎看護学実習Ⅰ（1週間）
- 基礎看護学実習Ⅱ（2週）

3年次
- 成人看護学実集Ⅰ（4週×2）
- 老年看護学実習Ⅰ（2週×4）
- 精神看護学実習（2週×4）

4年次
- 領域別実習（成人看護学実習Ⅱ、老年看護学実習Ⅱ、小児看護学実習、母性看護学実習、在宅看護学実習）（10週）
- 統合実習（2週×3）

様式第５号（その１）
（変更承認申請の場合）

総　括　表

No	現行		変更後		備考
	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	
1	北海道整形外科記念病院	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 統合実習	北海道整形外科記念病院	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 統合実習	
2	社会医療法人禎心会 札幌禎心会病院	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 老年看護学実習Ⅱ	社会医療法人禎心会 札幌禎心会病院	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 統合実習 老年看護学実習Ⅱ	
3	社会医療法人 恵佑会第2病院	基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅱ	社会医療法人 恵佑会第2病院	基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅱ	
4	社会医療法人社団　カレスサッポロ時計台記念病院	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	社会医療法人社団　カレスサッポロ時計台記念病院	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅱ	
5	特定医療法人 柏葉脳神経外科病院	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 統合実習	特定医療法人 柏葉脳神経外科病院	基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 統合実習	
6	独立行政法人地域医療機能推進機構 札幌北辰病院	成人看護学実習Ⅰ 統合実習	独立行政法人地域医療機能推進機構 札幌北辰病院	成人看護学実習Ⅰ 統合実習 ※基礎看護学実習Ⅱ ※小児看護学実習	科目追加
7	社会医療法人 恵佑会札幌病院	基礎看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ	社会医療法人 恵佑会札幌病院	基礎看護学実習Ⅰ 成人看護学実習Ⅰ	
8	医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	成人看護学実習Ⅰ 小児看護学実習 統合実習	医療法人徳洲会 札幌徳洲会病院	成人看護学実習Ⅰ 小児看護学実習 統合実習	
9	医療法人風のすずらん会 江別すずらん病院	精神看護学実習	医療法人風のすずらん会 江別すずらん病院	精神看護学実習	
10	医療法人北仁会　旭山病院	精神看護学実習	医療法人北仁会　旭山病院	精神看護学実習	
11	医療法人渓仁会　定山渓病院	老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ	医療法人渓仁会　定山渓病院	老年看護学実習Ⅰ 老年看護学実習Ⅱ	
12	医療法人清田病院	成人看護学実習Ⅱ 統合実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ	医療法人清田病院	成人看護学実習Ⅱ 統合実習 基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ	
13	医療法人　東札幌病院	基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 在宅看護論実習	医療法人　東札幌病院	基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅱ 統合実習 在宅看護論実習	
14	医療法人渓仁会 札幌西円山病院	老年看護学実習Ⅱ	医療法人渓仁会 札幌西円山病院	老年看護学実習Ⅱ	
15	医療法人北武会 美しが丘病院	老年看護学実習Ⅱ	医療法人北武会 美しが丘病院	老年看護学実習Ⅱ	
16	札幌しらかば台病院	老年看護学実習Ⅱ	札幌しらかば台病院	老年看護学実習Ⅱ	
17	医療法人愛全会　愛全病院	老年看護学実習Ⅱ	医療法人愛全会　愛全病院	老年看護学実習Ⅱ	
18	独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院	母性看護学実習	独立行政法人地域医療機能推進機構 北海道病院	母性看護学実習	
19	おおこうち産科婦人科	母性看護学実習	おおこうち産科婦人科	母性看護学実習	
20	医療法人社団朋友会 札幌産科婦人科	母性看護学実習	医療法人社団朋友会 札幌産科婦人科	母性看護学実習	
21	さくら助産院	母性看護学実習	さくら助産院	母性看護学実習	
22	あいの里助産院	母性看護学実習	あいの里助産院	母性看護学実習	
23	株式会社ekbサービス	母性看護学実習	株式会社ekbサービス	母性看護学実習	
24	江別市立病院	母性看護学実習 小児看護学実習	江別市立病院	母性看護学実習 小児看護学実習	
25	医療法人菊郷会　愛育病院	小児看護学実習	医療法人菊郷会　愛育病院	小児看護学実習	
26	札幌第１福ちゃん保育園	小児看護学実習	札幌第１福ちゃん保育園	小児看護学実習	
27	社会福祉法人桃の花メイト会 宮の沢桃の花保育園	小児看護学実習	社会福祉法人桃の花メイト会 宮の沢桃の花保育園	小児看護学実習	
28	社会福祉法人桃の花メイト会 屯田桃の花保育園	小児看護学実習	社会福祉法人桃の花メイト会 屯田桃の花保育園	小児看護学実習	
29	社会福祉法人光陽会 西岡高台保育園	小児看護学実習	社会福祉法人光陽会 西岡高台保育園	小児看護学実習	

No	現行		変更後		備考
	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	
30	社会副法人札幌黎明福祉会 幌北ゆりかご保育園	小児看護学実習	社会副法人札幌黎明福祉会 幌北ゆりかご保育園	小児看護学実習	
31	救世軍桑園保育所	小児看護学実習	救世軍桑園保育所	小児看護学実習	
32	社会福祉法人太平福祉会 太平保育園	小児看護学実習	社会福祉法人太平福祉会 太平保育園	小児看護学実習	
33	札幌フラワー保育園	小児看護学実習	札幌フラワー保育園	小児看護学実習	
34	風の子保育園	小児看護学実習	風の子保育園	小児看護学実習	
35	医療法人渓仁会　手稲渓仁会病院	小児看護学実習 母性看護学実習	医療法人渓仁会　手稲渓仁会病院	小児看護学実習 母性看護学実習	
36	医療法人愛全会 介護老人保健施設　アートヒルズ	老年看護学実習Ⅰ	医療法人愛全会 介護老人保健施設　アートヒルズ	老年看護学実習Ⅰ	
37	社会福祉法人ノテ福祉会 介護老人保健施設げんきのでる里	老年看護学実習Ⅰ	社会福祉法人ノテ福祉会 介護老人保健施設げんきのでる里	老年看護学実習Ⅰ	
38	介護老人保健施設ほくと	老年看護学実習Ⅰ	介護老人保健施設ほくと	老年看護学実習Ⅰ	
39	ディ・グリューネン	老年看護学実習Ⅱ	ディ・グリューネン	老年看護学実習Ⅱ	
40	独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院 附属介護老人保健施設	老年看護学実習Ⅰ	独立行政法人地域医療機能推進機構北海道病院 附属介護老人保健施設	老年看護学実習Ⅰ	
41	札幌中央訪問看護ステーション	在宅看護論実習	札幌中央訪問看護ステーション	在宅看護論実習	
42	札幌豊平訪問看護ステーション	在宅看護論実習	札幌豊平訪問看護ステーション	在宅看護論実習	
43	札幌南訪問看護ステーション	在宅看護論実習	札幌南訪問看護ステーション	在宅看護論実習	
44	札幌清田訪問看護ステーション	在宅看護論実習	札幌清田訪問看護ステーション	在宅看護論実習	
45	札幌手稲訪問看護ステーション	在宅看護論実習	札幌手稲訪問看護ステーション	在宅看護論実習	
46	江別訪問看護ステーション	在宅看護論実習	江別訪問看護ステーション	在宅看護論実習	
47	ジャパンケア札幌発寒	在宅看護論実習	ジャパンケア札幌発寒	在宅看護論実習	
48	ジャパンケア札幌川下	在宅看護論実習	ジャパンケア札幌川下	在宅看護論実習	
49	ジャパンケア札幌青葉	在宅看護論実習	ジャパンケア札幌青葉	在宅看護論実習	
50	訪問看護ステーションきよた	在宅看護論実習	訪問看護ステーションきよた	在宅看護論実習	
51	医療法人社団愛心館 来夢ライン訪問看護ステーション	在宅看護論実習	医療法人社団愛心館 来夢ライン訪問看護ステーション	在宅看護論実習	
52	訪問看護ステーションあいしん	在宅看護論実習	訪問看護ステーションあいしん	在宅看護論実習	
53	KKR札幌医療センター 斗南病院	基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ 統合実習	国家公務員共済組合連合会 斗南病院	基礎看護学実習Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ 統合実習	
54	医療法人社団研仁会 北海道脳神経外科記念病院	基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ	医療法人社団研仁会 北海道脳神経外科記念病院	基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ	
55	医療法人　札幌麻生脳神経外科病院	基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 統合実習	医療法人　札幌麻生脳神経外科病院	基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ 統合実習	
56	JR札幌病院	基礎看護学実習Ⅰ	JR札幌病院	基礎看護学実習Ⅰ	
57	天使病院	基礎看護学実習Ⅱ	天使病院	基礎看護学実習Ⅱ	
58	医療法人重仁会　大谷地病院	精神看護学実習	医療法人重仁会　大谷地病院	精神看護学実習	
59	医療法人五風会　さっぽろ香雪病院	精神看護学実習	医療法人五風会　さっぽろ香雪病院	精神看護学実習	
60	医療法人社団正心会　岡本病院	精神看護学実習	医療法人社団正心会　岡本病院	精神看護学実習	
61	札幌北訪問看護ステーション	在宅看護論実習	札幌北訪問看護ステーション	在宅看護論実習	
62	長沼地域訪問看護ステーション	在宅看護論実習	長沼地域訪問看護ステーション	在宅看護論実習	
63	ジャパンケア札幌菊水	在宅看護論実習	ジャパンケア札幌菊水	在宅看護論実習	
64	社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院	基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ 統合実習	社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院	基礎看護学実習Ⅰ・Ⅱ 成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ 統合実習	
65	医療法人社団明珠会 札幌白石産科婦人科病院	母性看護学実習	医療法人社団明珠会 札幌白石産科婦人科病院	母性看護学実習	
66	ユキコカンガルー助産院	母性看護学実習	ユキコカンガルー助産院	母性看護学実習	
67	社会福祉法人 ノテ福祉会 訪問看護ステーション　ノテ真栄	在宅看護論実習	社会福祉法人 ノテ福祉会 訪問看護ステーション　ノテ真栄	在宅看護論実習	
68	医療法人社団豊生会 介護老人保健施設 ひまわり	老年看護学実習Ⅰ	医療法人社団豊生会 介護老人保健施設 ひまわり	老年看護学実習Ⅰ	
69	医療法人勉仁会 中垣病院	精神看護学実習	医療法人勉仁会 中垣病院	精神看護学実習	

No	現行		変更後		備考
	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	
70	介護老人保健施設サンビオーズ新琴似	老年看護学実習Ⅰ	介護老人保健施設サンビオーズ新琴似	老年看護学実習Ⅰ	
71	株式会社アクティブ・ケア 訪問看護ステーションみのり札幌東	在宅看護論実習	株式会社アクティブ・ケア 訪問看護ステーションみのり札幌東	在宅看護論実習	
72	北海道公立大学法人 札幌医科大学附属病院	小児看護学実習 母性看護学実習	北海道公立大学法人 札幌医科大学附属病院	小児看護学実習 母性看護学実習	
73	医療法人礼風会 五輪橋マタニティクリニック	小児看護学実習	医療法人礼風会 五輪橋マタニティクリニック	小児看護学実習	
74	医療法人社団智愛会 なかた小児科	小児看護学実習	医療法人社団智愛会 なかた小児科	小児看護学実習	
75	社会福祉法人札幌からまつの会 からまつ保育園	小児看護学実習	社会福祉法人札幌からまつの会 からまつ保育園	小児看護学実習	
76	医療法人福住産科婦人科クリニック	母性看護学実習	医療法人福住産科婦人科クリニック	母性看護学実習	
77	医療法人為久会 札幌共立五輪橋病院	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ	医療法人為久会 札幌共立五輪橋病院	成人看護学実習Ⅰ・Ⅱ	
78	医療法人社団悠仁会 羊ヶ丘病院	老年看護学実習Ⅱ	医療法人社団悠仁会 羊ヶ丘病院	老年看護学実習Ⅱ	
79	医療法人社団同仁会 長野病院	精神看護学実習	医療法人社団同仁会 長野病院	精神看護学実習	
80	医療法人社団エス・エス・ジェイ 札幌整形循環器病院	老年看護学実習Ⅱ	医療法人社団エス・エス・ジェイ 札幌整形循環器病院	老年看護学実習Ⅱ 基礎看護学実習Ⅰ	
81	SOMPOケア株式会社 札幌澄川訪問看護	在宅看護論実習	SOMPOケア株式会社 札幌澄川訪問看護	在宅看護論実習	
82	医療法人札幌山の上病院	基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅱ	医療法人札幌山の上病院	※基礎看護学実習Ⅰ 基礎看護学実習Ⅱ 老年看護学実習Ⅱ	科目追加
83	社会医療法人医仁会　中村記念南病院	基礎看護学実習Ⅰ	社会医療法人医仁会　中村記念南病院	基礎看護学実習Ⅰ	
84	医療法人愛全会　介護老人保健施設リラコート愛全	老年看護学実習Ⅰ	医療法人愛全会　介護老人保健施設リラコート愛全	老年看護学実習Ⅰ	
85	社会医療法人禎心会　介護老人保健施設ら・ぱーす	老年看護学実習Ⅰ	社会医療法人禎心会　介護老人保健施設ら・ぱーす	老年看護学実習Ⅰ	
86	社会福祉法人渓仁会　訪問看護ステーションあおば	在宅看護論実習	社会福祉法人渓仁会　訪問看護ステーションあおば	在宅看護論実習	
87	社会医療法人禎心会　訪問看護ステーション禎心会東	在宅看護論実習	社会医療法人禎心会　訪問看護ステーション禎心会東	在宅看護論実習	
88			医療法人社団 日本医療大学 日本医療大学病院	基礎看護学実習Ⅱ	申請中
89			就労継続支援B型事業所ここリカ・プロダクション	精神看護学実習	新規

変更後に新規に使用する実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	実習施設における実習指導者 （所属・資格名）（臨床経験年数）	備考
就労継続支援B型事業所ここリカ・プロダクション	精神看護学実習	橋本　達志　（認定精神保健福祉士・30年） 服部　篤隆　（精神保健福祉士、14年） 杉本　香　（精神保健福祉士、4年） 丸子　慎平　（ピアスタッフ、1年）	

2学年　実習計画

学年：2

月	週	内容
7月	15	基礎Ⅰ 北海道 整形外科記念 20 専1　イ:4
		札幌禎心会 9 専(兼):1 イ:3
		北海道脳神経外科記念 6 専(兼):1　イ:3
		柏葉脳神経外科 8 専(兼):1 イ:2
		麻生脳神経外科 8 専(兼):1 イ:2
		恵佑会札幌 15 専:1　イ:2
		北海道大野記念 16 専(兼):1 イ:4
		清田病院 6 専(兼): イ:
		札幌整形循環器 8 専(兼): イ:
		札幌山の上 6 専(兼): イ:
		中村記念南 9 専(兼): イ:
		時計台記念 14 専:1　イ:3
		基礎Ⅰ 不足25
12月	37	基礎Ⅱ 北海道 整形外科記念 20 専1　イ:4
		札幌禎心会 9 専(兼):1 イ:3
		斗南病院 6 専(兼):1　イ:1
		北海道脳神経外科記念 6 専(兼):1　イ:3
		柏葉脳神経外科 12 専(兼):1 イ:2
		麻生脳神経外科 8 専(兼):1 イ:2
		札幌山の上 5 専(兼):　イ:
		北海道大野記念 16 専:1　イ:3
		札幌清田 6 専(兼): イ:
		東札幌 12 専(兼):1 イ:4
		恵佑会第2 5 専(兼): イ:
		札幌北辰 12 専(兼): イ:
		時計台記念 12 専:1　イ:2
		基礎Ⅱ 不足20

3学年 実習計画

2021年(3学年)

学年	月	4月				5月				6月				7月				8月				9月				10月				11月				12月				1月				2月				3月			
	週	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22	23	24	25	26	27	28	29	30	31	32	33	34	35	36	37	38	39	40	41	42	43	44	45	46	47	48
3		精神看護学実習																																														
		成人看護学実習Ⅰ																																														
		老年看護学実習Ⅰ																																														

4学年 実習計画

2022年(4学年)

学年 4

月	週	5月				6月				夏休み期間								月	週	9月				10月	11月	3月
		5	6	7	8	9	10	11	12	13	14	15	16	17	18	19	20	21	22			23	24	25	26			52
	1		成人Ⅱ 裏佑会第2 4		老年Ⅱ 定山渓 4		在宅 訪問ステみのり札幌東 2		統合 禎心会 6		からまつ2				漢仁会 4		江別 4	北海道病院 4									
	2						在宅 訪問ステきよた 2				桃の花 1					北辰 3		ユキコ 3	ユキコ 3			からまつ2						
	3						在宅 SOMPO札幌川下 2					桃の花 1										徳洲会 1					
	4		清田病院 6		西円山 4		在宅 札幌手稲訪問ステ 2		東札幌 4									朋友会 2	朋友会 2			徳洲会 1	桑圏1				
	5						在宅 札幌豊平訪問ステ 2											北海道病院 4	札医大 4			桑圏1	桃の花 2				
	6				美しが丘 2																	桃の花 2	からまつ1				
	7		東札幌 4		しらかば台病院 4		在宅 札幌南訪問ステ 2		清田 6									漢仁会 4	福ちゃん1 漢仁会 4			徳洲会 2					
	8						在宅 長沼地域訪問ステ 2																				
	9		在宅 SOMPO札幌澄川 2		愛全病院 4		成人Ⅱ 漂佑病院 6											札医大 4					ユキコ 4	ユキコ 4			
	10		在宅 訪問ステみのり札幌東 2							からまつ1																	
	11		在宅 SOMPO札幌菊水 2		札幌整形循環器 4				五輪橋2	五輪橋2														北辰 6			
	12		在宅 SOMPO札幌川下 2						太平1	太平1																	
	13		老年Ⅱ 定山渓 3				北海道大野記念 6		桑圏1	桑圏1																	
	14								福ちゃん 2	福ちゃん 2														統合 柏葉脳神経 6			
	15		美しが丘 2		在宅 訪問ステみのり札幌東 2				江別 2	江別 2																	
	16																										
	17		しらかば台病院 4		在宅 訪問ステきよた 2				ユキコ 4	ユキコ 4																	
	18																										
	19				在宅 札幌手稲訪問ステ 2																						
	20		愛全病院 4				在宅 SOMPO札幌菊水 2																				
	21				成人Ⅱ 恵佑会第2 4		屯田 2	福ちゃん 2																			
	22						江別 2	江別 2																			
	23		札幌整形循環器 4				徳洲会 3	徳洲会 2																			
	24				東札幌 4																						
	25						徳洲会 2	徳洲会 3																			
	26		在宅 札幌南訪問ステ 2		北海道大野記念 3																						
	27		在宅 札幌中央訪問ステ 2				老年Ⅱ 定山渓 4		母性 北海道病院 3	母性 北海道病院 4																	
	28				桑圏1	からまつ1			江別 4	白石 3																	
	29				屯田 1	五輪橋1																					
	30				在宅 札幌豊平訪問ステ 2		西円山 4																				
	31				在宅 SOMPO札幌川下 2																						
	32		母性 北海道病院 4	母性 北海道病院 4	在宅 札幌中央訪問ステ 2		愛全病院 4																				
	33				在宅 来夢ライン 3																						
	34		朋友会 2	朋友会 2																							
	35		さくら 2	さくら 2	ゆりかご1	桑圏1	札幌整形循環器 4		さくら 2	さくら 2																	
	36				西岡高台 2	屯田 1																					
	37					桃の花 1																					
	38				桃の花 1	福ちゃん1	母性 北海道病院 4	母性 北海道病院 4	愛全病院 4																		
	39				徳洲会 2	徳洲会 2																					
	40				北辰 2	北辰 2	朋友会 2	朋友会 2	老年Ⅱ 定山渓 4																		
	41					北辰1	さくら 2	さくら 2																			
	42		桑圏1																								
	43		五輪橋2	桑圏1			江別 4	江別 4	西円山 4																		
	44			西岡高台1																							
	45		ゆりかご1	札医大 2			白石 2	白石 2																			
	46		札医大 2																								
	47			福ちゃん1																							
	48		西岡高台 2	小児 徳洲会																							
	49		福ちゃん 2	ゆりかご1																							
	50																										
	51																										
	52		ユキコ 4	ユキコ 4																							
	53																										
	54																										
	55																										
	56		小児 徳洲会 2																								
	57				母性 北海道病院 4	母性 北海道病院 4	桑圏1																				
	58						からまつ1																				
	59						五輪橋2	からまつ2																			
	60						桃の花 1	太平1																			
	61						福ちゃん1	桑圏1																			
	62																										
	63																										
	64																										
	65																										
	66																										
	67																										
	68																										
	69																										
	70																										
	71																										
	72																										
	73																										
	74																										
	75																										
	76																										
	77																										
	78																										
	79																										
	80																										
	81																										
	82																										
	83																										
	84																										
	85																										
	86																										
	87																										
	88																										
	89																										
	90																										
	91																										
	92																										
	93																										
	94																										
	95																										
	96																										
	97																										
	98																										
	99																										
	100																										
	101																										
	102																										
	103																										
	104																										
	105																										
	106																										
	107																										
	108																										
	109																										
	110																										
	111																										
	112																										
	113																										
	114																										
	115																										
	116																										
	117																										
	118																										
	119																										
	120																										
	121																										
	122																										
	123																										
	124																										
	125																										
	126																										
	127																										
	128																										
	129																										
	130																										
	131																										
	132																										
	133																										
	134																										
	135																										
	136																										
	137																										
	138																										
	139																										
	140																										
	141																										
	142																										
	143																										
	144																										
	145																										
	146																										
	147																										
	148																										
	149																										
	150																										

成人看護学実習Ⅱ
在宅看護学実習
老年看護学実習Ⅱ
統合実習
母性看護学実習
小児看護学実習

様式第5号（その1）

総　括　表

（保健医療学部診療放射線学科専攻）

No	現行		変更後		備考
	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	
1	国立大学法人　筑波大学附属病院	臨床実習Ⅱ	国立大学法人　筑波大学附属病院	臨床実習Ⅱ	
2	北海道公立大学法人 札幌医科大学附属病院	臨床実習Ⅱ	北海道公立大学法人 札幌医科大学附属病院	臨床実習Ⅱ	
3	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	臨床実習Ⅱ	独立行政法人国立病院機構 北海道がんセンター	臨床実習Ⅱ	
4	東京医科大学病院	臨床実習Ⅱ	東京医科大学病院	臨床実習Ⅱ	
5	東京大学医学部附属病院	臨床実習Ⅱ	東京大学医学部附属病院	臨床実習Ⅱ	
6	KKR札幌医療センター	臨床実習Ⅱ	KKR札幌医療センター	臨床実習Ⅱ	
7	市立室蘭総合病院	臨床実習Ⅱ	市立室蘭総合病院	臨床実習Ⅱ	
8	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院	臨床実習Ⅱ	社会福祉法人函館厚生院 函館五稜郭病院	臨床実習Ⅱ	
9	苫小牧市立病院	臨床実習Ⅱ	苫小牧市立病院	臨床実習Ⅱ	
10	北見赤十字病院	臨床実習Ⅱ	北見赤十字病院	臨床実習Ⅱ	
11	埼玉県立がんセンター	臨床実習Ⅱ	埼玉県立がんセンター	臨床実習Ⅱ	
12	市立函館病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	市立函館病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	
13	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構　放射線医学総合研究所	臨床実習Ⅱ	国立研究開発法人 量子科学技術研究開発機構　放射線医学総合研究所	臨床実習Ⅱ	
14	市立旭川病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	市立旭川病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	
15	社会医療法人母恋　日鋼記念病院	臨床実習Ⅱ	社会医療法人母恋　日鋼記念病院	臨床実習Ⅱ	
16	社会医療法人北斗　北斗病院	臨床実習Ⅱ	社会医療法人北斗　北斗病院	臨床実習Ⅱ	
17	小樽市立病院	臨床実習Ⅱ	小樽市立病院	臨床実習Ⅱ	
18	医療法人　王子総合病院	臨床実習Ⅰ	医療法人　王子総合病院	臨床実習Ⅰ	
19	社会医療法人社団ピエタ会 石狩病院	臨床実習Ⅰ	社会医療法人社団ピエタ会 石狩病院	臨床実習Ⅰ	
20	社会医療法人即仁会 北広島病院	臨床実習Ⅰ	社会医療法人即仁会 北広島病院	臨床実習Ⅰ	
21	医療法人五月会 小笠原クリニック札幌病院	臨床実習Ⅰ	医療法人五月会 小笠原クリニック札幌病院	臨床実習Ⅰ	
22	市立千歳市民病院	臨床実習Ⅰ	市立千歳市民病院	臨床実習Ⅰ	
23	独立行政法人地域医療機能推進機構	臨床実習Ⅰ	独立行政法人地域医療機能推進機構	臨床実習Ⅰ	
24	社会医療法人北海道恵愛会 札幌南三条病院	臨床実習Ⅰ	社会医療法人北海道恵愛会 札幌南三条病院	臨床実習Ⅰ	
25	社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院	臨床実習Ⅰ	社会医療法人孝仁会 北海道大野記念病院	臨床実習Ⅰ	
26	医療法人社団札幌朗愛会 札幌朗愛会病院	臨床実習Ⅰ	医療法人社団札幌朗愛会 札幌朗愛会病院	臨床実習Ⅰ	
27	特定医療法人 柏葉脳神経外科病院	臨床実習Ⅰ	特定医療法人 柏葉脳神経外科病院	臨床実習Ⅰ	
28	公益社団法人北海道勤労者医療協会	臨床実習Ⅰ	公益社団法人北海道勤労者医療協会	臨床実習Ⅰ	
29	医療法人札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック	臨床実習Ⅰ	医療法人札幌ハートセンター 札幌心臓血管クリニック	臨床実習Ⅰ	
30	社会福祉法人北海道社会事業協会 富良野病院	臨床実習Ⅰ	社会福祉法人北海道社会事業協会 富良野病院	臨床実習Ⅰ	
31	社会医療法人仁陽会 西岡第一病院	臨床実習Ⅰ	社会医療法人仁陽会 西岡第一病院	臨床実習Ⅰ	
32	医療法人雄心会 函館新都市病院	臨床実習Ⅰ	医療法人雄心会 函館新都市病院	臨床実習Ⅰ	

No	現行		変更後		備考
	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	
33	総合病院　浦河赤十字病院	臨床実習Ⅰ	総合病院　浦河赤十字病院	臨床実習Ⅰ	
34	滝川市立病院	臨床実習Ⅰ	滝川市立病院	臨床実習Ⅰ	
35	社会医療法人 耳鼻咽喉科麻生北見病院	臨床実習Ⅰ	社会医療法人 耳鼻咽喉科麻生北見病院	臨床実習Ⅰ	
36	医療法人社団博愛会　開西病院	臨床実習Ⅰ	医療法人社団博愛会　開西病院	臨床実習Ⅰ	
37	医療法人　新札幌整形外科病院	臨床実習Ⅰ	医療法人　新札幌整形外科病院	臨床実習Ⅰ	
38	医療法人社団医修会 大川原脳神経外科病院	臨床実習Ⅰ	医療法人社団医修会 大川原脳神経外科病院	臨床実習Ⅰ	
39	名寄市立総合病院	臨床実習Ⅰ	名寄市立総合病院	臨床実習Ⅰ	
40	社会医療法人社団愛心館 愛心メモリアル病院	臨床実習Ⅰ	社会医療法人社団愛心館 愛心メモリアル病院	臨床実習Ⅰ	
41	独立行政法人地域医療機能推進機構	臨床実習Ⅰ	独立行政法人地域医療機能推進機構	臨床実習Ⅰ	
42	医療法人　札幌麻生脳神経外科病院	臨床実習Ⅰ	医療法人　札幌麻生脳神経外科病院	臨床実習Ⅰ	
43	市立釧路総合病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	市立釧路総合病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	
44	総合病院　釧路赤十字病院	臨床実習Ⅰ	総合病院　釧路赤十字病院	臨床実習Ⅰ	
45	国立大学法人　旭川医科大学病院	臨床実習Ⅱ	国立大学法人　旭川医科大学病院	臨床実習Ⅱ	
46	独立行政法人国立病院機構 旭川医療センター	臨床実習Ⅱ	独立行政法人国立病院機構 旭川医療センター	臨床実習Ⅱ	
47	社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院	臨床実習Ⅰ	社会医療法人北海道恵愛会 札幌南一条病院	臨床実習Ⅰ	
48	社会福祉法人北海道社会事業協会 函館病院	臨床実習Ⅰ	社会福祉法人北海道社会事業協会 函館病院	臨床実習Ⅰ	
49	医療法人社団進和会 旭川リハビリテーション病院	臨床実習Ⅰ	医療法人社団進和会 旭川リハビリテーション病院	臨床実習Ⅰ	
50	医療法人 萬田記念病院	臨床実習Ⅰ	医療法人 萬田記念病院	臨床実習Ⅰ	
51	社会医療法人恵和会 西岡病院	臨床実習Ⅰ	社会医療法人恵和会 西岡病院	臨床実習Ⅰ	
52	社会福祉法人さっぽろ慈啓会 慈啓会病院	臨床実習Ⅰ	社会福祉法人さっぽろ慈啓会 慈啓会病院	臨床実習Ⅰ	
53	医療法人社団刀圭会 協立病院	臨床実習Ⅰ	医療法人社団刀圭会 協立病院	臨床実習Ⅰ	
54	市立札幌病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	市立札幌病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	
55	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	JA北海道厚生連 帯広厚生病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	
56	JA北海道厚生連 旭川厚生病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	JA北海道厚生連 旭川厚生病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	
57	釧路労災病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	釧路労災病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	
58	社会医療法人禎心会 札幌禎心会病院	臨床実習Ⅱ	社会医療法人禎心会 札幌禎心会病院	臨床実習Ⅱ	
59	徳島県立中央病院	臨床実習Ⅱ	徳島県立中央病院	臨床実習Ⅱ	
60	医療法人　東札幌病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	医療法人　東札幌病院	臨床実習Ⅰ・Ⅱ	
61			医療法人社団日本医療大学 日本医療大学病院	臨床実習Ⅰ	新規
62			医療法人新産健会 LSI札幌クリニック	臨床実習Ⅰ	新規
63			江別市立病院	臨床実習Ⅰ	新規
	合計実習施設　（６０）施設		合計実習施設　（６３）施設		

実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	実習施設における実習指導者 （所属・資格名）（臨床経験年数）	備考
医療法人社団日本医療大学 日本医療大学病院	臨床実習Ⅰ	小嶋　義一（診療放射線技師38年） 内館　秀明（診療放射線技師26年）	
医療法人新産健会 LSI札幌クリニック	臨床実習Ⅰ	原田　智也（診療放射線技師12年） 緑川　竜司（診療放射線学科11年） 谷山　貴恵（診療放射線学科5年） 鈴村　敦彦（診療放射線学科4年） 小野寺のどか（診療放射線学科3年）	

実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	実習施設における実習指導者 （所属・資格名）（臨床経験年数）	備考
実習施設名	当該実習施設を使用する授業科目名	実習施設における実習指導者 （所属・資格名）（臨床経験年数）	備考
江別市立病院	臨床実習Ⅰ	佐藤　博樹（診療放射線技師33年） 小松　学（診療放射線技師30年） 坂口　文吾（診療放射線技師27年） 桜田　剛（診療放射線技師21年） 石黒　康喜（診療放射線技師18年） 斎木　誠（診療放射線技師12年） 間　裕章（診療放射線技師9年）	

Japan Institution for Higher Education Evaluation

JIHEE

since 2004

認定証

Certificate of Accreditation

日本医療大学 殿

Japan Health Care College

貴大学は令和元年度大学機関別認証評価の結果 本評価機構が定める大学評価基準に適合していると認定する

This is to certify that the above university has demonstrated satisfactory compliance with the standards of the Japan Institution for Higher Education Evaluation.

令和2年3月11日

公益財団法人 日本高等教育評価機構

Date of Issue : March 11,2020

Japan Institution for Higher Education Evaluation

理事長 相良 憲昭

President Noriaki Sagara

学生の確保の見通し等を記載した書類

目　　次

1　学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況　1
⑴　学生の確保の見通し　1
①　定員充足の見込み　1
②　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要　1
⑵　学生確保に向けた具体的な取組状況　2
①　入試制度　3
②　オープンキャンパス　4
③　1日体験入学　4
④　KPIの設定　4
⑤　学部内併願制度の活用　5
⑥　受験生の保護者対象説明会　5
⑦　高大連携　5
⑧　進学相談会　5
⑨　高等学校訪問　6
⑩　テレビCM・新聞広告　6
⑪　ホームページ・SNS　7
2　人材需要の動向等社会の要請　7
⑴　人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）　7
⑵　社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠　8
①　我が国における超高齢社会と医療体制の再構築　8
②　本学に対する求人状況　9
③　採用意向調査　10

学生の確保の見通し等を記載した書類

1　学生の確保の見通し及び申請者としての取組状況

⑴　学生の確保の見通し

①　　定員充足の見込み

現役の大学進学率は全国的に上昇傾向にあり、リクルート進学総研 2019 によれば､平成 21 年度から平成 30 年度までの 10 年間の進学率の上昇率が高いのは、1 位北海道（114.2)、2 位東北（109.7)、3 位九州沖縄（106.5)（( ) 数値は、平成 21 年を 100 としたときの 30 年の指数）である。北海道内の高校生の大学進学率が強まっていることが伺える（資料 1)。

「平成 28 年度入試実態調査（大学・短大)」(株式会社リクルートマーケテインクパートナース）によると、学部系統別の志願状況の推移で、保健・衛生学部の志願者は、平成 24 年に 19 万 3,873 人、平成 25 年に 22 万 2,747 人、平成 26 年に 24 万 433 人、平成 27 年に 23 万 6,415 人、平成 28 年に 24 万 2,170 人と、5 年間で約 5 万人増加している。

一般社団法人全国高等学校 PTA 連合会･株式会社リクルートマーケティングパートナーズ合同調査「高校生と保護者の進路に関する意識調査（平成 27 年)」において、進路に関する価値観の問いで、「将来は役に立つ資格を身につけたい」という項目に対し、「とてもそう思う」「まあそう思う」と回答した高校生が 87.8%と価値観 12 項目中、最も高い結果である。

「高校生と保護者の進路に関する意識調査」において、高校生の就きたい職業ランキングでは 3 位に看護師､10 位に診療放射線技師がランキングされており、保健衛生分野の志願者数は増加傾向にあり､将来は役に立つ資格を身に付けたいと考える高校生が多い（資料 2)。

②　定員充足の根拠となる客観的なデータの概要

まち・ひと・しごと創生基本方針 2017（平成 29 年 6 月 9 日閣議決定）で、「専門人材育成等に向けた優れた地方大学の取組に対して重点的に支援する」と示され、今後の超高齢社会のなかで、北海道の地域医療を支える人材を育成している本学は、地方創生の実現に当たり、重要な役割を担っていると考える。

リクルート進学総研の調査によると、北海道内の大学の現役進学率は、平成 27 年で 36.8%と全国の進学率 48.9%より 12 ポイントほど低いが、平成 18 年の 31.0%から平成 27 年の 36.8%までの上昇率は 1.1 倍とエリア別では南関東(1.2 倍）に次いで 2 位の高さである。

北海道内の大学進学者の地元残留率は、平成 19 年の 71.6%から平成 28 年には 67.1%と 4.5 ポイント低下したが、依然高い地元残留率を維持しており、平成 28 年の残留率は、2 位の東海エリア（48.9%）に 20 ポイント近い差をつけて

いる。平成30年度における大学進学者の地元残留率においても北海道は全国でも群を抜いて高く、地元志向の強さは今後も継続すると予想される（資料3）。

ア　看護学科

本学を含む北海道内8大学の看護学科志願状況は、過去5年間の志願者数が3,610～4,205人、平均志願倍率は5.3～6.3倍で推移している。本学においては、令和元年度、募集人数100人に対し志願者数が403人、志願倍率が4.0倍であった。さらに、直近の令和2年度では志願者数683人、志願倍率6.2倍であり、前年度と比較し大幅に増加している。すなわち、2016年からの6年間の志願者数推移は、それぞれ、270人、287人、216人、377人、403人、683人と年々大幅な増加を示しており、本学科が入学定員を100人から150人に増員しても、十分に入学定員を確保できると考える（資料4）（資料5）。

イ　診療放射線学科

本学を含む北海道内2大学の診療放射線学科の状況は、過去4年間の志願者数が805～1,154人で増加傾向にあり、平均志願倍率は8.3～11.5倍で推移している。本学における令和元年度の状況では、募集人数50人に対し志願者数が242人、志願倍率が4.8倍であった。さらに、直近の令和2年度では志願者数362人、志願倍率7.2倍であった。すなわち、2016年からの5年間の志願者数推移は、それぞれ、76人、102人、202人、242人、362人と年々大幅な増加を示しており、本学科が入学定員を50人から100人に増員しても、十分に入学定員を確保できると考える（資料4）（資料5）。

⑵　学生確保に向けた具体的な取組状況

平成28年1月、質の高い学生を確保するために、入学定員の6倍の志願者数を目指し、学生募集戦略の抜本的な見直しを行い、早期に決定して実行することを目的に、経営と教学が一体となった学生募集対策委員会を設置した。メンバーは、理事長、学長、各学科長、事務局担当者で組織され、学生確保に関する事項や広報活動に関する事項について検討を行っている。さらには全教職員協働で、オープンキャンパスや進学相談会、高等学校訪問を実施し、学生募集活動の強化を図っている。こうした精力的な活動によって、令和元年度入試の志願者数は上昇した。平成30年1月からは、学生募集にさらに力を入れるため、『募集必達プロジェクト』をスタートさせ、目標達成に必要な改革に着手している。

こうした精力的な活動によって、令和2年度入学試験の志願者数は確実に上昇し、当初からの目標だった入学定員の6倍(併願含む)の志願者数を実現した。

大学全体の令和2年度第一志望による志願者数は、表1に示すように前年度と比べ416人の増加であった。増加数の内訳は、看護学科277人、診療放射線学科

84 人であり、両学科合わせて 361 人であった。特に、診療放射線学科は道外からの志願者が 2.7 倍となったことが大きかった（資料 6）。

表 1　令和 2 年度志願者数(第一志望)

学科・専攻	令和 2(2020)年度			令和元(2019)年度		
	合　計	北海道	道　外	合　計	北海道	道　外
全 学 科 合 計	**1,073**	1,028	45	**657**	631	26
看　護　学　科	**617**	609	8	**340**	329	11
診療放射線学科	**249**	222	27	**165**	155	10

学生育成のための基盤としても、今後の入試の学生募集では、以下の具体的な取り組みを徹底して実行してくことで、学生の確保ができると確信している。

① 入試制度

平成30年度入学試験から、従来の入試区分4種類（AO、推薦前期、一般前期、一般後期）に加え、推薦後期、大学入試センター試験利用入試(前期)、大学入試センター試験利用入試(後期)をあわせて、入試区分を7種類とした。また、一般入試(前期・後期)および大学入試センター試験利用入試(前期・後期)においては、それぞれ最大で4併願可能とした。さらに、同一年度内の再出願について入学検定料金の免除を実施、特待生制度の入試区分を一般入試（前期・後期）に加え、大学入試センター試験利用入試（前期・中期・後期）も対象とした。

令和元年度入学試験から、推薦指定校、大学入試センター試験利用入試(中期)を加え、入試区分9種類とした。また、AO入試は全3学科実施とした。

令和2年度入学試験から、AO入試（後期）を加え、入試区分を10種類とした。また、一般入試(前期)においては、初めて地方会場となる函館会場を実施した。

これまで実施した学生募集戦略の結果、志願者、受験者および入学者の大幅増加を実現し、最も苦戦していたリハビリテーション学科において、入学定員確保を実現した。最終的には、令和2年度入学試験において、全3学科で入学定員確保を実現した。

表2　入学試験区分

入　試　区　分	令和 2 年	令和元年	平成 30 年	平成 29 年
一　般　入　試（前期）	◎	◎	◎	◎
一　般　入　試（後期）	◎	◎	◎	◎
推　薦　入　試（公募前期）	◎	◎	◎	◎
推　薦　入　試（公募後期）	◎	◎	◎	－
推　薦　入　試（指定校）	◎	◎	－	－
Ａ　Ｏ　入　試（前期）	◎	◎	◎	◎
Ａ　Ｏ　入　試（後期）	◎	－	－	－
大学入試ｾﾝﾀｰ試験利用入試（前期）	◎	◎	◎	－
大学入試ｾﾝﾀｰ試験利用入試（中期）	◎	◎	－	－
大学入試ｾﾝﾀｰ試験利用入試（後期）	◎	◎	◎	－

② オープンキャンパス

参加者がより志望する学科の理解を深めることができるよう、オープンキャンパスを開催している。オープンキャンパスでは、本学の特徴や教育理念についての説明のほか、参加者が大学での勉強内容や実際の仕事内容についてより理解を深められるよう、模擬演習授業を行っている。また、オープンキャンパスには、学生スタッフを多数動員し、参加者に大学の雰囲気や学生生活を伝えられるよう工夫している。

過去2年間の参加者の状況は、全参加者数では平成30年度：667人から令和元年度：751人の1.1倍に、さらに、直近の令和2年度（10月12日現在）では既に1,317人であり、前年度を大幅に上回っている。学科ごとでは、看護学科は平成30年度：298人、令和元年度：340人、令和2年度（10月12日現在）：581人、診療放射線学科では平成30年度：178人、令和元年度：188人、令和2年度（10月12日現在）：286人であり、いずれの学科においても参加者が大幅に増加している（資料7）（資料8）。

平成29年度からは、道南・道央・道北・道東の北海道内4方面から無料送迎バスを運行し、オープンキャンパスの動員数増加を図っている。さらに平成30年度では、オープンキャンパスへの参加が高校生の進路選択にとって大きなきっかけとなるため、内容と高校生へのフォロー対応を改善している。

③ 1日体験入学

オープンキャンパスの他に、平成28年度から本学への志望度が高い受験希望者を対象に、1日体験入学を実施している。在学生と同じ白衣を着用しての模擬講義や模擬演習など、本学の学修内容を体験できる。

過去の参加者の状況は、全参加者数では平成30年度：169人、令和元年度：320人、令和2年度（10月12日現在）：635人と年々増加している。学科ごとでは、看護学科は平成30年度：82人、令和元年度：179人、令和2年度（10月12日現在）：240人、診療放射線学科では平成30年度：39人、令和元年度：68人、令和2年度（10月12日現在）：129人であり、いずれの学科においても参加者が大幅に増加している（資料9）。

その他、本学では高大連携の一環として、高等学校からの要請を受け、高等学校毎の体験入学や大学見学会を実施している。

④ KPIの設定

平成30年度から学生確保対策のために、学生募集対策員会に外部コンサルタントを加え、民間企業では当たり前となっている重要業績評価指標（KPI）を設定した。目標は、資料請求数4,500件、オープンキャンパスを含むイベント1,400人動員に設定し、各種取り組みを連動させた。その結果、資料請求数は対策前

の平成 29 年度：3,559 件に対し、対策後は平成 30 年度：6,585 件、令和元年度：8,466 件と 2 年間で 2 倍以上の件数に増加した。また、オープンキャンパスを含む全イベントの参加者数は、平成 30 年度：913 人であったのに対し、令和元年度：1,521 人（資料 7）、さらに、直近の令和 2 年度では、10 月 12 日時点で既に 2,653 人と前年度を大幅に上回る参加者となっている。資料請求数、オープンキャンパスを含む全イベントの参加者数ともに当初の目標は達成しており、さらなる改善策を検討している。

⑤　学部内併願制度の活用

本学の在学生からの聞き取り調査の結果、診療放射線学科の志願者には進路検討の段階で「ひとのために働きたい⇒看護志望」とのパターンが大変多いことがわかった。当初は看護志望でも、進路検討の過程で医療職を知るにつれて診療放射線技師へ進路を変更する高校生も多い。平成 30 年度入試から導入している学部内併願制度は、こうした潜在的志願者を集めるのに有効であり、この制度を活用し、他学科との連携による定員確保に努める。

⑥　受験生の保護者対象説明会

平成 28 年度から受験生の保護者のみを対象とした説明会を行っており、同年は 1 回実施し、20 人の保護者が参加した。入学手続時又は入学後に必要な費用や、本学の学生サポート体制、住まいの情報等について詳しく説明を行っている。参加した保護者のアンケート結果からは回答者全員が今回の内容について満足又はやや満足と回答し好評であった。平成 29 年度は 7 月 8 日（土）と 10 月 22 日（日）の 2 回実施し、あわせて 59 人の保護者が参加した。

平成 30 年度は 7 月 7 日（土）と 10 月 21 日（日）の 2 回実施し、あわせて 55 人の保護者が参加した。令和元年度は 8 月 4 日（土）と 10 月 6 日（日）の 2 回実施し、あわせて 76 人の保護者が参加し、前年よりも全体で 21 人の増加であった（資料 10）。

⑦　高大連携

本学では高大連携の一環として、高等学校からの要請を受け、高等学校毎の体験入学や大学見学会を実施している。令和 2 年からは、高等学校からの要請を簡易的にできるよう、「デリバリークラス（DC）」と称して、出前講義の依頼を大幅に増やす計画がある。申込書は、本学ホームページからできるよう工夫している。https://www.nihoniryo-c.ac.jp/society/visit/

⑧　進学相談会

進学業者主催のホテル等の会場で行われる進学相談会の他に、高等学校が独

自で高等学校内で実施する進学相談会に、積極的に参加している。主に、学生募集・入試グループ職員が担当となっているが、他グループ担当者も含め、事務局全体で参加するようになっている。また、各学科の教員も参加し、受験生に対し十分な情報提供が行えるよう努めている。今後は、北海道内 8 か所（札幌、帯広、釧路、北見、旭川、函館、室蘭、苫小牧）に加え、北東北の開催にも参加を予定している。

過去 5 年間の参加数、面談者数は表 3 のとおりである。

表 3　進学相談会参加者数

進学相談会	会　場		高等学校内		合　計	
	参加数	面談者	参加数	面談者	参加数	面談者
平成 26 年度	49 会場	496 人	21 会場	180 人	70 会場	676 人
平成 27 年度	39 会場	452 人	19 会場	262 人	58 会場	714 人
平成 28 年度	39 会場	375 人	28 会場	447 人	67 会場	822 人
平成 29 年度	35 会場	383 人	32 会場	554 人	67 会場	937 人
平成 30 年度	57 会場	896 人	19 会場	375 人	76 会場	1271 人
令和元年度	50 会場	1036 人	29 会場	540 人	79 会場	1576 人

⑨　高等学校訪問

北海道内の高等学校 284 校（令和元年 4 月 1 日現在）のうち、本学を受験した生徒が多い高等学校またはその周辺の高等学校を中心に、約 200 校訪問をしている。訪問の際は、直接進路指導担当教員に対して、本学の特徴および各学科の国家試験合格率や就職状況、オープンキャンパス等のイベント参加依頼、前年度の入試結果等を丁寧に説明し、志願者増に繋がる取り組みを行っている。

また、令和元年度からは、北東北約 50 校を訪問し、本学の特徴および各学科の国家試験合格率や就職状況等の説明に加え、試験会場増設の紹介や北海道での学生生活等を紹介しながら志願者増を図っている。

平成 27 年度は延べ 251 校の訪問であったが、平成 28 年度は高等学校教員との信頼関係を今まで以上に強固なものにするため、本学の教員も同行し訪問高等学校数を増やした結果、延べ 544 校を訪問した。

平成 29 年度は、道北担当の職員を雇用し、受験実績等を踏まえて訪問高等学校を選別したうえで訪問回数を増やし、延べ 621 校を訪問した。

平成 30 年度は、さらに道東担当の職員を雇用し、訪問回数もさらに増やし、PR に努めた。

⑩　テレビ CM・新聞広告

より幅広い層に対し本学を訴求し受験に結びつけるために、テレビ CM・保護者を意識した新聞広告・交通広告等を積極的に推進し、認知度向上を図ってい

る。

テレビ CM では従来、15 秒 CM を中心に行ってきたが、これに加えて、番組提供の 30 秒 CM を多用している。新聞広告では、北海道内で最も読者が多い地元紙の北海道新聞を活用し、全 30 段広告 1 回、全 5 段広告シリーズ 5 回を掲出した。この広告には、理事長をはじめ学長自ら、本学認知度向上を実施している。

交通広告では、来年 4 月のキャンパス移転に合わせて、キャンパス最寄りの地下鉄駅を中心に交通広告を掲出している。また、交通交差点では、本学のキャンパス移転が移転先の地元の方に周知できるよう移転前年の令和 2 年 4 月から設置を行った（資料 11）。

これらの取り組みを行った結果、高校 3 年生を対象とした北海道の大学に対するアンケート調査「進学ブランド力調査 2020 リクルート（資料 12）」によると、本学への「興味度」は令和元年 2.9%（15 位）であったのに対し、令和 2 年は 7.2%（9 位）に、「志願度」は令和元年 2.0%（12 位）であったのに対し、令和 2 年は 5.2%（9 位）に上昇している。本学と同じ私学の保健・衛生学部系大学のみでは、本学への「興味度」及び「志願度」は、いずれも道内 5 位から 3 位に上昇している。

⑪ ホームページ・SNS

ホームページは、大学の概要や特徴、教育理念の他、学科毎の特徴や入試情報、イベント情報などを掲載し、情報提供を行っている。令和 2 年 7 月には、ホームページをさらに進化させ、全面リニューアルをする予定である。積極的な SNS の活用は、LINE、Facebook、Twitter 等である。具体的には、令和元年から情報発信をスタートし、受験者層拡大に向けたタイムリーな情報を発信している。特に、日本医療大学公式チャンネル YouTube では、Web 媒体広告からの確実な導線をはかり、視聴者数増に大幅に貢献している。その結果、オープンキャンパス等の参加者増に繋がった実績がある。

2 人材需要の動向等社会の要請

(1) 人材の養成に関する目的その他の教育研究上の目的（概要）

本学は、基本理念「人は人を愛し、人にふれることによって、自らも成長する」のもとに、これからの社会で必要とされる質の高い保健・医療・福祉の専門職の人材育成を目的としている。また、看護学科と診療放射線学科における、教育目的及び養成する人材像は以下のとおりである。

① 看護学科

看護学科の教育目的は「看護に対する社会の多様な期待に応えるためには、高い倫理性と豊かな人間性を持ち、人間を総合的に理解する能力、科学的な学問体

系から得られた専門的知識、技術に裏付けられた看護実践力、チームの一員として役割を果たす責任と協働する能力、看護学への学問的探究心と問題解決に向けた倫理的思考能力と主体的学修能力を備えた看護師の育成」とし、以下の特性を備えた人材を養成する。

ア　生命の尊厳や人権を守り、人々の多様な価値観や意思を尊重できる。
イ　全人的理解を基盤とした援助的入間関係を形成できる。
ウ　科学的に裏付けされた専門的知識と技術で看護実践ができる。
エ　保健医療福祉チームの一員として他職種と連携・協働できる。
オ　科学的思考と問題解決能力、主体的学修能力で自己成長できる。

② 診療放射線学科

診療放射線学科の教育目的は「放射線医療の高度化や多様化に対応するため、基礎的な知識と技能の習得に加えて、医療現場に携わる職業人として求められる幅広い視野と豊かな人間性、高い倫理観、的確な対人関係の形成や他者との協調と協働力を身につけた職業人を育成します。また、継続的な自己研鑽力や自主的に学び、考え、行動する研究能力を身につけた職業人を育成することを目的とします。」とし、以下の特性を備えた人材を養成する。

ア　生命の尊厳や人権を守り、人々の多様な価値観や意思を尊重できる。
イ　全人的理解を基盤とした入間関係を形成できる。
ウ　科学的に裏付けされた専門的知識と技術で放射線診療を実践できる。
エ　保健医療福祉チームの一員として他職種と連携・協働できる。

⑵　上記（1）が社会的、地域的な人材需要の動向等を踏まえたものであることの客観的な根拠

① 我が国における超高齢社会と医療体制の再構築

内閣府平成 29 年版高齢社会白書（資料 13）では，以下の通りである。

・我が国の総人口は、平成 29（2017）年 10 月 1 日現在、1 億 2,671 万人。
・65 歳以上人口は、3,515 万人。
・65 歳以上人口を男女別にみると、男性は 1,526 万人、女性は 1,989 万人で、性比（女性人口 100 人に対する男性人口）は 76.7。
・総人口に占める 65 歳以上人口の割合（高齢化率）は 27.7%
・「65～74 歳人口」は 1,767 万人、総人口に占める割合は 13.9%
・「75 歳以上人口」は 1,748 万人、総人口に占める割合は 13.8%。
・我が国は世界で最も高い高齢化率である。
・先進諸国の高齢化率を比較してみると、我が国は 1980 年代までは下位、90 年代にはほぼ中位であったが、平成 17（2005）年には最も高い水準となった。
・高齢化の速度について、高齢化率が 7%を超えてからその倍の 14%に達するま

での所要年数（倍加年数）によって比較すると、我が国は、昭和 45（1970）年に 7%を超えると、その 24 年後の平成 6（1994）年には 14%に達した。

このように、総人口が減少する中で高齢化率は上昇し、高齢者を支える看護師やその他の医療従事者である診療放射線技師の需要も当然高まることが見込まれる。北海道においても、高齢者人口は平成 37 年度には約 169 万人（高齢化率 33.7%）に達し、要支援・要介護者数は、平成 25 年度から 14.1 万人増え、42.2 万人と見込まれる。

北海道における看護師数は、「衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況」（厚生労働省）(資料 14) によると、平成 26 年：76,904 人、平成 28 年：79,645 人、平成 30 年：81,155 人であり、隔年の集計ごとに増加傾向にある。また、「第七次看護職員需要見通し都道府県別」(資料 15) によると、平成 27 年における北海道の看護職員需要数は、80,592 人に対し、供給数は 78,869 人と少なく、1,723 人の看護師不足であったことが報告されている。

診療放射線技師については、厚生労働省大臣官房統計情報部「医療施設（静態・動態）調査・病院報告」によると、我が国の全医療施設における診療放射線技師数は、平成 23 年：49,105 人、平成 26 年：50,959 人、平成 29 年：54,212 人であり、集計年ごとに増加傾向にある。また、近年、厚生労働省では、「医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト シェアの推進に関する検討会」を開催し、現行制度の下でのタスク・シフティングを最大限推進しつつ、多くの医療専門職それぞれが自らの能力を活かし、より能動的に対応できる仕組みを整えることを目的に議論されている (資料 16)。日本診療放射線技師会からも、現在、医師や医師以外の職種が担う業務のうち、診療放射線技師に移管可能な業務として、「RI 検査医薬品注入後の抜針及び止血について」、「CT コロノグラフィの検査手技」や「X線検診車で胃がん検診ならびに乳がん検診の撮影についての包括指示での撮影」など多くの項目について提案しており (資料 17)、今後益々、業務拡大に伴い診療放射線技師の需要が増えることが予想される。また、婦人科領域の医療現場では、女性診療放射線技師の需要は高いものの充足には至っていない状況も示唆されている (資料 18)。

我が国における超高齢社会と医療体制の再構築については、「北海道医療計画 (資料 19)」の中でも、将来の医療を担う人材の確保は重要課題としてあげられており、このような超高齢社会を支える医療従事者を安定的に確保していくため人材の育成は急務とされている。

② 本学に対する求人状況

本学では、平成 29 年度に看護学科、令和元年度に診療放射線学科の第 1 期

の卒業生を輩出しており、これまで両学科が依頼を受けている求人は、高い件数を維持している。

看護学科では、平成 29 年度、平成 30 年度、令和元年度の求人数はそれぞれ、8,986 人、10,042 人、10,457 人と年々増加傾向にあり、就職希望者数に対して計算した求人倍率では、過去 3 年間それぞれ 134.1、130.4、145.2 と非常に高い値で推移している。

診療放射線学科では、第 1 期の卒業生を輩出した令和元年度の求人数は 646 人、求人倍率は 25.8 倍であり、看護学科と同様に高い値である。

直近の令和 2 年度は 10 月 14 日現在にもかかわらず既に、看護学科 10,836 人、診療放射線学科 509 人の求人依頼を受けている。

表 4　本学看護学科及び診療放射線学科の求人状況　（人）

学科	区分	平成 29 年度	平成 30 年度	令和元年度	令和 2 年度 10 月 14 日現在
看護学科	求人数	8,986	10,042	10,457	10,836
	就職希望者数	67	77	72	－
	求人倍率*)	134.1	130.4	145.2	－
診療放射線学科	求人数	－	－	646	509
	就職希望者数	－	－	25	－
	求人倍率*)	－	－	25.8	－
＊求人倍率は各年度の就職希望数に対して計算					

③ 採用意向調査 (資料 20)

ア　調査の概要

日本医療大学保健医療学部看護学科及び診療放射線学科の卒業生に限定した企業の採用意向、及び定員数増加に伴う企業のニーズ調査を目的とし、アンケート調査を行った。

＜実施者＞

日本医療大学

＜アンケート題目＞

日本医療大学　収容定員数増加に係る事業所アンケート調査協力のお願い

＜調査対象＞

卒業生の就職が見込まれる病院等 220 施設の施設長

＜実施時期＞

令和 2 年 10 月

＜有効回答率等＞

・配　布　数：220 施設
・有効回答数：152 施設
・有効回答率：69.1%

イ　調査結果

アンケート調査結果から、以下のことが明らかになった。

・看護学科及び診療放射線学科定員数増加後においても、入学定員を超える求人件数が見込め、両学科の就職先は十分に確保できると言える。

＜両学科共通＞

日本医療大学 保健医療学部 看護学科・診療放射線学科の卒業生の採用を検討したいと回答した施設は、121 件であった。

また、採用を検討したい理由は、最も多かったのが「定数増による定量的な人材確保に期待する」52 施設（31.5%)、「信頼できる教員の推薦による日本医療大学の学生を即戦力と期待している」37 施設（22.4%)、「医療系総合大学におけるチーム医療を含めた包括的教育に期待している」36 施設（21.8%）の順に回答が多かった。

＜看護学科＞

「日本医療大学 保健医療学部 看護学科・診療放射線学科の卒業生の採用を検討している」121 施設のうち、本学看護学科卒業生の採用人数について尋ねたところ、回答があったのは 111 施設であり、採用人数は全体で 348 人であった。定員数増加後の定員 150 人を大きく上回る求人が見込める結果であった。

＜診療放射線学科＞

「日本医療大学 保健医療学部 看護学科・診療放射線学科の卒業生の採用を検討している」121 施設のうち、本学診療放射線学科卒業生の採用人数について尋ねたところ、回答があったのは 87 施設であり、採用人数は全体で 141 人であった。定員数増加後の定員 100 人を大きく上回る求人が見込める結果であった。

④ 結論

超高齢社会を迎える我が国では、医療体制再構築や医師の働き方改革などの取り組みにより、看護師や診療放射線技師などの医療専門職の需要はさらに高まっている。そのような状況下において、本学の看護学科及び診療放射線学科卒業生に対する社会的需要は、これまでの実績として求人数は年々増えており

企業・関係機関等からのニーズは高いこと、さらに、採用意向調査の結果から「定数増による定量的な人材確保に期待する」52 施設（31.5%）の回答が最も多いことから、本学定員数増加は、企業における期待度が高いと言える。

また、本学卒業生に限定した採用意向調査の結果、入学定員を上回る求人件数が見込め、本学看護学科及び診療放射線学科の卒業生の就職先は十分に確保できると言える。

学生の確保の見通し等を記載した書類　添付資料

資料 1　大学進学率の推移（現役：エリア別：2009～2018 年）

資料 2　第 9 回高校生と保護者の進路に関する意識調査（2019 年報告書）

資料 3　地元残留率の推移（全体：大学入学者数:エリア別:2010～2019 年）

地元残留率の推移（男子：大学入学者数:エリア別:2010～2019 年）

地元残留率の推移（女子：大学入学者数:エリア別:2010～2019 年）

資料 4　道内私立大学×志願者数×看護学科　志願者数・志願倍率

道内私立大学×志願者数×診療放射線学科　志願者数・志願倍率

資料 5　道内私立大学×入学者数×看護学科　募集人員・入学者数･定員充足率

道内私立大学×入学者数×診療放射線学科　募集人員・入学者数･定員充足率

資料 6　2020 入試結果（第一志望のみ）2020 入試結果（併願）

高等学校別入試出願（2020 と 2019 の対比）

資料 7　全イベントの集計（前年同日比）

資料 8　オープンキャンパス

資料 9　一日体験入学

資料 10　保護者説明会

資料 11　新聞広告　テレビコマーシャル　交通広告

資料 12　進学ブランド力調査 2020 リクルート

資料 13　平成 29 年度　高齢化の状況及び高齢社会対策の実施状況

資料 14　衛生行政報告例（就業医療関係者）の概況（厚生労働省）

資料 15　第七次看護職員需要見通し都道府県別

資料 16　第 1 回医師の働き方改革を進めるためのタスクシフトシェアの推進に関する検討会

資料 17　タスク・シフティング推進に関するヒアリング～日本診療放射線技師会～

資料 18　診療放射線技師の現状および将来需要に関する調査研究

資料 19　北海道医療計画「(平成 30 年度～平成 35 年度）平成 30 年 3 月北海道」

資料 20　日本医療大学　収容定員増加に係る事業所アンケート調査

（資料 1）

大学進学率の推移（現役：エリア別：2009～2018 年）

■2009 年 47.3%→2018 年 49.7%(2.4 ポイント上昇)

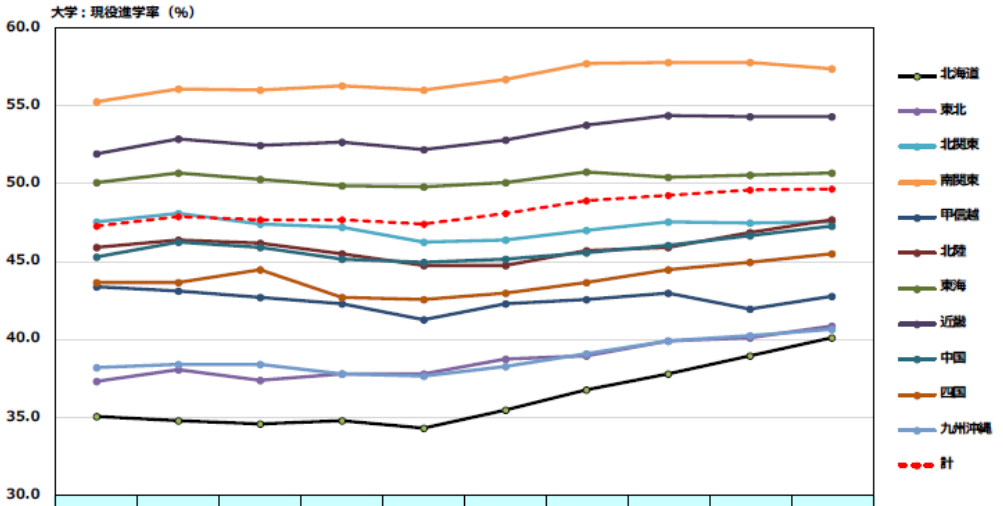
・全体の大学進学率は 2009 年 47.3%→2018 年 49.7%と、10 年間で 2.4 ポイント上昇。
2009～2012 年の 4 年間は横ばいのトレンド(47.3%→47.7%）。
2013～2018 年にかけて 2.3 ポイントの上昇（47.4%→49.7%)。

・上昇率が高いのは、1 位北海道(114.2）、2 位東北(109.7）、3 位九州沖縄(106.5）。※

・上昇率が低いのは、1 位甲信越(98.6）、2 位北関東(100.0）、3 位東海(101.2）。※

・進学率が高いのは、1 位南関東(2018 年 57.4%）、2 位近畿(54.3%）、3 位東海(50.7%）。

注）※の( )内の数値は、2009 年を 100 としたときの 2018 年の指数



		2009年	2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年
計	進学率	47.3	47.9	47.7	47.7	47.4	48.1	48.9	49.3	49.6	49.7
	指数	100.0	101.3	100.8	100.8	100.2	101.7	103.4	104.2	104.9	105.1
北海道	進学率	35.1	34.8	34.6	34.8	34.3	35.5	36.8	37.8	39.0	40.1
	指数	100.0	99.1	98.6	99.1	97.7	101.1	104.8	107.7	111.1	114.2
東北	進学率	37.3	38.1	37.4	37.8	37.8	38.8	39.0	39.9	40.1	40.9
	指数	100.0	102.1	100.3	101.3	101.3	104.0	104.6	107.0	107.5	109.7
北関東	進学率	47.6	48.1	47.4	47.2	46.3	46.4	47.0	47.6	47.5	47.6
	指数	100.0	101.1	99.6	99.2	97.3	97.5	98.7	100.0	99.8	100.0
南関東	進学率	55.3	56.1	56.0	56.3	56.0	56.7	57.7	57.8	57.8	57.4
	指数	100.0	101.4	101.3	101.8	101.3	102.5	104.3	104.5	104.5	103.8
甲信越	進学率	43.4	43.1	42.7	42.3	41.3	42.3	42.6	43.0	42.0	42.8
	指数	100.0	99.3	98.4	97.5	95.2	97.5	98.2	99.1	96.8	98.6
北陸	進学率	45.9	46.4	46.2	45.5	44.8	44.8	45.7	45.9	46.9	47.7
	指数	100.0	101.1	100.7	99.1	97.6	97.6	99.6	100.0	102.2	103.9
東海	進学率	50.1	50.7	50.3	49.9	49.8	50.1	50.8	50.4	50.6	50.7
	指数	100.0	101.2	100.4	99.6	99.4	100.0	101.4	100.6	101.0	101.2
近畿	進学率	51.9	52.9	52.5	52.7	52.2	52.8	53.8	54.4	54.3	54.3
	指数	100.0	101.9	101.2	101.5	100.6	101.7	103.7	104.8	104.6	104.6
中国	進学率	45.3	46.3	45.9	45.2	45.0	45.2	45.6	46.1	46.7	47.3
	指数	100.0	102.2	101.3	99.8	99.3	99.8	100.7	101.8	103.1	104.4
四国	進学率	43.7	43.7	44.5	42.7	42.6	43.0	43.7	44.5	45.0	45.5
	指数	100.0	100.0	101.8	97.7	97.5	98.4	100.0	101.8	103.0	104.1
九州沖縄	進学率	38.2	38.4	38.4	37.8	37.7	38.3	39.1	39.9	40.3	40.7
	指数	100.0	100.5	100.5	99.0	98.7	100.3	102.4	104.5	105.5	106.5

※データ元：「学校基本調査　確報値」より

25. 将来就きたい・就いてほしい職業／その理由

1）高校生が将来就きたい職業

▶高校生の57%が就きたい職業が「ある」。

▶就きたい職業のトップは「教師」。以下、「公務員」「看護師」など安定したイメージの職業が上位。男子は「公務員」「教師」「建築士・建築関連」、女子は「看護師」「教師」「保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連」が人気。

●高校生に将来就きたい職業はあるか尋ねたところ、「ある」が半数強(57%)。

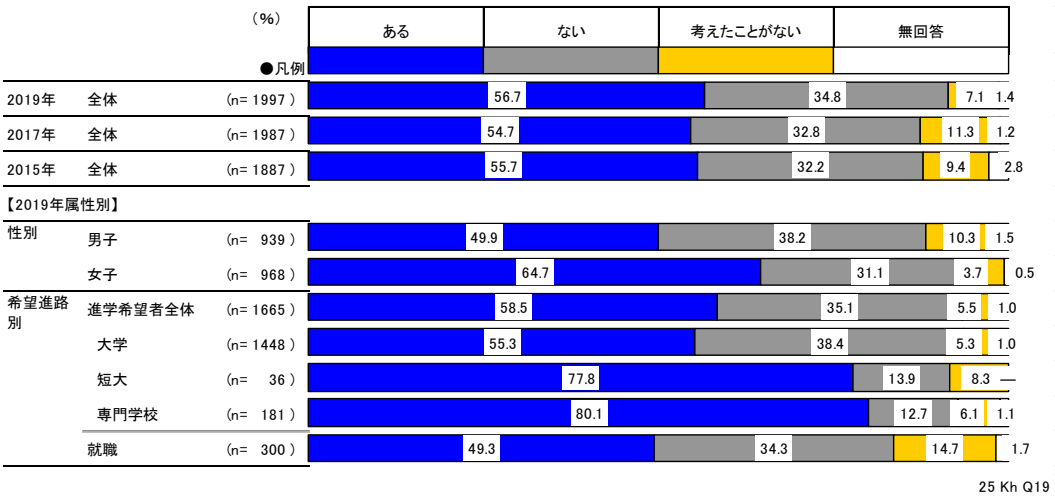
●性別にみると、「ある」の割合は女子(65%)が男子(50%)を大きく上回る。

●具体的に就きたい職業は、「教師」が最も多く、「公務員」「看護師」「建築士・建築関連」が続く。

●男子は、「公務員」が最多。以下「教師」「建築士・建築関連」「医師・歯科医師・獣医」「技術者・研究者」。
女子は、「看護師」が最多。以下「教師」「保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連」「公務員」「医師・歯科医師・獣医」。

→フリーコメントは41ページに掲載

【高校生】 将来、就きたい職業があるか（全体／単一回答）



25 Kh Q19

【高校生】就きたい職業ランキング （就きたい職業が「ある」・職業回答者／自由回答）

(%)

全体

順位	職業	(n=1093)
1	教師	11.4
2	公務員	10.0
3	看護師	9.1
4	建築士・建築関連	6.1
5	医師・歯科医師・獣医	5.9
6	技術者・研究者	4.3
7	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	4.2
8	薬剤師	3.0
9	製造業（自動車・造船など）	2.9
10	放射線技師・臨床検査技師	2.7
	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	2.7
	エンジニア・プログラマー・IT関連	2.7
13	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	2.2
14	イラストレーター・アニメーター・ゲーム関連	1.8
15	俳優・ミュージシャン・声優・芸能関連	1.7
	美容師・ヘアメイクアーティスト・美容関連	1.7
	会社員	1.7
18	トリマー・動物関連	1.6
	デザイナー・設計士	1.6
	司書・学芸員	1.6

男子

順位	職業	(n= 455)
1	公務員	15.6
2	教師	14.9
3	建築士・建築関連	10.5
4	医師・歯科医師・獣医	7.5
5	技術者・研究者	7.3
6	製造業（自動車・造船など）	6.6
7	エンジニア・プログラマー・IT関連	5.3
8	薬剤師	2.6
9	看護師	2.2
	調理師・シェフ・パティシエ・フード関連	2.2
	会社員	2.2

女子

順位	職業	(n= 601)
1	看護師	14.6
2	教師	8.8
3	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	7.2
4	公務員	6.2
5	医師・歯科医師・獣医	4.8
6	放射線技師・臨床検査技師	3.8
7	薬剤師	3.5
8	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	3.3
9	美容師・ヘアメイクアーティスト・美容関連	2.8
	建築士・建築関連	2.8

2) 保護者が子どもに将来就いてほしい職業

▶保護者の11%が子どもに就いてほしい職業が「ある」。79%が「子どもが希望する職業なら何でもよい」。

▶就いてほしい職業は「公務員」が突出。以下「看護師」「教師」「医療事務・医療関連」「医師・歯科医師・獣医」「薬剤師」など雇用が安定したイメージがある職業や医療系の職種が上位。

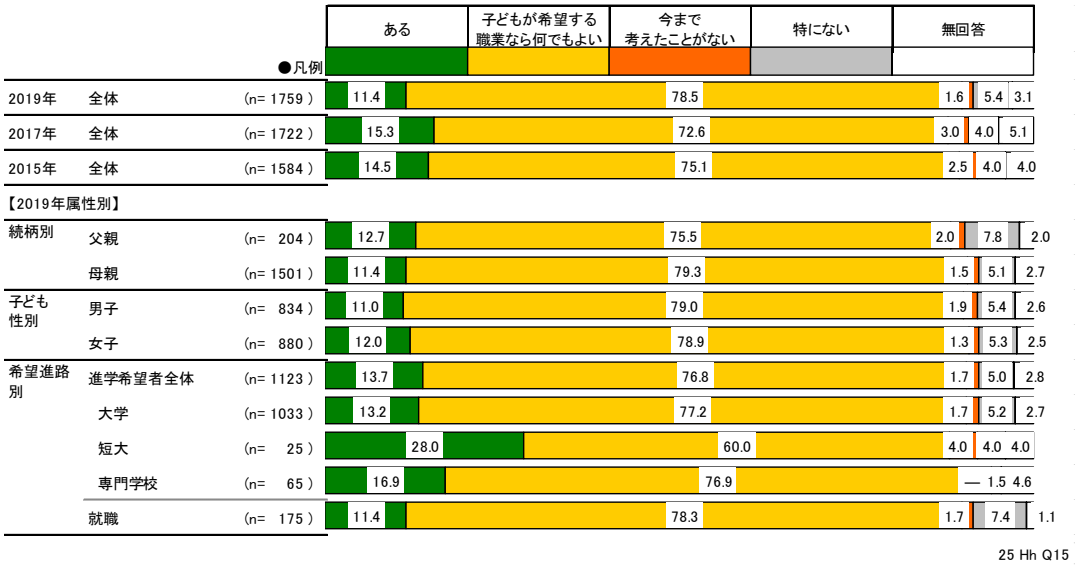
●保護者に、子どもに将来就いてほしい職業はあるか尋ねたところ、「子どもが希望する職業なら何でもよい」(79%)が過半数を占める。就いてほしい職業が「ある」は11%。

●具体的に就いてほしい職業を尋ねたところ、「公務員」が突出。次いで「看護師」「教師」「医療事務・医療関連」「医師・歯科医師・獣医」「薬剤師」が続く。

●男子の保護者は、「公務員」が突出。以下「教師」「医師・歯科医師・獣医」「薬剤師」「医療事務・医療関連」「技術者・研究者」」が続く。
女子の保護者は、「公務員」がトップ、2位「看護師」までが20%超。以下、「医療事務・医療関連」「教師」。

→フリーコメントは41ページに掲載

【保護者】 将来、子どもに就いてほしい職業はあるか（全体／単一回答）



25 Hh Q15

【保護者】就いてほしい職業ランキング （就いてほしい職業が「ある」・職業回答者／自由回答）

(%)

全体

順位	職業	(n= 182)
1	公務員	37.4
2	看護師	11.5
3	教師	8.2
4	医療事務・医療関連	7.1
5	医師・歯科医師・獣医	5.5
6	薬剤師	4.4
7	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	3.3
	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	3.3
9	放射線技師・臨床検査技師	2.7
	技術者・研究者	2.7
	会社員	2.7
12	管理栄養士・栄養士	2.2
13	建築士・建築関連	1.6
14	弁護士・裁判官・法律関係	1.1
	臨床心理士・心理カウンセラー・スクールカウンセラー・心理関連	1.1
	イラストレーター・アニメーター・ゲーム関連	1.1
	製造業（自動車・造船など）	1.1

18位には、15項目が0.5%で並んでいるため省略。例「助産師」「客室乗務員」「アナウンサー」など。

子どもの性別：男子

順位	職業	(n= 84)
1	公務員	50.0
2	教師	9.5
3	医師・歯科医師・獣医	6.0
4	薬剤師	4.8
	医療事務・医療関連	4.8
	技術者・研究者	4.8
7	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	2.4
	製造業（自動車・造船など）	2.4
	建築士・建築関連	2.4
	会社員	2.4

子どもの性別：女子

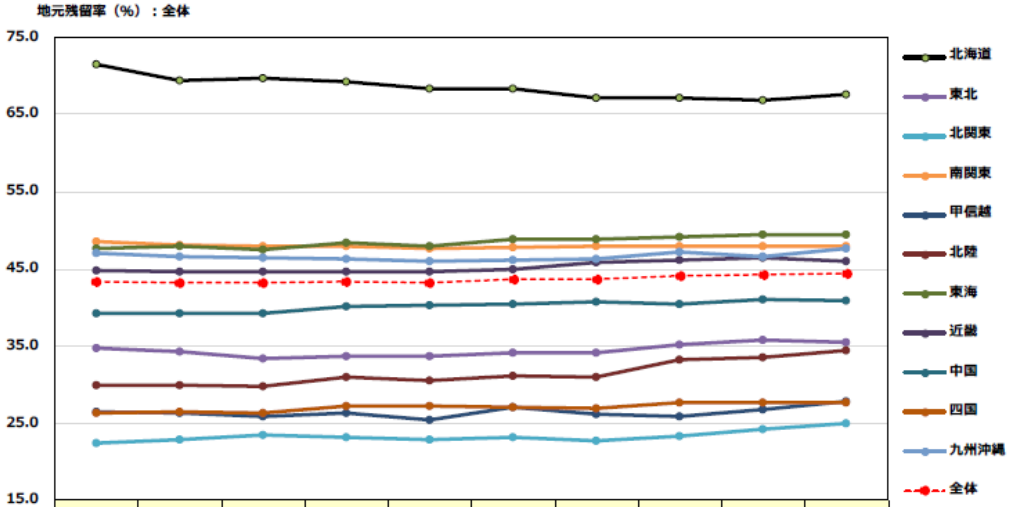
順位	職業	(n= 95)
1	公務員	27.4
2	看護師	21.1
3	医療事務・医療関連	8.4
4	教師	7.4
5	保育士・幼稚園教諭・幼児保育関連	5.3
	放射線技師・臨床検査技師	5.3
7	医師・歯科医師・獣医	4.2
	薬剤師	4.2
	管理栄養士・栄養士	4.2
	理学療法士・作業療法士・言語聴覚士・リハビリ	4.2

（資料 3）

地元残留率の推移（全体：大学入学者数：エリア別：2010～2019 年）

・全体で 2010 年 43.4%→2019 年 44.4%と 1.0 ポイント上昇。
・上昇率が高いのは、1 位北陸(115.1) 、2 位甲信越(105.3) 、3 位四国(104.9) 。※
・残留率が高いのは、1 位北海道(2019 年 67.6%) 、2 位東海(49.5%) 、3 位南関東(47.9%) 。
・北海道は 2010 年で 71.5%という高い残留率だったが、2019 年で 67.6%と 3.9 ポイント低下。ただし数値としては飛び抜けて高く、2 位の東海(49.5%)に 20 ポイント近い差をつけており、全体平均を引き上げている。

注）※の( )内の数値は、2010 年を 100 としたときの 2019 年の指数



		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
全体	残留率	43.4	43.2	43.2	43.4	43.2	43.6	43.7	44.1	44.2	44.4
	指数	100.0	99.5	99.5	100.0	99.5	100.5	100.7	101.6	101.8	102.3
北海道	残留率	71.5	69.4	69.7	69.2	68.4	68.3	67.1	67.2	66.9	67.6
	指数	100.0	97.1	97.5	96.8	95.7	95.5	93.8	94.0	93.6	94.5
東北	残留率	34.7	34.2	33.3	33.7	33.6	34.1	34.1	35.2	35.7	35.5
	指数	100.0	98.6	96.0	97.1	96.8	98.3	98.3	101.4	102.9	102.3
北関東	残留率	22.4	22.8	23.4	23.1	22.8	23.2	22.7	23.3	24.2	25.0
	指数	100.0	97.1	97.5	96.8	95.7	95.5	93.8	94.0	93.6	94.5
南関東	残留率	48.5	48.1	48.0	47.9	47.7	47.8	47.9	48.0	47.9	47.9
	指数	100.0	99.2	99.0	98.8	98.4	98.6	98.8	99.0	98.8	98.8
甲信越	残留率	26.4	26.3	25.9	26.3	25.4	27.1	26.2	25.9	26.7	27.8
	指数	100.0	99.6	98.1	99.6	96.2	102.7	99.2	98.1	101.1	105.3
北陸	残留率	29.9	29.9	29.7	31.0	30.5	31.1	30.9	33.2	33.5	34.4
	指数	100.0	100.0	99.3	103.7	102.0	104.0	103.3	111.0	112.0	115.1
東海	残留率	47.6	48.0	47.5	48.4	48.0	48.9	48.9	49.2	49.5	49.5
	指数	100.0	100.8	99.8	101.7	100.8	102.7	102.7	103.4	104.0	104.0
近畿	残留率	44.8	44.7	44.7	44.6	44.7	45.0	45.8	46.1	46.4	46.0
	指数	100.0	99.8	99.8	99.6	99.8	100.4	102.2	102.9	103.6	102.7
中国	残留率	39.2	39.3	39.2	40.1	40.3	40.5	40.7	40.5	41.0	40.9
	指数	100.0	100.3	100.0	102.3	102.8	103.3	103.8	103.3	104.6	104.3
四国	残留率	26.3	26.5	26.3	27.2	27.2	27.1	26.9	27.7	27.6	27.6
	指数	100.0	100.8	100.0	103.4	103.4	103.0	102.3	105.3	104.9	104.9
九州沖縄	残留率	47.1	46.6	46.5	46.3	46.0	46.1	46.3	47.2	46.6	47.7
	指数	100.0	98.9	98.7	98.3	97.7	97.9	98.3	100.2	98.9	101.3

※データ元：2010年~2018年＝「学校基本調査 確報値」 / 2019年＝「令和元年（2019年度）学校基本調査 速報値」より

地元残留率の推移（男子：大学入学者数：エリア別：2010～2019 年）

■2010 年 41.7%→2019 年 41.9%（0.2 ポイント上昇）

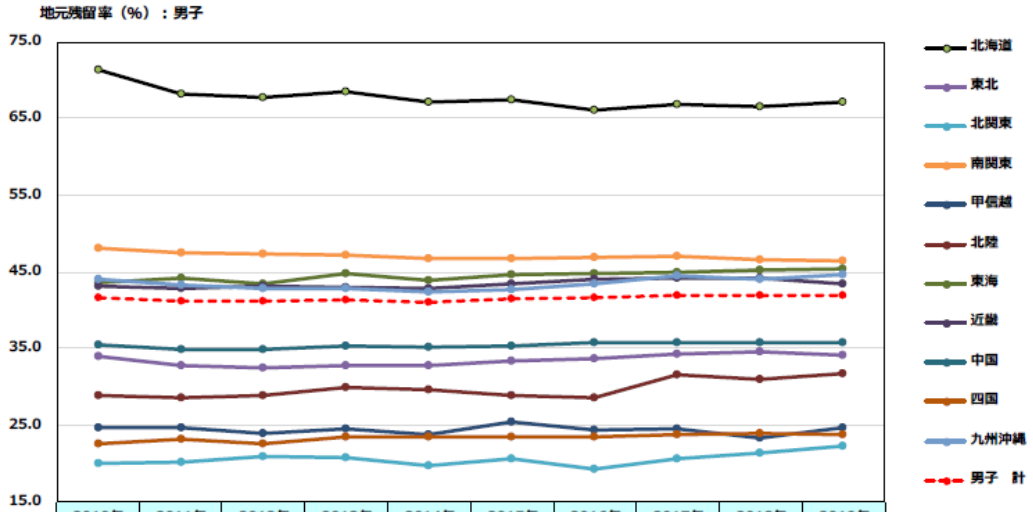
・男子は 2010 年 41.7%→2019 年 41.9%と 0.2 ポイント上昇。

・上昇率が高いのは、1 位北関東（111.0）、2 位北陸（109.7）、3 位四国（104.9）。※

・上昇率が低いのは、1 位北海道（94.0）、2 位南関東（96.7）、3 位甲信越（100.4）。

・残留率が高いのは、1 位北海道（2019 年 67.1%）、2 位南関東（46.5%）、3 位東海（45.4%）。

注）※の（ ）内の数値は、2010 年を 100 としたときの 2019 年の指数



		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
男子　計	残留率	41.7	41.2	41.2	41.4	41.0	41.5	41.6	42.0	41.9	41.9
	指数	100.0	98.8	98.8	99.3	98.3	99.5	99.8	100.7	100.5	100.5
北海道	残留率	71.4	68.2	67.8	68.5	67.1	67.5	66.1	66.8	66.6	67.1
	指数	100.0	95.5	95.0	95.9	94.0	94.5	92.6	93.6	93.3	94.0
東北	残留率	33.9	32.8	32.4	32.7	32.7	33.3	33.6	34.2	34.6	34.1
	指数	100.0	96.8	95.6	96.5	96.5	98.2	99.1	100.9	102.1	100.6
北関東	残留率	20.0	20.1	20.9	20.7	19.7	20.6	19.3	20.6	21.3	22.2
	指数	100.0	100.5	104.5	103.5	98.5	103.0	96.5	103.0	106.5	111.0
南関東	残留率	48.1	47.5	47.4	47.2	46.8	46.8	46.9	47.0	46.6	46.5
	指数	100.0	98.8	98.5	98.1	97.3	97.3	97.5	97.7	96.9	96.7
甲信越	残留率	24.6	24.6	23.9	24.5	23.7	25.4	24.3	24.5	23.3	24.7
	指数	100.0	100.0	97.2	99.6	96.3	103.3	98.8	99.6	94.7	100.4
北陸	残留率	28.9	28.5	28.9	29.9	29.6	28.8	28.6	31.5	31.0	31.7
	指数	100.0	98.6	100.0	103.5	102.4	99.7	99.0	109.0	107.3	109.7
東海	残留率	43.6	44.2	43.4	44.8	43.9	44.6	44.8	45.0	45.2	45.4
	指数	100.0	101.4	99.5	102.8	100.7	102.3	102.8	103.2	103.7	104.1
近畿	残留率	43.1	42.8	43.1	43.0	42.8	43.5	44.0	44.2	44.2	43.5
	指数	100.0	99.3	100.0	99.8	99.3	100.9	102.1	102.6	102.6	100.9
中国	残留率	35.4	34.8	34.8	35.3	35.2	35.3	35.7	35.7	35.8	35.7
	指数	100.0	98.3	98.3	99.7	99.4	99.7	100.8	100.8	101.1	100.8
四国	残留率	22.6	23.2	22.6	23.5	23.4	23.4	23.4	23.7	23.9	23.7
	指数	100.0	102.7	100.0	104.0	103.5	103.5	103.5	104.9	105.8	104.9
九州沖縄	残留率	44.1	43.3	42.9	42.9	42.4	42.7	43.4	44.5	44.0	44.6
	指数	100.0	98.2	97.3	97.3	96.1	96.8	98.4	100.9	99.8	101.1

※データ元：2010年~2018年＝学校基本調査 確報値　/　2019年＝「令和元年（2019年度）学校基本調査　速報値」より

地元残留率の推移（女子：大学入学者数：エリア別：2010～2019 年）

■2010 年 45.7%→2019 年 47.3%（1.6 ポイント上昇）

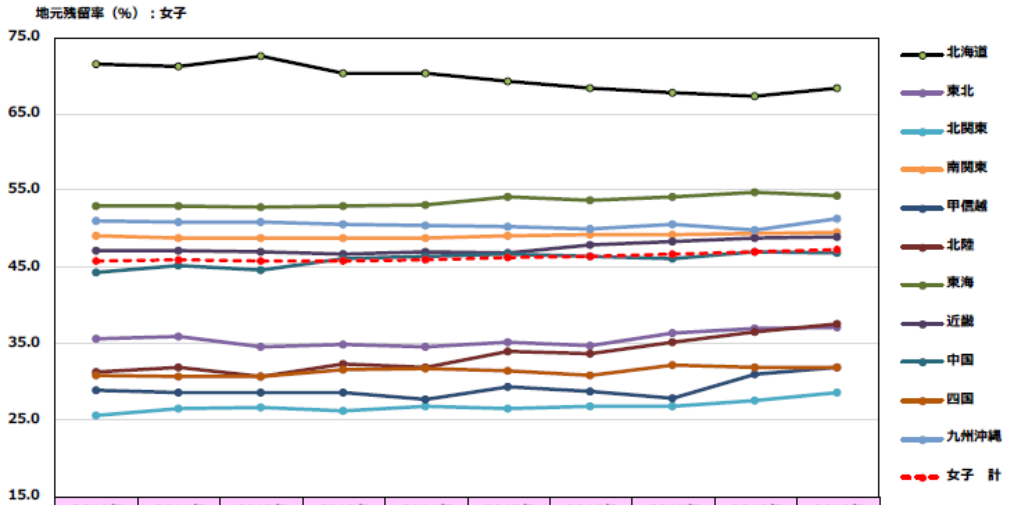
・女子は 2010 年 45.7%→2019 年 47.3%と 1.6 ポイント上昇。

・上昇率が高いのは、1 位北陸（120.1）、2 位北関東（111.3）、3 位中国（105.9）。※

・10 年間で低下したのは北海道（71.5%→68.3%）。

・残留率が高いのは、1 位北海道（2019 年 68.3%）、2 位東海（54.3%）、3 位九州沖縄（51.3%）。

注）※の（）内の数値は、2010 年を 100 としたときの 2019 年の指数

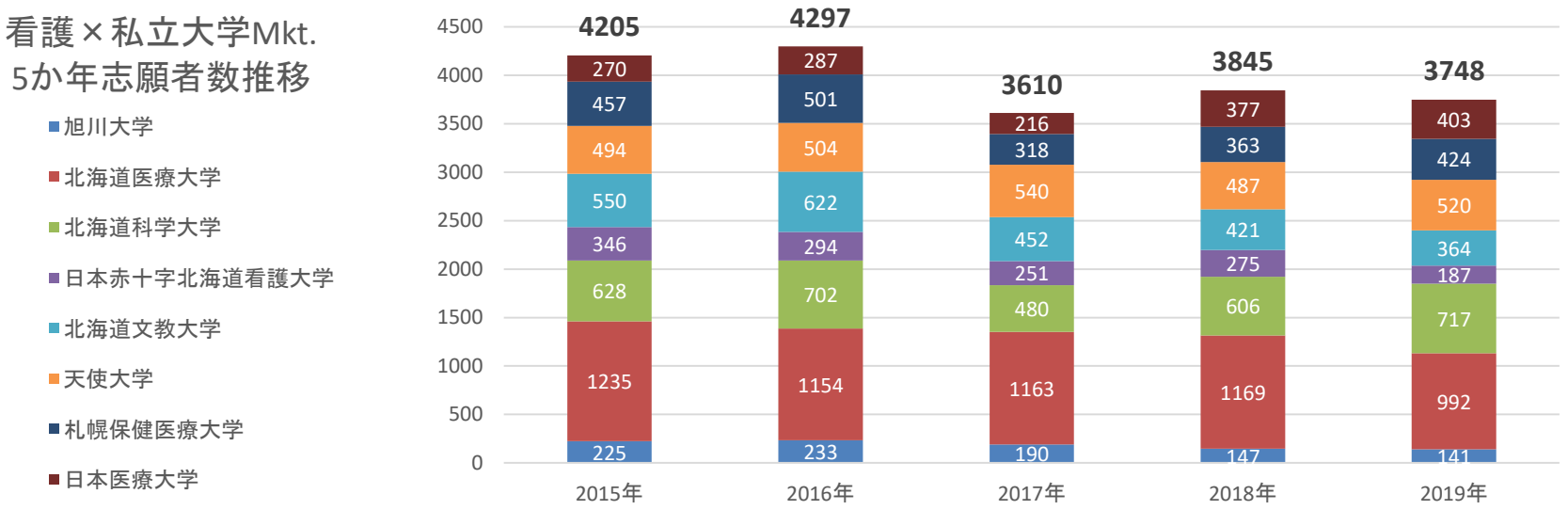


		2010年	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年
女子　計	残留率	45.7	45.9	45.7	45.8	45.9	46.2	46.3	46.6	47.0	47.3
	指数	100.0	100.4	100.0	100.2	100.4	101.1	101.3	102.0	102.8	103.5
北海道	残留率	71.5	71.2	72.5	70.3	70.3	69.3	68.4	67.7	67.3	68.3
	指数	100.0	99.6	101.4	98.3	98.3	96.9	95.7	94.7	94.1	95.5
東北	残留率	35.6	35.9	34.5	34.9	34.6	35.1	34.7	36.4	37.0	37.1
	指数	100.0	100.8	96.9	98.0	97.2	98.6	97.5	102.2	103.9	104.2
北関東	残留率	25.6	26.5	26.6	26.1	26.7	26.5	26.7	26.7	27.5	28.5
	指数	100.0	103.5	103.9	102.0	104.3	103.5	104.3	104.3	107.4	111.3
南関東	残留率	49.0	48.8	48.7	48.8	48.7	49.0	49.2	49.2	49.4	49.5
	指数	100.0	99.6	99.4	99.6	99.4	100.0	100.4	100.4	100.8	101.0
甲信越	残留率	28.9	28.6	28.6	28.5	27.7	29.3	28.7	27.8	31.0	31.8
	指数	100.0	99.0	99.0	98.6	95.8	101.4	99.3	96.2	107.3	110.0
北陸	残留率	31.3	31.9	30.7	32.3	31.8	34.0	33.7	35.2	36.5	37.6
	指数	100.0	101.9	98.1	103.2	101.6	108.6	107.7	112.5	116.6	120.1
東海	残留率	53.0	53.0	52.8	53.0	53.1	54.1	53.7	54.1	54.7	54.3
	指数	100.0	100.0	99.6	100.0	100.2	102.1	101.3	102.1	103.2	102.5
近畿	残留率	47.1	47.1	46.9	46.6	47.0	46.8	47.9	48.3	48.8	48.9
	指数	100.0	100.0	99.6	98.9	99.8	99.4	101.7	102.5	103.6	103.8
中国	残留率	44.2	45.1	44.6	46.0	46.3	46.7	46.4	46.0	46.9	46.8
	指数	100.0	102.0	100.9	104.1	104.8	105.7	105.0	104.1	106.1	105.9
四国	残留率	30.8	30.6	30.7	31.5	31.7	31.4	30.8	32.2	31.8	31.9
	指数	100.0	99.4	99.7	102.3	102.9	101.9	100.0	104.5	103.2	103.6
九州沖縄	残留率	51.0	50.8	50.9	50.6	50.4	50.2	50.0	50.5	49.8	51.3
	指数	100.0	99.6	99.8	99.2	98.8	98.4	98.0	99.0	97.6	100.6

※データ元：2010年~2018年＝学校基本調査 確報値　/　2019年＝「令和元年（2019年度）学校基本調査　速報値」より

道内私立大学×志願者数×看護学科　志願者数・志願倍率

北海道内私立大学における延べ志願者数は、5年で約460名・11%の減少



大学	学部	学科・コース	学科設置年	2015年			2016年			2017年			2018年			2019年		
				募集人員	志願者数(合計)	志願倍率	募集人員	志願者数(合計)	志願倍率	募集人員	志願者数(合計)	志願倍率	募集人員	志願者数(合計)	志願倍率	募集人員	志願者数(合計)	志願倍率
旭川大学	保健福祉学部	保健看護学科	2008	60	225	3.8	60	233	3.9	60	190	3.2	60	147	2.5	60	141	2.4
北海道医療大学	看護福祉学部	看護学科	1993	100	1,235	12.4	100	1,154	11.5	100	1,163	11.6	100	1,169	11.7	100	992	9.9
北海道科学大学	保健医療学部	看護学科	2014	80	628	7.9	80	702	8.8	80	480	6	80	606	7.6	80	717	9
日本赤十字北海道看護大学	看護学部	看護学科	1999	100	346	3.5	100	294	2.9	100	251	2.5	100	275	2.8	100	187	1.9
北海道文教大学	人間科学部	看護学科	2008	80	550	6.9	80	622	7.8	80	452	5.7	80	421	5.3	80	364	4.6
天使大学	看護栄養学部	看護学科	2000	87	494	5.7	87	504	5.8	87	540	6.2	87	487	5.6	87	520	6
札幌保健医療大学	保健医療学部	看護学科	2013	100	457	4.6	100	501	5	100	318	3.2	100	363	3.6	100	424	4.2
日本医療大学	保健医療学部	看護学科	2014	80	270	3.4	80	287	3.6	80	216	2.7	80	377	4.7	100	403	4
		合計		687	4,205	6.1	687	4,297	6.3	687	3,610	5.3	687	3,845	5.6	707	3,748	5.3
		対2015年増減		-	-	-	0	92	-	0	△ 595	-	0	△ 360	-	20	△ 457	-

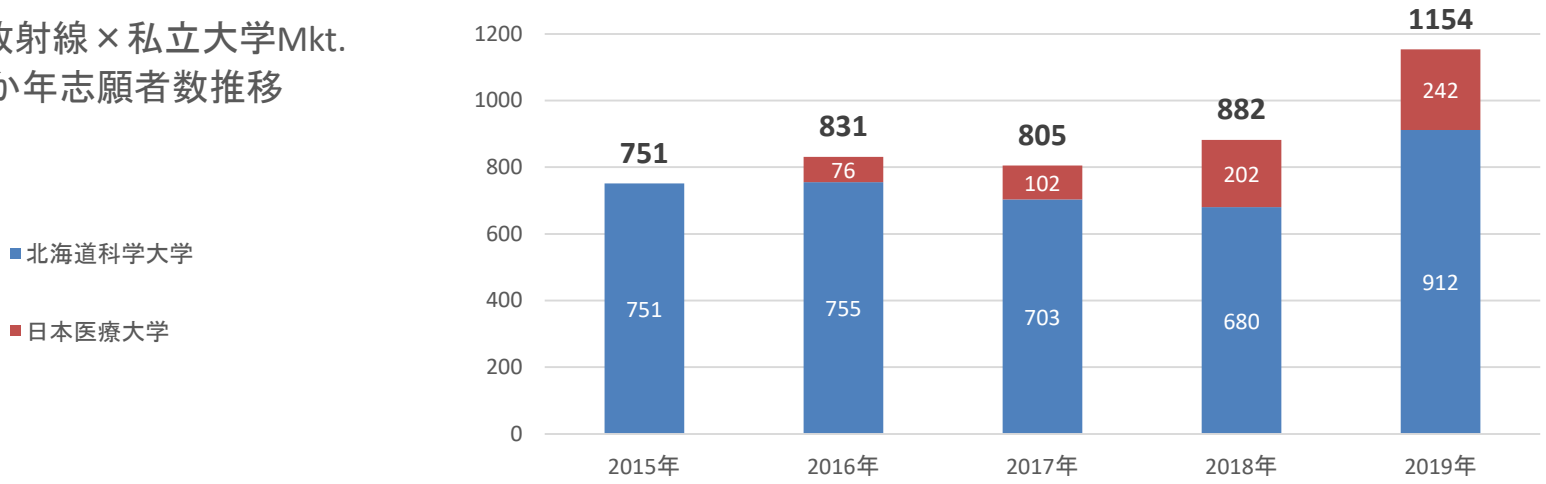
(資料4)

(C) Recruit Marketing Partners Co., Ltd. All rights reserved.

道内私立大学×志願者数×診療放射線学科　志願者数・志願倍率

**道内私立大学における延べ志願者数は増加傾向にあり、
2015年対比で約400名・54%の増加**

診療放射線×私立大学Mkt.
5か年志願者数推移



大学	学部	学科・コース	学科設置年	2015年			2016年			2017年			2018年			2019年		
				募集人員	志願者数(合計)	志願倍率	募集人員	志願者数(合計)	志願倍率	募集人員	志願者数(合計)	志願倍率	募集人員	志願者数(合計)	志願倍率	募集人員	志願者数(合計)	志願倍率
北海道科学大学	保健医療学部	診療放射線学科	2014	50	751	15	50	755	15.1	50	703	14.1	50	680	13.6	50	912	18.2
日本医療大学	保健医療学部	診療放射線学科	2016				50	76	1.5	50	102	2	50	202	4	50	242	4.8
		合計		50	751	15	100	831	8.3	100	805	8.1	100	882	8.8	100	1,154	11.5
		対2015年増減		-	-	-	50	80	-	50	54	-	50	131	-	50	403	-

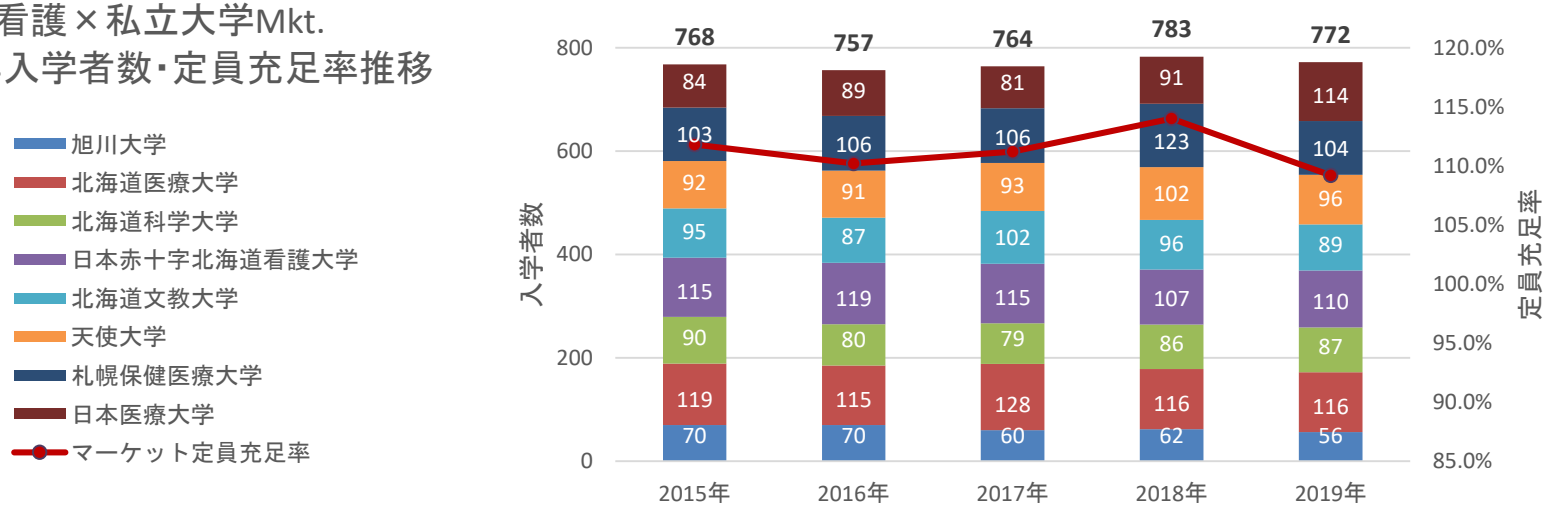
※日本医療大学…2016年に専門学校日本福祉看護・診療放射線学院より改組

(C) Recruit Marketing Partners Co., Ltd. All rights reserved.

道内私立大学×志願者数×看護学科　募集人員・入学者数・定員充足率

北海道内私立大学における入学者数は、直近5年間横ばいで推移、安定的に定員を充足

看護×私立大学Mkt.
5か年入学者数･定員充足率推移



大学	学部	学科	学科設置年	2015年			2016年			2017年			2018年			2019年		
				募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率
旭川大学	保健福祉学部	保健看護学科	2008	60	70	116.7%	60	70	116.7%	60	60	100.0%	60	62	103.3%	60	56	93.3%
北海道医療大学	看護福祉学部	看護学科	1993	100	119	119.0%	100	115	115.0%	100	128	128.0%	100	116	116.0%	100	116	116.0%
北海道科学大学	保健医療学部	看護学科	2014	80	90	112.5%	80	80	100.0%	80	79	98.8%	80	86	107.5%	80	87	108.8%
日本赤十字北海道看護大学	看護学部	看護学科	1999	100	115	115.0%	100	119	119.0%	100	115	115.0%	100	107	107.0%	100	110	110.0%
北海道文教大学	人間科学部	看護学科	2008	80	95	118.8%	80	87	108.8%	80	102	127.5%	80	96	120.0%	80	89	111.3%
天使大学	看護栄養学部	看護学科	2000	87	92	105.7%	87	91	104.6%	87	93	106.9%	87	102	117.2%	87	96	110.3%
札幌保健医療大学	保健医療学部	看護学科	2013	100	103	103.0%	100	106	106.0%	100	106	106.0%	100	123	123.0%	100	104	104.0%
日本医療大学	保健医療学部	看護学科	2014	80	84	105.0%	80	89	111.3%	80	81	101.3%	80	91	113.8%	100	114	114.0%
		合計		687	768	111.8%	687	757	110.2%	687	764	111.2%	687	783	114.0%	707	772	109.2%
		対2015年増減		-	-	-	0	△ 11	-	0	△ 4	-	0	15	-	20	4	-

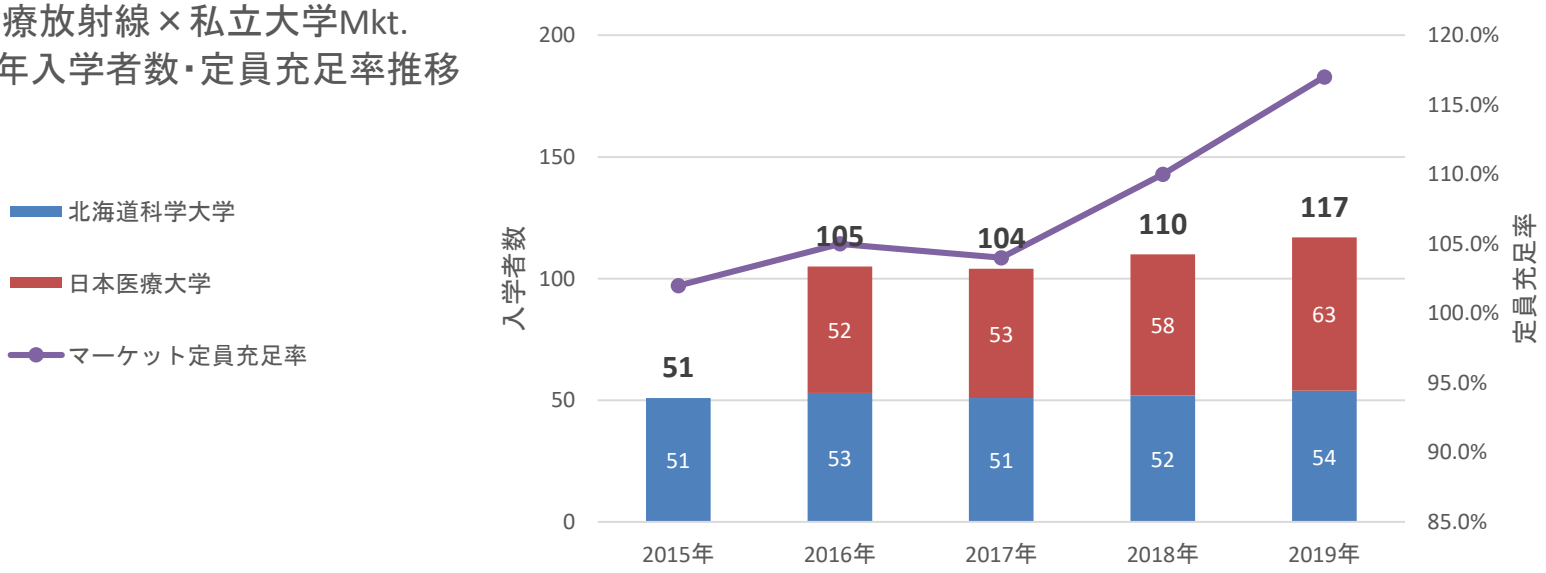
(資料5)

(C) Recruit Marketing Partners Co., Ltd. All rights reserved.

道内私立大学×入学者数×診療放射線学科　募集人員・入学者数・定員充足率

**道内私立大学における入学者数は、改組により2015年対比で増加。
直近5年間、定員充足率は100%以上を維持**

診療放射線×私立大学Mkt.
5か年入学者数･定員充足率推移



大学	学部	学科	学科設置年	2015年			2016年			2017年			2018年			2019年		
				募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率	募集人員	入学者数(合計)	定員充足率
北海道科学大学	保健医療学部	診療放射線学科	2014	50	51	102.0%	50	53	106.0%	50	51	102.0%	50	52	104.0%	50	54	108.0%
日本医療大学	保健医療学部	診療放射線学科	2016	0	0	0.0%	50	52	104.0%	50	53	106.0%	50	58	116.0%	50	63	126.0%
		合計		50	51	102.0%	100	105	105.0%	100	104	104.0%	100	110	110.0%	100	117	117.0%
		対2015年増減		-	-	-	50	54	-	50	53	-	50	59	-	50	66	-

※日本医療大学…2016年に専門学校日本福祉看護・診療放射線学院より改組

(C) Recruit Marketing Partners Co., Ltd. All rights reserved.

2020入試結果（第1志望のみ）

2020/10/9 14:00

学科（専攻）	入試区分	入学定員	志願者（前年比）		受験者（前年比）		合格者（前年比）		入学者（前年比）		辞退者（前年比）		充足率	実質倍率（受/合）
看護学科	AO入試（前期）	10	39	21	37	19	22	6	22	6		0	220.0%	1.68
	推薦入試指定校	10	6	4	6	4	6	4	6	4		0	60.0%	1.00
	推薦入試公募（前期）	25	32	8	32	8	26	2	26	2		0	104.0%	1.23
	推薦入試公募（後期）	10	21	11	21	11	14	4	14	4		0	140.0%	1.50
	一般入試（前期）	25	217	86	213	93	88	−11	37	−17	2	1	148.0%	2.42
	一般入試（後期）	6	47	22	36	17	4	−4	3	0		0	50.0%	9.00
	センター入試（前期）	10	230	112	230	112	28	−34	2	−2	1	−3	20.0%	8.21
	センター入試（中期）	2	11	5	11	5	1	−2	0	−1	1	1	0.0%	11.00
	センター入試（後期）	2	14	8	14	8	2	0	0	0		0	0.0%	7.00
	合計	100	617	277	600	277	191	−35	110	−4	4	−1	110.0%	3.14
リハビリテーション学科（理学療法学専攻）	AO入試（前期）	20	32	15	32	15	32	15	31	14	1	1	155.0%	1.00
	AO入試（後期）	10	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0.0%	−
	推薦入試指定校	10	16	10	16	10	16	10	16	10		0	160.0%	1.00
	推薦入試公募（前期）	10	9	−1	9	−1	9	−1	9	−1		0	90.0%	1.00
	推薦入試公募（後期）	6	9	9	9	9	9	9	9	9		0	150.0%	1.00
	一般入試（前期）	10	30	2	30	3	30	4	21	5		0	210.0%	1.00
	一般入試（後期）	4	5	3	4	3	0	−1	1	0		0	25.0%	0.00
	センター入試（前期）	6	59	8	59	8	42	12	9	6	5	4	150.0%	1.40
	センター入試（中期）	2	9	7	9	7	4	2	2	1	1	1	100.0%	2.25
	センター入試（後期）	2	1	−1	1	−1	0	−2	0	0		0	0.0%	0.00
	合計	80	170	52	169	53	142	48	98	44	7	6	122.5%	1.19
リハビリテーション学科（作業療法学専攻）	AO入試（前期）	10	7	−1	7	−1	7	−1	7	−1		0	70.0%	1.00
	AO入試（後期）	3	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0.0%	−
	推薦入試指定校	5	4	0	4	0	4	0	4	0		0	80.0%	1.00
	推薦入試公募（前期）	5	1	−2	1	−2	1	−2	1	−2		0	20.0%	1.00
	推薦入試公募（後期）	3	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0.0%	−
	一般入試（前期）	5	5	−1	5	−1	3	−3	3	1	1	1	60.0%	1.67
	一般入試（後期）	2	0	0	0	0	0	0	3	3		0	150.0%	0.00
	センター入試（前期）	3	19	8	18	7	13	2	1	0		0	33.3%	1.38
	センター入試（中期）	2	1	0	0	−1	0	−1	4	4		0	200.0%	0.00
	センター入試（後期）	2	0	−1	0	−1	0	−1	0	−1		0	0.0%	0.00
	合計	40	37	3	35	1	28	−6	23	4	1	1	57.5%	1.25
診療放射線学科	AO入試（前期）	5	15	5	15	6	10	4	9	3	1	1	180.0%	1.50
	推薦入試指定校	3	0	−1	0	−1	0	−1	0	−1		0	0.0%	−
	推薦入試公募（前期）	10	22	9	22	9	15	4	15	4		0	150.0%	1.47
	推薦入試公募（後期）	5	9	5	9	5	5	1	5	1		0	100.0%	1.80
	一般入試（前期）	17	75	24	73	25	46	4	34	0		−1	200.0%	1.59
	一般入試（後期）	2	13	5	9	2	3	−1	3	−3		0	150.0%	3.00
	センター入試（前期）	4	100	30	100	30	17	−2	0	−1		−1	0.0%	5.88
	センター入試（中期）	2	10	4	10	4	4	3	1	1		0	50.0%	2.50
	センター入試（後期）	2	5	3	5	3	1	0	0	0		0	0.0%	5.00
	合計	50	249	84	243	83	101	12	67	4	1	−1	134.0%	2.41
学部合計		270	1073	416	1047	414	462	19	298	48	13	5	110.4%	2.27

＊一般入試およびセンター入試は、第1志望の人数となっている。

入試区分	入学定員	志願者（前年比）		受験者（前年比）		合格者（前年比）		入学者（前年比）		辞退者（前年比）		充足率	実質倍率（受/合）
AO入試（前期）	45	93	40	91	39	71	24	69	22	2	2	153.3%	1.28
AO入試（後期）	13	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0%	−
推薦入試指定校	28	26	13	26	13	26	13	26	13	0	0	92.9%	1.00
推薦入試公募（前期）	50	64	14	64	14	51	3	51	3	0	0	102.0%	1.25
推薦入試公募（後期）	24	39	25	39	25	28	14	28	14	0	0	116.7%	1.39
一般入試（前期）	57	327	111	321	120	167	−6	95	−11	3	1	166.7%	1.92
一般入試（後期）	14	65	30	49	22	7	−6	10	0	0	0	71.4%	7.00
センター入試（前期）	23	408	158	407	157	100	−22	12	3	6	0	52.2%	4.07
センター入試（中期）	8	31	16	30	15	9	2	7	5	2	2	87.5%	3.33
センター入試（後期）	8	20	9	20	9	3	−3	0	−1	0	0	0.0%	6.67
合計	270	1073	416	1047	414	462	19	298	48	13	5	110.4%	2.27

2020入試結果（併願）

2020/10/9 14:00

学科（専攻）	入試区分	入学定員	志願者	（前年比）	受験者	（前年比）	合格者	（前年比）	入学者	（前年比）	辞退者	（前年比）	充足率	実質倍率（受/合）
看護学科	AO入試（前期）	10	39	21	37	19	22	6	22	6		0	220.0%	1.68
	推薦入試指定校	10	6	4	6	4	6	4	6	4		0	60.0%	1.00
	推薦入試公募（前期）	25	32	8	32	8	26	2	26	2		0	104.0%	1.23
	推薦入試公募（後期）	10	21	11	21	11	14	4	14	4		0	140.0%	1.50
	一般入試（前期）	25	236	79	232	90	93	-27	37	-17	2	2	148.0%	2.49
	一般入試（後期）	6	52	25	38	18	4	-4	3	0		0	50.0%	9.50
	センター入試（前期）	10	262	112	261	112	30	-40	2	-2	1	1	20.0%	8.70
	センター入試（中期）	2	19	12	19	12	1	-2	0	-1	1	1	0.0%	19.00
	センター入試（後期）	2	16	8	16	8	3	0	0	0		0	0.0%	5.33
	合計	100	683	280	662	282	199	-57	110	-4	4	4	110.0%	3.33
リハビリテーション学科（理学療法学専攻）	AO入試（前期）	20	32	15	32	15	32	15	31	14	1	1	155.0%	1.00
	AO入試（後期）	10	0		0		0		0			0	0.0%	-
	推薦入試指定校	10	16	10	16	10	16	10	16	10		0	160.0%	1.00
	推薦入試公募（前期）	10	9	-1	9	-1	9	-1	9	-1		0	90.0%	1.00
	推薦入試公募（後期）	6	9	9	9	9	9	9	9	9		0	150.0%	1.00
	一般入試（前期）	10	100	21	98	26	84	18	21	5		0	210.0%	1.17
	一般入試（後期）	4	22	10	17	8	4	-4	1	0		0	25.0%	4.25
	センター入試（前期）	6	155	43	154	46	112	42	9	6	4	4	150.0%	1.38
	センター入試（中期）	2	16	10	16	10	9	3	2	1	1	1	100.0%	1.78
	センター入試（後期）	2	7	1	7	1	3	-3	0	0		0	0.0%	2.33
	合計	80	366	118	358	124	278	89	98	44	6	6	122.5%	1.29
リハビリテーション学科（作業療法学専攻）	AO入試（前期）	10	7	-1	7	-1	7	-1	7	-1		0	70.0%	1.00
	AO入試（後期）	3	0		0		0		0			0	0.0%	-
	推薦入試指定校	5	4	0	4	0	4	0	4	0		0	80.0%	1.00
	推薦入試公募（前期）	5	1	-2	1	-2	1	-2	1	-2		0	20.0%	1.00
	推薦入試公募（後期）	3	0	0	0	0	0	0	0	0		0	0.0%	-
	一般入試（前期）	5	74	5	72	9	60	2	3	1	1	1	60.0%	1.20
	一般入試（後期）	2	17	6	12	3	10	2	3	3		0	150.0%	1.20
	センター入試（前期）	3	117	35	115	36	81	13	1	0		0	33.3%	1.42
	センター入試（中期）	2	15	10	14	9	14	9	4	4		0	200.0%	1.00
	センター入試（後期）	2	5	2	5	2	5	2	0	-1		0	0.0%	1.00
	合計	40	240	55	230	56	182	25	23	4	1	1	57.5%	1.26
診療放射線学科	AO入試（前期）	5	15	5	15	6	10	4	9	3	1	1	180.0%	1.50
	推薦入試指定校	3	0	-1	0	-1	0	-1	0	-1		0	0.0%	-
	推薦入試公募（前期）	10	22	9	22	9	15	4	15	4		0	150.0%	1.47
	推薦入試公募（後期）	5	9	5	9	5	5	1	5	1		0	100.0%	1.80
	一般入試（前期）	17	109	28	106	29	64	0	34	0		0	200.0%	1.66
	一般入試（後期）	2	28	14	21	9	6	-2	3	-3		0	150.0%	3.50
	センター入試（前期）	4	153	48	135	46	19	-5	0	-1		0	0.0%	7.11
	センター入試（中期）	2	18	8	16	7	4	2	1	1		0	50.0%	4.00
	センター入試（後期）	2	8	4	7	4	1	0	0	0		0	0.0%	7.00
	合計	50	362	120	331	114	124	3	67	4	1	1	134.0%	2.67
学部合計		270	1651	573	1581	576	783	60	298	48	12	12	110.4%	2.02

＊一般入試およびセンター入試は、併願者の人数となっている。

入試区分	入学定員	志願者	（前年比）	受験者	（前年比）	合格者	（前年比）	入学者	（前年比）	辞退者	（前年比）	充足率	実質倍率（受/合）
AO入試（前期）	45	93	40	91	39	71	24	69	22	2	2	153.3%	1.28
AO入試（後期）	13	0		0		0		0		0	0	0.0%	-
推薦入試指定校	28	26	13	26	13	26	13	26	13	0	0	92.9%	1.00
推薦入試公募（前期）	50	64	14	64	14	51	3	51	3	0	0	102.0%	1.25
推薦入試公募（後期）	24	39	25	39	25	28	14	28	14	0	0	116.7%	1.39
一般入試（前期）	57	519	133	508	154	301	-7	95	-11	3	3	166.7%	1.69
一般入試（後期）	14	119	55	88	38	24	-8	10	0	0	0	71.4%	3.67
センター入試（前期）	23	687	238	665	240	242	10	12	3	5	5	52.2%	2.75
センター入試（中期）	8	68	40	65	38	28	12	7	5	2	2	87.5%	2.32
センター入試（後期）	8	36	15	35	15	12	-1	0	-1	0	0	0.0%	2.92
合計	270	1651	573	1581	576	783	60	298	48	12	12	110.4%	2.02

NO.	高校CD	都道府県コード	地区CD	地区名称	高校名	入試出願2020					入試出願2019					増減
						全体	看護	PT	OT	放射	全体	看護	PT	OT	放射	全体
126	01051A	01	07	渡島	北海道教育大学附属特別支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
127	01091A	01	11	釧路	釧路工業高専	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
128	01092J	01	14	上川	旭川工業高専	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
129	01093G	01	08	胆振	苫小牧工業高専	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
130	01094E	01	07	渡島	函館工業高専	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
78	01101A	01	02	札幌	札幌東	5	4	0	0	1	4	3	0	0	1	1
79	01102K	01	02	札幌	札幌西	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
131	01103H	01	02	札幌	札幌南	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5945	01104F	01	02	札幌	札幌北	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	−1
30	01105D	01	02	札幌	札幌月寒	16	13	0	0	3	11	4	1	1	5	5
53	01106B	01	02	札幌	札幌啓成	14	5	3	0	6	12	10	2	0	0	2
132	01107A	01	02	札幌	札幌北陵	6	6	0	0	0	6	2	2	0	2	0
5	01108J	01	02	札幌	札幌手稲	35	31	0	1	3	12	11	0	1	0	23
5986	01109G	01	02	札幌	札幌丘珠	2	0	0	2	0	5	2	3	0	0	−3
133	01110A	01	02	札幌	札幌工業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
134	01111J	01	02	札幌	札幌琴似工業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
135	01112G	01	02	札幌	札幌東商業	1	0	0	0	1	1	0	0	0	1	0
31	01113E	01	03	石狩	江別	7	1	3	0	3	2	0	2	0	0	5
44	01114C	01	02	札幌	札幌西陵	16	13	3	0	0	13	3	6	0	4	3
14	01115A	01	02	札幌	札幌白石	21	13	3	1	4	13	7	0	0	6	8
5946	01116K	01	03	石狩	千歳	10	4	3	0	3	11	2	3	0	6	−1
5947	01117H	01	03	石狩	千歳北陽	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	−1
136	01118F	01	03	石狩	野幌	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0
54	01119D	01	03	石狩	恵庭南	5	1	3	0	1	3	3	0	0	0	2
5995	01120H	01	03	石狩	恵庭北	3	2	1	0	0	9	6	3	0	0	−6
5948	01121F	01	03	石狩	当別	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	−1
80	01122D	01	02	札幌	有朋	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
23	01123B	01	02	札幌	札幌旭丘	8	8	0	0	0	2	0	1	0	1	6
10	01125J	01	02	札幌	札幌藻岩	26	15	5	1	5	14	10	1	0	3	12
24	01126G	01	02	札幌	札幌清田	25	18	1	0	6	19	12	6	0	1	6
18	01127E	01	02	札幌	札幌啓北商業	9	5	2	0	2	2	1	1	0	0	7
5949	01132A	01	07	渡島	函館中部	3	1	0	1	1	4	0	1	1	2	−1
5997	01133K	01	07	渡島	函館西	2	0	2	0	0	10	6	0	0	4	−8
137	01134H	01	07	渡島	函館水産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
138	01135F	01	07	渡島	函館工業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
139	01136D	01	07	渡島	函館商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
55	01137B	01	07	渡島	八雲	5	4	1	0	0	3	2	1	0	0	2
140	01138A	01	07	渡島	森	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
141	01139J	01	06	桧山	江差	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
142	01140B	01	07	渡島	大野農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
56	01141A	01	06	桧山	檜山北	3	0	2	0	1	1	1	0	0	0	2
143	01142J	01	07	渡島	長万部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
144	01143G	01	07	渡島	松前	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
145	01145C	01	07	渡島	南茅部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
146	01146A	01	07	渡島	福島商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
147	01147K	01	06	桧山	奥尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
148	01148H	01	07	渡島	上磯	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
149	01155A	01	07	渡島	知内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
9	01159C	01	05	後志	小樽潮陵	15	12	3	0	0	2	2	0	0	0	13
5987	01160G	01	05	後志	小樽桜陽	13	12	0	1	0	16	10	4	0	2	−3
150	01161E	01	05	後志	小樽水産	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
151	01162C	01	05	後志	小樽未来創造	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
152	01163A	01	05	後志	小樽商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
57	01164K	01	05	後志	倶知安	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
153	01165H	01	05	後志	倶知安農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
154	01166F	01	05	後志	余市紅志	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
155	01167D	01	05	後志	岩内	1	1	0	0	0	1	0	1	0	0	0
81	01168B	01	05	後志	寿都	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
156	01171B	01	05	後志	蘭越	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
157	01173J	01	05	後志	ニセコ	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
158	01175E	01	05	後志	留寿都	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
159	01176C	01	05	後志	真狩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NO.	高校CD	都道府県コード	地区CD	地区名称	高校名	入試出願2020					入試出願2019					増減
						全体	看護	PT	OT	放射	全体	看護	PT	OT	放射	全体
15	01177A	01	04	空知	岩見沢東	18	13	1	0	4	10	8	1	1	0	8
45	01178K	01	04	空知	岩見沢西	8	6	0	2	0	5	0	0	0	5	3
5950	01179H	01	04	空知	岩見沢農業	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	−1
160	01180A	01	04	空知	三笠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
82	01182H	01	04	空知	夕張	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
161	01188G	01	04	空知	美唄聖華	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
162	01190J	01	04	空知	栗山	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
163	01191G	01	04	空知	月形	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
164	01192E	01	04	空知	長沼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5989	01194A	01	04	空知	岩見沢緑陵	5	2	0	3	0	9	0	4	1	4	−4
165	01195K	01	04	空知	南幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
13	01196H	01	04	空知	滝川	18	5	8	1	4	9	1	5	1	2	9
166	01197F	01	04	空知	滝川工業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
167	01198D	01	04	空知	砂川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
168	01200K	01	04	空知	芦別	2	0	1	1	0	2	0	1	1	0	0
169	01204B	01	04	空知	深川東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
170	01205A	01	04	空知	深川西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
171	01210G	01	04	空知	奈井江商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
172	01213A	01	04	空知	新十津川農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
16	01214K	01	04	空知	滝川西	10	4	5	0	1	2	0	0	0	2	8
173	01218B	01	14	上川	幌加内	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
46	01219A	01	14	上川	旭川東	4	1	0	0	3	1	0	0	0	1	3
32	01220D	01	14	上川	旭川西	7	5	0	0	2	2	1	0	0	1	5
58	01221B	01	14	上川	旭川北	6	0	0	0	6	4	1	1	0	2	2
174	01222A	01	14	上川	旭川工業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
175	01223J	01	14	上川	旭川商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
176	01224G	01	14	上川	旭川農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5951	01225E	01	14	上川	富良野	4	4	0	0	0	5	0	2	0	3	−1
177	01227A	01	14	上川	美瑛	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
178	01228K	01	14	上川	上川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
179	01229H	01	14	上川	名寄	4	2	0	1	1	4	1	0	0	3	0
180	01234D	01	14	上川	美深	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
181	01235B	01	14	上川	下川商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
182	01239E	01	14	上川	上富良野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
33	01240J	01	14	上川	旭川南	6	3	1	0	2	1	1	0	0	0	5
183	01244A	01	14	上川	士別東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
184	01245K	01	14	上川	東川	1	1	0	0	0	1	1	0	0	0	0
185	01247F	01	14	上川	鷹栖	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
186	01248D	01	14	上川	南富良野	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
187	01249B	01	14	上川	剣淵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
188	01250F	01	14	上川	おといねっぷ美術工芸	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5952	01254J	01	16	留萌	羽幌	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	−1
189	01255G	01	16	留萌	天塩	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
83	01256E	01	16	留萌	苫前商業	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
190	01257C	01	16	留萌	遠別農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
191	01258A	01	16	留萌	天売	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
34	01260C	01	15	宗谷	稚内	5	3	0	0	2	0	0	0	0	0	5
192	01262K	01	15	宗谷	浜頓別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
59	01263H	01	15	宗谷	枝幸	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
193	01264F	01	15	宗谷	利尻	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
194	01265D	01	15	宗谷	豊富	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5991	01267A	01	13	オホーツク	北見北斗	6	4	2	0	0	11	3	2	3	3	−5
5974	01268J	01	13	オホーツク	北見柏陽	1	0	1	0	0	3	1	2	0	0	−2
195	01269G	01	13	オホーツク	北見工業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
84	01270A	01	13	オホーツク	網走南ケ丘	3	3	0	0	0	2	2	0	0	0	1
47	01271J	01	13	オホーツク	網走桂陽	3	0	2	0	1	0	0	0	0	0	3
196	01272G	01	13	オホーツク	留辺蘂	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5953	01273E	01	13	オホーツク	遠軽	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	−1
197	01275A	01	13	オホーツク	興部	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
198	01276K	01	13	オホーツク	湧別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
199	01277H	01	13	オホーツク	美幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
200	01278F	01	13	オホーツク	津別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

NO.	高校CD	都道府県コード	地区CD	地区名称	高校名	入試出願2020					入試出願2019					増減
						全体	看護	PT	OT	放射	全体	看護	PT	OT	放射	全体
201	01279D	01	13	オホーツク	斜里	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
202	01280H	01	13	オホーツク	佐呂間	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5954	01281F	01	13	オホーツク	常呂	0	0	0	0	0	1	0	1	0	0	-1
203	01285J	01	13	オホーツク	雄武	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
204	01286G	01	13	オホーツク	置戸	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
205	01287E	01	13	オホーツク	訓子府	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
60	01290E	01	13	オホーツク	清里	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
206	01291C	01	13	オホーツク	女満別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
207	01292A	01	13	オホーツク	東藻琴	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
208	01293K	01	08	胆振	室蘭栄	8	2	0	2	4	8	1	0	1	6	0
19	01294H	01	08	胆振	室蘭清水丘	11	8	1	1	1	4	2	1	0	1	7
61	01295F	01	08	胆振	室蘭東翔	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
209	01296D	01	08	胆振	室蘭工業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
17	01298A	01	08	胆振	苫小牧東	13	5	0	0	8	5	3	2	0	0	8
210	01299J	01	08	胆振	苫小牧西	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5955	01300F	01	08	胆振	苫小牧南	4	0	0	0	4	5	0	0	2	3	-1
211	01301D	01	08	胆振	苫小牧工業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
212	01302B	01	08	胆振	穂別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
213	01303A	01	08	胆振	追分	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
62	01304J	01	08	胆振	伊達	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
214	01305G	01	08	胆振	虻田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
215	01307C	01	08	胆振	鵡川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
216	01310C	01	08	胆振	厚真	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
217	01312K	01	08	胆振	壮瞥	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
48	01314F	01	09	日高	浦河	3	0	0	1	2	0	0	0	0	0	3
35	01315D	01	09	日高	静内	7	6	1	0	0	2	0	1	0	1	5
218	01316B	01	09	日高	富川	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
219	01318J	01	09	日高	平取	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
220	01319G	01	09	日高	日高	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5956	01320A	01	09	日高	えりも	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	-1
5990	01321J	01	10	十勝	帯広柏葉	0	0	0	0	0	4	0	0	0	4	-4
63	01322G	01	10	十勝	帯広三条	6	2	0	0	4	4	1	0	0	3	2
5957	01323E	01	10	十勝	帯広農業	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	-1
221	01324C	01	10	十勝	帯広工業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
222	01325A	01	10	十勝	本別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
223	01326K	01	10	十勝	池田	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
224	01327H	01	10	十勝	清水	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
225	01328F	01	10	十勝	広尾	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
226	01329D	01	10	十勝	大樹	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
227	01330H	01	10	十勝	芽室	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0
228	01331F	01	10	十勝	足寄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
229	01332D	01	10	十勝	上士幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
230	01334A	01	10	十勝	幕別	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
64	01336G	01	10	十勝	音更	2	1	0	0	1	0	0	0	0	0	2
231	01337E	01	10	十勝	帯広南商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
232	01338C	01	10	十勝	士幌	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
85	01339A	01	10	十勝	鹿追	2	0	1	0	1	1	0	0	1	0	1
233	01341C	01	10	十勝	更別農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
36	01342A	01	11	釧路	釧路湖陵	9	3	0	0	6	4	1	1	0	2	5
20	01343K	01	11	釧路	釧路江南	11	2	7	1	1	4	1	1	0	2	7
234	01344H	01	11	釧路	釧路工業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
235	01345F	01	11	釧路	釧路商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
49	01346D	01	12	根室	根室	4	2	1	0	1	1	1	0	0	0	3
236	01348A	01	12	根室	標津	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
86	01349J	01	12	根室	中標津	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1
237	01350B	01	11	釧路	厚岸翔洋	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
238	01352J	01	11	釧路	阿寒	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
239	01353G	01	11	釧路	標茶	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
240	01354E	01	11	釧路	白糠	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5975	01355C	01	11	釧路	弟子屈	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	-2
241	01356A	01	12	根室	羅臼	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
50	01357K	01	11	釧路	釧路北陽	7	1	5	0	1	4	2	1	0	1	3

NO.	高校CD	都道府県コード	地区CD	地区名称	高校名	入試出願2020					入試出願2019					増減
						全体	看護	PT	OT	放射	全体	看護	PT	OT	放射	全体
242	01359F	01	12	根室	中標津農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
243	01360K	01	12	根室	別海	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
244	01361H	01	11	釧路	霧多布	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5998	01363D	01	03	石狩	北広島	9	6	1	0	2	17	8	1	3	5	-8
65	01364B	01	03	石狩	石狩翔陽	3	3	0	0	0	1	0	0	0	1	2
87	01365A	01	11	釧路	釧路東	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
245	01367G	01	09	日高	静内農業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
66	01368E	01	02	札幌	札幌東陵	18	15	1	0	2	16	7	2	1	6	2
88	01369C	01	08	胆振	登別青嶺	3	3	0	0	0	2	2	0	0	0	1
246	01370G	01	13	オホーツク	北見商業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5976	01371E	01	02	札幌	札幌新川	8	8	0	0	0	10	7	2	0	1	-2
1	01372C	01	02	札幌	札幌平岸	38	19	7	1	11	7	6	1	0	0	31
67	01373A	01	02	札幌	札幌南陵	2	2	0	0	0	0	0	0	0	0	2
247	01375H	01	15	宗谷	礼文	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
248	01376F	01	10	十勝	帯広緑陽	2	2	0	0	0	2	0	1	0	1	0
249	01378B	01	06	桧山	上ノ国	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
89	01379A	01	02	札幌	札幌真栄	5	2	2	1	0	4	2	1	0	1	1
7	01380D	01	02	札幌	札幌厚別	19	16	1	0	2	2	2	0	0	0	17
5996	01382A	01	02	札幌	札幌あすかぜ	1	1	0	0	0	7	6	0	1	0	-6
250	01383J	01	02	札幌	札幌東豊	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
11	01384G	01	03	石狩	石狩南	25	14	4	0	7	15	4	2	0	9	10
68	01385E	01	03	石狩	北広島西	4	2	1	1	0	2	0	2	0	0	2
5992	01386C	01	07	渡島	函館稜北	0	0	0	0	0	5	0	3	0	2	-5
90	01387A	01	07	渡島	七飯	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
40	01388K	01	14	上川	旭川永嶺	10	2	1	0	7	6	2	2	0	2	4
5977	01390A	01	13	オホーツク	北見緑陵	2	0	1	0	1	4	2	0	0	2	-2
251	01391K	01	08	胆振	伊達緑丘	2	0	1	0	1	2	1	0	1	0	0
2	01393F	01	02	札幌	札幌稲雲	39	32	1	0	6	10	8	2	0	0	29
25	01394D	01	03	石狩	大麻	19	8	2	0	9	13	9	0	2	2	6
5999	01396A	01	02	札幌	札幌平岡	8	3	4	0	1	17	11	4	0	2	-9
252	01397J	01	08	胆振	白老東	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
69	01401A	01	08	胆振	苫小牧総合経済	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
37	01402J	01	02	札幌	札幌国際情報	6	5	0	0	1	1	1	0	0	0	5
253	01403G	01	02	札幌	札幌白陵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
254	01405C	01	04	空知	美唄尚栄	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
255	01406A	01	14	上川	富良野緑峰	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
256	01407K	01	14	上川	名寄産業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
70	01408H	01	14	上川	士別翔雲	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	2
71	01409F	01	13	オホーツク	紋別	2	0	2	0	0	0	0	0	0	0	2
5978	01410K	01	11	釧路	釧路明輝	1	1	0	0	0	3	1	0	0	2	-2
26	01411H	01	07	渡島	函館	14	3	2	2	7	8	0	1	0	7	6
5958	01412F	01	08	胆振	登別明日	0	0	0	0	0	1	0	0	1	0	-1
91	01413D	01	02	札幌	札幌大通	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
41	01414B	01	02	札幌	札幌英藍	7	4	0	0	3	3	2	1	0	0	4
12	01415A	01	02	札幌	札幌開成	12	3	5	0	4	2	1	1	0	0	10
5959	01416J	01	16	留萌	留萌	1	1	0	0	0	2	1	1	0	0	-1
257	01417G	01	10	十勝	幕別清陵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
3	01501G	01	02	札幌	北海	27	18	4	0	5	1	1	0	0	0	26
4	01502E	01	02	札幌	札幌光星	30	18	6	0	6	4	3	1	0	0	26
6	01503C	01	02	札幌	北海学園札幌	29	24	3	1	1	9	4	2	2	1	20
5993	01504A	01	03	石狩	立命館慶祥	4	1	1	0	2	9	8	1	0	0	-5
72	01505K	01	02	札幌	北海道科学大学	20	15	1	0	4	18	12	3	0	3	2
21	01506H	01	02	札幌	札幌第一	25	13	5	0	7	18	15	0	0	3	7
38	01507F	01	02	札幌	藤女子	7	7	0	0	0	2	2	0	0	0	5
311	01508D	01	02	札幌	北星学園大学附属	5	1	1	1	2	5	2	0	0	3	0
22	01509B	01	02	札幌	北星学園女子	13	12	1	0	0	6	6	0	0	0	7
51	01510F	01	02	札幌	札幌大谷	9	6	2	0	1	6	4	0	2	0	3
5960	01511D	01	02	札幌	札幌静修	6	3	0	0	3	7	6	0	0	1	-1
5961	01512B	01	02	札幌	札幌北斗	9	6	0	0	3	10	10	0	0	0	-1
312	01513A	01	02	札幌	札幌山の手	1	0	0	1	0	1	1	0	0	0	0
42	01514J	01	02	札幌	札幌新陽	6	5	1	0	0	2	1	0	1	0	4
5979	01515G	01	02	札幌	北海道文教大学明清	3	2	0	0	1	5	5	0	0	0	-2

NO.	高校CD	都道府県コード	地区CD	地区名称	高校名	入試出願2020					入試出願2019					増減
						全体	看護	PT	OT	放射	全体	看護	PT	OT	放射	全体
27	01516E	01	02	札幌	札幌龍谷学園	10	5	4	0	1	4	2	1	1	0	6
43	01518A	01	03	石狩	酪農学園大学附属とわの森三愛	5	3	1	1	0	1	1	0	0	0	4
5994	01519K	01	02	札幌	東海大学付属札幌	2	1	0	0	1	7	3	0	0	4	-5
28	01520C	01	02	札幌	札幌創成	11	8	1	0	2	5	3	2	0	0	6
313	01521A	01	02	札幌	札幌聖心女子学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
92	01522K	01	07	渡島	遺愛女子	4	4	0	0	0	3	2	1	0	0	1
314	01523H	01	07	渡島	函館大谷	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
315	01524F	01	07	渡島	函館大学付属有斗	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
93	01525D	01	07	渡島	函館大妻	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
5988	01526B	01	07	渡島	函館白百合学園	0	0	0	0	0	3	1	0	1	1	-3
316	01527A	01	07	渡島	清尚学院	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
317	01528J	01	07	渡島	函館大学付属柏稜	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
318	01529G	01	07	渡島	函館ラ・サール	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
319	01530A	01	05	後志	北照	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5962	01531J	01	05	後志	小樽双葉	2	0	2	0	0	3	3	0	0	0	-1
94	01532G	01	05	後志	小樽明峰	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
320	01533E	01	05	後志	北星学園余市	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
95	01535A	01	14	上川	旭川藤星	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
321	01536K	01	14	上川	旭川龍谷	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0
52	01537H	01	14	上川	旭川実業	4	2	2	0	0	1	0	1	0	0	3
73	01538F	01	14	上川	旭川大学	2	0	1	1	0	0	0	0	0	0	2
96	01539D	01	15	宗谷	稚内大谷	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
322	01541F	01	13	オホーツク	北見藤	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
323	01542D	01	08	胆振	北海道大谷室蘭	2	0	1	1	0	2	0	1	1	0	0
97	01543B	01	08	胆振	苫小牧中央	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
98	01544A	01	08	胆振	駒澤大学附属苫小牧	3	2	1	0	0	2	1	1	0	0	1
5963	01545J	01	08	胆振	北海道栄	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	-1
324	01547E	01	08	胆振	海星学院	1	0	1	0	0	1	1	0	0	0	0
5980	01548C	01	10	十勝	帯広大谷	5	4	0	0	1	7	2	4	0	1	-2
99	01549A	01	10	十勝	白樺学園	3	0	2	0	1	2	0	1	0	1	1
39	01550E	01	10	十勝	帯広北	5	0	1	2	2	0	0	0	0	0	5
325	01551C	01	10	十勝	江陵	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
100	01553K	01	11	釧路	武修館	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
8	01554H	01	03	石狩	札幌日本大学	26	17	5	0	4	9	5	1	0	3	17
326	01555F	01	02	札幌	北嶺	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
327	01556D	01	04	空知	クラーク記念国際	3	1	0	0	2	3	1	0	0	2	0
101	01557B	01	14	上川	旭川明成	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
328	01558A	01	04	空知	星槎国際	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
5964	01559J	01	02	札幌	池上学院	2	1	0	1	0	3	0	3	0	0	-1
329	01560B	01	10	十勝	北海道芸術	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
330	01561A	01	14	上川	札幌自由が丘学園三和	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
331	01941A	01	13	オホーツク	日本体育大学附属高等支援	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
332	01999C	01	01	北海道	上記以外の高等学校等	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
						1028	609	161	36	222	631	329	115	32	155	397
337	02103C	02	21	青森	青森東	1	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0
74	02105K	02	21	青森	青森南	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
5965	02109B	02	21	青森	弘前南	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	-1
102	02112B	02	21	青森	八戸北	2	0	0	0	2	1	0	1	0	0	1
75	02115G	02	21	青森	木造	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
103	02118A	02	21	青森	五所川原	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
5966	02128J	02	21	青森	三本木	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	-1
104	02131J	02	21	青森	大湊	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
5967	02501B	02	21	青森	東奥義塾	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	-1
5968	02505E	02	21	青森	青森山田	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	-1
5969	02516A	02	21	青森	八戸工業大学第二	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	-1
5981	03115B	03	22	岩手	花巻北	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	-2
76	03144F	03	22	岩手	千厩	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
105	03146B	03	22	岩手	高田	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
106	04198A	04	23	宮城	桜坂	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
5982	04507B	04	23	宮城	尚絅学院	0	0	0	0	0	2	0	2	0	0	-2
107	05109J	05	24	秋田	大館鳳鳴	2	0	2	0	0	1	0	0	1	0	1
108	05123D	05	24	秋田	本荘	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1

NO.	高校CD	都道府県コード	地区CD	地区名称	高校名	入試出願2020					入試出願2019					増減
						全体	看護	PT	OT	放射	全体	看護	PT	OT	放射	全体
109	05132C	05	24	秋田	角館	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
5970	05151K	05	24	秋田	秋田中央	0	0	0	0	0	1	0	0	0	1	-1
77	06117E	06	25	山形	東桜学館	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	2
110	06139F	06	25	山形	鶴岡南	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
111	06149C	06	25	山形	酒田東	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
5983	08526A	08	31	茨城	第一学院(高萩校)	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	-2
112	09137F	09	32	栃木	真岡	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
113	11162H	11	34	埼玉	所沢	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
5971	11176H	11	34	埼玉	川口北	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	-1
5972	11527E	11	34	埼玉	埼玉栄	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	-1
114	12525D	12	35	千葉	日本体育大学柏	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
5984	13675B	13	41	東京	國學院大學久我山	0	0	0	0	0	2	2	0	0	0	-2
5973	14292B	14	37	神奈川	横須賀総合	0	0	0	0	0	1	1	0	0	0	-1
115	14535B	14	37	神奈川	横須賀学院	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
116	15514E	15	51	新潟	新潟第一	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
117	19510D	19	55	山梨	日本航空	2	0	0	0	2	1	0	0	1	0	1
118	21517B	21	57	岐阜	城南	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
5985	22133D	22	58	静岡	静岡	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	-2
119	26122A	26	63	京都	綾部	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
29	29520F	29	66	奈良	飛鳥未来	6	2	1	0	3	0	0	0	0	0	6
120	34522K	34	74	広島	広島なぎさ	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0	1
121	35508K	35	75	山口	野田学園	1	0	0	1	0	0	0	0	0	0	1
122	46525K	46	97	鹿児島	屋久島おおぞら	1	0	0	0	1	0	0	0	0	0	1
123	47508E	47	98	沖縄	ヒューマンキャンパス	1	0	1	0	0	0	0	0	0	0	1
124	51000K	51	00	その他	高校卒業程度認定試験・大学入学資格検定	3	2	1	0	0	2	2	0	0	0	1
125	52000E	52	00	その他	外国の学校等	2	2	0	0	0	1	1	0	0	0	1
					北海道外　集計	45	8	9	1	27	26	11	3	2	10	19

北海道内　集計	1028	609	161	36	222	631	329	115	32	155	397
北海道外　集計	45	8	9	1	27	26	11	3	2	10	19
日本　集計	1073	617	170	37	249	657	340	118	34	165	416

全イベントの総計（前年同日比）

2020/10/9

		2018年度	2019年度	前年同日比	
高校生	看護	299	559	187.0%	260
	理学	149	261	175.2%	112
	作業	63	85	134.9%	22
	放射	194	269	138.7%	75
	参加者計	705	1174	166.5%	469
保護者		208	347	166.8%	139
合計		913	1521	166.6%	608

※2/28に第6回オープンキャンパス中止の決定・発表（2019年度の全参加人数を計上）

※全イベント：オープンキャンパス、一日体験入学、保護者説明会、リハビリ入試相談会

（資料8）

オープンキャンパス

2020/10/15

第１回

2018年度 2018年6月10日(日)						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護	1	18	37		56
	理学	1	4	24		29
	作業		2	8		10
	放射		14	28		42
	参加者計	2	38	97	0	**137**
【参考】保護者						66

2019年度 2019年6月8日(土)						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護	0	3	36	7	46
	理学	0	1	23	0	24
	作業	0	1	5	0	6
	放射	0	6	14	1	21
	参加者計	0	11	78	8	**97**
【参考】保護者						38

前年比
-10
-5
-4
-21
-40
-28

第２回

2018年度 2018年7月28日(土)						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護	2	18	57		77
	理学		5	27		32
	作業		3	15		18
	放射	1	14	28		43
	参加者計	3	40	127	0	**170**
【参考】保護者						47

2019年度 2019年7月21日(日)						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護	3	16	58	1	78
	理学	1	6	37	0	44
	作業	1	5	9	1	16
	放射	3	20	42	0	65
	参加者計	8	47	146	2	**203**
【参考】保護者						81

前年比
+1
+12
-2
+22
+33
+34

第３回

2018年度 2018年9月15日(土)						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護		15	15		30
	理学	1	2	19		22
	作業		1	6		7
	放射	1	11	17		29
	参加者計	2	29	57	0	**88**
【参考】保護者						19

2019年度 2019年9月14日(土)						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護	2	15	81	3	101
	理学	4	4	34		42
	作業		7	9	1	17
	放射	5	14	30		49
	参加者計	11	40	154	4	**209**
【参考】保護者						62

前年比
+71
+20
+10
+20
+121
+43

第４回

2018年度 2018年10月7日(日)						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護	2	13	22	0	37
	理学	0	8	18	1	27
	作業	0	1	2	0	3
	放射	4	6	9	0	19
	参加者計	6	28	51	1	**86**
【参考】保護者						39

2019年度 2019年9月29日(日)						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護	5	15	34	1	55
	理学	0	8	18	0	26
	作業	0	4	2	1	7
	放射	2	4	21	1	28
	参加者計	7	31	75	3	**116**
【参考】保護者						42

前年比
+18
-1
+4
+9
+30
+3

第５回

2018年度 2018年10月27日(土)						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護	5	10	14	2	31
	理学	3	1	9	0	13
	作業	0	0	5	0	5
	放射	5	9	13	1	28
	参加者計	13	20	41	3	**77**
【参考】保護者						29

2019年度 2019年10月26日(土)						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護	6	12	40	2	60
	理学	9	5	16	0	30
	作業	1	6	4	0	11
	放射	2	14	9	0	25
	参加者計	18	37	69	2	**126**
【参考】保護者						36

前年比
+29
+17
+6
-3
+49
+7

第６回

2019年3月26日(火)						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護	11	55	1		67
	理学		15	1		16
	作業		8	1		9
	放射	1	15		1	17
	参加者計	12	93	3	1	**109**
【参考】保護者						23

2020年3月28日(土)						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護					0
	理学					0
	作業					0
	放射					0
	参加者計	0	0	0	0	**0**
【参考】保護者						0

2020年3月28日（土）の
オープンキャンパスは
新型コロナウィルスの対応で
開催中止となりました

前年比
-67
-16
-9
-17
-109
-23

全体

2018年度						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護	21	129	146	2	298
	理学	5	35	98	1	139
	作業	0	15	37	0	52
	放射	12	69	95	2	178
	参加者計	38	248	376	5	**667**
【参考】保護者						223

2019年度						
	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護	16	61	249	14	340
	理学	14	24	128	0	166
	作業	2	23	29	3	57
	放射	12	58	116	2	188
	参加者計	44	166	522	19	**751**
【参考】保護者						259

前年比
+42
+27
+5
+10
+84
+36

オープンキャンパス

2020/10/15

	2019年度							2020年度							
第１回	**2019年6月8日(土)**							**2020年6月7日(日)**							前年比
		学科	１年	２年	３年	既卒他	計		学科	１年	２年	３年	既卒他	計	
	高校生	看護	0	3	36	7	46	高校生	看護	0	22	139	5	166	+120
		理学	0	1	23	0	24		理学	1	9	72	0	82	+58
		作業	0	1	5	0	6		作業	0	2	32	0	34	+28
		放射	0	6	14	1	21		放射	1	5	73	2	81	+60
		参加者計	0	11	78	8	**97**		**参加者計**	2	38	316	7	**363**	+266
	【参考】保護者						38	【参考】保護者						109	+71
第２回	**2019年7月21日(日)**							**2020年7月19日(日)**							前年比
		学科	１年	２年	３年	既卒他	計		学科	１年	２年	３年	既卒他	計	
	高校生	看護	3	16	58	1	78	高校生	看護					0	-78
		理学	1	6	37	0	44		理学					0	-44
		作業	1	5	9	1	16		作業					0	-16
		放射	3	20	42	0	65		放射					0	-65
		参加者計	8	47	146	2	**203**		**参加者計**	0	0	0	0	**0**	-203
	【参考】保護者						81	【参考】保護者							-81
第３回	**2019年9月14日(土)**							**2020年9月12日(土)**							前年比
		学科	１年	２年	３年	既卒他	計		学科	１年	２年	３年	既卒他	計	
	高校生	看護	2	15	81	3	101	高校生	看護					0	-101
		理学	4	4	34		42		理学					0	-42
		作業		7	9	1	17		作業					0	-17
		放射	5	14	30		49		放射					0	-49
		参加者計	11	40	154	4	**209**		**参加者計**	0	0	0	0	**0**	-209
	【参考】保護者						62	【参考】保護者							-62
第４回	**2019年9月29日(日)**							**2020年9月27日(日)**							前年比
		学科	１年	２年	３年	既卒他	計		学科	１年	２年	３年	既卒他	計	
	高校生	看護	5	15	34	1	55	高校生	看護					0	-55
		理学	0	8	18	0	26		理学					0	-26
		作業	0	4	2	1	7		作業					0	-7
		放射	2	4	21	1	28		放射					0	-28
		参加者計	7	31	75	3	**116**		**参加者計**	0	0	0	0	**0**	-116
	【参考】保護者						42	【参考】保護者							-42
第５回	**2019年10月26日(土)**							**2020年10月31日(土)**							前年比
		学科	１年	２年	３年	既卒他	計		学科	１年	２年	３年	既卒他	計	
	高校生	看護	6	12	40	2	60	高校生	看護					0	-60
		理学	9	5	16	0	30		理学					0	-30
		作業	1	6	4	0	11		作業					0	-11
		放射	2	14	9	0	25		放射					0	-25
		参加者計	18	37	69	2	**126**		**参加者計**	0	0	0	0	**0**	-126
	【参考】保護者						36	【参考】保護者							-36
第６回	**2020年3月28日(土)**							**2021年3月25日（木）実施予定**							前年比
		学科	１年	２年	３年	既卒他	計		学科	１年	２年	３年	既卒他	計	
	高校生	看					0	高校生	看護					0	±0
		理					0		理学					0	±0
		作					0		作業					0	±0
		放					0		放射					0	±0
		参加者計	0	0	0	0	**0**		**参加者計**	0	0	0	0	**0**	±0
	【参考】保護者						0	【参考】保護者							±0
全体	**2019年度**							**2020年度**							前年比
		学科	１年	２年	３年	既卒他	計		学科	１年	２年	３年	既卒他	計	
	高校生	看護	16	61	249	14	340	高校生	看護	0	22	139	5	166	-174
		理学	14	24	128	0	166		理学	1	9	72	0	82	-84
		作業	2	23	29	3	57		作業	0	2	32	0	34	-23
		放射	12	58	116	2	188		放射	1	5	73	2	81	-107
		参加者計	44	166	522	19	**751**		**参加者計**	2	38	316	7	**363**	-388
	【参考】保護者						259	【参考】保護者						109	-150

2020年3月28日（土）の
オープンキャンパスは
開催中止となりました

一日体験入学

2020/10/9

第１回

2018年6月23日(土)

	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護			35		35
	理学			8		8
	作業			9		9
	放射		1	20		21
	参加者計	0	1	72	0	**73**
【参考】保護者						18

2019年6月22日(土)

	学科	1年	2年	3年	既卒他	計	前年比
高校生	看護	2	8	40	1	51	+16
	理学		1	12		13	+5
	作業			7		7	-2
	放射		1	15		16	-5
	参加者計	2	10	74	1	**87**	+14
【参考】保護者						24	+6

第２回

2018年8月1日(水)

	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護			31		31
	理学		1	13		14
	作業			5		5
	放射			12		12
	参加者計	0	1	61	0	**62**
【参考】保護者						13

2019年8月9日(金)

	学科	1年	2年	3年	既卒他	計	前年比
高校生	看護		19	63	1	83	+52
	理学		7	28		35	+21
	作業		4	6		10	+5
	放射	6	4	25		35	+23
	参加者計	6	34	122	1	**163**	+101
【参考】保護者						30	+17

第３回

2018年9月22日(土)

	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護			13	3	16
	理学		2	5		7
	作業			5		5
	放射			6		6
	参加者計	0	2	29	3	**34**
【参考】保護者						6

2019年9月21日(土)

	学科	1年	2年	3年	既卒他	計	前年比
高校生	看護	1	7	34	3	45	+29
	理学			8		8	+1
	作業					0	-5
	放射	1	3	12	1	17	+11
	参加者計	2	10	54	4	**70**	+36
【参考】保護者						14	+8

全体

2018年度

	学科	1年	2年	3年	既卒他	計
高校生	看護	0	0	79	3	82
	理学	0	3	26	0	29
	作業	0	0	19	0	19
	放射	0	1	38	0	39
	参加者計	0	4	162	3	**169**
【参考】保護者						37

2019年度

	学科	1年	2年	3年	既卒他	計	前年比
高校生	看護	3	34	137	5	179	+97
	理学	0	8	48	0	56	+27
	作業	0	4	13	0	17	-2
	放射	7	8	52	1	68	+29
	参加者計	10	54	250	6	**320**	+151
【参考】保護者						68	+31

（資料10）

保護者説明会

2020/10/9

	2018年度			2019年度			
第１回	2018年7月7日(土)			2019年8月4日(日)			前年比
	保護者	看護	10	保護者	看護	27	+17
		理学	9		理学	14	+5
		作業	5		作業	3	-2
		放射	9		放射	10	+1
		計	**33**		計	**54**	+21
第２回	2018年10月21日(日)			2019年10月6日(日)			前年比
	保護者	看護	7	保護者	看護	13	+6
		理学	1		理学	3	+2
		作業	1		作業	3	+2
		放射	13		放射	3	-10
		計	**22**		計	**22**	±0
全体	2018年度			2019年度			前年比
	保護者	看護	17	保護者	看護	40	+23
		理学	10		理学	17	+7
		作業	6		作業	6	±0
		放射	22		放射	13	-9
		計	**55**		計	**76**	+21

3 to 1, Next.

医療と福祉の現場から誕生した
日本医療大学

医療と福祉の総合大学を目指す。

日本医療大学は2021年4月、札幌市豊平区月寒東へ移転します。移転により、真栄キャンパスと恵み野キャンパスに分かれていた看護学科、リハビリテーション学科、診療放射線学科の３学科が集結。次の時代を見据え、３学科の連携を高めた教育が実践されていきます。通学しやすい好アクセスな環境で学業だけではなく、学生たちの食や健康もサポートする献身的な学修環境を実現。北海道で初めて同一敷地内に日本医療大学病院と介護老人保健施設 日本医療大学リハビリを併せ持つ、「つしま医療福祉グループ」と連携した現場をより近く学べる実学教育の場を整えて、医療と福祉の総合大学を目指します。日本医療大学は、皆さんとの出会いを楽しみに待っています。

1 ３つの地下鉄駅から通える好アクセスの通学環境

学校法人日本医療大学の歩みは、1984年に札幌市豊平区月寒に開設した特別養護老人ホーム「幸栄の里」に始まります。それから37年、日本医療大学は再び札幌市豊平区月寒に帰ってきます。新キャンパスは札幌市営地下鉄「東西線」と「東豊線」の２路線の沿線に位置し、最寄り駅は「南郷13丁目駅」「月寒中央駅」「福住駅」の３つ。いずれの駅からも歩いて10～17分程の好アクセスな環境にあり、中心部からも25分程で通うことができます。

日本医療大学 × アクセス



2 学生ファーストを理念に健やかな医療人を支える

日本医療大学は開学以来、学修・キャリアとキャンパスライフの両面において満足度を高める「学生ファースト」を理念に大学運営を進めてきました。新キャンパスでは、一昨年より本格稼働したキャリア学修支援センターに加え、より深い学修と密度の濃い研究活動を促進する充実した教室や各種実習室を整備。学生食堂やレストラン、フィットネスジムなども設け、医療人を育てる大学として健康面からも学生生活を支えます。

日本医療大学 × 新施設


展望ラウンジイメージ

3 実際の医療現場とつながる北海道初の学修環境

国道36号線沿いにある「医療法人社団 光進会 札幌月寒病院」が、2018年8月につしま医療福祉グループの一員となり、「医療法人社団 日本医療大学 日本医療大学病院」と名称変更。新キャンパス敷地内に新築移転します。さらに「介護老人保健施設 日本医療大学リハビリ」と「看護小規模多機能型居宅介護」を併設予定で、学生は「医療と福祉」の実際の現場を身近に感じながら実習やチーム医療を学修する環境が充実します。

日本医療大学 × 日本医療大学病院


日本医療大学 月寒本キャンパスイメージ

4 「医療と福祉」の現場の中心となる専門職を育てる

近年の医療・福祉の現場は高度化と複雑化が進み、管理・マネジメントできる人材が求められています。そこで、誰もが暮らしやすい共生社会の創造を目指し、現場の中心となる福祉の専門職を育てる『医療福祉学部 医療福祉マネジメント学科（仮称）※』と保健医療学部には高度医療に対応できる専門職を育てる『臨床工学科（仮称）※』、『臨床検査学科（仮称）※』を新設予定。既存の3学科を含めて、医療と福祉の総合大学を目指します。

日本医療大学 × 新学部・新学科



※設置計画は現在認可申請中。
設置計画は予定であり、変更となる場合があります。

5 誰もが自立して暮らせる豊かな高齢社会を実現

日本医療大学は、札幌市を中心に東北、東京などで広く福祉介護サービスを展開する「つしま医療福祉グループ」が運営している大学です。同グループは障がいのある方であっても特別視されることなく、地域で生活し、社会参加できるという“ノーマライゼーション”の理念のもとに活動しており、日本医療大学もその精神を継承。「共生社会の実現」を建学の精神に、グループとともに高齢社会への貢献に尽力しています。

日本医療大学 × つしま医療福祉グループ


日本医療大学病院イメージ
特別養護老人ホーム「とみさわの里」（仙台）

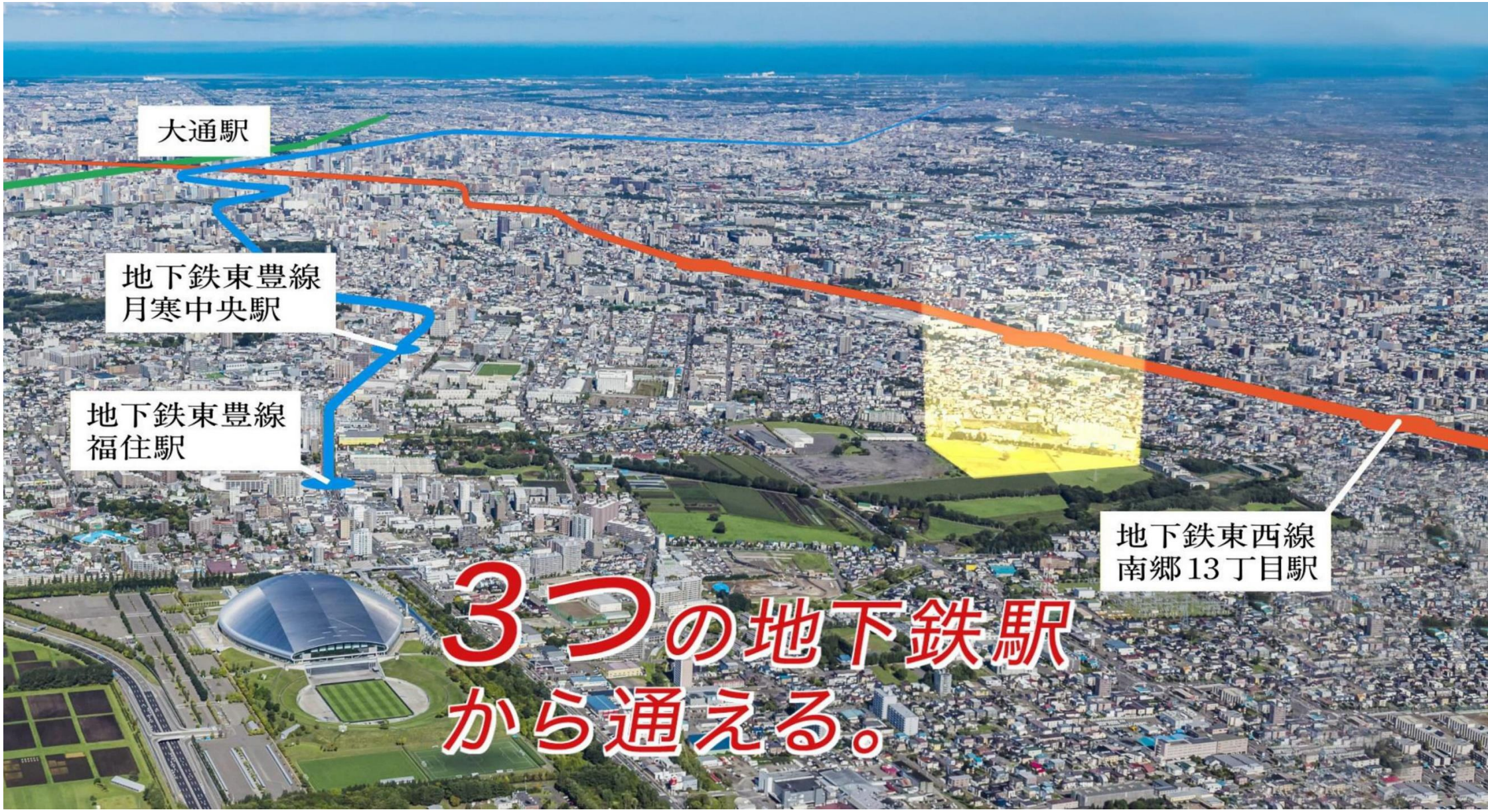

江別CCRC事業イメージ

2021年4月、日本医療大学は札幌市豊平区月寒東に移転します。

（資料11）



2021年4月、日本医療大学は札幌市豊平区月寒東に移転します。


大通駅
地下鉄東豊線
月寒中央駅
地下鉄東豊線
福住駅
地下鉄東西線
南郷13丁目駅
3つの地下鉄駅
から通える。

進学ブランド力調査2020
報告書＜北海道版＞

2020年8月19日

株式会社リクルートマーケティングパートナーズ
営業２部北海道G
鈴木　義人
佐藤　あずさ

RECRUIT

（資料12）

調査概要

▶対象調査校

学校名	頁
旭川大学	14
小樽商科大学	18
北見工業大学	22
札幌大谷大学	26
札幌学院大学	30
札幌国際大学	34
札幌市立大学	38
札幌大学	42
札幌保健医療大学	46
星槎道都大学	50
公立千歳科学技術大学	54
天使大学	58
日本医療大学	62
日本赤十字北海道看護大学	66
藤女子大学	70

学校名	頁
北翔大学	74
北星学園大学	78
北海学園大学	82
北海商科大学	86
北海道医療大学	90
北海道科学大学	94
北海道情報大学	98
北海道文教大学	102
室蘭工業大学	106
酪農学園大学	110

▶調査目的

- 高校3年生の大学に対する知名度・興味度・志願度やイメージ等を把握し、今後の学生募集戦略の参考材料とする。

▶調査対象

- リクルートが保有するリスト（注）で、北海道の高校に通っている高校生。

（注）リクルートが保有するリストとは、リクルートが運営する「スタディサプリ」会員リスト。

・ 但し、学年を「その他」と回答した者および「無回答」も対象に含まれる。

▶調査方法

- 郵送調査

▶有効回答数（補正前）

- 547名　（ 2,800件発送、回収率19.5%）

・ 3年生：537名（回収率19.3%）

- ※分析を行うにあたり、令和１年度版「学校基本調査」（文部科学省）から本調査母集団の男女構成比を算出し、回収後の北海道内の男女構成比を補正、分析対象は大学進学希望者のみを抽出している。（下表参照）

・ 「学年その他」「無回答」については、学年の判断がつかないため補正をせずに集計を行っている。

北海道	【回収実数】全体（ウェイトバック前）	【回収実数】大学進学希望者数	ウェイト値	【補正後】全体	うち、大学進学希望者→	【補正後】大学進学希望者数
全体	547	443		547		444
3年生	537	438		537		439
男子	264	235	1.02	269		240
女子	272	202	0.98	267		198
その他	1	1	1.00	1		1
学年その他、無回答	10	5	1.00	10		5

▶調査期間

- 3年生　2020年4月3日（金）～4月24日（金）※当日消印有効

（参考）②興味度　２０１９年との数値比較

▶貴学は4.3%向上

２０１９年

全体

順位		学校名	区分	(%)
1	1	北海学園大学	私	22.4
2	4	北海道科学大学	私	14.2
3	6	北星学園大学	私	13.8
4	3	北海道医療大学	私	9.0
5	9	千歳科学技術大学	私	8.8
6	5	札幌市立大学	私	8.6
7	21	藤女子大学	私	8.0
8	13	北海道文教大学	私	7.4
9	10	札幌学院大学	私	5.4
10	11	天使大学	私	5.0
11	7	札幌大学	私	4.9
12	14	北海道情報大学	私	4.1
13	8	北翔大学	私	3.2
14	12	酪農学園大学	私	3.0
15	15	日本医療大学	私	2.9
16	17	日本赤十字北海道看護大学	私	2.4
17	22	札幌保健医療大学	私	2.0
18	25	星槎道都大学	私	1.8
18	(-)	北海道千歳リハビリテーション大学	私	1.8
20	19	札幌国際大学	私	1.7
21	18	北海商科大学	私	1.6
22	(-)	東京農業大学オホーツクキャンパス	私	1.4
23	24	旭川大学	私	0.7
23	20	札幌大谷大学	私	0.7
25	(-)	函館大学	私	0.0

２０２０年

全体

順位		学校名	区分	(%)
1	1	北海学園大学	私	24.0
2	(-)	小樽商科大学	国	21.8
3	3	北星学園大学	私	14.2
4	2	北海道科学大学	私	13.8
5	4	北海道医療大学	私	12.1
6	(-)	室蘭工業大学	国	10.5
7	6	札幌市立大学	市	9.2
8	5	公立千歳科学技術大学	公	8.0
9	15	日本医療大学	私	7.2
10	10	天使大学	私	7.1
11	7	藤女子大学	私	6.2
12	23	旭川大学	私	5.6
13	13	北翔大学	私	5.4
14	20	札幌国際大学	私	4.5
14	8	北海道文教大学	私	4.5
16	9	札幌学院大学	私	3.9
17	14	酪農学園大学	私	3.8
18	12	北海道情報大学	私	3.6
19	(-)	北見工業大学	国	3.4
20	17	札幌保健医療大学	私	3.3
21	11	札幌大学	私	3.2
22	16	日本赤十字北海道看護大学	私	3.1
23	18	星槎道都大学	私	2.9
23	21	北海商科大学	私	2.9
25	23	札幌大谷大学	私	2.0

（参考）③志願度　２０１９年との数値比較

▶貴学は3.2%向上

２０１９年

全体

順位		学校名	区分	（%）
1	1	北海学園大学	私	14.6
2	4	北海道科学大学	私	10.5
3	3	北星学園大学	私	8.4
4	9	千歳科学技術大学	私	6.2
4	20	藤女子大学	私	6.2
4	2	北海道医療大学	私	6.2
7	6	札幌市立大学	私	5.5
8	13	北海道文教大学	私	4.3
9	7	札幌学院大学	私	3.8
10	12	天使大学	私	3.5
11	9	札幌大学	私	2.3
12	13	日本医療大学	私	2.0
12	9	北海道情報大学	私	2.0
14	7	北翔大学	私	1.8
15	24	星槎道都大学	私	1.6
15	17	日本赤十字北海道看護大学	私	1.6
17	17	札幌保健医療大学	私	1.5
18	19	酪農学園大学	私	1.2
19	20	札幌国際大学	私	1.0
19	(-)	北海道千歳リハビリテーション大学	私	1.0
21	16	北海商科大学	私	0.9
22	22	札幌大谷大学	私	0.7
23	(-)	東京農業大学オホーツクキャンパス	私	0.4
24	23	旭川大学	私	0.3
25	(-)	函館大学	私	0.0

２０２０年

全体

順位		学校名	区分	（%）
1	1	北海学園大学	私	16.6
2	(-)	小樽商科大学	国	15.0
3	3	北星学園大学	私	10.4
4	2	北海道科学大学	私	10.2
5	4	北海道医療大学	私	8.9
6	(-)	室蘭工業大学	国	7.8
7	7	札幌市立大学	市	6.2
7	4	公立千歳科学技術大学	公	6.2
9	12	日本医療大学	私	5.2
10	14	北翔大学	私	3.6
11	4	藤女子大学	私	3.3
12	10	天使大学	私	2.9
12	8	北海道文教大学	私	2.9
14	9	札幌学院大学	私	2.3
15	17	札幌保健医療大学	私	2.2
16	(-)	北見工業大学	国	1.8
16	21	北海商科大学	私	1.8
16	12	北海道情報大学	私	1.8
16	18	酪農学園大学	私	1.8
20	24	旭川大学	私	1.6
20	19	札幌国際大学	私	1.6
20	11	札幌大学	私	1.6
23	22	札幌大谷大学	私	1.3
23	15	星槎道都大学	私	1.3
25	15	日本赤十字北海道看護大学	私	1.1

第1章 高齢化の状況

第1節 高齢化の状況

○高齢化率は27.7%

・我が国の総人口は、平成29（2017）年10月1日現在、1億2,671万人（表1－1－1）。
・65歳以上人口は、3,515万人。
・65 歳以上人口を男女別にみると、男性は1,526万人、女性は1,989万人で、性比（女性人口100人に対する男性人口）は76.7。
・総人口に占める65歳以上人口の割合（高齢化率）は27.7%
・「65～74歳人口」は1,767万人、総人口に占める割合は13.9%
・「75歳以上人口」は1,748万人、総人口に占める割合は13.8%。

表1－1－1 高齢化の現状

単位：万人（人口）、%（構成比）

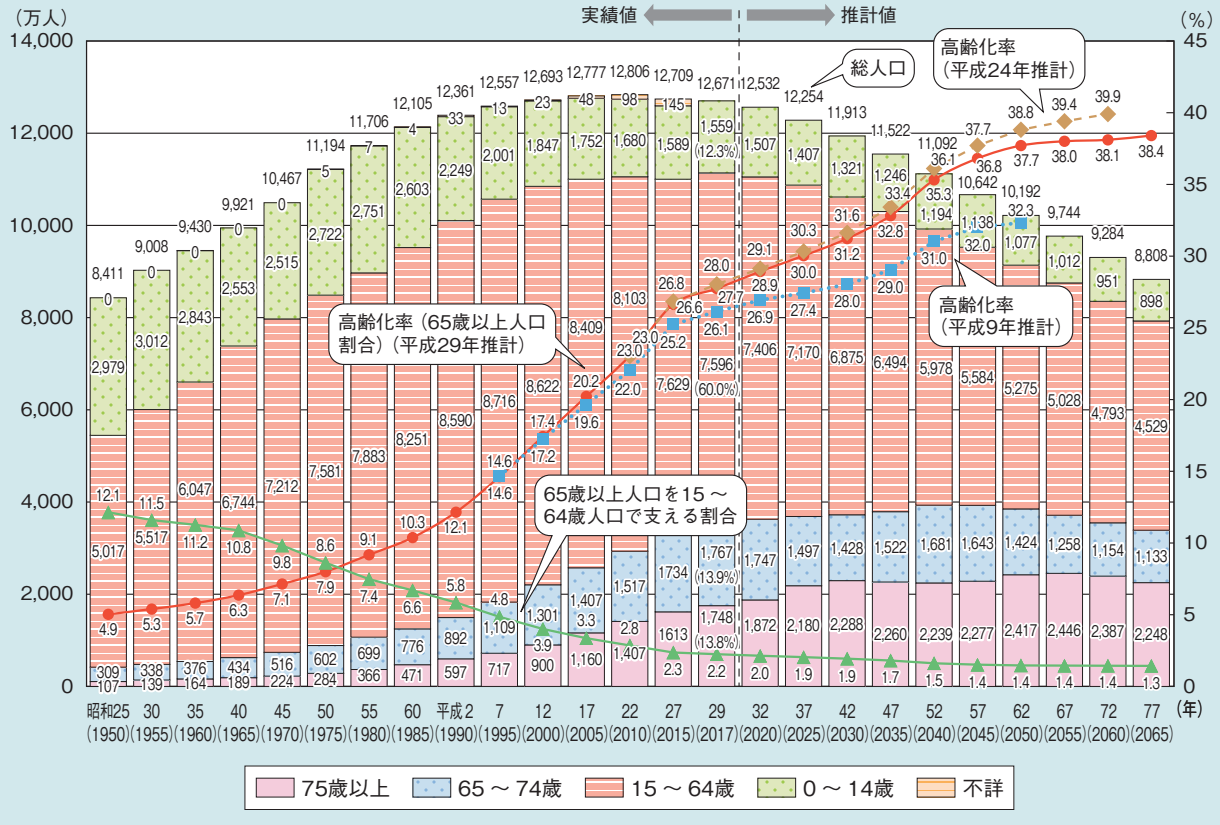
		平成29年10月1日		
		総数	男	女
人口（万人）	総人口	12,671	6,166	6,505
			（性比） 94.8	
	65歳以上人口	3,515	1,526	1,989
			（性比） 76.7	
	65～74歳人口	1,767	843	924
			（性比） 91.2	
	75歳以上人口	1,748	684	1,065
			（性比） 64.2	
	15～64歳人口	7,596	3,841	3,755
			（性比） 102.3	
	15歳未満人口	1,559	798	761
			（性比） 104.9	
構成比	総人口	100.0	100.0	100.0
	65歳以上人口（高齢化率）	27.7	24.8	30.6
	65～74歳人口	13.9	13.7	14.2
	75歳以上人口	13.8	11.1	16.4
	15～64歳人口	60.0	62.3	57.7
	15歳未満人口	12.3	12.9	11.7

資料：総務省「人口推計」平成29年10月1日（確定値）
（注）「性比」は、女性人口100人に対する男性人口

○平成77（2065）年には、約2.6人に1人が65歳以上、約3.9人に1人が75歳以上

・総人口が減少するなかで、高齢化率は上昇（図1－1－2）。
・65歳以上人口は、「団塊の世代」（昭和22（1947）～昭和24（1949）年に生まれた人）が65歳以上となった平成27（2015）年に3,387万人となり、その後も増加傾向。平成54（2042）年に3,935万人でピークを迎え、その後は減少に転じるが高齢化率は上昇傾向にあると推計される。
・平成77（2065）年には38.4％に達して、約2.6人に1人が65歳以上。
・5年前（平成24年）の推計と比較すると、人口減少の速度や高齢化の進行度合い（2060年高齢化率の推計について、今回推計では38.1％、前回推計では39.9％）は緩和している。
・平成27（2015）年には65歳以上の者1人に対して15～64歳の者2.3人。
・平成77（2065）年には、65歳以上の者1人に対して15～64歳の者1.3人。

図1－1－2　高齢化の推移と将来推計



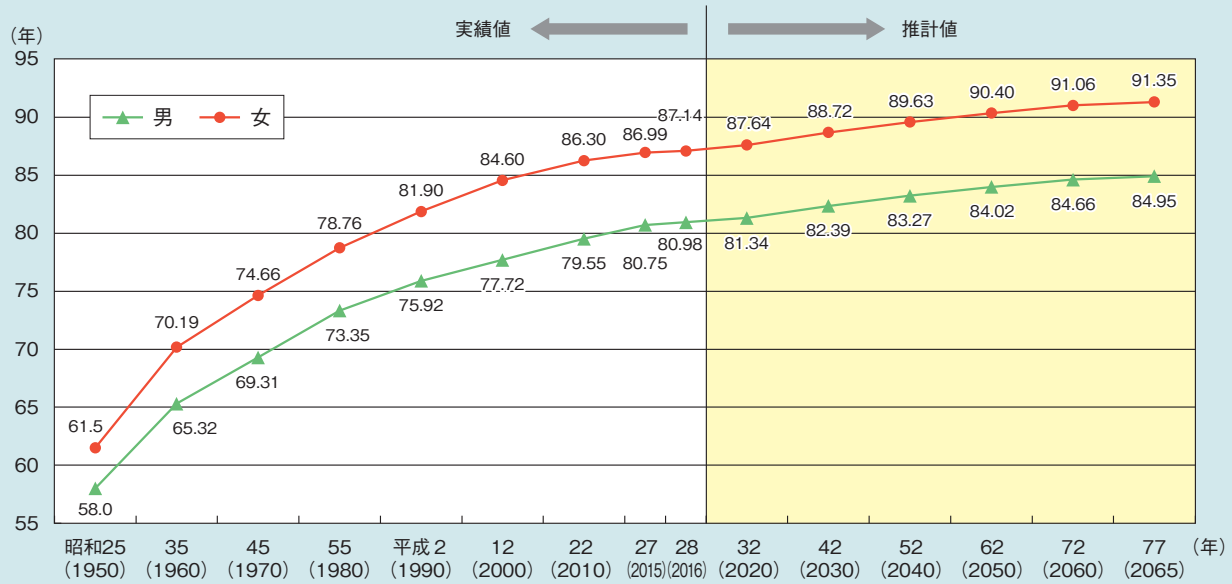
資料：棒グラフと実線の高齢化率については、2015年までは総務省「国勢調査」、2017年は総務省「人口推計」（平成29年10月1日確定値）、2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果。
点線と破線の高齢化率については、それぞれ「日本の将来推計人口（平成9年推計）」の中位仮定、「日本の将来推計人口（平成24年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による、推計時点における将来推計結果である。
（注1）2017年以降の年齢階級別人口は、総務省統計局「平成27年国勢調査　年齢・国籍不詳をあん分した人口（参考表）」による年齢不詳をあん分した人口に基づいて算出されていることから、年齢不詳は存在しない。なお、1950年～2015年の高齢化率の算出には分母から年齢不詳を除いている。
（注2）年齢別の結果からは、沖縄県の昭和25年70歳以上の外国人136人（男55人、女81人）及び昭和30年70歳以上23,328人（男8,090人、女15,238人）を除いている。
（注3）将来人口推計とは、基準時点までに得られた人口学的データに基づき、それまでの傾向、趨勢を将来に向けて投影するものである。基準時点以降の構造的な変化等により、推計以降に得られる実績や新たな将来推計との間には乖離が生じうるものであり、将来推計人口はこのような実績等を踏まえて定期的に見直すこととしている。

○将来の平均寿命は男性84.95歳、女性91.35歳

・平均寿命は、平成28（2016）年現在、男性80.98年、女性87.14年（図1－1－3）。

・平成77（2065）年には、男性84.95年、女性91.35年となり、女性は90年を超える。

図1－1－3　平均寿命の推移と将来推計



資料：1950年は厚生労働省「簡易生命表」、1960年から2015年までは厚生労働省「完全生命表」、2016年は厚生労働省「簡易生命表」、2020年以降は、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果

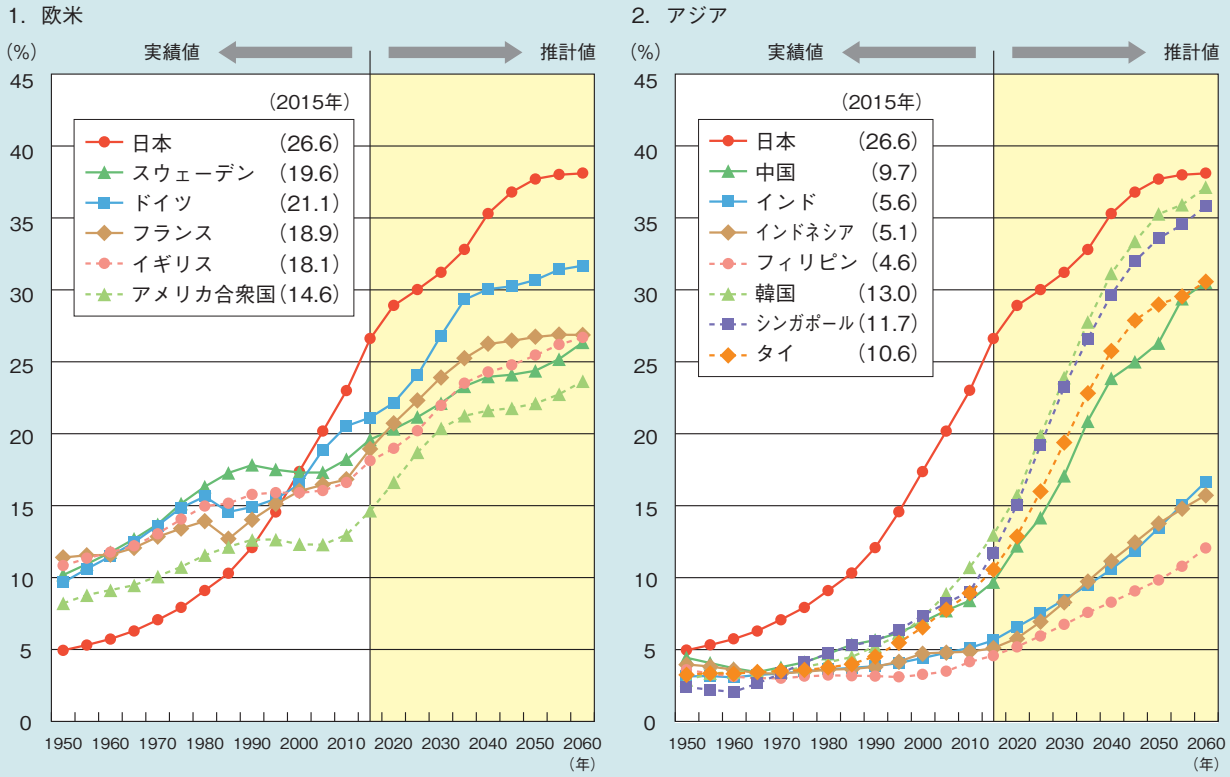
（注）1970年以前は沖縄県を除く値である。0歳の平均余命が「平均寿命」である。

○我が国は世界で最も高い高齢化率である

・先進諸国の高齢化率を比較してみると、我が国は1980年代までは下位、90年代にはほぼ中位であったが、平成17（2005）年には最も高い水準となった（図1－1－4）。

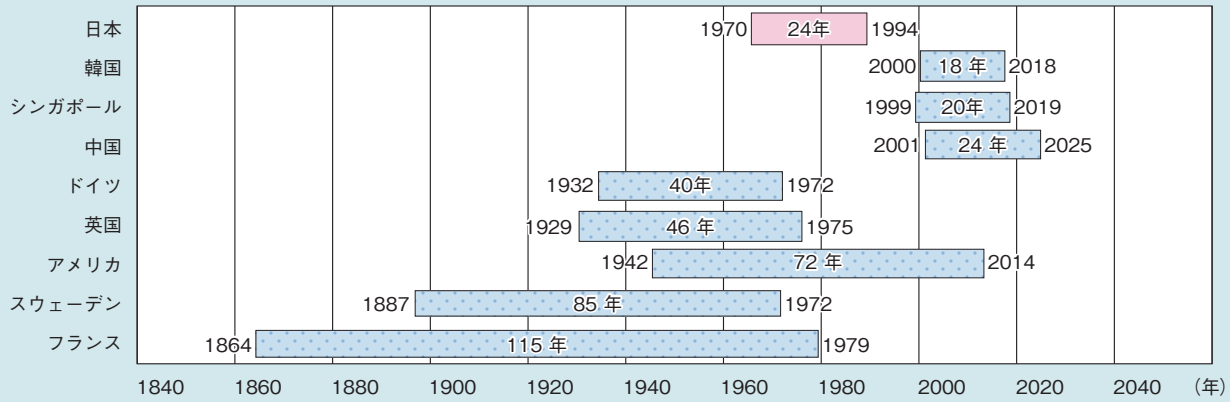
・高齢化の速度について、高齢化率が7%を超えてからその倍の14%に達するまでの所要年数（倍加年数）によって比較すると、我が国は、昭和45（1970）年に7%を超えると、その24年後の平成6（1994）年には14%に達した。しかし、足元ではその伸率は鈍化している。一方、アジア諸国に目を移すと、韓国が18年、シンガポールが20年、中国が24年など、今後、一部の国で、我が国を上回るスピードで高齢化が進むことが見込まれている（図1－1－5）。

図1－1－4 世界の高齢化率の推移



資料：UN, World Population Prospects: The 2017 Revision
ただし日本は、2015年までは総務省「国勢調査」
2020年以降は国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口（平成29年推計）」の出生中位・死亡中位仮定による推計結果による。

図1－1－5 主要国における高齢化率が7%から14%へ要した期間



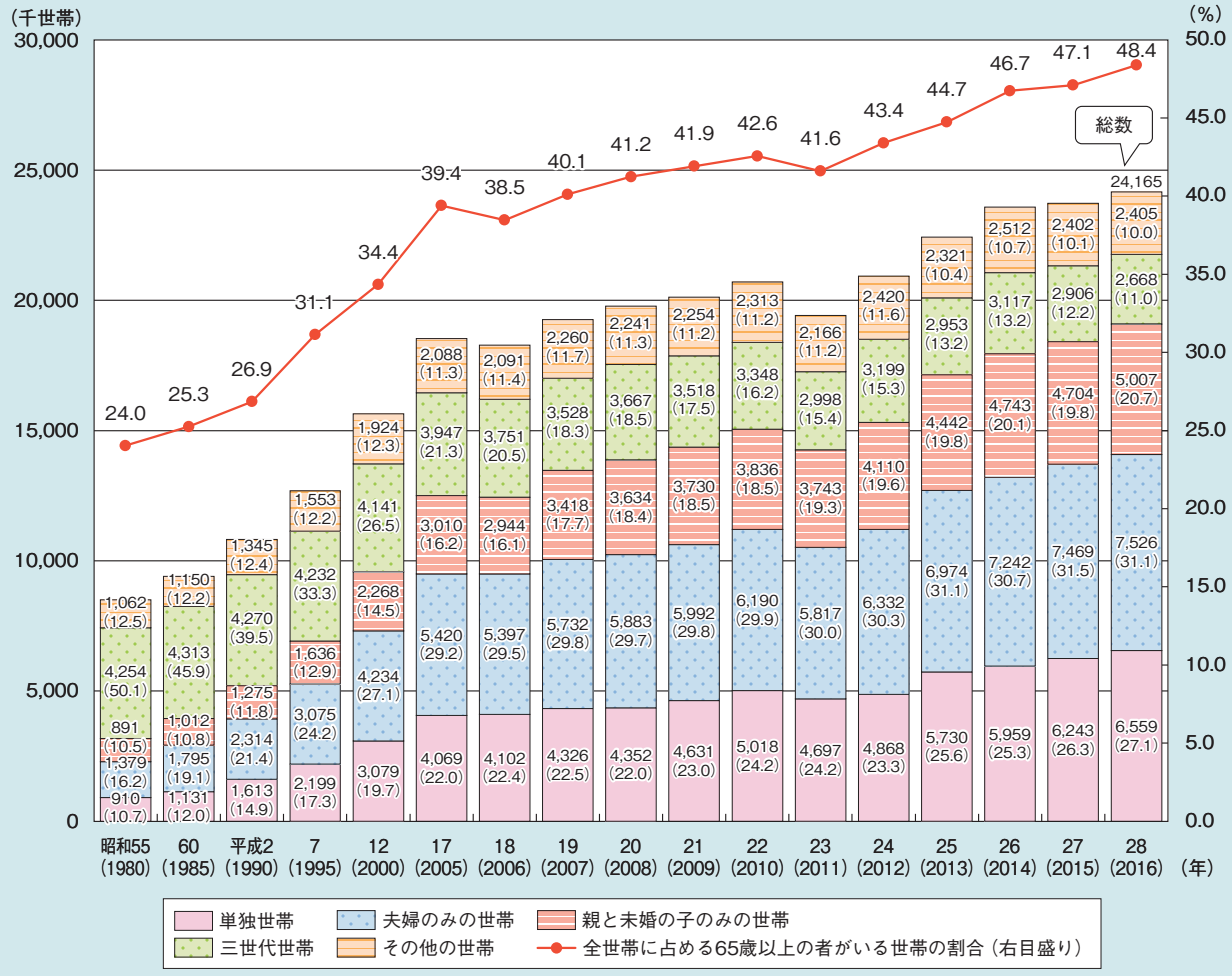
資料：国立社会保障・人口問題研究所「人口統計資料集」(2018年)
（注）1950年以前はUN, The Aging of Population and Its Economic and Social Implications (Population Studies, No.26, 1956) 及び Demographic Yearbook, 1950年以降はUN, World Population Prospects：The 2017 Revision（中位推計）による。ただし、日本は総務省統計局「国勢調査」、「人口推計」による。1950年以前は既知年次のデータを基に補間推計したものによる。

○65歳以上の者のいる世帯は全世帯の約半分、「単独世帯」・「夫婦のみ世帯」が全体の過半数

・65歳以上の者のいる世帯についてみると、平成28（2016）年現在、世帯数は2416万5千世帯と、全世帯（4994万5千世帯）の48.4％を占めている（図1－1－6）。

そのうち、夫婦のみの世帯が一番多く約3割となっており、単独世帯と合わせると半数を超える状況である。

図1－1－6　65歳以上の者のいる世帯数及び構成割合（世帯構造別）と全世帯に占める65歳以上の者がいる割合



資料：昭和60年以前の数値は厚生省「厚生行政基礎調査」、昭和61年以降の数値は厚生労働省「国民生活基礎調査」による
（注1）平成7年の数値は兵庫県を除いたもの、平成23年の数値は岩手県、宮城県及び福島県を除いたもの、平成24年の数値は福島県を除いたもの、平成28年の数値は熊本県を除いたものである。
（注2）（　）内の数字は、65歳以上の者のいる世帯総数に占める割合（%）
（注3）四捨五入のため合計は必ずしも一致しない。

○地域別にみた高齢化

・平成29（2017）年現在の高齢化率は、最も高い秋田県で35.6%、最も低い沖縄県で21.0%となっている。（表1－1－7）。

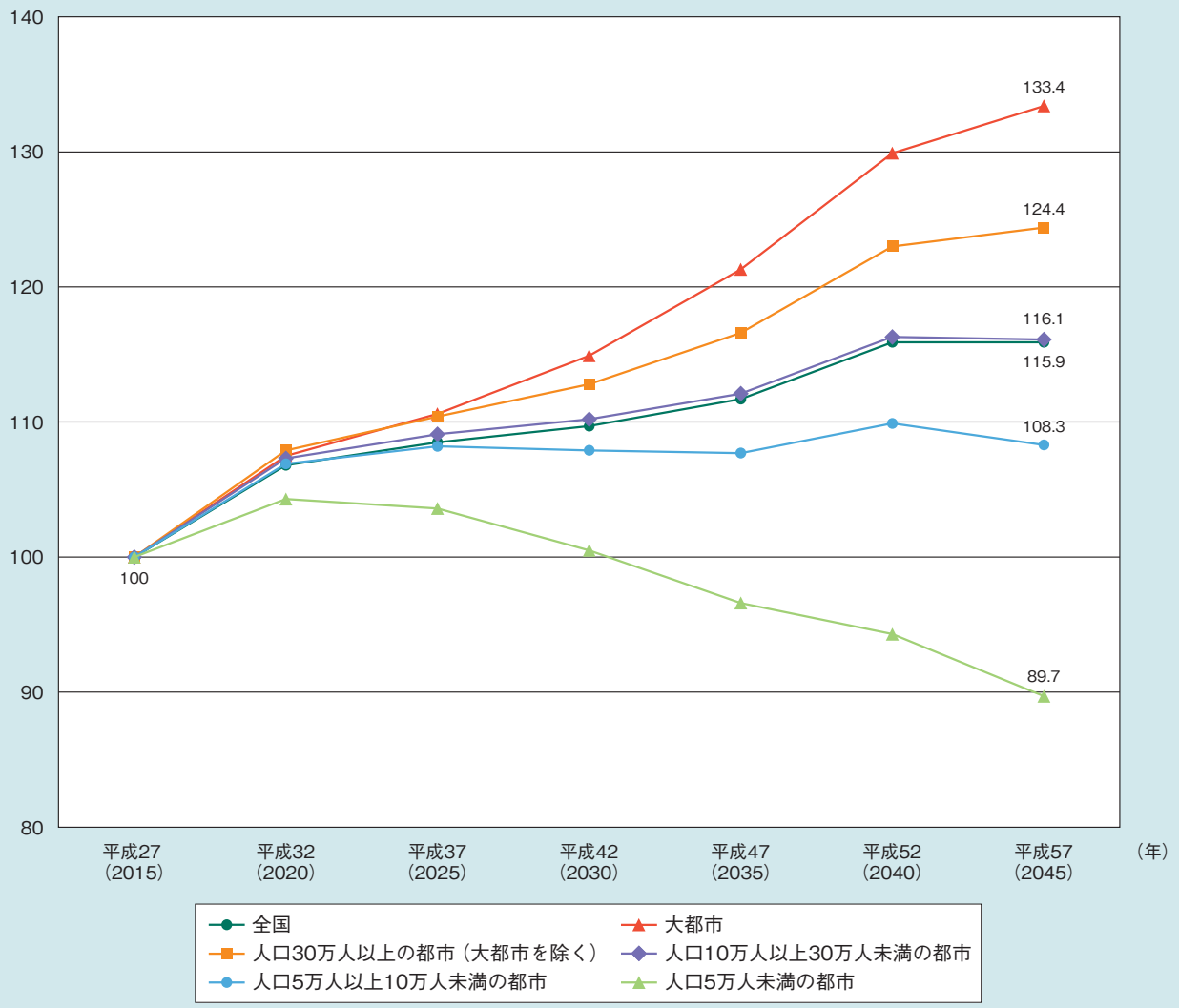
・平成27（2015）年を基準年として、都市規模別に65歳以上人口の推移をみると、都市規模が大きいほど65歳以上人口の伸びが大きい見込み。一方で、「人口5万人未満の都市」では、平成32（2020）年をピークに人口は減少し、平成27（2015）年時点よりも65歳以上人口は減少する見込みである（図1－1－8）。

表1－1－7　都道府県別高齢化率の推移

	平成29年（2017）			平成57年（2045）	高齢化率の伸び（ポイント）
	総人口（千人）	65歳以上人口（千人）	高齢化率（%）	高齢化率（%）	
北海道	5,320	1,632	30.7	42.8	12.1
青森県	1,278	407	31.8	46.8	15.0
岩手県	1,255	400	31.9	43.2	11.3
宮城県	2,323	631	27.2	40.3	13.1
秋田県	996	354	35.6	50.1	14.5
山形県	1,102	355	32.2	43.0	10.8
福島県	1,882	569	30.2	44.2	14.0
茨城県	2,892	819	28.3	40.0	11.7
栃木県	1,957	536	27.4	37.3	9.9
群馬県	1,960	567	28.9	39.4	10.5
埼玉県	7,310	1,900	26.0	35.8	9.8
千葉県	6,246	1,692	27.1	36.4	9.3
東京都	13,724	3,160	23.0	30.7	7.7
神奈川県	9,159	2,274	24.8	35.2	10.4
新潟県	2,267	709	31.3	40.9	9.6
富山県	1,056	334	31.6	40.3	8.7
石川県	1,147	331	28.8	37.2	8.4
福井県	779	232	29.8	38.5	8.7
山梨県	823	245	29.8	43.0	13.2
長野県	2,076	647	31.1	41.7	10.6
岐阜県	2,008	589	29.3	38.7	9.4
静岡県	3,675	1,069	29.1	38.9	9.8
愛知県	7,525	1,852	24.6	33.1	8.5
三重県	1,800	522	29.0	38.3	9.3
滋賀県	1,413	357	25.3	34.3	9.0
京都府	2,599	743	28.6	37.8	9.2
大阪府	8,823	2,399	27.2	36.2	9.0
兵庫県	5,503	1,558	28.3	38.9	10.6
奈良県	1,348	408	30.3	41.1	10.8
和歌山県	945	304	32.2	39.8	7.6
鳥取県	565	175	31.0	38.7	7.7
島根県	685	230	33.6	39.5	5.9
岡山県	1,907	567	29.7	36.0	6.3
広島県	2,829	809	28.6	35.2	6.6
山口県	1,383	462	33.4	39.7	6.3
徳島県	743	241	32.4	41.5	9.1
香川県	967	301	31.1	38.3	7.2
愛媛県	1,364	437	32.1	41.5	9.4
高知県	714	244	34.2	42.7	8.5
福岡県	5,107	1,384	27.1	35.2	8.1
佐賀県	824	240	29.2	37.0	7.8
長崎県	1,354	424	31.3	40.6	9.3
熊本県	1,765	531	30.1	37.1	7.0
大分県	1,152	367	31.8	39.3	7.5
宮崎県	1,089	338	31.1	40.0	8.9
鹿児島県	1,626	501	30.8	40.8	10.0
沖縄県	1,443	303	21.0	31.4	10.4

資料：平成29年は総務省「人口推計」、平成57年は国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」

図1－1－8　都市規模別にみた65歳以上人口指数（2015年＝100）の推移

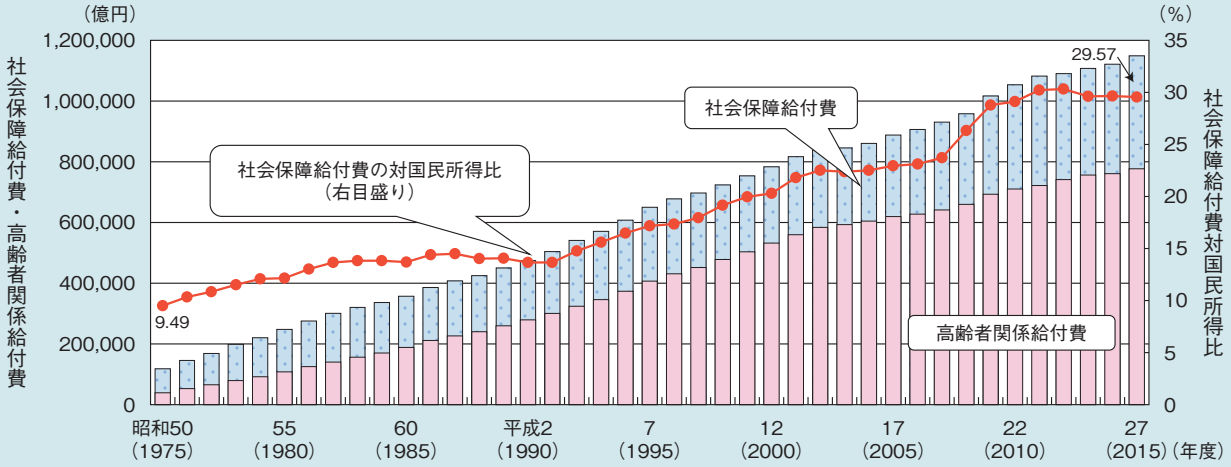


資料：国立社会保障・人口問題研究所「日本の地域別将来推計人口（平成30年推計）」をもとに作成。
（注1）各カテゴリーごとに総計を求め、2015年の人口を100とし、各年の人口を指数化した。
（注2）「大都市」は、東京都区部及び政令指定都市を指す。
（注3）福島県のデータは含まれていない。

○過去最高となった社会保障給付費

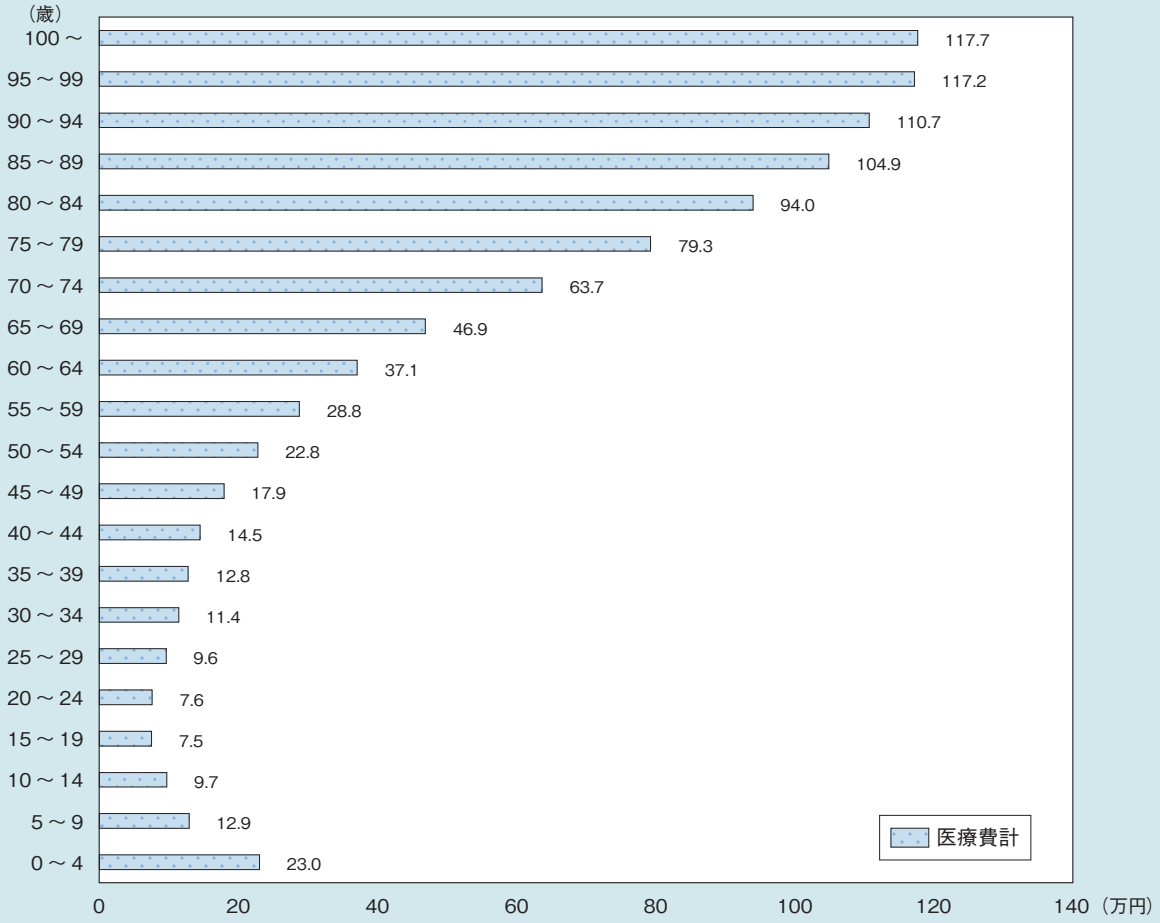
・社会保障給付費（年金・医療・福祉その他を合わせた額）全体について、平成27（2015）年度は114兆8,596億円となり過去最高の水準（図1－1－9）。
・国民所得に占める割合は、29.57％（前年比0.08ポイント減）。
・社会保障給付費のうち、高齢者関係給付費について、平成27（2015）年度は77兆6,386億円、社会保障給付費に占める割合は67.6％。
・また、平成27（2015）年度の年齢階級別1人当たり医療費（医療保険制度分）は、60歳から64歳で37.1万円であるのに対し、75歳から79歳で79.3万円、80歳から84歳で94.0万円（図1－1－10）。

図1－1－9 社会保障給付費の推移



資料：国立社会保障・人口問題研究所「平成27年度社会保障費用統計」
（注1）高齢者関係給付費とは、年金保険給付費、高齢者医療給付費、老人福祉サービス給付費及び高年齢雇用継続給付費を合わせたもので昭和48年度から集計
（注2）高齢者医療給付費は、平成19年度までは旧老人保健制度からの医療給付額、平成20年度は後期高齢者医療制度からの医療給付額及び旧老人保健制度からの平成20年3月分の医療給付額等が含まれている。

図1－1－10 年齢階級別1人当たり医療費（平成27年度）医療保険制度分



出典：厚生労働省保険局「医療保険に関する基礎資料」
（注）医療費計とは、平成27年4月～平成28年3月診療分の医療費のこと。

統計表１　就業保健師・助産師・看護師・准看護師数，実人員－常勤換算数，都道府県別

（単位：人）　　平成 26 年末現在

	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数
全国	48 452	45 645.1	33 956	31 218.7	1 086 779	1 005 000.4	340 153	299 801.1
北海道	3 028	2 845.4	1 647	1 542.9	57 732	53 913.3	19 172	17 351.0
青森	602	572.3	318	305.0	12 274	11 806.0	5 561	5 223.2
岩手	677	646.0	370	345.9	12 938	12 331.8	3 320	3 054.9
宮城	1 026	967.6	735	667.2	18 119	17 091.1	6 438	5 785.0
秋田	565	550.2	328	318.8	10 431	9 957.2	3 374	3 142.8
山形	555	531.0	315	309.5	10 841	10 312.7	3 050	2 796.8
福島	946	914.6	466	435.5	15 431	14 761.4	7 405	6 849.6
茨城	1 097	1 037.1	642	581.6	19 675	18 057.2	8 056	7 119.8
栃木	837	797.9	462	435.9	15 019	13 871.8	6 648	5 959.9
群馬	906	857.4	472	432.8	16 560	15 329.8	7 408	6 514.6
埼玉	1 878	1 726.5	1 412	1 274.6	41 184	37 248.0	14 232	12 214.4
千葉	1 856	1 677.4	1 335	1 188.9	38 739	35 120.5	10 706	9 291.3
東京	3 400	3 145.2	3 651	3 387.9	97 383	90 825.0	14 702	12 800.5
神奈川	2 072	1 881.1	2 196	1 924.7	61 164	54 351.6	10 231	8 356.4
新潟	1 199	1 141.5	790	754.0	20 967	19 694.6	6 832	6 064.9
富山	607	572.3	360	342.1	11 474	10 737.0	3 430	3 031.0
石川	546	528.5	337	319.7	13 535	12 701.8	3 403	3 042.5
福井	503	488.5	218	206.0	7 958	7 443.8	3 096	2 781.5
山梨	589	551.5	232	216.3	7 344	6 743.9	2 282	2 013.5
長野	1 466	1 354.0	797	731.5	20 439	18 780.7	5 339	4 645.2
岐阜	910	836.5	600	539.1	16 100	14 553.5	6 583	5 494.3
静岡	1 599	1 477.7	952	867.1	29 174	26 431.1	6 918	5 969.9
愛知	2 341	2 148.1	2 051	1 872.2	54 013	48 759.6	15 146	12 829.9
三重	645	622.4	386	353.3	14 910	13 330.7	5 194	4 387.0
滋賀	668	626.2	461	402.7	12 735	11 314.3	1 982	1 553.0
京都	1 087	1 024.6	903	783.2	24 637	22 181.8	5 659	4 644.3
大阪	2 149	2 059.6	2 564	2 321.8	72 617	66 430.2	19 065	15 921.7
兵庫	1 569	1 456.5	1 334	1 204.4	47 672	43 024.3	11 787	9 780.2
奈良	476	467.5	326	293.7	11 429	10 411.6	2 482	2 072.6
和歌山	474	461.2	278	262.1	9 629	8 837.3	3 439	2 866.9
鳥取	300	292.3	229	219.2	6 340	5 998.0	2 317	2 128.6
島根	462	439.7	285	270.6	7 890	7 332.9	3 114	2 742.0
岡山	936	905.3	453	443.4	20 926	20 380.4	5 119	4 855.7
広島	1 051	1 005.4	664	625.4	27 352	25 327.8	12 384	10 795.5
山口	710	677.6	423	394.2	15 598	14 524.5	7 128	6 330.5
徳島	390	379.4	224	218.9	8 436	7 946.1	3 909	3 536.3
香川	526	494.5	290	274.5	10 514	9 884.7	4 284	3 829.6
愛媛	672	651.6	309	282.0	15 366	14 425.7	5 786	5 199.6
高知	508	479.2	162	156.6	9 700	8 916.1	3 922	3 319.4
福岡	1 679	1 597.3	1 323	1 229.6	54 653	51 749.5	18 791	17 027.4
佐賀	467	448.5	208	194.6	10 020	9 477.9	4 837	4 380.8
長崎	683	650.9	401	375.5	16 379	15 549.8	7 748	7 089.2
熊本	910	880.0	441	417.3	21 333	20 271.4	10 413	9 732.4
大分	672	654.2	338	312.2	13 482	12 645.6	6 092	5 518.1
宮崎	608	588.4	307	290.4	12 865	12 224.4	6 774	6 303.2
鹿児島	881	833.5	554	503.6	20 276	19 113.6	10 155	9 355.2
沖縄	724	701.0	407	390.3	13 526	12 878.4	4 440	4 099.0

統計表１　就業保健師・助産師・看護師・准看護師数，実人員－常勤換算数，都道府県別

（単位：人）　　平成 28 年末現在

	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数
全国	51 280	47 805.1	35 774	32 488.5	1 149 397	1 056 749.0	323 111	282 604.1
北海道	3 118	2 918.5	1 671	1 552.0	61 624	57 214.1	18 021	16 130.4
青森	636	598.0	326	311.2	12 789	12 267.9	5 262	4 918.6
岩手	715	646.3	389	356.7	13 391	12 640.4	3 115	2 831.2
宮城	1 107	1 020.9	752	666.6	19 138	18 028.5	5 839	5 269.7
秋田	569	552.6	342	334.1	10 922	10 348.1	3 303	3 031.7
山形	581	543.3	342	333.9	11 324	10 719.2	2 873	2 586.9
福島	1 012	980.5	492	459.0	16 311	15 548.6	6 965	6 419.5
茨城	1 123	1 055.1	626	575.6	19 958	18 400.9	7 432	6 682.0
栃木	881	840.8	506	468.6	15 427	14 283.2	6 164	5 480.7
群馬	945	876.1	499	459.6	17 979	16 502.8	7 564	6 592.1
埼玉	2 067	1 901.2	1 573	1 396.1	46 416	41 658.4	14 435	12 179.0
千葉	2 014	1 771.0	1 419	1 239.2	41 999	37 832.2	10 327	8 914.4
東京	3 762	3 511.7	3 792	3 526.7	104 744	98 039.0	13 476	11 803.5
神奈川	2 149	1 924.6	2 322	2 034.2	62 794	56 212.2	8 958	7 395.1
新潟	1 183	1 124.2	818	778.1	21 938	20 522.6	6 060	5 310.7
富山	620	576.2	404	373.1	12 272	11 358.6	3 306	2 895.9
石川	554	531.3	329	303.8	14 140	13 183.2	3 282	2 874.0
福井	549	524.5	242	221.8	8 497	7 857.0	2 953	2 614.6
山梨	609	572.8	242	217.1	7 756	7 129.9	2 193	1 911.1
長野	1 600	1 448.2	839	738.9	21 476	19 522.9	5 103	4 377.9
岐阜	982	868.8	624	539.8	16 860	15 170.7	6 166	5 214.3
静岡	1 626	1 501.6	952	844.2	31 000	28 065.3	6 522	5 612.9
愛知	2 553	2 295.3	2 225	1 976.4	58 387	52 516.3	14 373	12 073.4
三重	688	643.7	410	368.9	15 703	13 919.8	5 061	4 158.4
滋賀	650	609.2	478	411.1	13 348	11 804.1	1 828	1 441.0
京都	1 145	1 067.4	942	827.2	26 649	23 782.9	5 604	4 486.4
大阪	2 367	2 237.7	2 829	2 557.1	73 457	64 757.7	18 293	15 024.4
兵庫	1 679	1 527.8	1 446	1 299.1	50 916	45 834.5	11 016	9 029.2
奈良	510	480.8	355	314.3	12 073	10 903.6	2 269	1 824.9
和歌山	480	461.3	266	249.6	10 225	9 310.2	3 366	2 782.4
鳥取	327	314.6	216	199.7	6 752	6 353.2	2 285	2 068.7
島根	503	479.8	323	302.4	8 332	7 745.2	3 078	2 681.1
岡山	974	927.9	517	467.4	22 563	20 947.3	4 828	4 229.0
広島	1 184	1 123.3	654	612.8	29 317	26 880.6	11 749	10 051.0
山口	756	710.1	438	405.0	16 207	15 034.5	6 799	6 054.7
徳島	404	392.1	260	245.8	8 726	8 174.3	3 690	3 308.8
香川	539	508.3	270	248.8	11 000	10 289.4	4 139	3 678.0
愛媛	682	659.0	323	292.7	16 151	15 123.5	5 599	4 976.7
高知	530	514.7	184	172.3	10 159	9 733.5	3 662	3 344.3
福岡	1 772	1 667.0	1 364	1 229.8	56 955	53 798.9	17 967	16 227.8
佐賀	487	464.4	221	205.3	10 579	9 978.9	4 755	4 253.3
長崎	725	673.8	414	386.2	17 285	16 298.2	7 350	6 674.4
熊本	929	895.0	454	425.8	22 075	20 916.7	9 996	9 286.7
大分	687	667.1	355	333.1	14 096	13 218.2	5 865	5 312.4
宮崎	638	611.6	297	275.9	13 492	12 807.6	6 501	6 014.8
鹿児島	915	865.0	598	541.4	21 463	20 167.4	9 574	8 756.3
沖縄	754	720.0	434	410.1	14 732	13 946.8	4 145	3 819.8

統計表１　就業保健師・助産師・看護師・准看護師数，実人員－常勤換算数，都道府県別

（単位：人）　　平成 30 年末現在

	保健師		助産師		看護師		准看護師	
	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数	実人員	常勤換算数
全　国	52 955	49 241.4	36 911	33 563.9	1 218 606	1 124 151.7	304 479	267 306.9
北海道	3 133	2 920.5	1 668	1 538.6	64 456	59 589.4	16 699	14 822.0
青　森	684	643.8	337	310.0	13 048	12 424.6	4 894	4 575.5
岩　手	745	690.6	401	368.4	13 637	12 859.3	2 925	2 647.2
宮　城	1 100	1 020.0	728	659.2	20 086	18 948.9	5 544	4 980.6
秋　田	585	568.4	322	313.3	11 311	10 673.0	3 146	2 875.9
山　形	624	581.6	351	336.3	11 731	11 042.6	2 764	2 491.4
福　島	1 061	1 023.3	513	480.5	17 161	16 307.2	6 655	6 101.8
茨　城	1 155	1 081.6	740	666.5	22 024	19 991.5	7 096	6 244.5
栃　木	953	878.4	538	477.3	16 479	14 926.3	5 864	5 197.7
群　馬	999	930.7	514	457.0	19 022	17 427.5	7 449	6 453.5
埼　玉	2 219	2 036.3	1 692	1 520.4	50 844	45 746.8	13 967	11 757.7
千　葉	2 084	1 845.1	1 497	1 296.8	45 202	40 600.6	9 725	8 294.2
東　京	3 931	3 583.1	4 088	3 668.9	109 517	100 592.9	12 565	10 775.6
神奈川	2 157	1 916.8	2 337	2 038.1	67 763	60 297.6	8 558	6 930.0
新　潟	1 220	1 149.2	764	711.0	22 702	21 191.3	5 608	4 865.4
富　山	621	583.6	430	399.2	12 717	11 758.4	3 132	2 729.9
石　川	568	539.0	349	317.7	14 616	13 515.4	3 001	2 621.5
福　井	477	458.5	248	227.6	8 992	8 284.3	2 830	2 464.3
山　梨	625	580.0	261	228.6	8 223	7 514.8	2 078	1 806.5
長　野	1 593	1 455.8	877	791.4	22 349	20 411.1	4 825	4 117.8
岐　阜	989	870.4	631	554.8	16 950	15 292.1	5 527	4 641.0
静　岡	1 718	1 589.2	998	903.6	32 935	29 712.1	6 356	5 423.4
愛　知	2 726	2 448.5	2 241	2 000.2	61 389	55 290.4	13 490	11 342.8
三　重	733	681.7	445	409.0	16 931	15 099.7	4 839	4 022.8
滋　賀	714	656.2	496	430.4	14 106	12 558.6	1 707	1 343.9
京　都	1 187	1 088.3	897	782.9	28 238	25 291.0	4 966	4 017.3
大　阪	2 284	2 276.0	2 706	2 666.1	83 016	81 821.0	15 589	15 146.0
兵　庫	1 759	1 596.8	1 544	1 381.2	54 658	49 110.4	10 560	8 636.8
奈　良	549	524.7	368	335.6	12 917	11 641.3	2 064	1 645.4
和歌山	495	473.5	287	264.4	10 795	9 823.7	3 128	2 542.9
鳥　取	332	320.1	239	224.3	7 180	6 788.4	2 203	1 997.8
島　根	539	513.0	326	302.2	8 769	8 110.9	2 902	2 512.7
岡　山	1 018	954.0	539	500.4	23 523	21 821.5	4 510	3 939.1
広　島	1 299	1 217.2	678	623.6	31 045	28 361.7	11 162	9 526.5
山　口	761	682.6	423	388.4	17 311	15 926.9	6 610	5 831.6
徳　島	411	395.1	272	246.4	9 091	8 346.9	3 596	3 197.8
香　川	563	531.7	315	283.6	11 501	10 711.9	4 001	3 545.2
愛　媛	702	673.8	335	304.4	16 839	15 695.3	5 389	4 749.9
高　知	522	506.3	191	183.1	10 668	10 208.4	3 430	3 103.7
福　岡	1 830	1 732.3	1 448	1 317.9	60 730	57 122.2	17 492	15 807.4
佐　賀	493	470.7	237	216.3	10 937	10 291.4	4 529	4 044.7
長　崎	753	709.4	443	414.8	17 691	16 642.2	6 967	6 302.1
熊　本	992	944.1	468	438.3	23 012	21 625.5	9 776	8 988.5
大　分	671	644.7	335	306.3	14 600	13 666.1	5 548	5 016.6
宮　崎	673	645.9	321	298.3	14 033	13 273.4	6 177	5 690.1
鹿児島	941	884.9	626	559.1	22 504	21 187.2	8 880	8 083.5
沖　縄	767	724.0	447	421.5	15 357	14 628.0	3 756	3 454.4

第七次看護職員需給見通し都道府県別

区分	平成２３年				平成２７年			
	需要数	供給数	需要見通しと供給見通しの差		需要数	供給数	需要見通しと供給見通しの差	
01 北海道	76,845.0	72,490.0	4,355.0	94.3%	80,592.0	78,869.0	1,723.0	97.9%
02 青森県	19,829.8	18,927.8	901.9	95.5%	21,237.3	21,090.5	146.8	99.3%
03 岩手県	16,592.5	15,824.4	768.1	95.4%	17,170.6	16,433.2	737.4	95.7%
04 宮城県	24,457.1	23,819.7	637.4	97.4%	26,687.5	26,640.7	46.8	99.8%
05 秋田県	13,702.2	13,562.7	139.5	99.0%	14,264.1	14,250.9	13.2	99.9%
06 山形県	14,604.0	13,670.1	933.9	93.6%	14,907.3	14,457.7	449.6	97.0%
07 福島県	24,410.0	24,156.0	254.0	99.0%	25,581.0	25,565.0	16.0	99.9%
08 茨城県	27,884.8	25,555.9	2,328.9	91.6%	30,043.8	29,078.7	965.1	96.8%
09 栃木県	20,650.4	19,887.6	762.8	96.3%	21,595.4	21,109.8	485.6	97.8%
10 群馬県	22,287.7	21,910.5	377.2	98.3%	24,542.1	23,616.9	925.2	96.2%
11 埼玉県	49,847.7	48,917.8	929.9	98.1%	55,626.1	54,536.8	1,089.3	98.0%
12 千葉県	45,887.3	43,456.8	2,430.5	94.7%	50,891.6	49,410.0	1,481.6	97.1%
13 東京都	115,462.0	112,839.0	2,623.0	97.7%	120,575.0	120,575.0	0.0	100.0%
14 神奈川県	73,160.0	59,110.0	14,050.0	80.8%	81,118.0	79,340.0	1,778.0	97.8%
15 新潟県	26,793.0	26,613.0	180.0	99.3%	28,440.0	28,454.0	△ 14.0	100.0%
16 富山県	14,129.9	13,777.6	352.3	97.5%	14,936.9	14,834.6	102.3	99.3%
17 石川県	16,579.1	16,202.8	376.3	97.7%	17,534.7	17,485.3	49.4	99.7%
18 福井県	10,740.6	10,467.8	272.8	97.5%	11,526.6	11,360.6	166.0	98.6%
19 山梨県	9,046.1	8,844.4	201.7	97.8%	9,481.6	9,385.4	96.2	99.0%
20 長野県	24,307.0	23,578.0	729.0	97.0%	25,833.8	25,568.0	265.8	99.0%
21 岐阜県	20,624.9	19,244.3	1,380.6	93.3%	22,213.9	21,916.4	297.5	98.7%
22 静岡県	35,198.8	33,785.5	1,413.3	96.0%	37,208.5	36,348.3	860.2	97.7%
23 愛知県	69,327.4	65,147.1	4,180.3	94.0%	74,656.9	73,870.1	786.7	98.9%
24 三重県	18,207.3	17,645.0	562.3	96.9%	20,226.1	20,295.0	△ 68.9	100.3%
25 滋賀県	13,235.1	13,142.7	92.4	99.3%	14,433.7	14,393.2	40.5	99.7%
26 京都府	28,581.3	28,357.0	224.3	99.2%	30,780.9	30,780.0	0.9	100.0%
27 大阪府	88,909.0	85,250.0	3,659.0	95.9%	98,553.0	99,508.0	△ 955.0	101.0%
28 兵庫県	60,193.9	58,954.4	1,239.4	97.9%	64,817.5	64,774.2	43.2	99.9%
29 奈良県	14,157.0	13,365.0	792.0	94.4%	15,924.0	16,002.0	△ 78.0	100.5%
30 和歌山県	13,816.4	13,196.6	619.8	95.5%	14,610.8	14,354.6	256.2	98.2%
31 鳥取県	8,328.0	8,052.0	276.0	96.7%	8,832.0	8,594.0	238.0	97.3%
32 島根県	10,687.6	10,352.8	334.7	96.9%	11,226.7	10,981.8	244.9	97.8%
33 岡山県	25,522.1	24,917.1	605.0	97.6%	26,818.6	26,745.4	73.2	99.7%
34 広島県	41,948.8	40,563.4	1,385.4	96.7%	44,378.1	43,785.7	592.4	98.7%
35 山口県	21,222.0	20,846.0	376.0	98.2%	22,463.0	22,380.0	83.0	99.6%
36 徳島県	12,406.4	11,958.8	447.6	96.4%	12,973.7	12,876.4	97.3	99.3%
37 香川県	14,218.3	13,840.0	378.3	97.3%	14,853.2	14,786.0	67.2	99.5%
38 愛媛県	19,622.7	19,466.0	156.7	99.2%	19,979.6	19,803.1	176.5	99.1%
39 高知県	12,989.1	12,766.0	223.1	98.3%	13,491.6	13,445.6	46.0	99.7%
40 福岡県	76,522.7	76,002.3	520.4	99.3%	80,633.9	80,566.4	67.5	99.9%
41 佐賀県	13,640.5	13,043.2	597.3	95.6%	14,420.5	13,988.9	431.6	97.0%
42 長崎県	24,422.0	23,565.0	857.0	96.5%	24,993.0	24,534.0	459.0	98.2%
43 熊本県	29,030.8	28,459.4	571.4	98.0%	31,284.2	31,262.8	21.4	99.9%
44 大分県	19,050.6	18,787.0	263.6	98.6%	19,878.6	19,709.0	169.6	99.1%
45 宮崎県	18,833.1	18,520.3	312.8	98.3%	19,949.6	19,881.6	68.0	99.7%
46 鹿児島県	29,064.9	28,617.3	447.6	98.5%	30,580.0	30,451.1	128.9	99.6%
47 沖縄県	17,337.0	16,823.8	513.2	97.0%	18,124.9	17,926.8	198.1	98.9%

注）四捨五入のため、需要見通しと供給見通しの差が需要数－供給数と一致しない都道府県もある。

※第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書（概要）

第１回　医師の働き方改革を進めるための
タスク・シフト/シェアの推進に関する検討会
議事次第

日時：令和元年 10 月 23 日（水）
17 時 00 分 ～ 18 時 30 分
場所：TKP 新橋カンファレンスセンター新館ホール 15D

議題

１．　医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアについて
２．　その他

配布資料

資料１　医師の働き方改革を進めるためのタスク･シフト/シェアの推進に関する検討会　開催要綱
資料２　医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフト/シェアについて

参考資料１　医師の長時間労働の実態について
参考資料２　医療スタッフの協働・連携の在り方に関する取組について
参考資料３　ヒアリングで医師から既存職種へタスク・シフト/シェア可能とプレゼンテーションされた項目まとめ【業務内容別】
参考資料４　医師の働き方改革を進めるためのタスク・シフティングに関するヒアリング各団体提出資料
（第１回６月 17 日・第２回７月 17 日・第３回７月 26 日）

タスク・シフティング
推進に関するヒアリング

～公益社団法人　日本診療放射線技師会～

2019/07 作成

（資料17）

公益社団法人　日本診療放射線技師会

- 昭和22年　**日本放射線技師会設立**
- 昭和53年　ISRRT（世界放射線技師会）へ正式加盟
- 平成24年　**公益社団法人認可**

  公益社団法人　日本診療放射線技師会　名称変更
- 会員数　30,166名　(2019年6月30日現在）

１．診療放射線技師が担う業務のうち、推進すべき業務について

	業務内容	現行 実施職種	ボリューム	推進すべき業務と思われる理由
1	医政発0430第１号 画像診断における読影の補助を行うこと	診療放射線技師	画像診断における読影の補助を行うこと 約100％	通知で明記されている「画像診断における読影の補助」については、医師への異常所見の伝達や見落とし防止等の医療安全を推進する上で診療放射線技師の役割は大きく、資質向上を図りながら積極的に業務を推進すべきである。
2	医政発0430第１号 検査に関する説明・相談	医師 看護師 診療放射線技師	検査に関する説明・相談 約100％	通知で明記されている「検査に関する説明・相談」については、検査の内容を熟知した診療放射線技師を活用し、「説明と相談」に必要な資質向上を図りながら業務を推進すべきでる。
3	医政発0312第7号 医療放射線の安全管理責任者	医師 歯科医師 診療放射線技師	医療放射線の安全管理を行うことの100％	医療法施行規則の一部を改正する省令に示されている「医療放射線の安全管理責任者」であるが、医療安全を推進する上で、医療放射線管理の専門家である診療放射線技師の積極的な活用が望まれる。

1．現在医師や医師以外の職種が担う業務のうち、診療放射線技師に移管可能な業務について（範囲拡大・解釈で可能）

	業務内容	現行 実施職種	ボリューム	移管が可能と思われる理由
4	診療放射線技師法施行規則 第15条の2 RI検査医薬品注入後の抜針及び止血について	医師 看護師	現行法100%	現行法(*)では明確に示されていないRI検査医薬品注入後の抜針及び止血についてであるが、現在、CT・MRI検査等における造影剤注入後の抜針及び止血のトレーニングを必須としている観点より、診療放射線技師に業務移管が可能と思われる。 *現行法　一　静脈路に造影剤注入装置を接続する行為(静脈路確保のためのものを除く。)、造影剤を投与するために当該造影剤注入装置を操作する行為並びに当該造影剤の投与が終了した後に抜針及び止血を行う行為
5	診療放射線技師法施行規則 第15条の2 CTコロノグラフィの検査手技	医師 看護師	現行法100%	現行法では認められていない手技(又は)現行法で明確に示されていない手技CTコロノグラフィであるが、下部消化管検査の一連として空気の吸引をする行為を追加することで、診療放射線技師に業務移管が可能と思われる。 現行法　二　下部消化管検査のために肛門にカテーテルを挿入する行為並びに当該カテーテルから造影剤及び空気を注入する行為 三　画像誘導放射線治療のために肛門にカテーテルを挿入する行為及び当該カテーテルから空気を吸引する行為
6	診療放射線技師法 第26条の2 Ｘ線検診車で胃がん検診ならびに乳がん検診の撮影についての包括指示での撮影	医師	現行法100%	現行法（第26条の2）で認められている「Ｘ線検診車で胸部X線撮影」であるが、Ｘ線検診車で胃がん検診ならびに乳がん検診の撮影についても包括指示での撮影が、同法第26条の2、三の範囲拡大として診療放射線技師に検診業務移管が可能と思われる。

３．新たに業務移管を受けた際の質の確保について

	業務内容	質確保対策案
4	RI検査医薬品注入後の抜針及び止血について	業務開始に際し、 ・技師法第24条第2項の（2）の改正により、2019年以前技師学校卒業生は日本診療放射線技師会主催、厚生労働省後援「業務拡大に伴う統一講習会」を受講する ・当該医師から実施可能の承認を受ける ・行為を行う医療機関が，実施可能の承認を受けた状況下で、行為を行うことを許可する
5	CTコロノグラフィの検査手技	業務開始に際し、 ・技師法第24条第2項の（2）の改正により、2019年以前技師学校卒業生は日本診療放射線技師会主催、厚生労働省後援「業務拡大に伴う統一講習会」を受講する ・当該医師から実施可能の承認を受ける ・行為を行う医療機関が，実施可能の承認を受けた状況下で、行為を行うことを許可する
6	胃がん検診ならびに乳がん検診について包括指示での撮影	業務開始に際し、第36回社会保障審議会医療部会(平成25年11月22日）資料4,2.②では医行為に関連する手技等の評価を行う必要が記載されているので、評価を行って頂き、更に下記4要件を整備する事による ・健康診断として、 １事前に責任医師の明確な指示を得ること ・ ２緊急時や必要時に医師に確認できる連絡体制の整備 ・ ３必要な機器・設備、撮影時や緊急時のマニュアルの整備 ・ ４機器の日常点検等の管理体制、従事者の教育・研修体制 以上4点を整備する ・当該医師から実施可能の承認を受ける ・行為を行う医療機関が，実施可能の承認を受けた状況下で、行為を行うことを許可する

４．タスク・シフト推進に関する課題について

	業務内容	課題
1	上部消化管造影におけるカテーテルを用いた鼻腔からのバリウム投与	上部消化管造影におけるカテーテルを用いた鼻腔からのバリウム投与業務を推進したいと考えるが、現在の養成課程では教育を受けていないため、今後養成課程のカリキュラムに組み込むことを検討する。有資格者が、当該業務を行うに際して、新たに手技等訓練を行う必要があると考えるが、そのカリキュラムを合議する必要がある。
2	放射線部門検査関連の静脈確保注射	放射線部門検査関連の静脈確保注射業務を推進したいと考えるが、現在の養成課程では教育を受けていないため、今後養成課程のカリキュラムに組み込むことを検討する。有資格者が、当該業務を行うに際して、新たに手技等訓練を行う必要があると考えるが、そのカリキュラムを合議する必要がある。
3	造影剤注入装置からの動脈への造影剤注入行為	造影剤注入装置からの動脈への造影剤注入行為業務を推進したいと考えるが、現在の養成課程では教育を受けていないため、今後養成課程のカリキュラムに組み込むことを検討する。有資格者が、当該業務を行うに際して、新たに手技等訓練を行う必要があると考えるが、そのカリキュラムを合議する必要がある。
4	診療放射線技師法　第26条の2 病院又は診療所以外の場所における検査業務	地域包括ケアに伴う在宅医療、介護施設での包括的指示による検査業務は、今後超高齢化社会を迎えるにあたり検討が必要である。
5	包括指示(疑義照会含む）における業務	包括指示(疑義照会含む）における業務では、撮影部位確認・追加撮影オーダー・緊急性の高い死につながる疾患(Killer disease)や検査目的以外で偶発的に認められた異常所見(incidental findings)等に医療安全を鑑みた対応が迫られているが、当該業務を行うに際し検討が必要である。
6	血管撮影・IVR診療の補助行為	医療被ばく低減に向けた防護措置・放射線安全管理も含めたカテーテル操作等に必要な補助行為やデバイス等の物品管理についても検討が必要である。現在の養成課程では、血管撮影・IVR診療の補助行為に関する教育を受けていないため、今後養成課程のカリキュラムを合議する必要がある。

５．タスクシフト先進事例・国外との業務比較について

Radiology Practitioner Assistants アメリカ

ポジションステートメント

1）医用画像処理における学生の監督

2）静脈内注射の投与

3）静脈内注射の実行における監督

4）意識的鎮静剤の静脈内注射

Radiography Practitioner イギリス

1）読影の補助

2）管理とリーダーシップ

3）教育

4）研究とサービス開発

学　術
Arts and Sciences
原　著

診療放射線技師の現状および将来需要に関する調査研究

Employment environment of Radiological Technologists

武藤 裕衣[1),2)]，松浦 佳苗[1),2)]，中西 左登志[1),2)]

1）日本放射線技師教育学会
2）鈴鹿医療科学大学　保健衛生学部　放射線技術科学科

Key words: Starting salary, Demands and supplies, Radiological Technologists, Job postings

【Summary】
The purpose of this study is to clarify the wages differences among Radiological Technologists based on the types of employments, payroll systems, school careers, areas (prefectures), and so forth. The demands for RT have been steadily increasing, especially for female RTs. However, amount of RT supply is increasing more rapidly because of number of schools providing educations for RT increased. It is clear that we should take this research further in order to provide proper guidelines for "Employment".

【抄 録】
本研究の目的は，求人票を基に，新卒診療放射線技師の需要および雇用体系や給与体系，学歴や都道府県の違いによる賃金面の処遇の状況について明らかにし，今後の需給について検討することである．現時点において診療放射線技師，特に女性診療放射線技師の需要は増加し，処遇は堅調に推移している．しかし，養成機関の増加により短期的に顕著な供給の増大が見込まれた．将来の安定した需給を実現する上で，医療機関での“ポジティブ・アクション”の推進をはじめ，適切な需要側（医療機関）と供給側（教育機関）の雇用状況について，継続的な調査が必要である．

1．背景と目的

近年，医療の高度化・複雑化に対応することや国民からのニーズの変化を背景として，多様な医療スタッフが互いに連携・補完し合い，それぞれの専門性を最大限に発揮する「チーム医療」の推進が図られ，診療放射線技師の業務範囲が拡大された[1),2),3),4)]．診療放射線技師養成教育は，現在，およそ70％の機関で四年制大学教育を経て養成されており，近年，診療放射線技師養成校の新規開設も進められ，今後，養成施設に入学し診療放射線技師を目指す学生数は増加すると考えられる．

一方，医療スタッフ不足や医療の地域偏在についても課題となっている．日本医師会委員会では，医師の不足・偏在の是正を図るための方策が策定[5)]されている．看護師については，厚生労働省第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書[6)]において，2025年時点で看護師不足と推計しており，日本看護協会では，病院看護職員の需給動向や労働状況の把握を目的として，当該医療職員の確保に資する看護職員需給状況調査を継続的に実施している[7)]．しかし，診療放射線技師の需給については，これまでにいくつか報告されているが[8),9),10),11)]，初任給や女性活用状況，学歴等に着目した継続的な調査は見られない．

そこでわれわれは，診療放射線技師の需給と処遇について地域状況を含め現状を調査し，需給予測と将来の見通しについて検討することを目的とした．また安定した需給の実現と処遇改善に向けた課題について検討した．

Hiroe Muto[1),2)]，Kanae Matsuura[1),2)]，
Satoshi Nakanishi[1),2)]

1）The Japan Society of Education for Radiological Technologists
2）Dept. of Radiological Technology Faculty of Health Science Suzuka University of Medical Science

2．対象と方法

調査対象は，2015年4月1日から2016年3月31日までに鈴鹿医療科学大学に寄せられた医療機関からの求人707件とした．なお，医療機関以外からの求人も2件寄せられていたが対象から除外した．

調査項目は，①求人受付日 ②施設所在地（都道府県）③施設種別（病院・診療所・その他（健診））④雇用形態（常勤・非常勤・任期付等）⑤採用時の女性活用促進（女性限定または優先）状況 ⑥学歴による応募制限状況 ⑦学歴による初任給区別 ⑧給与体系（月給・年俸制等）⑨基本給金額 ⑩資格手当・特別手当等金額（診療放射線技師免許取得者に与えられる定額手当を計上し，年齢給・寒冷地手当・地域給・家族手当・住居手当・精勤手当・通勤手当・超過勤務手当・夜勤手当・休日手当などは含めない）の10項目とした．

調査結果を分析し①求人状況 ②採用条件（女性活用促進）状況 ③採用条件（学歴） ④雇用形態 ⑤給与体系別給与 ⑥学歴別新卒初任給 ⑦地域別の新卒初任給について分析を行った．次に，厚生労働省発表を基に，2006から2015年度の診療放射線技師国家試験受験者および合格率を調査し，診療放射線技師の需給について検討した．これらの結果より，厚生労働省や総務省，医師や看護師等の職能団体が作成する各種統計調査結果を検討し考察を行った．また調査期間中に，医療機関で勤務する管理職診療放射線技師や女性診療放射線技師を対象とする意見交換や，調査期間後に開催された第32回日本診療放射線技師学術大会（日本放射線技師教育学会学術講演会）において本調査結果を報告し，会場参加者との意見交換を行った．

なお，調査項目のうち初任給や採用条件など，一部項目が明示されていない施設については，それぞれの分析対象から除外した．

統計処理は，IBM SPSS Statics Ver.22を用い，基本記述統計・等分散性分析・Mann-WhitneyU検定・Kruskal-Wallis検定を用いた．

3．結　果

3-1　需要の状況

3-1-1　求人件数

Fig.1に，2015年度月別求人件数を示す．求人は4月に32件寄せられ，以降増加し，7月に113件と求人件数のピークを迎えた．8月より減少し，9月から12月にかけては50～60件台で推移し，1月以降は50件未満であった．図中，明らかな“再募集”“追加募集”での重複求人を除いたグラフを追記（－細い実線）したところ，年度下半期以降，再募集での求人が増えていた．重複を除くと合計求人件数は609件となった．図中，破線として，武藤が調査報告[8]した2011年度と2013年度の月別求人件数を併せて示した．過去の調査では，年度末2カ月を含まないため単純比較は困難であるが，2011年度と比較して，2015年度は合計求人件数が増加しており，4～8月期の求人件数が増加していた．

Fig.2に，寄せられた求人票を都道府県別に分類した結果を示す．本調査では，全47都道府県から得られた求人票を対象とすることができた．東海・近畿地方および首都圏での求人が多かったが，北海道・神奈川県・広島県・福岡県など，人口が多い大都市圏部を含む道県からの件数も多かった．

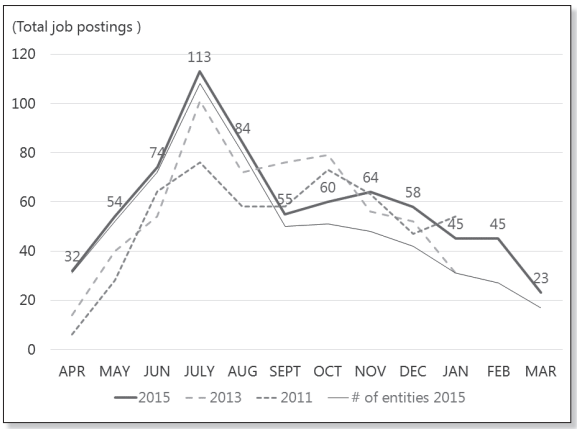


Fig.1　total number of job postings / month

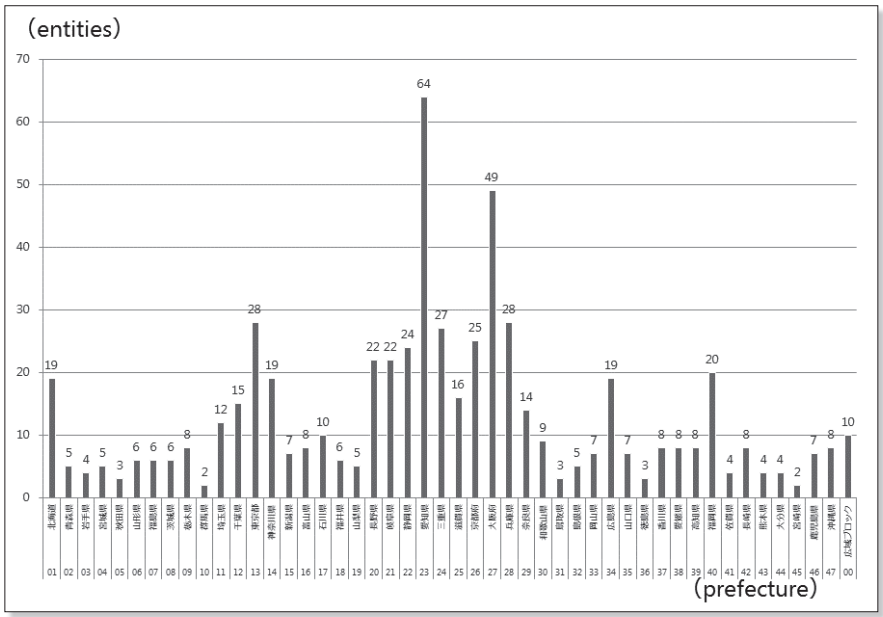


Fig.2　#s of entities of job postings

3-1-2　採用時の女性活用促進実施

求人票に“女性の募集または女性の活用促進”について記されているか否かを調査した．その結果，求人票応募要件に，“マンモグラフィー業務対応のため女性を希望”や“女性を優遇”など，女性活用促進活動上の要件が明示されている施設は36件（5.9%）のみで，特に記載のない施設が573件（94.1%）であった．

3-1-3　学歴による採用条件と給与体系

2016年現在，診療放射線技師養成校45校（自衛隊中央病院診療放射線技師養成所を除く）のうち約70%が大学であるため，新卒診療放射線技師の有する学歴も大卒が多くを占める状況にある．求人票より，学歴による採用条件の有無と給与体系の区別について調査した．採用条件に四年制大学卒業者以上（以下，大卒）としている施設は64件（10.5%）あり，このうち2件（0.3%）では大卒と大学院卒（以下，院卒）とで給与体系において区別明示がなされていた．次に，採用条件での学歴による区別はないが，給与体系に学歴による区別明示がある施設は239件（39.2%）であり，306件（50.2%）は特に区別が明示されていなかった．

施設種別（病院・診療所・その他（健診））で見ると，病院では290件（54.3%）で大卒以上採用希望（60件11.2%）が明示されているほか，基本給での区別（230件43.0%）が明示されていた．一方，診療所や健診施設では採用条件や待遇のいずれにも区別がない施設が多く，診療所で30件（88.2%），健診等で32件（78.0%）であった．

3-1-4　雇用形態（常勤・任期付・非常勤等）

雇用形態については，任期なし正職員が579件（95.7%），任期付職員が20件（3.3%），非常勤職員が10件（1.6%）であり，現在の診療放射線技師の雇用形態は95%以上が任期なしの正職員である．しかし，約5%は任期ありまたは非常勤採用であった．任期付や非常勤職員での求人募集は，施設種別では病院，特に大学病院や県立病院などで見られた．

3-2　供給の状況（診療放射線技師国家試験　受験者数と合格率）

次に，供給状況について調査した．Fig.3に，2006年度以降の診療放射線技師国家試験の受験者数の推移[12]を示す．2006年度は2,821人であったが，翌2007年度から2012年度にかけて受験者は2,400人台であった．近年，診療放射線技師養成機関の新規開設により，2013年度受験者が2,907人と約500人増加し，2015年度受験者では3,000人を超えた．また2016年度および2017年度について，新規開設機関（2013年度開設2校，2014年度開設2校）から定員数分の新卒受験者が発生する場合，毎年100人以上受験者が増加し，2016年度受験者は3,236人，2017年度受験者3,346人となり，10年前より約1.3倍の受験者数となる．

Fig.4に，2006年度以降の診療放射線技師国家試験の合格率を示した．直近10年間の合格率は実施年によってバラツキがあるが，平均75%の合格率で推移している．従って今後も合格率が75%程度で推移する場合，診療放射線技師免許取得者数は受験者数の増加に比例して増加することが推定される．

3-3　処遇の状況

3-3-1　給与体系別給与（基本給・初任給）

調査対象609施設中，求人票に給与が示されていたのは585施設（96.0%）であった．このうち診療放射線技師における給与体系について，月給制採用施設が576件（98.5%），年俸制での採用が3件（0.5%），日給制が6件（1.0%）であった．日給制が採用されてい

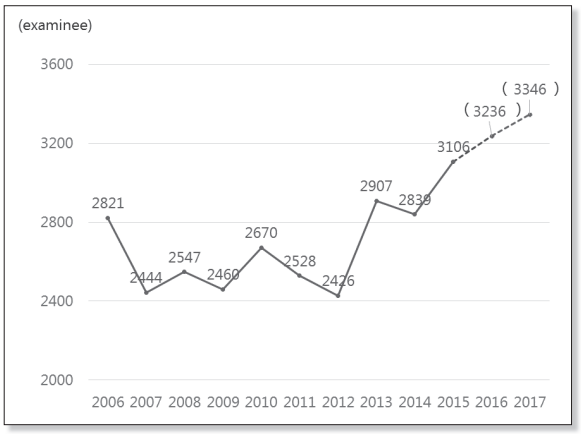


Fig.3　Numbers of examinee

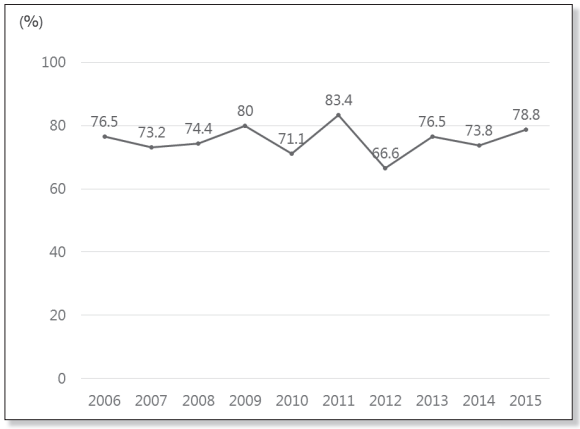


Fig.4　Pass rate for RT national examination

る施設は非常勤職員または任期付常勤職員としての募集であった．以降，月給制採用施設について分析対象とした．

給与体系別基本給（資格手当・特別手当を含まず）の比較をTable 1に示す．学歴によって給与額が異なっている施設の場合，大卒の値を採用した．

月給制採用施設の平均基本給は188,934円，中央値が187,075円，最小値が100,000円，最大値が280,000円であった．日給制採用施設の平均基本給は8,780円，中央値が8,807円，最小値が7,804円，最大値が9,600円であった．年俸制採用施設の平均基本給は3,521,393円，中央値が3,564,180円，最小値が3,400,000円，最大値が3,600,000円であった．月給制基本給について，2013年度調査結果[8]と比較すると平均値で0.05%減，中央値で0.7%減となっているが，統計的有意差は認めなかった．

次に，基本給に特別手当を加算した初任給を調査した結果をTable 2に示す．月給制採用施設の平均初任給は201,602円，中央値が198,330円，最小値が108,300円，最大値が301,600円であった．日給制および年俸制については基本給と同額である．月給制初任給について，2013年度調査結果[8]と比較すると平均値で0.3%減，中央値で0.5%減となっているが，統計的有意差は認めなかった．

3-3-2　卒業学歴別給与（初任給）

初任給について卒業学歴別に比較した結果をTable 3に示す．応募要件に四年制大学卒業者（学士）以上と記されている64施設の平均初任給は204,635円，中央値が204,066円，最小値が175,000円，最大値が245,400円であった．このうち2施設では院卒（修士）の初任給が区別明記されており，その平均値は213,270円であった．次に，応募要件に必要学歴は明記されていないが，卒業学歴に関する初任給の区別がある239施設の大卒（学士）初任給については平均値が195,959円，中央値が194,200円，最小値が108,300円，最大値が268,900円であり，専門卒初任給は平均値が186,503円，中央値が184,500円，最小値が161,400円，最大値が231,300円であった．またこのうち14施設では院卒（修士）の初任給が明記されておりその平均値は208,006円，中央値が204,250円，最小値が191,300円，最大値が232,800円であった．特に応募要件および基本給額について，卒業学歴に関する区別がない施設の平均初任給は205,829円，中央値が202,176円，最小値が140,000円，最大値が301,600円であった．

統計分析について，院卒（修士）については対象件数が少ないため対象から除外した．

本調査より，卒業学歴に関する区別がある施設での専門学校卒初任給は，その他全ての群と比較し低い値となった($P<0.05$)．また卒業学歴に関する区別がある施設の大卒（学士）群は，応募要件に大卒（学士）と記されている施設群や区別なし群の平均値と比較し，低い値となった（$P<0.05$）．卒業学歴について，給与区分で大卒と専門卒で区分がある施設においては基本給で区別がされているため，初任給においても他群と比較して低い値であることが分かる．

3-3-3　都道府県別給与（基本給・初任給）

Fig.5，Table 4に，本調査結果による47都道府県別の新卒診療放射線技師給与を示す．47都道府県の平均に加え，国立病院機構等広域ブロック（地域）採用施設および全国平均値を併せて記した．給与平均値を算出する際，“基本給に四年制大学卒業者を区分している施設”については大卒給与を採用した．年俸制・日給

Table 1　Base salary for new graduates by payroll system 2015 vs 2013

	payroll system	monthly	daily	annual
# of entities		576(539)	6(9)	3(4)
salary	average	¥188,934(¥189,029)	¥8,780(¥9,689)	¥3,521,393(¥3,205,200)
	median	¥187,075(¥188,410)	¥8,807(¥9,456)	¥3,564,180(¥3,134,400)
	S.D.	¥19,251(¥18,430)	¥701(¥1,141)	¥106,644(¥277,139)
	minimum	¥100,000(¥131,400)	¥7,804(¥8,280)	¥3,400,000(¥2,952,000)
	maximum	¥280,000(¥306,400)	¥9,600(¥12,000)	¥3,600,000(¥3,600,000)

w/o qualification allowance

Table 2　Starting salary for new graduates by payroll system 2015 vs 2013

	payroll system	monthly	daily	annual
# of entities		576(539)	6(9)	3(4)
salary	average	¥201,602(¥200,954)	¥8,780(¥9,689)	¥3,521,393(¥3,205,20)
	median	¥198,330(¥197,400)	¥8,807(¥9,456)	¥3,564,180(¥3,134,40)
	S.D.	¥19,987(¥19,000)	¥701(¥1,141)	¥106,644(¥277,139)
	minimum	¥108,300(¥156,000)	¥7,804(¥8,280)	¥3,400,000(¥2,952,00)
	maximum	¥301,600(¥312,500)	¥9,600(¥12,000)	¥3,600,000(¥3,600,00)

w/o qualification allowance

Table 3　Difference of starting salary for new graduates by degree

	Degree required	bachelor	bachelor	non	non	non	non
	Credential	master	bachelor	master	bachelor	diploma	not vary by credential
	# of entities	2	64	14	239	239	273
salary	average	¥213,270	¥204,635	¥208,006	¥195,959	¥186,503	¥205,829
	median	¥213,270	¥204,066	¥204,250	¥194,200	¥184,500	¥202,176
	S.D.	¥20,548	¥15,249	¥14,200	¥14,902	¥13,664	¥23,414
	minimum	¥198,740	¥175,000	¥191,300	¥108,300	¥161,400	¥140,000
	maximum	¥227,800	¥245,400	¥232,800	¥268,900	¥231,300	¥301,600

制を採用している施設については分析対象から除外した．図中，給与は平均基本給および資格手当・特別手当を加算した初任給を積み上げグラフとして示した．

都道府県名は和名で記し，ISO 3166-2:JPで定められている都道府県番号を付した（広域ブロックおよび全国平均は00，JPと定めた）．

また本調査による診療放射線技師初任給と厚生労働省が行った“平成27年「賃金構造基本統計調査（初任給）」”[13]の職種（医療・福祉系（医師・看護師を除く））初任給（大卒）の調査結果（以下，2015厚労省賃金調査（医療・福祉系））をTable 4に併せて示し，Fig.6に示した．賃金構造基本統計調査は，全国の主要産業に雇用される労働者の賃金の実態を，雇用形態や就業形態別などで明らかにすることを目的として，毎年実施されているものである．賃金構造基本統計調査での初任給は，通常の勤務をした新規学卒採用者の所定内給与額（基本給の他に諸手当が含まれているが，超過労働給与額は含まれない）から通勤手当を除いたものとされているため，本調査より諸手当分が加算されている．

本調査結果による診療放射線技師の給与を都道府県別に見ると，新卒基本給は，対象数が5件未満の都道府県を除外し，174,803円から204,200円まで約29,000円の差が見られた．初任給では184,489円から209,520円と，地域による差は約25,000円となった．Table 4において，47都道府県の値について，全国平均を下回っている値は網掛けで記した．診療放射線技師初任給について，全国平均を上回っているのは19都道府県であった．

2015厚労省賃金調査（医療・福祉系）は平均199,000円であり，160,000円から220,100円と最大で60,100円の差が生じていた[12]．2015厚労省賃金調

Table 4　Summary of beginning salary difference by area

ISO JP code	Prefecture “Japanese”	Average of RT's basic saraly	Average of RT's starting saraly	Average of Medical and Welfare(bachelor)
01	北海道	¥192,577	¥198,803	¥220,100
02	青森県	¥189,300	¥195,967	¥164,800
03	岩手県	¥180,050	¥180,050	¥158,600
04	宮城県	¥186,320	¥197,220	¥211,500
05	秋田県	¥188,050	¥189,700	¥162,600
06	山形県	¥204,720	¥209,520	¥190,500
07	福島県	¥190,370	¥222,160	¥184,600
08	茨城県	¥192,667	¥216,300	¥207,700
09	栃木県	¥191,263	¥196,263	¥181,900
10	群馬県	¥178,850	¥193,850	¥198,700
11	埼玉県	¥199,838	¥205,622	¥195,000
12	千葉県	¥192,295	¥199,656	¥207,900
13	東京都	¥196,596	¥210,898	¥205,400
14	神奈川県	¥201,996	¥210,014	¥208,200
15	新潟県	¥180,384	¥187,051	¥166,900
16	富山県	¥174,803	¥184,489	¥168,000
17	石川県	¥181,975	¥189,475	¥192,800
18	福井県	¥179,817	¥183,483	¥195,200
19	山梨県	¥196,465	¥217,265	¥165,100
20	長野県	¥188,736	¥191,780	¥169,500
21	岐阜県	¥179,098	¥190,383	¥194,300
22	静岡県	¥187,403	¥202,555	¥204,100
23	愛知県	¥194,257	¥210,355	¥207,000
24	三重県	¥189,653	¥203,327	¥196,200
25	滋賀県	¥187,574	¥198,574	¥192,200
26	京都府	¥185,577	¥196,472	¥188,100
27	大阪府	¥191,536	¥202,902	¥200,100
28	兵庫県	¥190,780	¥207,196	¥195,200
29	奈良県	¥191,057	¥201,429	¥191,000
30	和歌山県	¥188,400	¥195,543	¥214,200
31	鳥取県	¥183,900	¥183,900	¥170,000
32	島根県	¥184,501	¥191,201	¥185,800
33	岡山県	¥182,043	¥198,471	¥194,600
34	広島県	¥187,089	¥206,647	¥202,600
35	山口県	¥189,400	¥198,417	¥177,700
36	徳島県	¥186,333	¥234,667	¥171,100
37	香川県	¥198,342	¥202,467	¥181,600
38	愛媛県	¥178,813	¥191,863	¥172,400
39	高知県	¥179,406	¥195,656	¥215,800
40	福岡県	¥182,859	¥206,042	¥174,200
41	佐賀県	¥176,333	¥199,667	¥184,000
42	長崎県	¥183,202	¥203,702	¥207,900
43	熊本県	¥163,650	¥163,650	¥218,500
44	大分県	¥185,533	¥218,533	¥171,700
45	宮崎県	¥166,200	¥196,200	¥160,000
46	鹿児島県	¥186,308	¥193,058	¥187,500
47	沖縄県	¥178,700	¥201,900	¥184,300
00	広域ブロック	¥180,260	¥188,060	–
JP	全国平均	¥189,267	¥201,602	¥199,000

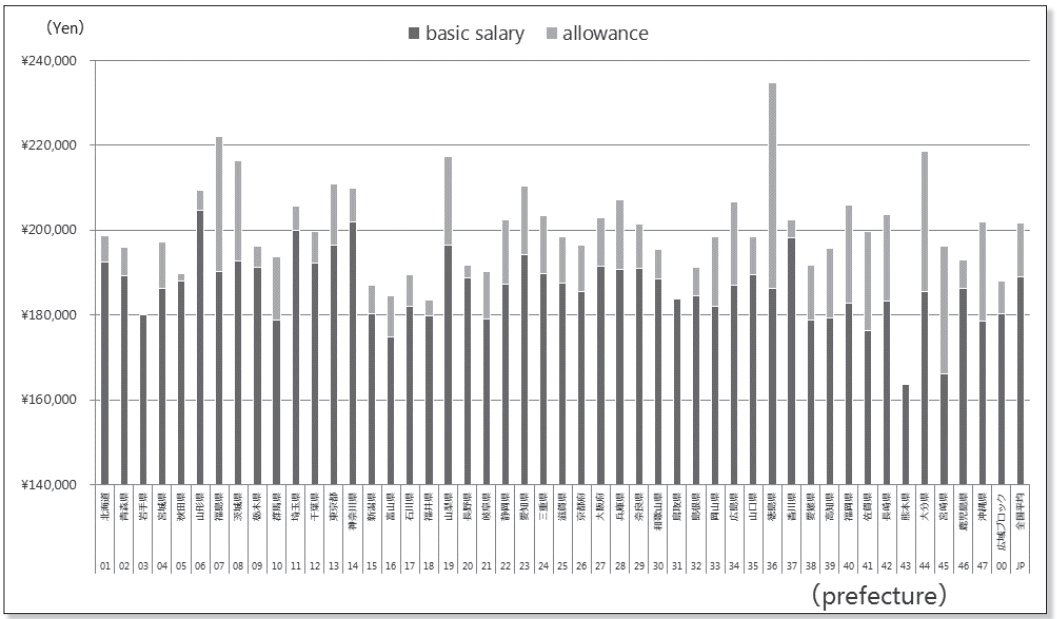


Fig.5　Summary of beginning salary difference by area

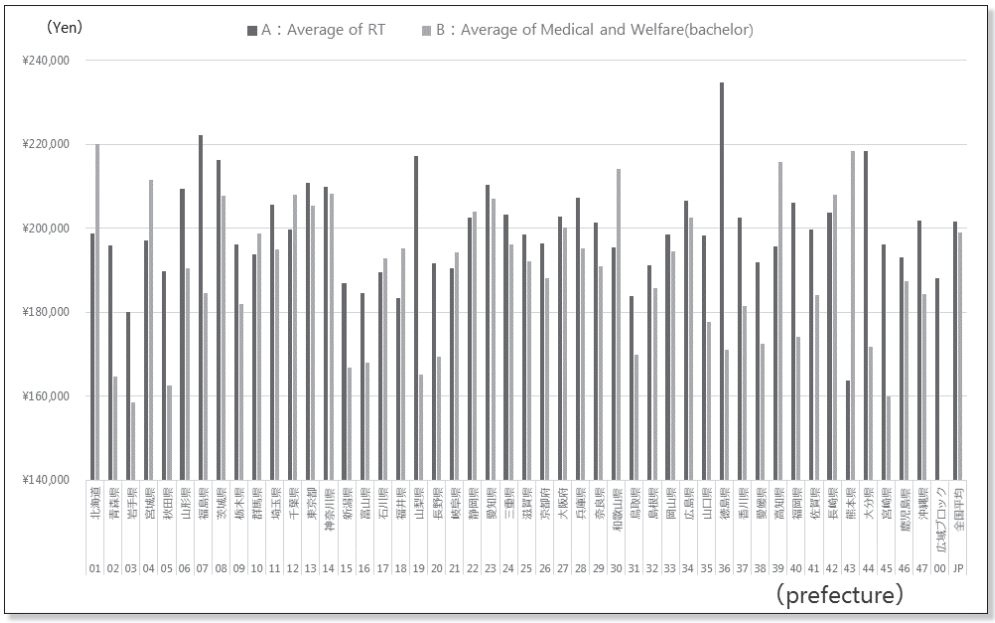


Fig.6　Summary of beginning salary difference by area

査（医療・福祉系）初任給について，全国平均を上回っているのは14都道府県のみであった．

各都道府県での診療放射線技師初任給と2015厚労省賃金調査（医療・福祉系）初任給とを比較したところ，診療放射線技師初任給が当該県での2015厚労省賃金調査（医療・福祉系）初任給を上回っていたのは35都道府県に及んだ．

4. 考　察

厚生労働省「人口動態調査」[14]によると，年齢80歳以上の人口は2010年の820万人から2030年には1,310万人と，490万人（＋60%）増えるとされている．また内閣府平成28年版高齢社会白書[15]では，2013年における65歳以上の高齢者の有訴者率（人口1,000人当たりの「ここ数日，病気やけが等で自覚症状のある者（入院者を除く）」の数）は466.1と，半数近くの人が何らかの自覚症状を訴えており，日常生活に影響のある者の数は258.2と，有訴者率と比べるとおよそ半分になっている．総人口が減少する中で高齢化率は上昇し，高齢者人口は2015年には3,392万人になり，その後，2042年に3,878万人でピークを迎えるとされている．すなわち今後20年の人口で見た場合，傷病となりやすい80歳以上の高齢者を支える看護師をはじめとする医療従事者の需要は高まることが見込まれる．

求人件数について，今回の調査結果と2011年度とを比較する．2011年度は年度末2カ月を調査対象外としたため，同じ期間で比較すると2015年度の求人件数（637件）は2011年度（527件）と比べ20.8%増加しており，かつ年度当初からの求人が寄せられ，雇用形態も95%は任期なしの正職員での採用であったため，現時点における診療放射線技師の需要は堅調であることが分かる．一方，5%の施設で任期付または非常勤職員での雇用形態での求人であった．このような雇用形態について，診療放射線技師の需要はあるものの，病院経営状況の影響によるものか，処遇方針の変更か，今後の詳細かつ継続的な調査が必要と考える．また学歴による採用条件および処遇について調査した結果，大卒（学士）以上の学歴を考慮した採用条件を導入している施設が10%，学歴別給与体系を導入している施設は40%存在した．また中には，給与体系において院卒（修士）初任給の設定をしている施設も3%見られた．今後，より高位の学位を有した新卒診療放射線技師の需要も増えることが考えられる．

女性診療放射線技師の需要について，求人票応募要件項目に女性活用促進について記述している施設は全体の6%にとどまっていた．これは，過去にわれわれが報告した値[8]とほぼ同じであった．厚生労働省では，職場に女性がほとんどいない，または管理職の大半を男性が占めているなどの差が男女労働者の間に生じている場合，実質的な男女均等取り扱いを実現するために必要な積極的な取り組みとして“ポジティブ・アクション”を推進している．この具体的な取り組みとして，求人票への先輩女性技師からのメッセージや女性技師募集の取り組みなどが挙げられている．これは，社内制度において男女差別的取り扱いはないにもかか

わらず“女性の職域が広がらない”“なかなか女性の管理職が増えない”“そのために女性の能力が十分に生かされていない”といった場合に，その課題を解決し，実質的な男女均等取り扱いを実現するために必要となるものとされており，男女雇用機会均等法には違反しない旨が明記されている[8),16)]．調査期間中，われわれは求人募集を行っている医療機関の担当者と意見交換を行う機会があったが，その際，“ポジティブ・アクションについて知らず，女性募集と明記してはならないと考えていた”との意見を聞くことが複数あった．また第32回日本診療放射線技師学術大会（日本放射線技師教育学会学術講演会）において本調査結果を報告し，会場参加者との意見交換を行った際にも，同様に“ポジティブ・アクションについて知らなかった”との意見を得た．これらは口頭での自由意見ではあるものの，現場レベルでは“ポジティブ・アクション”について周知が至っていない現状にあるのではないかと推測された．現時点では診療放射線技師の需要は高く，特に女性診療放射線技師不足の施設においては，採用時点での“ポジティブ・アクション”を推進することが望まれる．これにより，正確な需要を把握できるだけでなく，受験生側と採用側とのミスマッチも防ぐことができると考える．

また需給に関する調査として，診療放射線技師の処遇状況について初任給より分析した．公益社団法人日本診療放射線技師会においても給与実態調査が行われ，数値の年次推移が追跡でき，診療放射線技師を巡る需要と供給のバランスやその背景を成すわが国の医療経済の動向などを知り得る貴重なデータとなっている[8),17)]が，今回は，特に卒業学歴や女性の活用についての項目なども検討項目に加え，診療放射線技師の需給調査と処遇改善に向けた課題について検討した．

新卒診療放射線技師初任給について，採用条件が大卒である施設の平均値は204,635円，給与区分がある施設の大卒平均値は195,959円，同専門卒は186,503円，特に区分なしの施設は205,829円であった．2015厚労省賃金調査（医療・福祉系）の初任給は199,000円であり，現時点では診療放射線技師初任給が高い値となり，診療放射線技師の処遇は比較的良好と考えられた．

しかし，2015厚労省賃金調査（医療･福祉系）初任給は，2013年度と比較し2015年度は大卒（男女計）は3.2%増，短大･専門卒は2.7%増である一方，診療放射線技師初任給は，初任給（学歴計）が2013年度比0.3%増，給与・採用学歴区分なしの施設初任給は0.9%増，採用条件（大卒）施設の初任給は4.8%減であった．新卒診療放射線技師全体として，他の医療職種初任給が増加しているのと比較するとほぼ変化が見られない状況といえる．他職種の現状として，公益社団法人日本看護協会による“病院における看護職員需給状況調査”においても，本調査と同様に，看護師の新卒給与はここ5年間の変化が見られず，診療報酬改定などによる増収分が看護職員の給与に反映されていないことが考えられる[7)]と報告されており，今後も給与を含めた処遇方針の変化について注視する必要性について述べられている．

地域別の診療放射線技師需要状況を初任給の観点から検討した結果，地域により初任給に約25,000円程度の差が生じていたが，各都道府県での診療放射線技師初任給と2015厚労省賃金調査初任給（大卒）とを比較したところ，診療放射線技師初任給が当該県での2015厚労省賃金調査（医療･福祉系）初任給を上回っていたのが35都道府県に及んだ．従って特に地方府県においては，現時点および短期的には需要・処遇とも堅調であるといえる．

一方，供給について考えると，5年ほど前までは診療放射線技師国家試験受験者数が約2,500人程度で推移していたが，近年，受験者数の増加が顕著となっている．国家試験合格率は約75%程度で推移しているが，国家試験合格率を同程度と仮定すると，新規免許取得者数は2007から2012年度まで約1,800人程度であったのに対し，2017年度には2,500人を超えることが予想される．すなわち短期的には供給数は増加し，長期的には少子化による養成数の減少が想定される．

医療を巡る環境が厳しくなる中，診療放射線技師の将来需要について，児玉らは今後減少していくと予想している[9)]．また澁谷らは，診療放射線技師の初任給は看護師の初任給と比較して低く，また初任給に学歴差を設けている施設が50%に満たず，現状を早急に改善しなければ，医療現場に有能な人材が供給されなくなる可能性があると報告している[10),11)]．今回の調査結果では，およそ10%の施設で新規採用に関して大卒（学士）以上の学歴要件が設けられ，40%の施設で初任給に学歴差が設けられていた．中には院卒（修士）について初任給の区分がなされている施設も3%程度存在したが，大卒者への処遇対応はいまだ不十分であり，改善が必要である．

安定的な需給を図る上で，女性診療放射線技師の増加に伴い，“ポジティブ･アクション”の推進が必要不可欠であると考える．採用時のミスマッチ防止のための取り組みのみならず，子育てや介護を行いながら就

業を続けるために短時間勤務正職員制度の導入や，労働時間管理に向けた取り組み，多様な働き方に対応した対策を講じることで，診療放射線技師の安定した需給の実現につながる．同時に，安心・安全で質の高い医療の提供につながると考える．今後の需給の安定化に向け，需要側（医療機関）と供給側（養成機関）とが連携し，雇用状況について適切に情報提供や共有を勧めていくことも必要である．加えて，今後，わが国が人口減少の局面を迎える中で，国や地方公共団体，病院や診療所・健康管理センターの開設者等と広く力を合わせて診療放射線技師職員の確保に向けた対策を推進することが必要である．

長期的な推計において，将来需要および供給については，その時々の政府政策や景気などの社会情勢により流動的に変化するものであると考える．今後，医療提供体制に大きな変革が行われた場合，新たな需給見通しについて検討する必要がある．本研究結果は，今後の診療放射線技師職員確保を検討する上での参考資料となり得る．

今後の課題として，より的確な需給の見通しを策定していくためには，将来的には，実際に生じた診療放射線技師職員の需要数についても把握できるような方法を検討することが必要と考える．例えば全国の診療放射線技師長を対象とした常勤・新卒職員の離職率，新卒初任給（各種手当を含む），勤続10年職員の給与，定年制・定年延長制度，継続雇用制度の導入状況などの調査の実施である．公益社団法人日本診療放射線技師会を中心として，日本放射線技師教育学会の協力などにより，今後も継続的な需給状況調査を実施することを提案する．

なお，本研究は平成27年度公益社団法人日本診療放射線技師会より，日本放射線技師教育学会に対し委託研究費の援助を受けた．委託研究「診療放射線技師の現状および将来需要に関する調査研究」の研究成果として報告する．

5. 結　論

今回，診療放射線技師の需要状況について現状を把握し，地域別の状況についても調査･分析を行った．現時点において，診療放射線技師の需要および処遇は堅調に推移していると考えられるが，女性診療放射線技師の需要は高いものの充足には至っていない状況が示唆された．供給については，短期的に増加することが推計された．将来の安定した需給を実現する上で，求人面での“ポジティブ･アクション”の推進をはじめ，診療放射線技師の定着支援や再就業支援の推進が必要である．また今後，給与を含めた診療放射線技師の需給状況・処遇について，継続的な調査が必要である．

表の説明

Table 1　2015年度と2013年度の給与体系別基本給の比較
Table 2　2015年度と2013年度の給与体系別初任給（資格手当てを含む）の比較
Table 3　卒業学歴別初任給の比較
Table 4　都道府県別の診療放射線技師初任給と厚生労働省賃金構造基本統計調査（医療・福祉系）大卒初任給の比較

図の説明

Fig.1　月別求人件数の比較
Fig.2　都道府県別求人件数
Fig.3　診療放射線技師国家試験受験者数推移
Fig.4　診療放射線技師国家試験合格率推移
Fig.5　都道府県別初任給（資格手当てを含む）比較
Fig.6　都道府県別の診療放射線技師初任給と厚生労働省賃金構造基本統計調査（医療・福祉系）大卒初任給の比較

参考文献

1）厚生労働省医政局長通知：医療スタッフの協働・連携によるチーム医療の推進について．2011.
2）チーム医療推進会議：チーム医療推進会議議事録．2013.
3）日本診療放射線技師会：チーム医療推進のための診療放射線技師業務検討委員会報告書．2013.
4）厚生労働省：診療放射線技師法．2014.
5）日本医師会勤務医委員会：医師の不足，偏在の是正を図るための方策－勤務医の労働環境（過重労働）を改善するためにー．2010.
6）厚生労働省：第七次看護職員需給見通しに関する検討会報告書．2010.
7）公益社団法人日本看護協会：2014年病院における看護職員需給状況調査．2015.
8）武藤裕衣，他：診療放射線技師求人初任給からみた賃金基本統計調査－現状と将来需要に関する研究－．日本放射線技師教育学会，vol.6. No.1，21-23，2014.
9）児玉直樹，他：診療放射線技師の将来需要に関する研究．日本放射線技師教育学会，vol.1. No.1，13-18，2009.
10）澁谷光一，他：診療放射線技師の初任給について．日放技誌，vol.55，No.673，50-53，2008.
11）澁谷光一，他：診療放射線技師の初任給の減少がもたらす影響．日放技誌，vol.57，No.696，51-56，2010.
12）厚生労働省：診療放射線技師国家試験の合格発表（http://www.mhlw.go.jp/）.
13）厚生労働省：平成27年「賃金構造基本統計調査（初任給）」．2015.
14）厚生労働省：平成27年（2015）人口動態調査．2016.
15）内閣府：平成28年版高齢社会白書．2016.
16）女性の活躍推進協議会：「ポジティブ・アクション宣言」．2013.
17）（公社）日本診療放射線技師会調査担当：平成26年度給与実態調査の結果報告．vol.62，No.758，85-95，2015.

（資料19）

北海道

その先の、道へ。北海道
Hokkaido. Expanding Horizons.

北海道医療計画

（平成30年度～平成35年度）

平成30年3月

北　海　道

第６章　医師など医療従事者の確保

第１節　趣　旨

（総　論）

○　本道においては、人口減少や少子高齢化の進行に伴い、労働力人口が年々減少する中で、病院従事者数は増加傾向にあるものの、養成施設等における入学者の確保が厳しい状況にあるなど、労働力の確保が今後より一層厳しくなることが見込まれることから、中長期的な視点で医療人材を継続的に確保していくための対策を講じる必要があります。

○　また、病床機能の分化・連携や在宅医療の充実など、地域医療構想を推進する上で、医療従事者の確保・養成による地域偏在の解消に向けた取組を進める必要があります。

（将来の医療を担う人材の確保）

道内の15歳未満人口は、平成27年（2015年）に約61万人であったものが、平成37年（2025年）には約47万人、平成52年（2040年）には約35万人まで減少すると推計されています。

今後も高齢化が進行する中で、医療人材を安定的に確保していくため、小中学生の段階から医療にふれあう機会を設けることや「地域枠制度」の安定的な運営など、本道の将来の地域医療を担う人材の確保に取り組みます。

（医療機関における勤務環境改善）

医師や看護師を始めとした医療従事者の確保を図るためには、「働きやすい職場づくり」や「働きがいのある職場づくり」に向けて、医療機関が主体的に勤務環境改善に取り組む必要があります。特に、女性医師が増加していることや看護師の約94％が女性であること、男性の育児参加の割合が増加していること等の状況を踏まえ、出産、育児、介護等のライフサイクルに応じた働き方を可能とすることが重要です。

このため、医療機関からの勤務環境改善に関する相談等に対応するとともに、多様な勤務形態の導入や院内保育所の運営に対する支援などに取り組みます。

（道外からの移住促進や潜在有資格者の掘り起こし等）

北海道新幹線の開通による効果や労働力調査において女性就業者数が増加していることなどを踏まえ、道外医師等の確保や潜在有資格者の掘り起こしに取り組む必要があります。

このため、北海道での勤務を考えている道外在住の医師等の移住促進やドクターバンク事業、ナースバンク事業及び薬剤師バンク事業などによる潜在有資格者の掘り起こし等に取り組みます。

第２節　医　師

現　状

（医師数の推移）

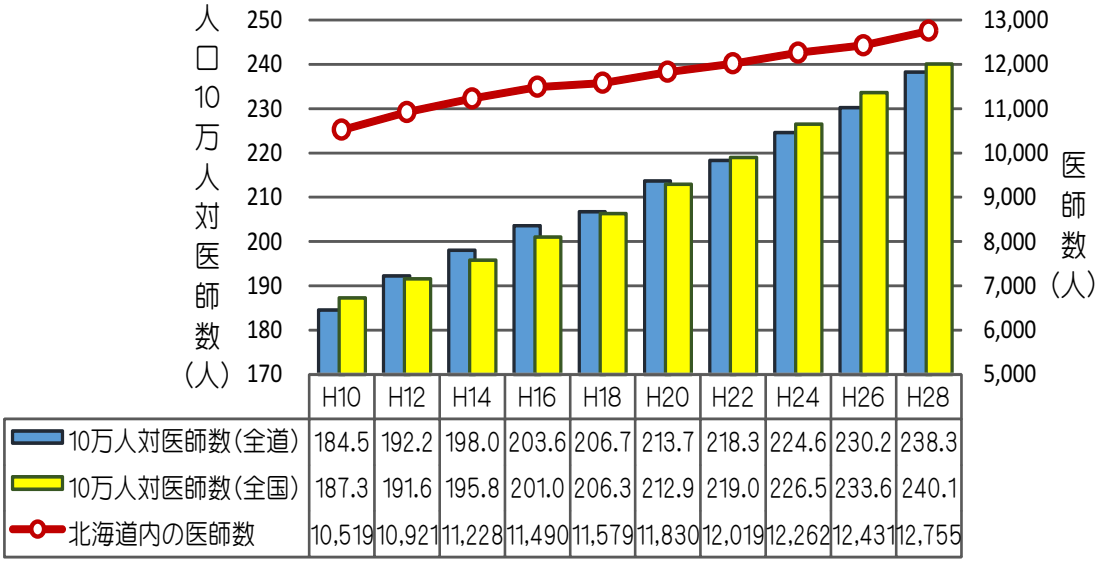
○　道内の医療施設従事医師数は年々増加しており、平成12年の調査で初めて全国平均を上回りましたが、平成22年から再び全国平均を下回り、平成28年12月末現在では１万2,755人となっています。

○　平成28年12月末現在、道内の人口10万人当たりの医療施設従事医師数は238.3人となっており、全国平均の240.1人に近い数値となっています。

○　道内医師の平均年齢は年々上昇しており、平成20年には全国平均を上回り、平成26年には50歳を超えています。

○　道内の女性医師は年々増加し、平成28年には女性医師の割合が15.2%に達しています。現在、医育大学入学者の概ね３割が女性であり、今後も増加が見込まれています。

【医療施設従事医師数の推移（平成10年～平成28年）】



	H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28
10万人対医師数(全道)	184.5	192.2	198.0	203.6	206.7	213.7	218.3	224.6	230.2	238.3
10万人対医師数(全国)	187.3	191.6	195.8	201.0	206.3	212.9	219.0	226.5	233.6	240.1
北海道内の医師数	10,519	10,921	11,228	11,490	11,579	11,830	12,019	12,262	12,431	12,755

【医師の平均年齢の推移（平成10年～平成28年）】

	H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28
全　道	46.8歳	47.3歳	47.6歳	47.8歳	48.1歳	48.6歳	49.2歳	49.8歳	50.2歳	50.6歳
全　国	47.2歳	47.5歳	47.6歳	47.8歳	48.1歳	48.3歳	48.6歳	48.9歳	49.3歳	49.6歳

【女性医師の割合（平成10年～平成28年）】

区　分		H10	H12	H14	H16	H18	H20	H22	H24	H26	H28
全道	人数	1,079人	1,146人	1,280人	1,377人	1,441人	1,533人	1,633人	1,720人	1,803人	1,934人
	割合	10.3%	10.5%	11.4%	12.0%	12.4%	13.0%	13.6%	14.0%	14.5%	15.2%
全国	割合	13.9%	14.3%	15.6%	16.4%	17.2%	18.1%	18.9%	19.6%	20.4%	21.1%

【道内三医育大学入学者の女性の割合（平成20年～平成29年）】

	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
女性の割合	24.1%	22.3%	24.1%	28.8%	27.8%	30.7%	27.8%	31.9%	31.6%	30.7%

（医師養成数の推移）

道内医育大学の入学定員は、平成元年度から19年度まで300人で推移していました。国の「緊急医師確保対策」等により医育大学の定員が増員され、平成22年度には344人となり、平成30年度からは339人となります。

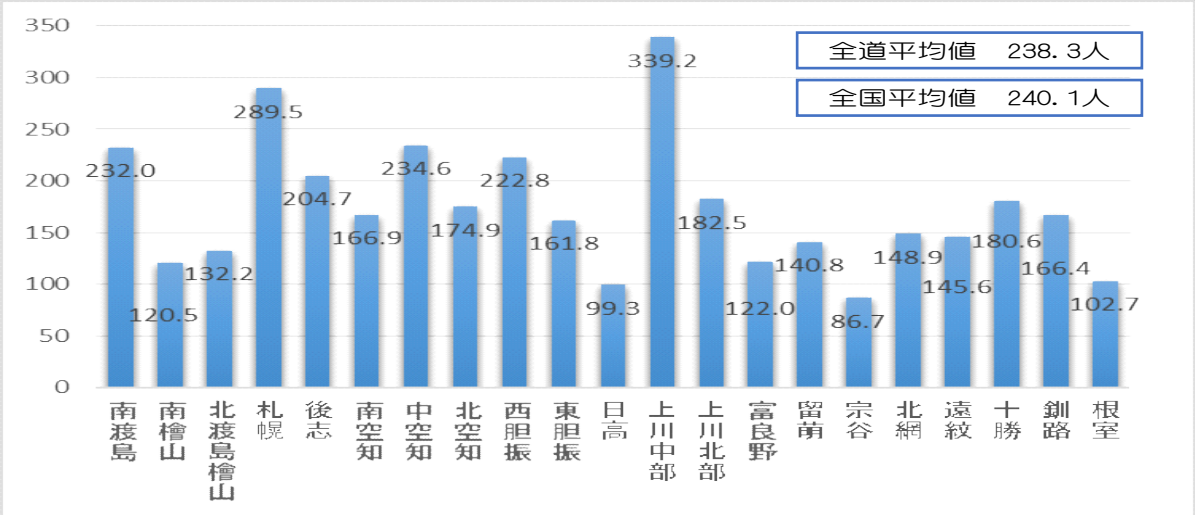
【医育大学の入学定員の推移】

	H1～H19	H20	H21	H22～H29	H30～
定員	300人	305人	327人	344人	339人

（医師の地域偏在）

平成28年の人口10万人当たり医療施設従事医師数を見ると、全国平均を上回っている第二次医療圏は、上川中部及び札幌の２圏域のみであり、他の医療圏では全国平均を下回っています。

【人口10万対医療施設従事医師数（第二次医療圏別）】　（平成28年12月末）

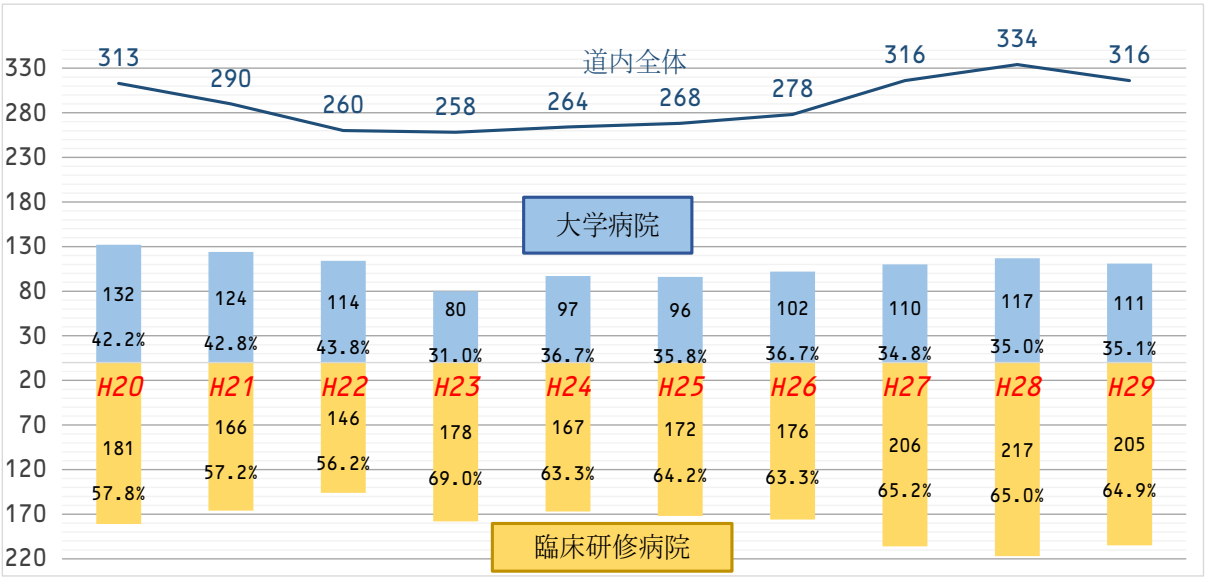


（臨床研修医の研修動向の変化）

○　道内で初期臨床研修を行う医師数は、平成24年度以降増加傾向にあり、医育大学の定員増や大学独自の地域枠の効果などにより、27年度には研修医が７年ぶりに300人を超える人数となっています。

○　平成23年度以降、大学病院以外の臨床研修病院における臨床研修医の採用割合は60％を超えており、半数以上の臨床研修医が大学病院以外で初期臨床研修を行っています。

【道内の臨床研修病院・大学病院における卒後臨床研修医の採用状況】

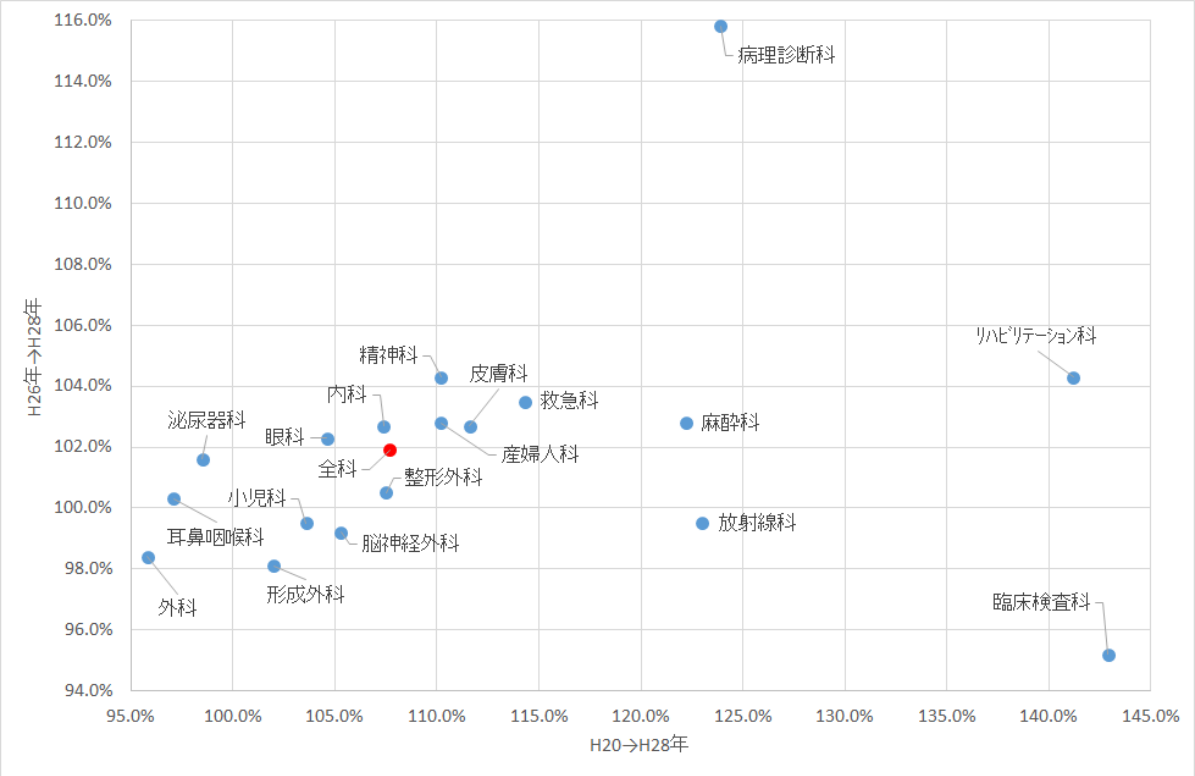


（主な診療科に従事する医師の状況）

道内の医師数は年々増加しており、内科や整形外科など多くの診療科で医師数が増加している一方、外科は長期的（H20とH28の比較）、短期的（H26とH28の比較）ともに医師数が減少しているなど、診療科により差が生じています。

【主な診療科別医師数の推移】

区　　分	内科	小児科	皮膚科	精神科	外科	整形外科	産婦人科	眼科	耳鼻咽喉科
長期（H20-H28）	107.4%	103.6%	111.6%	110.2%	95.8%	107.5%	110.2%	104.6%	97.1%
短期（H26-H28）	102.7%	99.5%	102.7%	104.3%	98.4%	100.5%	102.8%	102.3%	100.3%
区　　分	泌尿器科	脳神経外科	放射線科	麻酔科	病理診断科	臨床検査科	救急科	形成外科	ﾘﾊﾋﾞﾘﾃｰｼｮﾝ科
長期（H20-H28）	98.5%	105.3%	123.0%	122.2%	123.9%	142.9%	114.3%	102.0%	141.2%
短期（H26-H28）	101.6%	99.2%	99.5%	102.8%	115.8%	95.2%	103.5%	98.1%	104.3%



課　題

○　医師確保が困難な地域への医師の派遣調整を始め、地域医療を担う医師の養成など、総合的な医師確保対策について、医育大学・北海道医師会等の関係団体や市町村が一体となって取り組むことが必要となっています。

○　地域の自治体病院等の医師不足が深刻化しており、地域医療を確保するため、「道全体の医師数の確保」、「地域・診療科間のバランスの取れた医師確保」、「医師不足が顕著な地域・領域への対応」、「総合診療医の養成・活用」に向けた取組を効果的に進めていくことが必要です。

施策の方向と主な施策

（医師確保対策に係る体制の確保）

○　医育大学、北海道医師会等の関係団体や市町村により構成する「北海道医療対策協議会」において、地域医療を担う医師の確保、養成に関する在り方を協議・検討していきます。

○　医療法第30条の25に基づき設置した「北海道地域医師連携支援センター」において、医師の地域偏在解消のために必要な対策を推進します。

（道全体の医師数確保対策の推進）

○　国の「緊急医師確保対策」等により暫定的（平成31年度まで）に増員されている医育大学の入学定員が引き続き維持されるよう、関係機関とも連携の上、国に対する働きかけを行います。

○　北海道の地域医療に関心のある道内外の医学生を対象に、臨床研修病院合同説明会を開催するとともに、魅力ある臨床研修病院づくりに向けて、指導医を対象とする講習会を開催し臨床研修医の確保に努めます。

○　ＳＮＳの活用など、若手医師へのアプローチを強化し、臨床研修医や専攻医確保に取り組みます。

○　北海道での初期臨床研修を考えている道外医学生を対象として、地域の医療機関への体験実習や臨床研修病院合同説明会への参加の取組を進め、道外からの臨床研修医確保に取り組みます。

○　北海道での勤務を考えている道外在住の医師を対象として、地域医療の現場視察や体験勤務などの取組を行うなど、道外からの医師招へいを進めます。

○　青少年（中学生等）を対象とした医療体験学習会等を開催するとともに、教育庁とも連携し、医学部への進学を目指す高校生に対する働きかけを行うなど、将来、本道の医療を担う人材の育成を推進します。

○　北海道医療勤務環境改善支援センターが医療機関の勤務環境を確認し、勤務環境の改善につながる助言を行うなど、医療機関の勤務環境改善に取り組みます。

○　女性医師が安心して勤務できるよう、病児病後児保育等の子育て支援や短時間正規雇用制度の導入の促進のほか、育児等により離職している医師の再就業のため、医育大学や北海道医師会が行う復職相談や復職研修に対する支援を行います。

（地域・診療科間のバランスの取れた医師確保対策の推進）

○　地域枠学生や地域枠医師に対し、地域勤務に対する不安解消のための相談支援等に取り組むほか、地域医療に貢献できるよう、地域枠医師のキャリア形成に十分配慮しながら、地域枠制度の安定的な運営に努めます。

○　自治医科大学卒業医師や地域枠医師が義務年限終了後も引き続き地域医療に貢献できるよう、キャリアサポートに努めます。

○　医師確保が困難な自治体病院等に対し、一定期間、北海道大学地域医療支援センター、旭川医科大学地域医療支援センター及び札幌医科大学地域医療支援センターからの医師派遣のほか、自治医科大学卒業医師や地域枠医師を配置します。

○　地域の医療機関における医師不足の深刻な状況を踏まえ、医師確保が困難な医療機関に対し、都市部の医療機関から緊急臨時的な医師派遣を行う体制の整備を図ります。

○　北海道地域医療振興財団が行う地域の医療機関への常勤医師の紹介や休暇時等の短期診療医師の紹介の取組を促進します。

○　地方・地域センター病院等、地域の中核的医療機関の機能強化を図るとともに、地域の医療機関に対する代替医師及び診療協力のための医師派遣を促進します。

○　地域医療に対する理解と意欲を高めるため、医学生等を対象に医育大学が行う地域医療実習を促進します。
○　専門研修プログラムの認定に向け、地域医療確保の観点から「北海道専門医制度連絡協議会」において、専門研修プログラムを確認し、医師の地域偏在が拡大しないよう取り組みます。
○　医育大学からの地域の医療機関への指導医派遣等により、地域における研修体制を整備します。

（医師不足が顕著な地域・領域への対策の推進）
○　人口10万人当たり医師数が全道平均の1/2以下であるなど、著しい医師不足地域への医師確保対策を推進します。
○　地域の分娩体制維持のため、周産期医療志望者の確保対策を推進します。
○　医師数が減少している周産期などの領域の現状を把握・分析し、医育大学等とも連携した取組を推進します。

（総合診療医の養成・活用対策の推進）
○　医育大学等における総合診療教育を促進します。
○　広域分散型の本道においては、幅広い診療に対応できる総合診療医は重要な役割を担うことから、医育大学、北海道医師会等の関係団体や学会などとの連携の下、総合診療医の確保・活用に取り組みます。
○　診療所での外来診療や在宅医療の提供のほか、地域の中核的医療機関での複数の健康問題を抱える患者に対する対応などについて、総合診療医と他の専門診療科や多職種との連携促進に努めます。

（医師確保に向けた国への働きかけ）
　医師の養成・確保を巡る課題解決のためには、国の制度設計や運用による対応が重要なことから、地域偏在や診療科偏在の解消に向けた制度の改善、財政支援措置の拡充等を国へ働きかけます。

第３節　歯科医師及び歯科衛生士

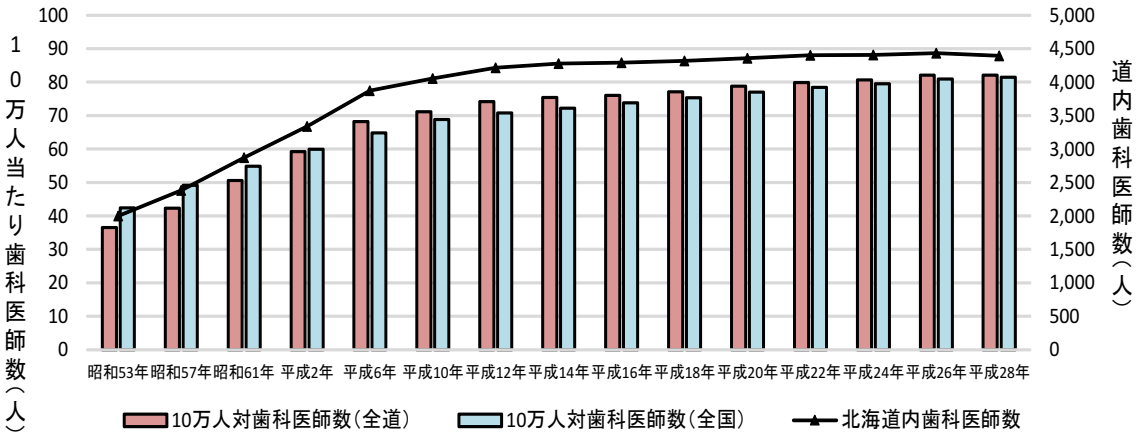
現　状

○　道内では、平成29年４月現在、北海道大学歯学部（定員53人）及び北海道医療大学歯学部（定員80人）の２大学において歯科医師の養成が行われています。道内で就業している歯科医師数は、平成28年末現在で4,394人、人口10万対では82.1人で全国平均81.5人をやや上回っています。そのうち、病院（医育機関附属の病院を除く）で就業している歯科医師は170人となっています。＊1

○　平成18年度から、診療に従事しようとする全ての歯科医師に対して、歯科医師免許を受けた後１年間以上の臨床研修が必修化されています。

○　歯科衛生士については、道内では、平成29年４月現在、12校の歯科衛生士養成施設（定員合計574人）において養成が行われています。道内で就業している歯科衛生士数は、平成28年末現在で5,837人、人口10万対では109.6人と全国平均97.6人を上回っていますが、第二次医療圏ごとに見た場合、半数以上の圏域で全国平均を下回るなど、地域偏在が生じています。＊2

【歯科医師数の推移】



＊1　厚生労働省「医師・歯科医師・薬剤師調査」（平成28年）

＊2　厚生労働省「歯科衛生士法第６条に基づく業務従事者届出数」（平成28年）

課　題

（歯科医師の就業状況）

むし歯・歯周病の予防や要介護高齢者、障がい者等の歯科医療に対応する、かかりつけ歯科医の育成が必要となっています。

また、口腔ケアが誤嚥性肺炎の発症予防になること、歯周病患者に糖尿病の発症リスクが高いことなど、口腔の健康が全身の健康に影響を及ぼすことについて広く指摘されていることから、医科歯科連携を更に推進するためには、かかりつけ歯科医や病院歯科の果たす役割が重要となっています。

（歯科医師臨床研修）

医療安全、全身管理、高齢者及び障がい者への対応等、歯科医療の高度化に伴い、質の高い歯科医師臨床研修の実施が求められています。

（歯科衛生士の就業状況）

むし歯・歯周病の予防や地域の要介護高齢者、障がい者等の歯科医療及び保健指導に対応できる歯科衛生士が必要となっているほか、地域偏在の解消が重要です。

施策の方向と主な施策

道民に対するより安全で安心な歯科保健医療サービスの確保を図るために、歯科医師や歯科衛生士の養成・確保及び資質向上を図るとともに、離島やへき地等における歯科医療従事者の確保に努めます。

（地域医療を担う歯科医師の確保）

歯科医師の確保が特に困難な離島やへき地に対する歯科医師の派遣を行うとともに、北海道地域医療振興財団による歯科医師の確保を促進します。

（歯科医師の資質向上）

医科歯科連携の重要性の高まりやかかりつけ歯科医の役割拡大に対応できる歯科医師を確保するため、北海道歯科医師会等と連携を図りながら、専門的研修などの取組を推進します。

（歯科医師養成への支援）

大学歯学部等の養成機関における学生実習及び歯科医師臨床研修施設等の臨床研修に協力するなど、歯科医師の養成確保を促進します。

（歯科衛生士の育成）

むし歯・歯周病の予防を始め、地域の要介護高齢者、障がい者等の歯科医療及び保健指導に対応できる歯科衛生士を確保するため、北海道歯科衛生士会などの関係団体と連携を図りながら、資質向上の取組を推進します。

第４節　薬剤師

現　状

○　平成28年末における本道の薬剤師数は、１万1,321人で人口10万人当たりでは、212.5人と、全国平均の237.4人を下回るとともに、地域的に見ると都市部に集中している状況にあります。

○　医薬分業の進展による薬局の増加に伴い、薬局に勤務する薬剤師は増加しています。また、病院・診療所に勤務する薬剤師は、院内の処方が減少しているものの、病棟での服薬指導や注射剤の調製業務などが増加していることから、横ばい傾向にあります。

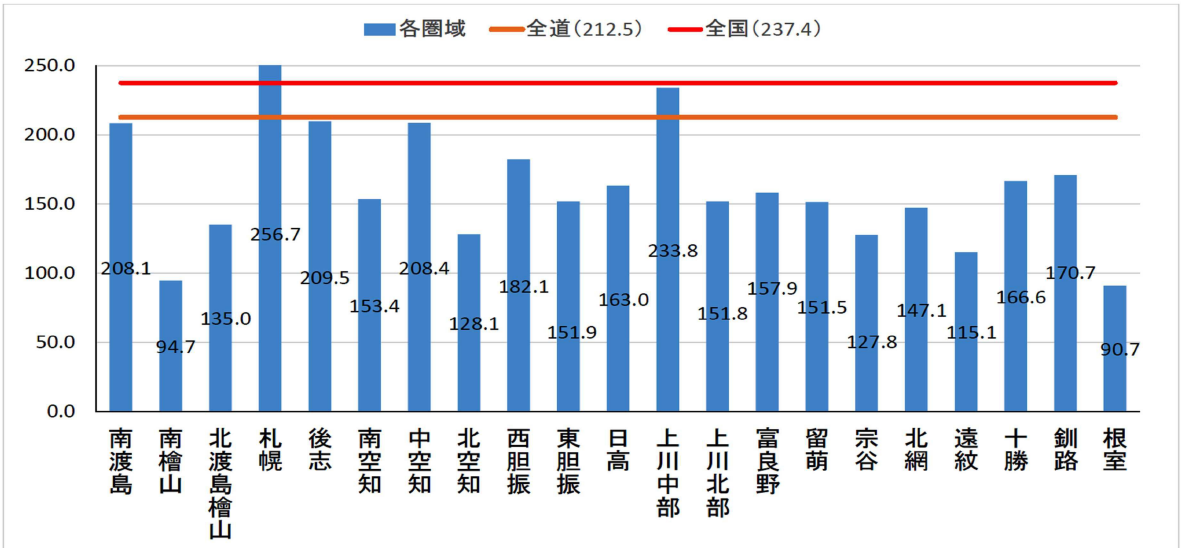
○　薬剤師の業務は、患者への医薬品情報の提供の義務化や病棟での薬剤管理指導業務の実施、在宅医療における医薬品等の供給や訪問服薬指導業務の実施など、高度化・多様化してきています。このような中、平成18年４月から薬剤師養成のための大学における薬学教育６年制が導入されています。

【薬剤師の従事先別推移】　　各年12月末現在（単位：人）

区分	薬局の従事者		病院又は診療所の従事者	衛生行政機関・保健衛生施設従事者	医薬品関係企業従事者	その他	総数	（参考）全国総数
	開設者又は代表者	勤務者						
平成14年	850	3,564	2,466	255	1,374	897	9,406	229,744
平成16年	835	3,875	2,493	269	1,277	955	9,704	241,369
平成18年	803	4,235	2,517	258	1,212	999	10,024	252,533
平成20年	797	4,540	2,578	238	1,227	1,068	10,448	267,751
平成22年	768	4,889	2,609	237	1,158	907	10,568	276,517
平成24年	754	5,112	2,591	202	1,074	852	10,585	280,052
平成26年	719	5,515	2,603	193	1,008	765	10,803	288,151
平成28年	687	5,908	2,802	174	961	789	11,321	301,323

＊ 厚生労働省「医師、歯科医師、薬剤師調査」

【人口10万対薬剤師数（第二次医療圏別）】　　平成28年12月末現在（単位：人）



課　題

（薬剤師の確保）

薬学生の実務実習の地域での受入体制づくりや潜在薬剤師の掘り起こしを推進するなどして、薬剤師の確保に努めるとともに、薬剤師の都市部集中の解消を図る必要があります。

（薬剤師の資質の向上）

医療の高度化や医薬分業の進展、在宅医療の推進に伴い、薬剤師の業務は高度化・多様化しており、これら業務に適切に対応するため、薬剤師の資質の向上が求められています。

施策の方向と主な施策

（薬剤師の確保）

○　北海道薬剤師会が主体となって実施する、未就業薬剤師に対する復職支援事業や薬剤師バンクによる就業あっせん・登録派遣事業を支援します。

○　北海道薬剤師会と道内薬科大学（薬学部）＊1で開催する連絡会等を活用するなどして、薬剤師の需給動向を把握しながら、その適正配置が図られるよう努めます。

○　また、薬剤師が不足する地域において、その確保が図られるよう、道内薬科大学（薬学部）における学生の長期実務実習の地域での受け皿づくりに努めます。

（薬剤師の資質向上）

患者への適切な医薬品情報の提供、病棟での薬剤管理指導及び在宅医療における医薬品等の供給並びに服薬指導の実施など、高度化・多様化する薬剤師業務に的確に対応できるよう、北海道薬剤師会や薬科大学（薬学部）における生涯教育や専門研修の実施など、薬剤師の資質の向上に向けた取組を促進します。

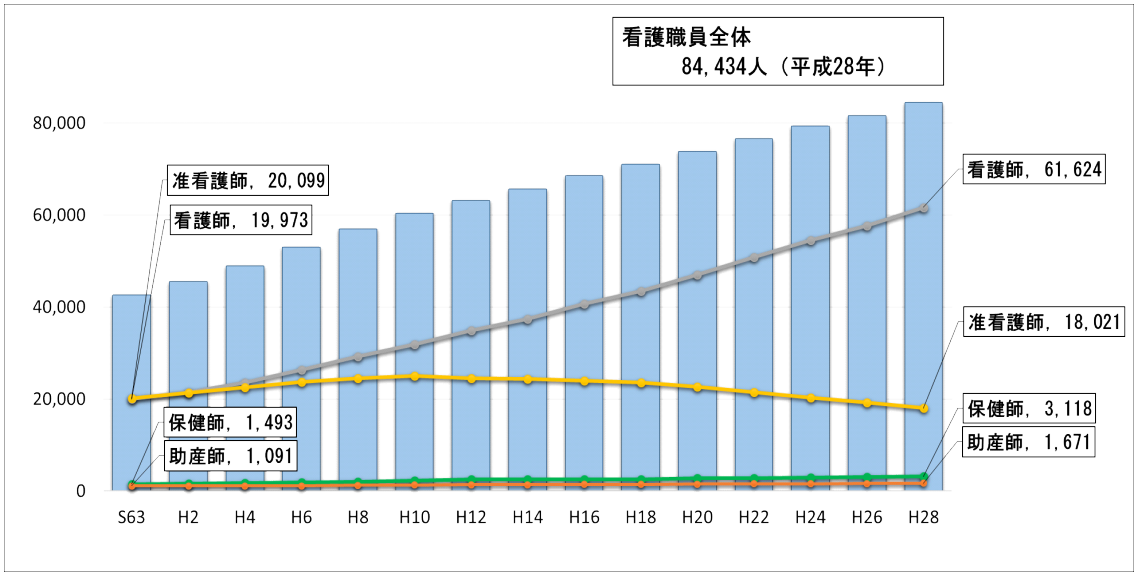
＊1　薬科大学（薬学部）は、北海道大学薬学部、北海道科学大学薬学部、北海道医療大学薬学部

第５節　看護職員

現　状

○　道内の看護職員の就業者数は、平成28年12月末現在で、８万4,434人となっており、年々増加傾向にあります。また、常勤換算では７万7,815人となっています。職種別就業者数で見ると、保健師、助産師、看護師にあっては、増加傾向となっていますが、准看護師にあっては、平成10年以降、減少傾向となっています。

【看護職員就業者数の推移（年次・職種別）】　　各年12月末現在（単位：人）



＊ 看護師等業務従事者届

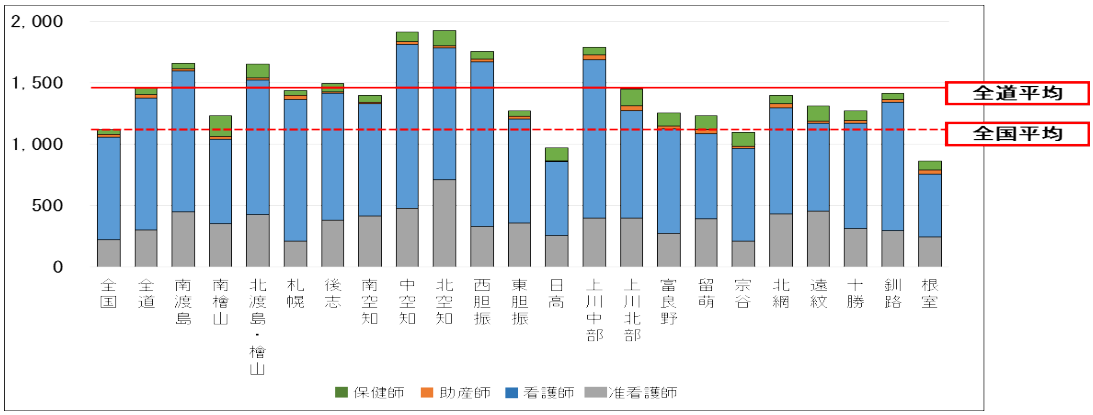
○　人口10万人当たりの就業者数（常勤換算）は、保健師、助産師、看護師、准看護師全てにおいて、全国平均を上回っていますが、第二次医療圏別では日高、宗谷、根室圏域で全国平均を下回り、看護職員の地域偏在が課題となっています。

【人口10万対看護職員就業状況（常勤換算）［全国との比較］】　　平成28年12月末現在（単位：人）

区分	保健師	助産師	看護師	准看護師
北海道	54.8	29.1	1074.0	302.8
全　国	37.7	25.6	832.5	222.6

＊ 看護師等業務従事者届

【人口10万対看護職員就業状況（常勤換算）［第二次医療圏別］】　　平成28年12月末現在（単位：人）



＊ 看護師等業務従事者届

○　人口当たりの病床数が全国より多いことなどもあり、病院勤務の看護職員数を病床数当たりで比較すると、病床100床当たり全国60.2人、全道56.9人と、全道平均が全国平均を3.3人下回っています。

【病院勤務看護職員数（常勤換算）、病床、人口対比】　　平成28年12月末現在

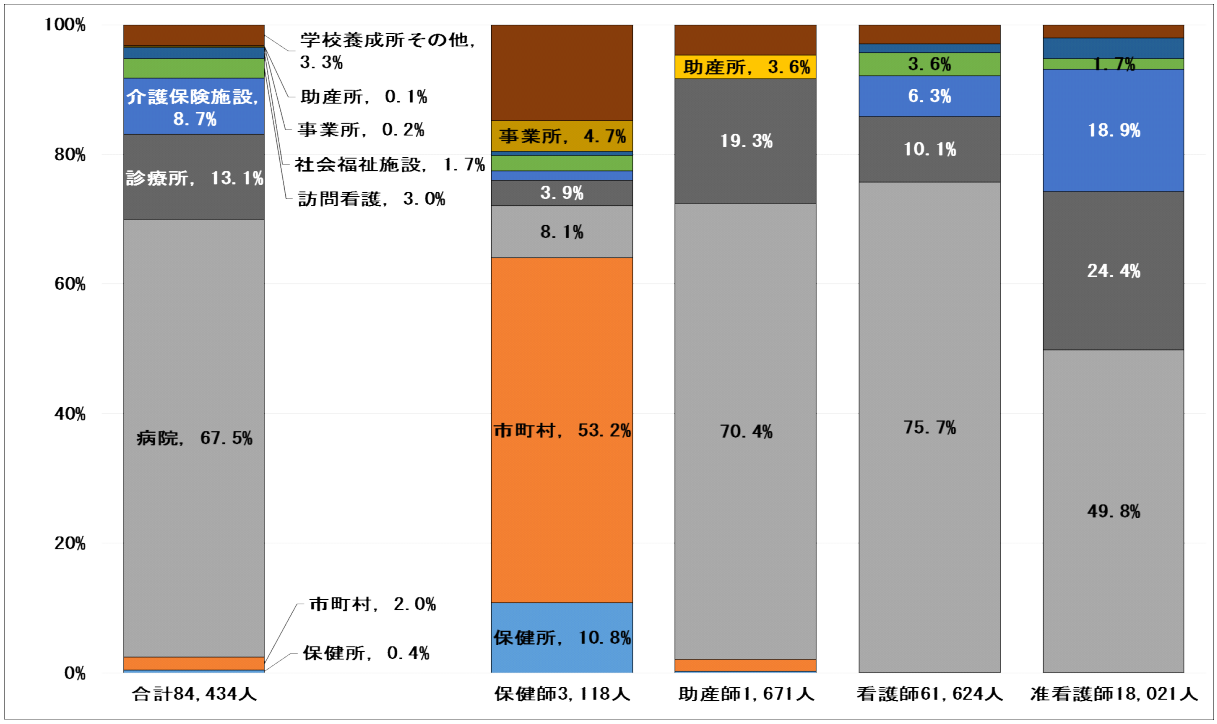
区　分	人　口 （人）　A	病　床　数 （床）　B	人口1万人対 病床数（床） C（B/A×10,000）	看護職員数 （人）　D	病床100床対 看護職員数(人) E（D/B×100）
全　国	126,933,000	1,561,005	123.0	940,257.6	60.2
北海道	5,327,000	96,105	180.4	54,699.8	56.9

＊ 看護師等業務従事者届　（「病院勤務看護職員数」は、病院に勤務している助産師、看護師、准看護師）

○　看護職員の就業場所を職種ごとに見ると、保健師は、市町村（53.2%）が最も多く、次いで保健所（10.8%）、病院（8.1%）、事業所（4.7%）などでの就業状況となっており、助産師は、病院（70.4%）が最も多く、次いで診療所（19.3%）、助産所（3.6%）の順となっています。

また、看護師は、病院（75.7%）が最も多く、次いで診療所（10.1%）、介護保険施設（6.3%）、訪問看護ステーション（3.6%）となっており、准看護師は、病院（49.8%）に次いで診療所（24.4%）の割合が多いほか、介護保険施設（18.9%）等における割合も多くなっています。

【看護職員就業場所（資格別割合）】　　平成28年12月末現在（単位：人）



＊ 看護師等業務従事者届

○　高齢化の進行等に伴い、看護職員が働く分野や場所も多様化しており、訪問看護ステーション（3.0%）や介護保険施設（8.7%）に就業する看護職員が増えています。

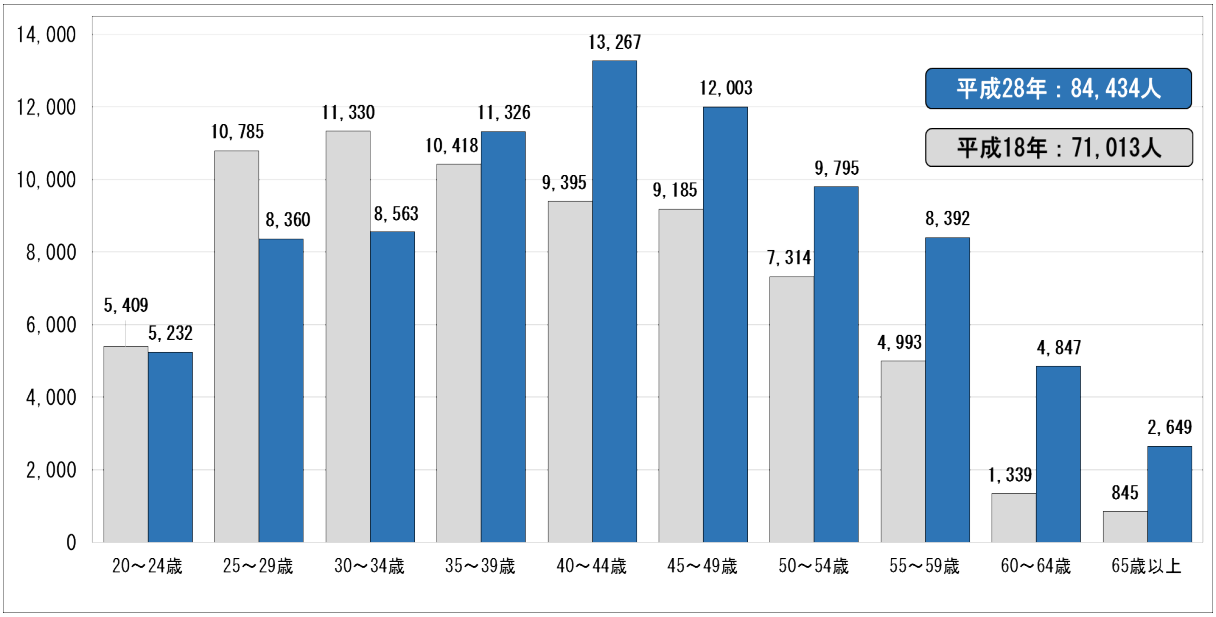
【看護職員就業場所（就業者数の推移）】　　各年12月末現在（単位：人）

区　分		平成18年度	平成20年度	平成22年度	平成24年度	平成26年度	平成28年度
病院・診療所	人数	60,479	62,460	64,010	65,735	66,854	68,092
	割合	85.2%	84.6%	83.6%	82.9%	82.0%	80.6%
市町村・保健所	人数	1,893	1,903	1,866	1,920	1,972	2,036
	割合	2.7%	2.6%	2.4%	2.4%	2.4%	2.4%
訪問看護	人数	1,471	1,422	1,607	1,798	2,097	2,567
	割合	2.1%	1.9%	2.1%	2.3%	2.6%	3.0%
介護保険施設	人数	4,338	4,853	5,919	6,297	6,463	7,326
	割合	6.1%	6.6%	7.7%	7.9%	7.9%	8.7%
社会福祉施設	人数	642	785	904	1,022	1,371	1,420
	割合	0.9%	1.1%	1.2%	1.3%	1.7%	1.7%
その他	人数	2,190	2,402	2,282	2,528	2,822	2,993
	割合	3.1%	3.3%	3.0%	3.2%	3.5%	3.5%
合計	人数	71,013	73,825	76,588	79,300	81,579	84,434
	割合	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	100.0%

＊ 看護師等業務従事者届

○　看護職員の年齢階級別での就業者数について、平成18年と平成28年との比較では、平成18年は25歳から34歳がピークなのに対し、平成28年は40歳から49歳がピークとなっており、34歳以下が減り、35歳以上が増えています。特に、60歳以上の就業者は10年間で３倍以上に増えています。

【看護職員の年齢階級別就業状況（平成18年・平成28年比較）】　　各年12月末現在（単位：人）



＊ 看護師等業務従事者届

○　看護職員の離職の状況を見ると、看護職員全体での離職率は10%前後、新卒看護職員の離職率は６%前後となっており、一般労働者（女性）や医療福祉業に比べ、低く推移しています。

【看護職員の離職率の推移】

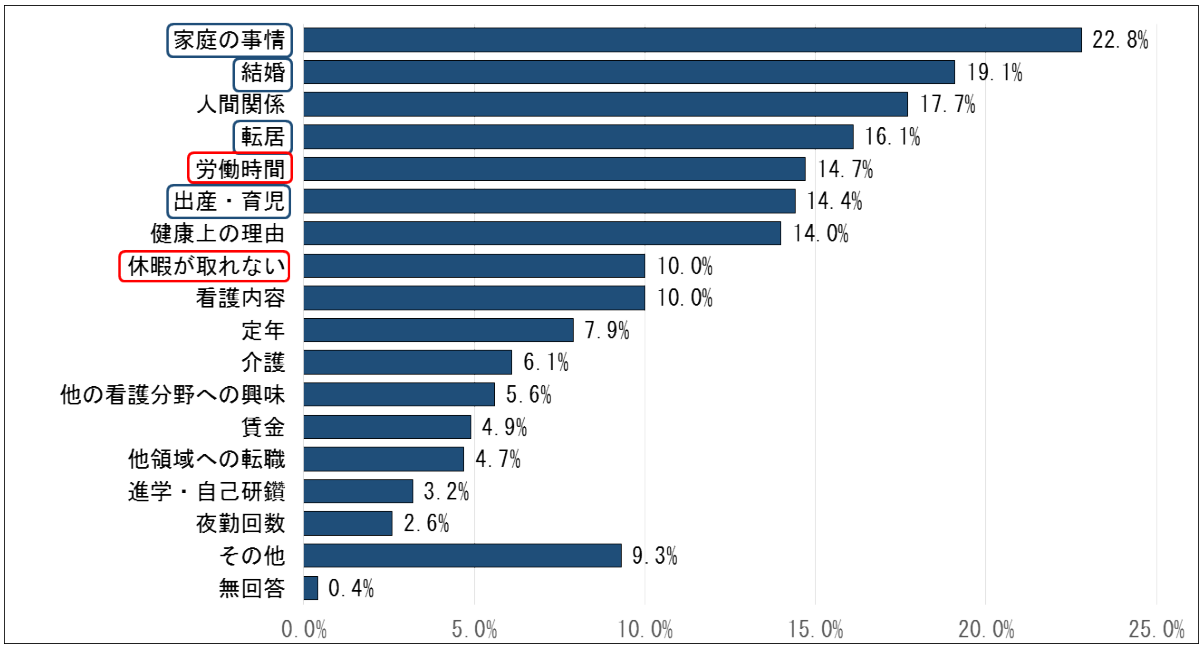
区　　分		平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
看護職員	全　　体	11.5%	11.6%	9.9%	10.2%	10.2%
	新卒看護職員	6.2%	7.2%	5.5%	6.6%	5.1%
一般労働者（女性）		14.3%	16.2%	17.2%	14.9%	13.8%
医療福祉業（男女）		13.9%	15.2%	15.7%	14.7%	14.8%

＊ 看護職員：北海道における北海道看護職員需給状況調査（北海道看護協会）

＊ 一般労働者（女性）・医療福祉業（男女）：雇用動向調査（厚生労働省）

○　看護職員が退職する理由は、家庭の事情（22.8%）を始め、結婚（19.1%）や転居（16.1%）、出産・育児（14.4%）などのライフイベントに関することのほか、労働時間（14.7%）や休暇取得（10.0%）などの勤務環境に関することが一定程度あります。

【看護職員の退職理由】



＊ 離職者本人へのアンケート調査（北海道ナースセンター（平成28年度））　（青枠はライフイベント等、赤枠は勤務環境等の主な理由）

＊ 複数回答

○　道内における看護職員の養成定員は、平成18年度と平成28年度を比較すると、保健師は、保健師と看護師の統合化されたカリキュラムが平成23年の見直しにより選択制に転換されたことから、710人から169人と541人の減、助産師では110人から102人と８人の微減となっており、看護師（３年課程）では1,945人から2,644人と699人の増となっている一方、看護師（２年課程）では1,060人から485人と575人の減、准看護師では651人から433人と218人の減となっています。

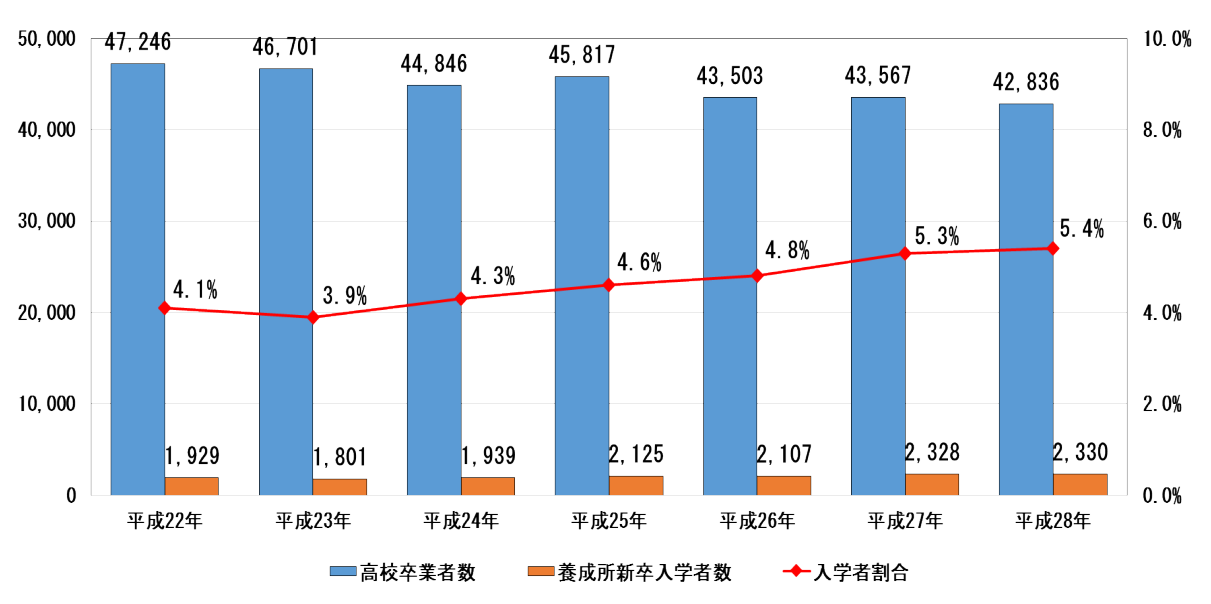
【道内の看護職員養成定員数（養成職種別）】　　各年度４月現在（単位：人）

養成職種別	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28
保　健　師	710	710	830	837	837	639	174	154	160	163	169
助　産　師	110	90	80	97	108	108	98	99	102	102	102
看護師（３年課程）	1,945	1,945	2,165	2,202	2,232	2,232	2,364	2,494	2,604	2,604	2,644
看護師（２年課程）	1,060	1,060	1,060	1,050	955	795	665	625	525	485	485
准 看 護 師	651	611	581	581	481	433	433	433	433	453	433

＊ 看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査（保健師・助産師の養成定員数は、看護師との重複を含む）

○　少子化の進行により高校卒業者数は減少傾向にありますが、看護師・准看護師学校養成所への入学者は人数・割合ともに微増しています。

【高校卒業者と看護師・准看護師学校養成所新卒入学者（大学を含む）の推移】　　（単位：人）



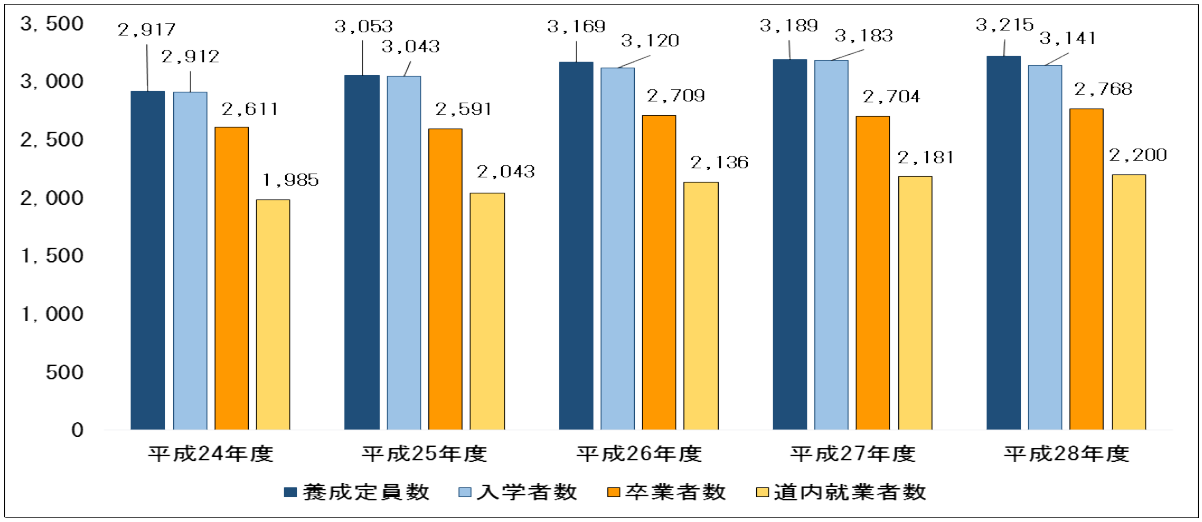
＊ 高校卒業者数：学校基本調査

＊ 養成所新卒入学者数：看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査

○　平成28年度の養成定員に対する入学者の充足割合は97.7%、卒業者の割合は86.1%となっています。

○　卒業者のうち、約2,200人が道内で新卒看護職員として就業しています。道内就業率は平成24年度75.9%に対し、28年度は79.1%と増加傾向にあります。

【看護職員の養成定員と卒業者の動向（２年課程を除く）】　（単位：人）



区　　分	平成24年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度
定員充足割合　（入学者数／養成定員数）	99.8%	99.7%	98.5%	99.8%	97.7%
卒業者割合　　（卒業者数／養成定員数）	89.5%	84.9%	85.5%	84.8%	86.1%
道内就業率①（道内就業者数／養成定員数）	67.9%	66.7%	67.2%	67.9%	68.1%
道内就業率②（道内就業者数／卒業者数）	75.9%	78.6%	78.6%	80.0%	79.1%

＊ 養成定員数・入学者数　：看護師等学校養成所入学状況及び卒業生就業状況調査

＊ 卒業者数・道内就業者数：地域別就業状況調査（北海道保健福祉部医務薬務課）

（現状のまとめ）

○　本道の看護職員は一定程度増加し、人口10万人対就業看護職員数を見ると全国平均を上回っているものの、第二次医療圏別では全国平均を下回る地域があり、地域偏在があります。

○　北海道は、積雪寒冷や広域分散といった地域特性から、他都府県に比べ、病床数が多く、看護職員の需要は高い状況にあります。第７次北海道看護職員需給見通しでは、平成27年の需要数を常勤換算で約８万500人と見込んでおり、平成28年の就業数の常勤換算約７万7,800人と比較すると約2,700人不足しています。

　今後、平成30年に作成する「第８次北海道看護職員需給見通し」において、地域医療構想との整合性を確保しつつ、平成37年（2025年）における需給推計を行うこととしています。

○　在宅医療の推進など、地域包括ケアシステムの構築に向けて、医療だけでなく、保健、介護、福祉の現場、更には予防・治療から看取りに至るまであらゆる場面で看護職員への期待が高まっています。

課　題

○　少子化の影響により養成数の大幅な増加は難しいため、養成力を維持し、看護志望者の拡大や多様な人材の確保に努め、道内への就業を促進することが必要です。
○　結婚、出産・育児、介護などのほか、勤務環境を理由とした離職者が一定割合いることなどから、勤務環境の改善とワーク・ライフ・バランスの推進が必要です。
○　看護師等の人材確保の促進に関する法律の改正により、離職した看護職員の「届出制度」＊1が開始されたことから本制度を有効に活用した再就業の促進が必要です。
○　地域包括ケアシステムの構築に向けて、保健・医療・福祉のあらゆる場で就業する看護職員の連携の強化が必要です。あわせて、看護技術が高度化・専門化していることや今後、増大する在宅医療の需要に対応できる人材の育成が必要です。
○　地域偏在などを背景として看護職員の確保が困難な中、地域医療構想を踏まえた在宅医療の推進など、地域包括ケアシステムの構築に向け、看護職員の安定的な確保、地域偏在の解消に向けた取組が必要です。

施策の方向と主な施策

看護職員の安定的な確保に向けて、これまで取り組んできた「養成」「就業定着」「再就業促進」「人材育成」を一層推進するとともに、「地域偏在の解消に向けた取組」を推進し、期待される場所で期待される役割を果たす人材の育成を目指します。

（養成数や教育環境の確保）

○　現在の養成機能を最大限に活用できるよう、看護職員養成所の運営や施設整備等を支援するとともに、十分な財政支援措置等を国へ働きかけます。
○　小中学生や高校生が看護の魅力ややりがいを知り看護職を志望する動機となるよう「ふれあい看護体験」や「進学相談会」などを実施します。また、社会人経験者などの入学を促進するため、看護職員養成所へ教育訓練給付金制度などの活用を働きかけます。
○　看護学生が安心して学べるよう修学資金を貸付し、道内に従事する看護職員の安定的な確保に努めます。
○　看護基礎教育の充実に向けて、看護職員養成所の看護教員の養成・質の向上を図るとともに、実習指導者の養成など学生実習の受入体制の整備を支援します。
○　地域の看護職員を確保するため、養成のニーズや民間養成機関との役割分担を考慮しながら、道立高等看護学院を適切に運営します。

（就業定着・離職防止の推進）

○　子育てや介護など生活と仕事の両立に向けて、院内保育所の運営や多様な勤務形態の導入、勤務環境改善を目的とした施設整備などを行う医療機関の取組を支援します。
○　北海道医療勤務環境改善支援センターにおいて医療機関の主体的な勤務環境改善を支援するとともに、北海道ナースセンターとの連携を強化し、労働時間等の管理や健康保持に向け、個々の医療機関の課題やニーズに応じた支援を行います。
○　新人看護職員の早期離職を防ぐため、新人看護職員研修を行う医療機関の取組を支援します。
○　北海道ナースセンターの支所機能の充実を図り、求人施設への個別訪問などを通じ、勤務環境の改善に向けた働きかけを強化します。

＊1　届出制度：免許を持ちながら看護師等の仕事に就いていない者が、氏名や連絡先など北海道ナースセンターに届け出る制度。

（未就業看護職員の再就業促進）

○　届出制度を有効に活用し更なる未就業者の掘り起こしに努め、「ナースバンク事業」＊1の充実を図ります。また、求職・求人情報の共有や合同面接会など、ハローワークとの密接な連携による就業斡旋体制を強化します。

○　北海道ナースセンターにおいて、ライフサイクルやキャリアに応じ就業斡旋相談を行うとともに、実技演習や病院実習、ｅラーニングの活用など充実した復職支援研修により再就業の不安軽減を図ります。

○　求職者に対するきめ細かな相談支援や求人施設への個別訪問など、地域に密着した支援を行うため、北海道ナースセンターの支所機能の充実を図ります。

（人材の育成）

○　看護実践能力の向上と、道民への安全・安心な医療を確保するため、医療機関等における人材育成の体制整備を促進するとともに、地域の小規模病院などが行う研修を支援します。あわせて、教育責任者や指導者の研修を行い、教育に携わる人材を育成します。

○　地域包括ケアシステムの構築に向け、管理的立場の看護職のけん引力・指導力強化に向けた研修を行うとともに、医療や介護、福祉、行政など様々な分野で働く看護職の研修等を地域別に行い、看護連携を推進します。

○　訪問看護に携わる看護師等に対し、看取りや在宅移行を含めた療養支援に関する研修を行うとともに、医療機関で働く看護職員には、在宅医療に関する理解の促進、退院支援機能の強化に向けた研修等を行い、在宅医療を担う人材を育成します。

○　特定行為を行う看護師が在宅医療の現場で活躍できるよう、国や関係団体等と連携し研修制度の普及啓発などを行うとともに、地域の実情に応じた研修体制を検討します。

○　保健師・助産師・看護師それぞれの職能に期待される役割や専門性を発揮できるよう、保健師は、地域包括ケアシステムの構築に向けた地区診断力や企画調整力の向上、助産師は周産期医療を担う助産実践能力の向上、看護師は医療の高度化に伴う専門分野の看護技術の向上に向けた研修等を行い、人材育成を推進します。

○　准看護師が働きながら看護師資格を取得できるよう、通信制等による修学を支援します。

（地域での就業促進）

○　地域の病院等における看護職員の不足を一時的に解消するため、「地域応援ナース」＊2や助産師等を派遣・出向させるとともに、派遣された看護職員が地域医療への理解を深め専門性を活かした多様な働き方ができるよう、総合的にコーディネートするシステムを推進します。

○　道内で看護職員として就業する看護学生に対する修学資金の貸付けや看護職員の不足する地域へ積極的に学生を就業させている養成所への運営支援などにより、中長期的な地域偏在の解消に取り組みます。

○　地域の実情や課題に応じた看護職員の確保対策を展開するため、道立保健所が中心となり、看護管理者等との連携を推進します。

＊1　ナースバンク事業：厚生労働大臣の許可を受けた無料職業紹介所で、就職先を探す看護職と看護職員を雇用したい施設に登録してもらい、職業紹介を行うほか復職支援研修や就業相談など再就業の支援を行う事業で、看護の有資格者が相談に対応する。道が指定した北海道ナースセンターで実施し、本所（札幌）ほか５支所（函館、旭川、帯広、釧路、北見）がある。

＊2　地域応援ナース：豊富な経験を持つ離職した看護職員を、都市部から看護職員が不足する地域の医療機関等へ短期間派遣する仕組。

第６節　その他医療従事者

現　状

○　本道における理学療法士、作業療法士及び言語聴覚士（以下、「理学療法士等」という。）の病院従事者数は、人口１万人当たりでは全国平均を上回っているものの、圏域ごとに見た場合、半数以上の圏域で全国平均を下回るなど、地域偏在が生じています。

○　管理栄養士・栄養士の病院従事者数は、人口１万人当たりでは全国平均を上回っているものの、圏域ごとに見た場合、一部の圏域では下回っています。

○　その他病院従事者は、全体的に増加傾向にあり、都市部に集中しています。

【関連：第２章第６節「医療従事者の年次推移」（P30）】

【病院従事者数】　（単位：人）

第二次医療圏	病院従事者							
	理学療法士	人口１万対	作業療法士	人口１万対	言語聴覚士	人口１万対	管理栄養士・栄養士	人口１万対
南渡島	278.7	7.4	198.0	5.3	77.8	2.1	79.8	2.1
南檜山	2.0	0.9	1.0	0.4	－	－	6.0	2.6
北渡島檜山	27.0	7.4	15.0	4.1	1.0	0.3	14.0	3.9
札幌	1,861.3	7.9	1,266.4	5.3	459.3	1.9	555.8	2.3
後志	166.6	7.9	105.7	5.0	38.8	1.8	46.0	2.2
南空知	74.5	4.6	51.2	3.1	9.0	0.6	26.9	1.6
中空知	59.0	5.5	47.9	4.5	10.0	0.9	36.9	3.4
北空知	11.0	3.4	10.9	3.4	1.0	0.3	11.8	3.7
西胆振	187.4	10.0	158.9	8.5	44.8	2.4	53.8	2.9
東胆振	108.0	5.1	90.6	4.3	28.2	1.3	36.0	1.7
日高	11.3	1.7	8.0	1.2	2.0	0.3	11.0	1.6
上川中部	307.0	7.9	195.8	5.0	65.3	1.7	122.0	3.1
上川北部	31.6	4.8	16.0	2.5	6.0	0.9	16.0	2.5
富良野	16.0	3.8	13.2	3.2	3.0	0.7	7.0	1.7
留萌	20.5	4.4	13.5	2.9	2.0	0.4	10.0	2.1
宗谷	19.0	2.9	12.0	1.8	4.0	0.6	13.0	2.0
北網	123.7	5.6	77.2	3.5	37.0	1.7	51.1	2.3
遠紋	14.0	2.0	6.0	0.9	－	－	19.0	2.8
十勝	224.0	6.6	122.3	3.6	34.9	1.0	67.0	2.0
釧路	140.0	6.0	89.3	3.8	34.4	1.5	51.0	2.2
根室	12.0	1.6	9.0	1.2	4.0	0.5	9.0	1.2
全道計	3,694.6	6.9	2,507.9	4.7	862.5	1.6	1,243.1	2.3
全国計	74,235.6	5.8	43,884.1	3.5	15,123.2	1.2	27,015.1	2.1

＊　従事者数：病院報告（平成28年）

＊　人　　口：人口推計（平成28年10月1日現在）［全国及び全道人口は総務省、第二次医療圏別人口は北海道保健福祉部による推計］

課　題

（理学療法士等の確保等）

地域医療構想を推進する上で、地域で不足している医療機能、特に回復期機能の確保のためには、理学療法士等のリハビリテーション専門職の確保と資質向上が必要です。

（管理栄養士・栄養士の確保等）

医療機関における栄養状態の改善、糖尿病重症化予防や地域包括ケアの推進に当たっては、食事療養支援が重要であり、在宅療養支援に従事する管理栄養士・栄養士の確保やその資質向上が必要です。

（その他医療従事者の役割）

地域における医療提供体制を確保する上で、多職種連携を進め、医療機器の高度化への対応や医師の事務負担の軽減を図るなど、様々な役割が求められています。

施策の方向と主な施策

（理学療法士等の確保等）

○　地域における各職種の配置状況等の把握に努めるとともに、国における需給推計の結果などを踏まえつつ、関係団体の意見を聞きながら、理学療法士等の確保が図られるよう取組を進めます。

○　地域において不足する回復期機能（病床）を整備する医療機関における理学療法士等の確保や資質向上を図るための取組に対して支援します。

（管理栄養士・栄養士の確保等）

○　北海道栄養士会と連携し、就労可能な管理栄養士等を登録する「栄養ケアステーション事業」や道立保健所の「在宅栄養士バンク」を活用するなどして、在宅療養支援に従事する管理栄養士・栄養士の登録を促進します。

○　また、在宅における食事療養支援等、高度化、多様化する業務に対応できるよう北海道栄養士会と協力して、資質の向上を図るための取組を進めます。

（その他医療従事者の役割）

○　道立保健所が実施する多職種連携等を目的とする会議や関係団体等が実施する研修会等への参加を働きかけることにより、医療従事者間の情報共有や資質の向上を図るなど、地域においてそれぞれの役割を適切に果たすことができるよう支援に努めます。

○　医師の事務負担を軽減するため、医療機関における医師事務作業補助者の配置を促進します。

第７節　医療従事者の勤務環境改善

現　状

○　人口減少、若い世代の職業意識の変化、医療ニーズの多様化に加え、医師の偏在等を背景として医療機関などにおける医療従事者の確保が困難な状況となっています。

○　平成26年10月の医療法改正により、医療機関については、勤務する医療従事者の勤務環境の改善に取り組むよう努めることとされるとともに、都道府県については、医療機関による勤務環境の改善に向けた取組を促進するため、情報提供・助言等の支援や調査・啓発活動を行うよう努めることとされました。

［現在の勤務先において医師が困っていることや不安・不満に思っていること］　（単位：人）

特になし	業務が多忙	働きがいや自身の将来展望	勤務先の経営状態	給与や昇進など人事待遇	スキルアップ・専門性の強化ができない	院内での人間関係	病院の施設・設備など、職場環境が不十分	院内暴力・訴訟など職業に起因する不安	患者との信頼関係の破綻など、やりがいがない	無回答
216 (27.4%)	165 (21.0%)	63 (8.0%)	58 (7.4%)	48 (6.1%)	36 (4.6%)	35 (4.4%)	31 (3.9%)	5 (0.6%)	5 (0.6%)	125 (15.9%)

＊ 地域医療に対する勤務医アンケート調査結果（平成27年11月 北海道保健福祉部地域医療推進局地域医療課調）

○　道では、平成27年２月に、医療機関の勤務環境の改善に向けた総合的・専門的な支援を行う拠点として「北海道医療勤務環境改善支援センター」（以下、「支援センター」という。）を設置し、勤務環境に関する現状分析や改善に向けた対応策の検討に関する支援、各種セミナーの開催等の取組を実施しています。

課　題

○　医師や看護職員を始めとした医療従事者の確保を図るためには、「働きやすい職場づくり」や「働きがいのある職場づくり」に向けて、労働時間の適切な管理、医療従事者の負担軽減、ワーク・ライフ・バランスの推進など、幅広い観点から医療機関が主体的に取り組む必要があります。

○　支援センターを始めとした勤務環境の改善に向けた支援策について、医療機関や医療従事者に十分に認知・活用されていないことから、周知普及の強化等を通じて、支援の実効性を向上させる必要があります。

施策の方向と主な施策

○　効果的かつ円滑に支援センターを運営するため、医療・労働関係団体の代表や関係行政機関の職員で構成する「北海道医療勤務環境改善支援センター運営協議会」を定期的に開催し、医療機関の勤務環境改善に向けた取組について協議・検討していきます。

○　医療機関における主体的な勤務環境改善の取組を促進するため、支援センターについて、勤務環境改善に関する総合相談窓口の機能を強化するとともに、個々の医療機関の課題やニーズに応じたきめ細かな支援に取り組みます。

　また、医療現場における効果的な取組事例の情報共有を促進します。

○　支援センターと北海道地域医師連携支援センターや北海道ナースセンター等との連携を強化し、勤務環境の改善と医療従事者の確保に向けた効果的な取組を推進します。

（資料20）

日本医療大学　看護学科及び診療放射線学科

収容定員増加に係る事業所アンケート調査報告書

令和２年 10 月 14 日

日本医療大学　事務局

調査概要

(1) 調査目的

日本医療大学保健医療学部看護学科及び診療放射線学科の収容定員増加に係る、卒業生に対する企業の採用意向を調査し、定員増加計画の基礎資料とすることを目的とする。

(2) 調査対象

本学看護学科及び診療放射線学科の卒業生の就職が見込まれる病院等の事業所

(3) 実施時期

令和 2 年 10 月 5 日～10 月 13 日

(4) 回収状況

本調査では 220 事業所を対象にアンケート調査票を配布し、152 件のアンケートを回収することが出来た（回収率 69.1%）

(5) 調査方法

調査票による定量調査（アンケート調査）

(6) 利用調査票

添付資料　アンケート調査票　参照

添付資料　「アンケート調査票　1/2」

日本医療大学 収容定員増加に係る事業所アンケート調査協力のお願い

謹啓　清秋の候、貴職におかれましては益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。
平素より本学の教育に多大なるご理解とご協力を賜り、厚くお礼申し上げます。
　さて、このたび本学において以下の理由で「事業所アンケート調査」を実施することといたしました。つきましては、業務繁多ではありますがご協力頂きますよう、謹んでお願い申し上げます。

謹白

記

１．実施の理由

　本学保健医療学部の看護学科及び診療放射線学科につきましては、看護学科入学定員１００人、診療放射線学科５０名ですが、大学校舎が中心部に移転することを発表して以来、受験者が大幅に増加しています。なおかつ、入学試験の点数も大幅にアップしており、その結果志願者倍率が６倍を超えています。今後の人材供給を拡大するために看護学科の入学定員を現行の１００名から１５０名、放射線学科の入学定員を５０名から１００名にする為に令和２年６月３０日文部科学省に定員増加の申請を行っていました。

　先週末に文部科学省から届いた審査結果である次の二点について、追加の資料の提出が求められました。一つ目は、添付した資料に看護師、放射線技師の卒業生に対する求人について「本学に限定した求人なのか」との問い合わせがありました。二つ目は、卒業生を受け入れることが想定される企業・関係機関等からのニーズなどによる「客観的な根拠」に基づく説明が必要であるとの問い合わせであります。

　文部科学省からの意見に対応することを目的に、今回、緊急にアンケートを実施させていただくことに至りました。

２．ご依頼内容

　別紙の「事業所アンケート調査」の質問にお答えいただき、ご捺印のうえＦＡＸまたは郵送にて、１０月９日（金）１７時までご回答をお送り頂きますようお願い致します。

以上

添付資料　「アンケート調査票　2/2」

日本医療大学　収容定員増加に係る事業所アンケート調査

日本医療大学 保健医療学部は令和３年４月のキャンパス移転とともに、**看護学科**及び**診療放射線学科**の収容定員増加に係る設置認可申請を文部科学省に提出しております。文部科学省から卒業生の進路について意見が付されましたので、本学の各学科における卒業生の今後の採用について、皆様の率直なご意見をお聞かせください。

【質問 1】日本医療大学保健医療学部における以下の学科の卒業生の採用を検討したいですか？
いずれかに〇を付けてください。

1　日本医療大学の看護学科・診療放射線学科の卒業生を採用する予定があります
2　現在採用予定はありません

【質問 2】上記の【質問 1】において、1 回答された方にお聞きします。
日本医療大学卒業生の採用を検討したい主な理由をお教え下さい。

1　実習先の施設として学生を受け入れており学生と面識がある
2　信頼できる教員の推薦による日本医療大学の学生を即戦力と期待している
3　医療系総合大学におけるチーム医療を含めた包括的教育に期待している
4　定数増による定量的な人材確保に期待する
5　その他（　　）

【質問 3】上記の【質問 1】において、　1　に回答された方にお聞きします。
看護学科の卒業生を採用したい人数をお教え下さい。

1　１人　　2　２人　　3　３人　　4　４人　　5　５人以上

【質問 4】上記の【質問 1】において、　1　に回答された方にお聞きします。
診療放射線学科の卒業生を採用したい人数をお教え下さい。

1　１人　　2　２人　　3　３人以上

令和　２年　　月　　日

《法人名》

《病院名》

代表者の職名･氏名　《理事長／院長》《氏名》　　㊞

※日付の記載及びご捺印お願い致します。

添付資料　「アンケート送付先リスト　1/7」

No.	経営母体	施設名
1	社会医療法人孝仁会	北海道大野記念病院
2	社会医療法人孝仁会	釧路孝仁会記念病院
3	社会医療法人孝仁会	札幌第一病院
4	社会医療法人孝仁会	星が浦病院
5	社会医療法人孝仁会	釧路脳神経外科
6	社会医療法人孝仁会	新くしろクリニック
7	社会医療法人孝仁会	中標津脳神経外科
8	社会医療法人孝仁会	留萌セントラルクリニック
9	社会医療法人孝仁会	札幌西孝仁会クリニック
10	社会医療法人孝仁会	知床らうす国民健康保険診療所
11	社会医療法人孝仁会	北海道大野病院附属　駅前クリニック
12	社会医療法人孝仁会	北海道大野病院附属　はまや循環器クリニック
13	社会医療法人禎心会	札幌禎心会病院
14	社会医療法人禎心会	稚内禎心会病院
15	社会医療法人北海道恵愛会	札幌南一条病院
16	北海道公立大学法人	札幌医科大学付属病院
17	JR 旅客鉄道株式会社	JR 札幌病院
18		小樽市立病院
19	社会福祉法人恩賜財団済生会支部	北海道済生会病院
20	医療法人	王子総合病院
21	社会福祉法人函館厚生院	函館五稜郭病院
22		市立根室病院
23	医療法人友愛会	友愛記念病院
24	医療法人社団英仁会	札苗病院
25	医療法人社団札幌循環器クリニック	札幌循環器病院
26	医療法人渓仁会	札幌西円山病院
27	社会医療法人母恋	天使病院
28	社会医療法人医翔会	札幌白石記念病院
29	医療法人社団豊友会	千歳豊友会病院
30		紋別みなと病院
31		足寄町国民健康保険病院
32	社会医療法人	製鉄記念室蘭病院
33	JA 北海道厚生連	遠軽厚生病院

添付資料　「アンケート送付先リスト　2/7」

34	独立行政法人 地域医療機能推進機構	登別病院
35		士別市立病院
36	公益財団法人	北海道対がん協会
37		新ひだか町立静内病院
38		日高町立門別国民健康保険病院
39		町立別海病院
40	社会医療法人	札幌清田整形外科病院
41	社会医療法人北腎会	坂泌尿器科病院
42	医療法人社団函館脳神経外科	函館脳神経外科病院
43	医療法人翔陽会	滝川脳神経外科病院
44	医療法人社団翔嶺館	新札幌聖陵ホスピタル
45	医療法人社団翔嶺館	十勝の杜病院
46	医療法人社団翔嶺館	札幌優翔館病院
47	医療法人社団翔嶺館	音更宏明館病院
48	社会医療法人社団愛心館	愛心メモリアル病院
49	医療法人社団札幌朗愛会	札幌朗愛会病院
50	医療法人	東北海道病院
51	医療法人北志会	札幌ライラック病院
52	医療法人賛生会	宮の森記念病院
53	医療法人扶恵会	釧路中央病院
54	一般財団法人双仁会	青森厚生病院
55	一般財団法人双仁会	黒石厚生病院
56	医療法人	登別すずらん病院
57	社会福祉法人	ノマド福祉会はる
58	社会福祉法人	ノマド福祉会はっさむ
59	社会福祉法人	ノマド福祉会らいらっく
60	医療法人	白石中央病院
61	医療法人東札幌病院	東札幌病院
62	医療法人東札幌病院	厚別老人保健施設
63		江別市立病院
64	医療法人渓和会	江別病院
65	医療法人北海道整形外科記念病院	北海道整形外科記念病院
66	医療法人社団	三草会クラーク病院
67	社会医療法人蘭友会	札幌里塚病院
68	社会医療法人恵佑会	第 2 病院
69	社会医療法人社団	カレスサッポロ時計台記念病院

添付資料　「アンケート送付先リスト　3/7」

70	社会医療法人柏葉会	柏葉脳神経外科病院
71	独立行政法人地域医療機能推進機構	札幌北辰病院
72	社会医療法人恵佑会	札幌病院
73	医療法人徳洲会	札幌徳洲会病院
74	医療法人風のすずらん	江別すずらん病院
75	医療法人社団図南会	あしりべつ病院
76	医療法人北仁会	旭山病院
77	医療法人渓仁会	定山渓病院
78	医療法人北武会	美しが丘病院
79	社会医療法人康和会	札幌しらかば台病院
80	医療法人愛全会	愛全病院
81	独立行政法人地域医療機能推進機構	北海道病院
82	医療法人菊郷会	愛育病院
83	医療法人渓仁会	手稲渓仁会病院
84	医療法人愛全会	介護老人保健施設アートヒルズ
85	社会福祉法人ノテ福祉会	介護老人保健施設げんきのでる里
86	医療法人北武会	介護老人保健施設ほくと
87	独立行政法人地域医療機能推進機構	北海道病院附属介護老人保健施設
88	一般社団法人	北海道総合在宅ケア事業団
89	一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団	札幌中央訪問看護ステーション
90	一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団	札幌南訪問看護ステーション
91	一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団	札幌清田訪問看護ステーション
92	一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団	札幌豊平訪問看護ステーション
93	一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団	札幌手稲訪問看護ステーション
94	一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団	江別訪問看護ステーション
95	SOMPO ケア（株）	北海道事業部
96	SOMPO ケア（株）	そんぽの家 S 札幌発寒
97	SOMPO ケア（株）	そんぽの家 S 札幌川下
98	SOMPO ケア（株）	そんぽの家 S 札幌青葉
99	医療法人札幌清田病院	訪問看護ステーションきよた
100	医療法人社団愛心館	来夢ﾗｲﾝ訪問看護ステーション
101	医療法人社団愛心館	訪問看護ｽﾃｰｼｮﾝあいしん
102	国家公務員共済組合連合会	斗南病院
103	医療法人社団　研仁会	北海道脳神経外科記念病院

添付資料　「アンケート送付先リスト　4/7」

104	医療法人札幌麻生脳神経外科病院	札幌麻生脳神経外科病院
105	医療法人五風会	さっぽろ香雪病院
106	医療法人社団正心会	岡本病院
107	医療法人重仁会	大谷地病院
108	一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団	札幌北訪問看護ステーション
109	一般社団法人北海道総合在宅ケア事業団	長沼地域訪問看護ステーション
110	SOMPO ケア（株）	札幌菊水
111	社会福祉法人 ノテ福祉会	訪問看護ステーション ノテ真栄
112	医療法人社団豊生会	介護老人保健施設 ひまわり
113	医療法人勉仁会	中垣病院
114	医療法人晴生会	介護老人保健施設サンビオーズ新琴似
115	株式会社創生事業団	グッドタイム訪問看護ステーション札幌東
116	医療法人為久会	札幌共立五輪橋病院
117	医療法人社団悠仁会	羊ヶ丘病院
118	医療法人社団同仁会	長野病院
119	医療法人社団ｴｽ･ｴｽ･ｼﾞｪｲ	札幌整形循環器病院
120	社会医療法人	中村記念南病院
121	社会医療法人禎心会	訪問看護ステーション禎心会東
122	社会福祉法人渓仁会	訪問看護ステーションあおば
123	社会医療法人禎心会	介護老人保健施設ら・ぱーす
124	医療法人愛全会	介護老人保健施設 リラコート愛全
125	医療法人札幌山の上病院	札幌山の上病院
126	SOMPO ケア（株）	札幌澄川
127	国立大学法人	筑波大学附属病院
128	独立行政法人国立病院機構	北海道がんセンター
129		東京医科大学病院
130		東京大学医学部附属病院
131		KKR 札幌医療センター
132		市立室蘭総合病院
133		苫小牧市立病院
134		北見赤十字病院
135		埼玉県立がんセンター
136		市立函館病院
137	国立研究開発法人	量子科学技術研究開発機構　QST 病院
138		市立旭川病院

添付資料　「アンケート送付先リスト　5/7」

139	社会医療法人母恋	日鋼記念病院
140	社会医療法人北斗	北斗病院
141	社会医療法人社団ピエタ会	石狩病院
142	社会医療法人即仁会	北広島病院
143	医療法人大地	札幌真駒内病院
144		市立千歳市民病院
145	社会医療法人北海道恵愛会	札幌南三条病院
146	公益社団法人北海道勤労者医療協会	勤医協中央病院
147	医療法人札幌ハートセンター	札幌心臓血管クリニック
148	社会福祉法人北海道社会事業協会富良野病院	富良野協会病院
149	社会医療法人仁陽会	西岡第一病院
150	医療法人雄心会	函館新都市病院
151	日本赤十字社	浦河赤十字病院
152		滝川市立病院
153	社会医療法人耳鼻咽喉科麻生	耳鼻咽喉科麻生北見病院
154	医療法人社団博愛会	開西病院
155	医療法人	新札幌整形外科病院
156	医療法人社団医修会	大川原脳神経外科病院
157		名寄市立総合病院
158		市立釧路総合病院
159	日本赤十字社	釧路赤十字病院
160	国立大学法人	旭川医科大学病院
161	独立行政法人国立病院機構	旭川医療センター
162	社会福祉法人北海道社会事業協会函館病院	函館協会病院
163	医療法人社団 shindo	旭川リハビリテーション病院
164	医療法人萬田記念病院	萬田記念病院
165	社会医療法人恵和会	西岡病院
166	社会福祉法人さっぽろ慈啓会	慈啓会病院
167	医療法人社団刀圭会	協立病院
168		市立札幌病院
169	JA 北海道厚生連	帯広厚生病院
170	JA 北海道厚生連	旭川厚生病院
171	独立行政法人　労働者健康安全機構	釧路労災病院
172		徳島県立中央病院
173	医療法人新産健会	LSI 札幌クリニック

添付資料　「アンケート送付先リスト　6/7」

174	医療法人社団	H･N･メディック
175	医療法人医誠会	医誠会病院
176	医療法人社団愛友会	伊奈病院
177	医療法人徳洲会	帯広徳洲会病院
178	医療法人ケイ･アイ	オホーツク海病院
179	公益財団法人	神奈川県予防医学協会
180		株式会社J･トラスト
181	医療法人沖縄徳洲会	鎌ヶ谷総合病院
182		きちのせ株式会社
183	公益財団法人　地域医療振興協会	公立黒川病院
184	北海道立	子ども総合医療･療育センター
185	JA北海道厚生連	札幌厚生病院
186	医療法人徳洲会	札幌東徳洲会病院
187	医療法人潤和会	札幌ひばりが丘病院
188		順天堂大学医学部附属　浦安病院
189		聖マリアンナ医科大学病院
190	医療法人同仁会	千歳第一病院
191	医療法人社団誠馨会	千葉中央メディカルセンター
192		東京女子医科大学病院
193	医療法人社団東光会	戸田中央総合病院
194	一般社団法人	日本健康倶楽部北海道支部
195	医療法人社団青葉会	一橋病院
196	公益社団法人北海道勤労者医療協会	法人本部
197	公益財団法人	北海道労働保健管理協会
198	独立行政法人　国立病院機構	北海道医療センター
199	医療法人北晨会	恵み野病院
200	国家公務員共済組合連合会	横須賀共済病院
201		横浜市立大学附属病院
202	国家公務員共済組合連合会	虎の門病院
203	IMS グループ医療法人財団明理会	行徳総合病院
204	国立研究開発法人	国立国際医療研究センター病院
205		佐藤整形外科医院
206		神奈川リハビリテーション病院
207	東京都立	多摩総合医療センター
208	一般財団法人精神医学研究所附属	東京武蔵野病院
209	国家公務員共済組合連合会	平塚共済病院

添付資料　「アンケート送付先リスト　7/7」

210	独立行政法人労働者健康安全機構	北海道せき損センター
211		北海道大学病院
212	医療法人社団	にれの杜クリニック
213	財団法人	室蘭・登別総合健診センター
214	医療法人	新さっぽろ脳神経外科病院
215	医療法人	札幌円山整形外科病院
216	社会医療法人恵和会	西岡病院
217	社会医療法人恵和会	恵庭第一病院
218	社会医療法人恵和会	帯広中央病院
219	医療法人社団日本医療大学	日本医療大学病院
220	社会医療法人札幌清田病院	札幌清田病院

【質問 1】日本医療大学保健医療学部における以下の学科の卒業生の採用を検討したいですか。

【回答】

	回答数 （事業所）	構成比 （%）
日本医療大学の看護学科・診療放射線学科の卒業生を採用する予定があります	121	79.6%
現在採用予定はありません	31	20.4%
計	152	100%

【質問 2】上記の【質問 1】において、1 回答された方にお聞きします。
日本医療大学卒業生の採用を検討したい主な理由をお教え下さい。

【回答】

	回答数 （事業所）	構成比 （%）
実習先の施設として学生を受け入れており学生と面識がある	28	17.0%
信頼できる教員の推薦による日本医療大学の学生を即戦力と期待している	37	22.4%
医療系総合大学におけるチーム医療を含めた包括的教育に期待している	36	21.8%
定数増による定量的な人材確保に期待する	52	31.5%
その他	12	7.3%
計	165	100%

【質問 3】上記の【質問 1】において、　1　に回答された方にお聞きします。
<u>看護学科</u>の卒業生を採用したい人数をお教え下さい。

【回答】

	回答数 （事業所）	構成比 （%）
1 人	17	14.0%
2 人	28	23.1%
3 人	30	24.8%
4 人	2	1.7%
5 人以上	34	28.1%
回答なし	10	8.3%
計	121	100%

集計の結果、5 人以上の実数を回答した施設を含めると 348 人である。

【質問 4】上記の【質問 1】において、　1　に回答された方にお聞きします。
診療放射線学科の卒業生を採用したい人数をお教え下さい。

【回答】

	回答数 （事業所）	構成比 （%）
1 人	59	48.8%
2 人	15	12.4%
3 人以上	13	10.7%
回答なし	34	28.1%
計	121	100%

集計の結果、3 人以上の実数を回答した施設を含めると 141 人である。

別記様式第３号（その１）

教　　員　　名　　簿

学　　長　　の　　氏　　名　　等						
調書番号	役職名	フ　リ　ガ　ナ 氏　　名 <就任（予定）年月>	年齢	保有学位等	月額基本給 （千円）	現　　職 （就任年月）
―	学　長	オオ　タ　マコト 太　田　　誠 〈令和３年４月〉		修士（理学療法士・作業療法士		日本医療大学 学　　長 （令和２年４月）